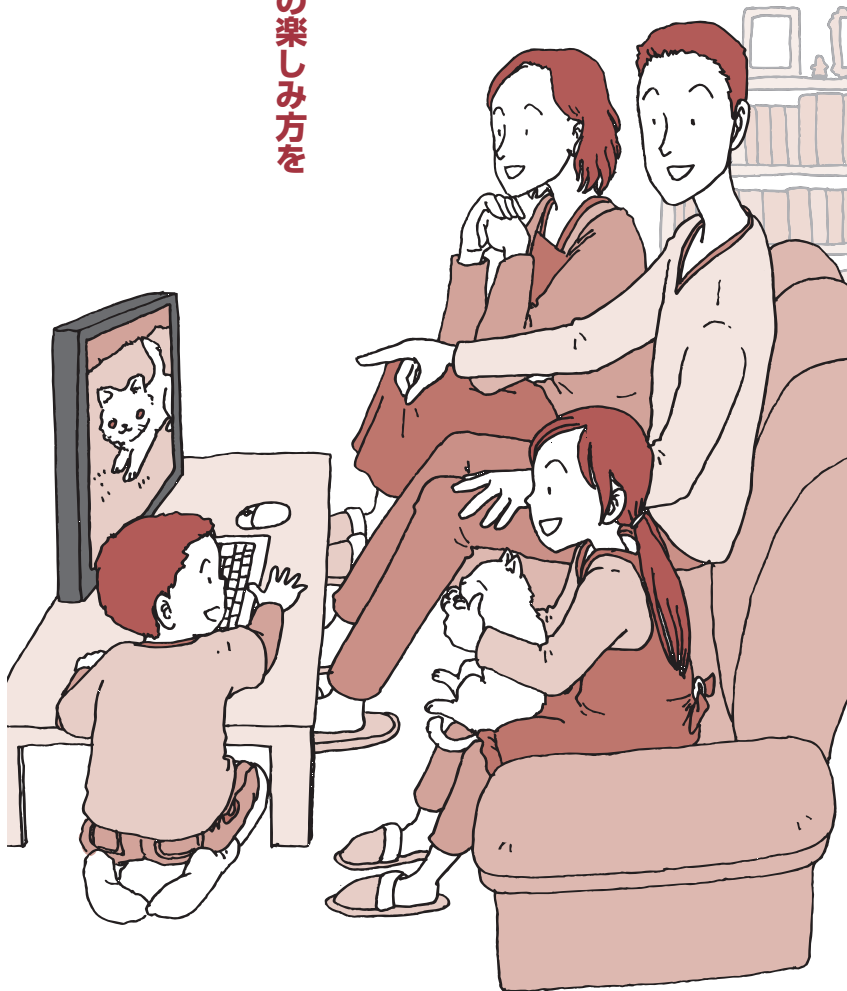


テレビを 楽しむ本

基本編

パソコンだから二歩進んだテレビの楽しみ方を



かんたんナビ

テレビを見るための準備

ぱっと観テレビを使う

テレビを見る

録画・予約する

再生する

削除する

録画番組を光ディスク
(DVDなど)に保存する

一歩すすんだテレビ操作

情報・設定

Q&A

● マニュアルガイド ●

このパソコンには、次のマニュアルが添付されています。
目的に合わせてご覧ください。



このパソコンの使い方

『ユーザーズマニュアル』

パソコンの接続やセットアップ／基本機能／おすすめ機能／バックアップ／トラブル解決／再セットアップ／NECのサービス&サポート など

※トラブル予防・解決編の5章に、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)や各種サービス&サポート情報を記載しています。

この本



パソコンでテレビを見てみよう

『テレビを楽しむ本 基本編』

パソコンで簡単にテレビを見る方法／おてがる予約や新番組おまかせ録画／録画番組の編集／DVDなどへの保存方法／一歩すすんだテレビ操作 など



デスクトップのタスクバーにあるをクリック

パソコンの中にもマニュアルがある

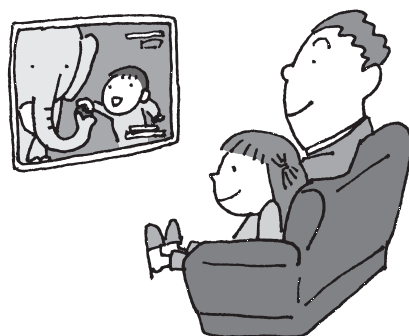
『ソフト&サポートナビゲーター』

使いたいソフトを探して、起動する／機器の取り付け方法や操作、セキュリティの設定／うまくいかないとき、故障かなと思ったとき／各部の機能や名称などの情報／用語集 など

かんたん

ナビ

「かんたんナビ」は、このパソコンでぱっと観テレビ(ぱっと観テレビモデルのみ)やSmartVisionでテレビを楽しむための基本的な操作をご案内するページです。



設定はお済みですか？

パソコンでテレビを見るには
次の準備が必要です。
「かんたんナビ」を読む前に、
テレビ機能を使えるようにしましょう。

😊 パソコンを使う準備をする
→『ユーザーズマニュアル』をご覧ください

😊 テレビの初期設定をする
→このマニュアルのPART1「テレビを
見るための準備」(p.1)をご覧ください

「かんたんナビ」で基本的な操作に慣れたら、ぜひこのマニュアルをひととおりお読みになってください。きっとテレビをより便利に使いこなしていただくことができるでしょう。

ぱっと観テレビで—————

◆ テレビを見よう!……………巻頭 2

SmartVisionで—————

◆ テレビを見よう!……………巻頭 3

◆ 録画しよう!……………巻頭 4

◆ 再生しよう!……………巻頭 5

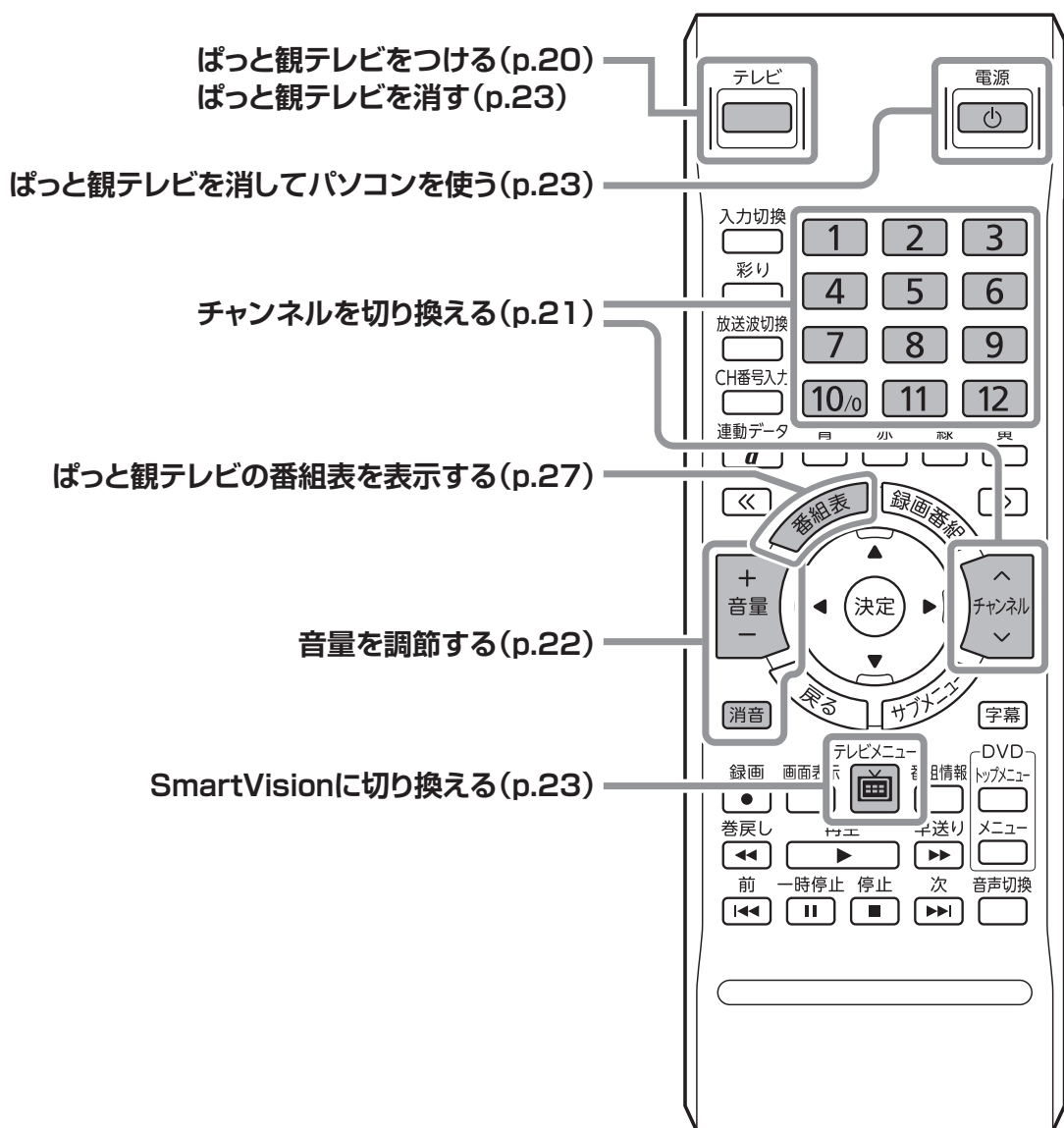
PDFマニュアルのご案内—————

◆『テレビを楽しむ本
活用編』について……巻頭 6

ぱっと観テレビで

テレビを見よう!

※ぱっと観テレビモデルのみ



ぱっと観テレビのその他の機能については「PART2 ぱっと観テレビを使う」(p.19)をご覧ください。

SmartVisionで

テレビを見よう!

かんたんナビ

SmartVisionでテレビを見る※(p.40)
SmartVisionを終了してテレビを消す(p.44)

SmartVisionを終了してパソコンも終了する(p.45)

チャンネルを切り換える(p.41)

SmartVisionの番組表を表示する(p.61)

音量を調節する(p.42)

SmartVisionでテレビを見る※(p.40)
SmartVisionのテレビメニューを表示する(p.52)

タイムシフトモードに切り換える(p.55)



※: ぱっと観テレビモデルの場合は【テレビメニュー】でSmartVisionが起動します。
ぱっと観テレビモデル以外の場合は【テレビ】および【テレビメニュー】でSmartVisionが起動します。

SmartVisionで

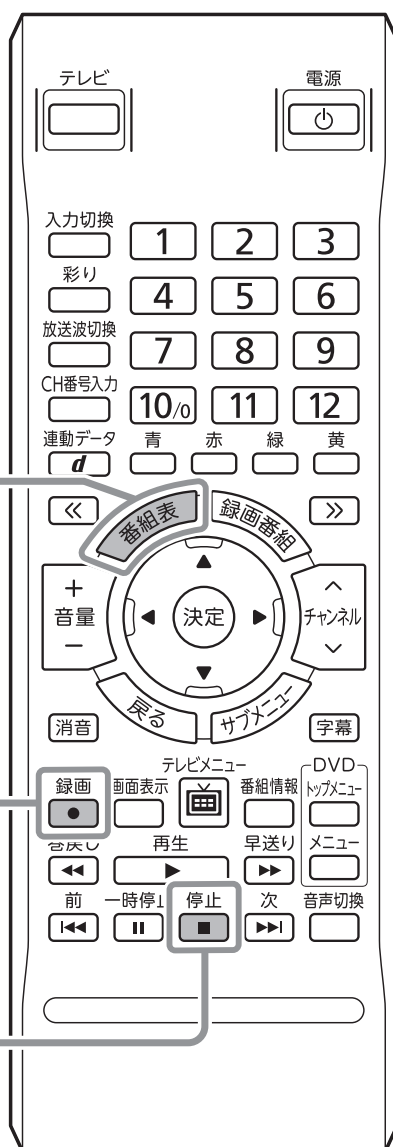
録画しよう!



番組表から録画予約する※(p.90)

視聴中の番組を録画する(p.85)

録画を停止する(p.85)



※: 番組表の受信が完了しているときのみ録画予約ができます。

手動で番組表を受信する手順については「手動で番組表を受信するには」(p.66)をご覧ください。

SmartVisionで

再生しよう!

かんたんナビ

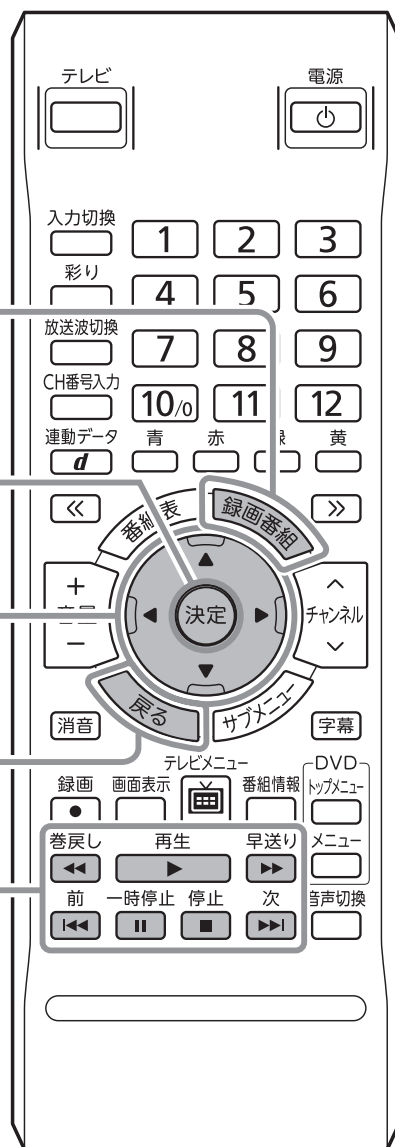
録画番組一覧を表示する(p.138)

録画番組一覧で録画した番組を再生する(p.139)

録画番組一覧で見たい録画番組を選ぶ(p.139)

録画番組一覧からテレビ画面に戻る(p.139)

再生している番組を操作する(p.139)



『テレビを楽しむ本 活用編』について

PDFマニュアル『テレビを楽しむ本 活用編』では、ここでご紹介している“テレビをさらに楽しむための機能”について説明しています。ぜひ本書とあわせて『テレビを楽しむ本 活用編』もご覧いただき、SmartVisionを使いこなしてください。

● 外付けハードディスクに番組を保存する

パソコンに接続した外付けハードディスクにテレビ番組を直接録画したり、Cドライブに録画した番組を外付けハードディスクに移動することができます。

- ・市販の外付けハードディスクが必要です。

● インターネットで情報を探す(ウェブ検索)

マウスの操作だけで、テレビ番組の出演者や主題歌などについて、インターネットで検索できます。

- ・インターネットに接続できる状態になっている必要があります。

● 録画番組を携帯電話で楽しむ(外でもVIDEO)

パソコンで録画した番組を携帯電話などの機器に転送(ダビング)して、外出先で楽しむことができます。

- ・転送先の機器によって転送方法などが異なります。

● ホームネットワークを使ってテレビを楽しむ

ホームネットワーク経由で録画した番組を他の機器に転送(ダビング)したり、配信することができます。また、ホームネットワークに接続されたメディアサーバーに保存されている番組を、このパソコンで楽しむこともできます。

- ・ホームネットワークの準備が必要です。

● 別のパソコンでテレビを楽しむ(SmartVision/PLAYER)

「SmartVision/PLAYER」を使えば、このパソコンをTVサーバー(メディアサーバー)として、テレビ機能がない別のパソコンでテレビ番組を楽しむことができます。

- ・SmartVision/PLAYERを搭載した別のパソコンが必要です。
- ・ホームネットワークの準備が必要です。

● テレビを見ながらツイッターを楽しむ(つぶやきプラス)

視聴している番組のツイートを表示したり、裏番組に関連するツイートを表示することができます。また、録画した番組とともに保存されたつぶやきから、気になるシーンを検索することもできます。もちろんツイートを投稿することもできます。

- ・インターネットに接続できる状態になっている必要があります。
- ・ツイッター ID(ツイッターのアカウント)が必要です。

● スマートフォンでテレビを操作する(Smartリモコン)

スマートデバイス(スマートフォンやタブレット)でテレビ(SmartVision)を操作することができます。

- ・スマートデバイスに「Smartリモコン」をインストールする必要があります。
- ・ぱっと観テレビを操作することはできません。(ぱっと観テレビモデルのみ)

● もうひとつの番組表を使う(G-GUIDE for Windows)

インターネットから番組表をダウンロードできる番組表ソフト「G-GUIDE for Windows」を使って録画予約することができます。

- ・放送波から番組表を取得する方法に比べて、短時間で番組表を取得できます。
- ・パナソニック株式会社製のBDレコーダーやDVDレコーダー「ディーガ」と連携して録画予約することができます。

PDFマニュアル「テレビを楽しむ本 活用編」は、121ware.comからダウンロードできます。詳しくは、「SmartVision」(🔍「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94192220 で検索)をご覧ください。
インターネットエクスプローラに次のURLを入力して、ダウンロード用のページを表示させることもできます。
(http://121ware.com/e-manual/m/nx/ac/201401/etv/v1/mst/853_811064_356_a.pdf)

このマニュアルの表記について

◆本文中の記載について

- ・本文中の画面やイラスト、ホームページは、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。
- ・記載している内容は、このマニュアルの制作時点のものです。お問い合わせ先の窓口やサービス内容、住所、電話番号、ホームページの内容やアドレスなどが変更されている場合があります。あらかじめご了承ください。

◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります

記載内容を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。

 注意	人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。
---	--

傷害や事故の発生を防止するための指示事項は、次のマークで表しています。

	使用者に対して指示に基づく行為を強制するものです。
---	---------------------------

その他の指示事項は、次のマークで表しています。

 チェック	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
 参 照	マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。
 ポイント	そのページで大事なことや、操作のヒントが書かれています。

◆このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【 】	【 】 で囲んである文字は、キーボードのキーやリモコンのボタンを指します。
『 』	『 』 で囲んである文字は、このマニュアル以外のマニュアル名を指します。
DVD/CDドライブ	ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)、ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)(BDXL™対応)、またはDVDスーパーマルチドライブを指します。
 「ソフト&サポートナビゲーター」	画面で見るマニュアル「ソフト&サポートナビゲーター」を起動して、各項目を参照することを示します。 「ソフト&サポートナビゲーター」は、デスクトップのタスク バーにある  (ソフト&サポートナビゲーター)アイコンをクリックして起動します。

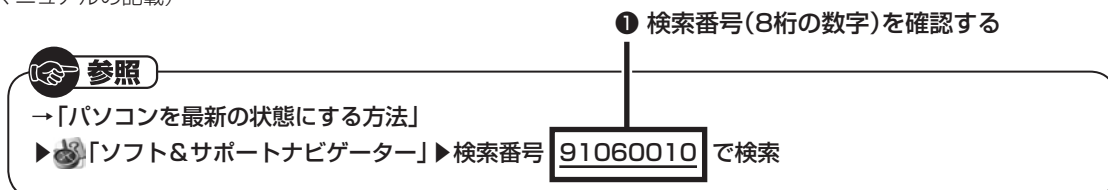
◆番号検索について

このマニュアルに出てくる検索番号(8桁の数字)を画面で見るマニュアル「ソフト&サポートナビゲーター」で入力して検索すると、詳しい説明や関連する情報を表示できます。

◆利用方法

例) 検索番号が「91060010」の場合

(マニュアルの記載)



(「ソフト&サポートナビゲーター」の画面)



◆このマニュアルでは、各モデル(機種)を次のような呼び方で区別しています

ご購入された製品のマニュアルで表記されているモデル名を確認してください。

このパソコン、本機	このマニュアルで説明している各モデル(機種)を指します。
ブルーレイディスクドライブモデル	ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)、またはブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)(BDXL™対応)を搭載しているモデルのことです。
ブルーレイディスクドライブ(BDXL™対応)モデル	ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)(BDXL™対応)を搭載しているモデルのことです。
DVDスーパーマルチドライブモデル	DVDスーパーマルチドライブ(DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWドライブ(DVD-R/+R 2層書込み))を搭載しているモデルのことです。
地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデル	チューナー(レコーダー)を4つ内蔵しているモデルのことです。 最大4つの番組を同時に録画したり、視聴している番組の裏番組を複数録画することができます。
地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデル	チューナー(レコーダー)を2つ内蔵しているモデルのことです。 最大2つの番組を同時に録画したり、視聴している番組の裏番組を録画することができます。
地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデル	チューナー(レコーダー)を1つ内蔵しているモデルのことです。 1つの番組のみ視聴したり録画することができます。
ぱっと観テレビモデル	パソコンを起動しなくてもテレビを楽しむことができる「ぱっと観テレビ」機能を搭載しているモデルのことです。

◆このマニュアルで使用しているソフトウェア名などの正式名称

(本文中の表記)	(正式名称)
Windows、 Windows 8.1	Windows® 8.1 Windows® 8.1 Pro
インターネットエクスプローラ、 Internet Explorer	Windows® Internet Explorer® 11
G-GUIDE for Windows	G-GUIDE® for Windows
ウイルスバスター	ウイルスバスター クラウド™

◆このマニュアルで使用している用語について

フルスクリーンモード	リモコンで操作することができるモードです。 リモコンのボタンでSmartVisionを起動すると、このモードになります。
マウス操作専用モード	録画した番組の整理や映像の簡易編集など、フルスクリーンモードよりさらに多くの機能が使えるモードです。マウス操作専用モードには、用途に応じて使い分けられる3つのモード(スリムモード/ノーマルモード/アドバンスモード)があります。マウス操作専用モードへの切り換えについては、「マウス操作専用モード」(p.176)をご覧ください。
オンラインヘルプ	マウス操作専用モード画面から表示するヘルプです。マウス操作専用モードでの操作の説明が表示されます。オンラインヘルプの表示手順については「オンラインヘルプを表示する」(p.178)をご覧ください。
ライブモード	放送中の番組をそのまま視聴するモードです。
タイムシフトモード	放送中の番組を一時的に録画し、それを再生して視聴するモードです。録画番組を楽しむときのように一時停止や巻き戻しなどの操作ができます。(p.55)
B-CASカード	デジタル放送の視聴に必要なカードです。名刺サイズのB-CASカードと携帯電話用ICカード(SIMカード)サイズのminiB-CASカードがあります。このマニュアルではいずれも「B-CASカード」と表記します。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows® 8.1、Windows® 8.1 Proおよび本機に添付のCD-ROM、DVD-ROMは、本機のみでご使用ください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権者の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
- (9) あなたがテレビ放送や録画物などから引用したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。
- (10) この製品は、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しています。
- (11) 本商品は録画のときに暗号化技術を使っているため、故障内容によっては、修理しても録画した番組が再生できなくなる場合があります。

商標について

Microsoft、Windows、Internet Explorer、Windows MediaおよびWindowsのロゴは米国Microsoft Corporationおよび/またはその関連会社の商標です。

BluetoothワードマークとロゴはBluetooth SIG, Inc.の所有であり、NECパーソナルコンピュータ株式会社はライセンスに基づきこのマークを使用しています。

SmartVisionは、NECパーソナルコンピュータ株式会社の登録商標です。

ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米国Rovi Corporationおよび/またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。

ディーガはパナソニック株式会社の商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

G-GUIDE for Windows は、米国Rovi Corporation および/またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。

米国Rovi Corporation およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。

本製品には、NECのフォント「FontAvenue®」を使用しています。

Twitterという名称、Twitter バードは、Twitter, Inc.の登録商標です。

Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの登録商標です。

インテル、Intel、Pentium、Celeron、Intel Coreは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

ぱっと観テレビを実現するソフトウェアの使用条件や権利等については下記URLを参照ください。

<http://121ware.com/product/pc/support/tvlinux/index.html>

目次

C O N T E N T S

巻頭

かんたんナビ

巻頭

このマニュアルの表記について i

PART

1

テレビを見るための準備

1

このマニュアルの読み方 2

このパソコンで楽しめるテレビ放送 2

モデルによって異なる機能について 2

こんな準備が必要です 4

テレビを見るまでの流れ 4

テレビ初期設定をする 5

テレビを見る前に 14

テレビ初期設定で困ったら 15

B-CASカードについて 16

B-CASカードを扱うときの注意 16

B-CASカードの情報を確認する 16

アンテナの設定をする 17

アンテナの調節をする 17

PART

2

ぱっと観テレビを使う

19

ぱっと観テレビの基本的な使い方 20

ぱっと観テレビをつける 20

チャンネルを切り換える 21

BS/110度CS/地上デジタル放送を切り換える 21

画質を切り換える 21

音量を調節する 22

音声を切り換える 22

字幕を切り換える 22

画面の明るさを調節する 22

ぱっと観テレビを消す 23

パソコンの画面に切り換える 23

SmartVisionに切り換える 23

ぱっと観テレビ利用時のご注意 24

リモコンのボタンについて(ぱっと観テレビ) 25

ぱっと観テレビで録画予約する	27
「ぱっと予約」するときのご注意	27
「ぱっと予約」する	27
SmartVisionに切り換える	29
SmartVisionに切り換えて録画番組を楽しむ(ぱっと再生)	29
SmartVisionに切り換えて見ている番組を録画する(ぱっと録画) ..	29
より便利に使う	30
ぱっと観テレビを省電力モードに設定する	30
ぱっと観テレビをつけたときにパソコンを起動させない	30
ぱっと観テレビを楽しむときの音質を指定する	31
その他の設定について	31

PART

3

テレビを見る 39

基本的な使い方	40
テレビをつける	40
チャンネルを切り換える	41
BS/110度CS/地上デジタル放送を切り換える	42
画質を切り換える	42
音量を調節する	42
音声を切り換える	43
字幕放送を見る	43
チューナーを切り換える(地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデル および地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデル)	43
テレビを消す	44
SmartVision利用時の注意事項	45
リモコンのボタンについて(SmartVision)	46
操作パネルについて	48
画面表示について	50
テレビメニューを使う	52
テレビメニューって何?	52
テレビメニュー	53
タイムシフトモードで見る	55
タイムシフトモードについて	55
タイムシフトモードに切り換える	55

タイムシフトモードで見ている番組を操作する	56
タイムシフトモードを終了する	56
データ放送を見る	57
データ放送って何？	57
データ放送を表示する	57
データ放送の操作	58
データ放送を見るときに注意	59
番組表を使う	60
画面で見る番組表	60
番組表を受信する	60
番組表を見る	61
番組表の受信時刻を変更する	64
手動で番組表を受信するには	66
マイ番組表を作る	67
4つの番組を同時に楽しむ	
(地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルのみ)	69
マルチスクリーンとは	69
マルチスクリーンに切り換える	70
マルチスクリーンでの操作	71
裏番組の選択方法を変更する	75
マルチスクリーンを使うときのご注意	76

PART

4

録画・予約する	77
録画について	78
録画するときの注意	78
録画モードについて	80
録画に必要なハードディスク容量について	81
同時録画をおこなうときのご注意	82
録画を中断する条件	83
いろいろな録画予約機能	84
録画予約機能一覧	84
視聴中の番組を録画する	85
タイムシフトモードの番組を録画する(さかのぼり録画)	87

おてがる予約をする(番組表で予約する)	90
おてがる予約って何?	90
おてがる予約をする	90
シリーズ録画する	94
番組を検索して予約する	96
検索できる番組	96
検索した番組を予約する	96
番組表を使わないで予約する(時間指定)	98
予約の変更や予約結果の確認をする	99
予約の確認や変更	99
予約の結果を確認する	102
おまかせ録画をする(地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデル・ 地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデルのみ)	103
おまかせ録画って何?	103
おまかせ録画を有効にする	104
おまかせ録画を登録する	105
新番組おまかせ録画をする(地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナー モデル・地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデルのみ)	109
新番組おまかせ録画って何?	109
新番組おまかせ録画を有効にする	109
新番組おまかせ録画を無効にする	110
新番組おまかせ録画した番組をシリーズ録画に変更する	111
おまかせタフ録りする(地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルのみ) ..	114
おまかせタフ録りって何?	114
おまかせタフ録り(ジャンル)の設定を変更する	115
おまかせタフ録り(キーワード)の設定を変更する	118
おまかせタフ録りで録画した番組をシリーズ録画に変更する	127
おまかせタフ録りを中止する	128
予約の優先度について	129
自動的に登録される予約の優先度	129
予約についてのご注意	131
予約するときの注意	131
予約の実行について	132

ナイトモードについて	133
ナイトモードについて	133
画面消灯モードについて	133
予約実行前後の動作を設定する	134

PART	再生する	137
5	録画した番組を再生する	138
	再生の方法	138
	「まとめ表示」と「個別表示」を切り換える	140
	録画番組一覧の使い方	141
	オートチャプター機能(「チャプタースキップ」と「見たいところ再生」)	142
	手動でチャプターマークを追加する(マイチャプター)	143
	きこえる変速再生	144
	追っかけ再生する	145
	追っかけ再生って何?	145
	録画中の番組を再生する(追っかけ再生)	146
	おまかせ録画した番組を再生する(地デジ/BS/ 110度CS・ダブルチューナーモデル・地デジ/ BS/110度CS・シングルチューナーモデルのみ)	147
	おまかせ録画した番組を再生する	147
	おまかせタフ録りした番組を再生する (地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルのみ)	149
	おまかせタフ録りで録画した番組を再生する	149
	おまかせタフ録りした番組の自動削除	150
	おてがる録画検索する	151
	おてがる録画検索って何?	151
	おてがる録画検索で録画番組を探す	151
	おてがる録画検索用のキーワードを追加する	152

PART	削除する	155
6	録画した番組を削除する	156
	番組をひとつずつ削除する	156
	複数の番組をまとめて削除する	157

PART 7 録画番組を光ディスク(DVDなど)に保存する 159

番組を保存できる光ディスク(DVDなど)について	160
保存できる光ディスク	160
光ディスクに書き込む形式について	160
録画モードと光ディスクに保存できる時間のめやす	161
光ディスクのフォーマットとファイナライズについて	164
番組を光ディスクに保存するための準備	165
光ディスクに保存するときの録画モードの変換について	165
CPRMのアップデートをする	165
光ディスクをフォーマットする	166
番組を光ディスクに保存する	168
光ディスクに保存するときのご注意	172
光ディスクに保存した番組を再生する	173

PART 8 一歩すすんだテレビ操作 175

マウス操作専用モード	176
フルスクリーンモードからマウス操作専用モードに切り換える	176
マウス操作専用モードを直接起動する	177
マウス操作専用モードのモードを切り換える	178
録画した番組のデータ量を減らす(録画モード変換)	179
録画モード変換について	179
録画モード変換をする	180
録画した番組を整理する	183
ご購入時の録画フォルダー	183
録画フォルダーを作成する	184
録画した番組を移動する	186
録画フォルダーを削除する	187
簡易編集機能を使う	189
録画番組を簡易編集する	189
オートチャプターの情報を使って編集する(自動登録)	193
テレビをもっと楽しむための機能	194
PDFマニュアルについて	194
外付けハードディスクに番組を保存する	194

インターネットで情報を探す(ウェブ検索)	195
録画番組を携帯電話で楽しむ(外でもVIDEO)	195
ホームネットワークを使ってテレビを楽しむ.....	196
別のパソコンでテレビを楽しむ(SmartVision/PLAYER)	196
テレビを見ながらツイッターを楽しむ(つぶやきプラス).....	197
スマートフォンでテレビを操作する(Smartリモコン)	197
もうひとつの番組表を使う(G-GUIDE for Windows)	198

PART	情報・設定	199
9	情報	200
	まとめて確認.....	200
	B-CASカード情報の確認	201
	受信レベルの確認.....	201
	バージョンの確認.....	202
	放送メール.....	202
	ダウンロード.....	202
	設定	203
	チャンネル設定.....	203
	初期設定のやりなおし.....	206

PART	Q&A	207
10	パソコンの起動／終了について	208
	パソコンの電源が勝手に入ってしまう.....	208
	パソコンの電源が勝手に切れる.....	208
	予約録画などの後、パソコンの電源が自動で切れない	209
	テレビを見ているとき	210
	テレビが映らない.....	210
	テレビ初期設定で、チャンネルのすべてまたは一部が設定されない。 プリセットチャンネルを手動で設定しても改善しない。 デジタル放送でブロックノイズが発生したり、受信が不安定になる ..	212
	テレビを起動したら、チャンネルが勝手に変わってしまう (地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデルのみ)	212
	テレビの視聴中にエラーメッセージで、再起動するように表示された。 または操作できなくなった.....	212

音が出ない、音が大きすぎる	212
映像が乱れる(コマ落ちする)	213
放送中のデジタル放送の映像が遅れている	214
映像が微動する(揺れる)	214
データ放送が表示できない	214
CATV回線で、デジタル放送に対応しているか知りたい	214
地上デジタル放送の、新しく放送開始した放送局が選局できない	215
地上デジタル放送が受信できなくなった	215
今まで視聴できていたのに、突然、BS・110度CSデジタル放送の 映像が悪化した。あるいは映像が表示されなくなった	215
引っ越しをしたらテレビが映らなくなった	215
視聴予約や録画予約ができないときには	216
視聴予約した番組が開始されない	216
録画予約した番組が録画されていない	216
予約した携帯電話用のデータ(外でもVIDEO)が録画されていない (地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルおよび地デジ/ BS/110度CS・ダブルチューナーモデル)	217
予約録画した番組が途中で途切れている	218
録画フォルダーに録画した番組が見あたらない	218
おまかせ録画で番組を録画したり、予約することができない	219
シリーズものの番組を繰り返し予約したにもかかわらず、 録画されていない番組がある	219
新番組おまかせ録画を有効にしたにもかかわらず、 録画されない新番組がある	220
おまかせタフ録りで番組を録画したり、予約することができない	220
番組表の受信がうまくいかない	221
番組表が受信できない、またはデータの取りこぼしが生じる	221
デジタル放送の番組表を取得したのに、放送局のロゴが表示されない	221
録画ができない	222
録画ができない	222
その他	223
操作パネルが表示されない	223
リモコンで操作できない	223
リモコンでデータ放送が操作できない	224

リモコンの【電源】を押しても、テレビが終了するのに時間がかかる …	224
「SmartVisionをアップデートしてください。」というメッセージが表示された …	224
DVDに保存しようとしたが、選択できない番組 (保存できない番組)がある …	224
DVD-RAMの書き込みに失敗する …	224
SmartVisionの録画番組データをほかのパソコンに移したい …	225
テレビを終了しようとしたが終了しない …	225
テレビ画面に緑色の横線が見える …	225
テレビ画面上にメッセージが表示された …	225
SmartVisionの動作が遅いことがある …	226
操作中にウィンドウが見えなくなる …	226
外付けハードディスク以外の機器を接続したとき、SmartVisionで 録画用ハードディスクとして利用するように設定するか 確認する画面が表示される …	226
コピー回数が「再生不可」と表示された番組がある …	227
パソコンを再セットアップするときの録画番組のデータについて知りたい …	227
タスク バーのSmartVisionアイコンが表示されない …	227
「ウェブ検索」機能を使ったときInternet Explorerが表示されない。 マウスでInternet Explorerをクリックしても、 テレビ(SmartVision)の手前に表示されない …	228
リモコンで「きこえる変速再生」の操作ができない …	228
「外でもVIDEO」の番組を携帯電話で視聴できない …	228
セキュリティソフトを入れ換えてから問題が起こるようになった …	229
設定していない時刻に番組表の受信が始まった …	229
録画番組一覧の録画フォルダーのアイコンが変化した (地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルのみ) …	229
ぱっと観テレビをつけたときチャンネルが切り換わり右下に 「おはようマイチャンネル」と表示された(ぱっと観テレビモデルのみ) …	229

索引 …	230
キーボードショートカット …	巻末



テレビを見るための準備

テレビを見る前に、アンテナケーブルの接続やテレビ初期設定が必要です。

PART 1

テレビを 見るための 準備

このマニュアルの読み方

はじめに、このマニュアルを読む上で注意していただきたいことを説明します。

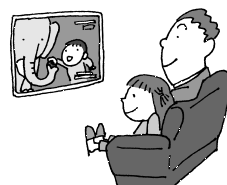
このパソコンで楽しめるテレビ放送

地上デジタル放送、BS・110度CSデジタル放送が楽しめます。

●地上デジタル放送

●BS・110度CSデジタル放送

デジタルで放送されている衛星放送です。BSデジタル放送と110度CSデジタル放送の番組が見られます。



モデルによって異なる機能について

モデルによって、機能や画面の表示が一部異なります。また、操作も一部異なることがあります。このマニュアルでは、各モデルで大きな差異のない画面や操作については、まとめて説明しています。

■ 内蔵しているチューナー(レコーダー)の数について

地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデル:

視聴および録画兼用のチューナーを4つ内蔵しているモデルです。最大4つの番組を同時に録画することができます。

地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデル:

視聴および録画兼用のチューナーを2つ内蔵しているモデルです。最大2つの番組を同時に録画することができます。

地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデル:

視聴および録画兼用のチューナーを1つ内蔵しているモデルです。1つの番組のみ録画することができます。

■ ぱっと観テレビモデルについて

「ぱっと観テレビ」は、テレビを見るためのソフト「SmartVision」とは異なる、独立したテレビの機能です。

「ぱっと観テレビ」機能を搭載したモデル(ぱっと観テレビモデル)では、パソコンの起動を待たずに手軽にテレビを見たり、録画予約を入れたりすることができます。

● チェック

- 複数の番組を同時に録画するときは動作の一部に制限があります。詳しくは、PART4の「同時録画をおこなうときのご注意」(p.82)をご覧ください。
- すべてのチューナー(レコーダー)が録画で使用中の場合、現在録画しているチャンネル以外は視聴できません。

📌 ポイント

パソコンならではのテレビ機能を活用するときは「SmartVision」をお使いください。

■ CPUによる画質変換対応モデル／非対応モデルについて

CPUによる画質変換に対応したモデルと対応していないモデルでは一部の動作が異なります。また、画面に表示されるメッセージなどが一部異なります。

CPUによる画質変換に対応したモデル／非対応のモデルは以下のとおりです。

CPUによる画質変換対応モデル：

次のCPUを搭載したモデル

インテル® Core™ i7、インテル® Core™ i5、インテル® Core™ i3

CPUによる画質変換非対応モデル：

上記以外のモデル

ポイント

- 著作権保護の機能を持つアプリケーションを使っているときは、光ディスクへの保存ができないことがあります。必要に応じて該当するアプリケーションを終了してください。
- パソコンに搭載されたCPUなどについては、『ユーザーズマニュアル』の「仕様一覧」をご覧ください。

PART 1

テレビを 見るための 準備

こんな準備が必要です

アンテナケーブルの接続とテレビ初期設定が終わっているかたはすぐにテレビを見ることができます。
終わっていないかたは次の説明を読んで準備をしてください。

テレビを見るまでの流れ

このパソコンでテレビを見るには、パソコンを使う準備と、テレビの初期設定の2つの準備が必要です。
テレビを見るまでの流れは次のとおりです。

パソコンを使う準備をする

テレビを見る前に、まずはパソコンを使えるようにします。
『ユーザーズマニュアル』を読んで、パソコンの接続とセットアップをしてください。

接続の途中で、テレビの視聴に必要なアンテナケーブルとB-CASカードの準備も同時におこないます(B-CASカードについて詳しくは、このPARTの「B-CASカードについて」(p.16)をご覧ください)。

続けてリモコンを準備します。

『ユーザーズマニュアル』

- ・ パソコンの設置
- ・ パソコンの接続
- ・ アンテナケーブルの接続
- ・ B-CASカードのセット
- ・ Windowsのセットアップ
- ・ リモコンの準備

テレビ初期設定 (チャンネルや番組表の設定)をする

テレビを楽しむ本(この本)

- ・ テレビ初期設定(p.5)

モデルによって、テレビの初期設定の流れが異なります。

- ・ ぱっと観テレビモデル
ぱっと観テレビの設定とSmartVisionの設定をおこないます。
- ・ ぱっと観テレビモデル以外のモデル
SmartVisionの設定をおこないます。

次ページからの内容をよく読んで、テレビの初期設定をしてください。

！チェック

- CATV(ケーブルテレビ)から地上デジタル放送を受信できるかどうかは、各CATV会社により異なります。
- CATV会社経由で地上デジタル放送を受信する場合、再配信されている地上デジタル放送信号が同一周波数パススルー方式、周波数変換パススルー方式の場合は地上デジタル放送を視聴可能です。その他の方式(トランスモジュレーションなど)では視聴できません。再配信されている地上デジタル放送の方式に関しては、ご利用のCATV会社にご確認ください。
- CATV番組の放送局については、各CATV会社より届けられているCATV番組表などをご覧ください。

準備完了

さあ、テレビを楽しみましょう！

テレビ初期設定をする

テレビ初期設定の操作は、リモコン、マウス、キーボードを使っておこないます。

● チェック

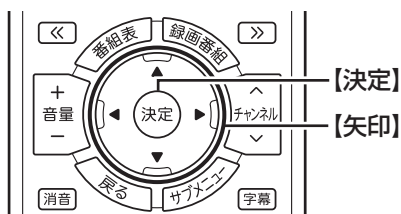
- 操作画面上に「？」が表示されているときは、「？」をクリックすると、その項目についての簡単な説明が表示されます。
- SmartVisionのテレビ初期設定を中止するときは、「キャンセル」をクリックしてください。なお、中止したときは、それまでに設定した内容は保存されません。
- パソコンの内蔵ドライブアクセスランプが点滅しているときは、パソコンの設定中です。次の画面が表示されるまで何も操作せずに待ってください。
- リモコンのボタンを使うときは、リモコン右側面のモード切換スイッチをボタン操作側（下側）に合わせてください。

📖 参 照

パソコン本体のボタンやランプについて→『ユーザズマニュアル』の「各部の名称」

👉 ポイント

SmartVisionのテレビ初期設定の操作はリモコンの【矢印】と【決定】を押しておこなうこともできます。



モデルによって操作の流れが異なります。それぞれ次の説明をご覧ください。

- ・ ぱっと観テレビモデル
次の「ぱっと観テレビモデルのテレビ初期設定」
- ・ ぱっと観テレビモデル以外のモデル
「ぱっと観テレビモデル以外のモデルのテレビ初期設定」(p.9)

■ ぱっと観テレビモデルのテレビ初期設定

ぱっと観テレビモデルでは、ぱっと観テレビの設定とSmartVisionの設定が必要です。

1 パソコン本体上部のテレビボタンを押す

ぱっと観テレビの「はじめての設定」が表示されます。

2 リモコンの【決定】を押す



「B-CASカード確認」が表示されます。

3 B-CASカードの状態を確認する

「正常」と表示されたときは

「進む」を選んで【決定】を押してください。



「問題あり」と表示されたときは

『ユーザズマニュアル』の「準備・基本編」第1章の「B-CASカードをセットする」をご覧ください。なり、B-CASカードをセットしなおしてください。

- ① B-CASカードをセットしなおしたら、「B-CASカードのテスト」を選んで【決定】を押す
- ② 「正常」と表示されたら、「進む」を選んで【決定】を押す

4 チャンネルを設定する

- ①「受信地域」を選び、【矢印】の左右ボタンでお住まいの都道府県を選ぶ
- ②「スキャン実行」を選んで【決定】を押す



チャンネルスキャンが始まります。完了すると「チャンネルスキャンの結果を確認します。」と表示されます。

ポイント

表示されないチャンネルがある場合でもそのまま設定を進め、SmartVisionの設定も含めてテレビ初期設定が終わってから「テレビ初期設定で困ったら」(p.15)をご覧ください。

5 「進む」を選んで【決定】を押す



BSデジタル放送の「アンテナレベル」が表示されます。

ポイント

- 「放送波」や「受信周波数」を選んで各チャンネルのアンテナレベル(受信レベル)を確認することができます。
- チャンネルのアンテナレベルが0の場合など電波の受信状態が悪いときもそのまま設定を進め、SmartVisionの設定も含めてテレビ初期設定が終わってから「テレビ初期設定で困ったら」(p.15)をご覧ください。

6 「進む」を選んで【決定】を押す



「「はじめての設定」が完了しました。」と表示されます。

7 「はい」を選んで【決定】を押す



ぱっと観テレビの映像が表示されます。続けてSmartVisionの設定をおこなってください。

ポイント

- 録画などのテレビの機能を使うためには、SmartVisionの設定が必要です。
- ご購入時の状態では、ぱっと観テレビをつけると同時にパソコンが起動します。パソコンを起動せずに、ぱっと観テレビだけつけられるよう設定を変更することもできます。詳しくはPART2の「ぱっと観テレビをつけたときにパソコンを起動させない」(p.30)をご覧ください。
- ぱっと観テレビの初期設定が終了すると、ぱっと観テレビの起動モードが「クイック」に設定されます。起動モードは待機電力を抑える「省電力」に変更できます。詳しくはPART2の「ぱっと観テレビを省電力モードに設定する」(p.30)をご覧ください。

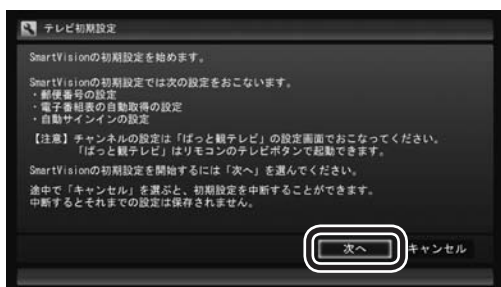
8 「テレビメニュー」を押す



「準備中です」と表示された後、「SmartVisionの初期設定を始めます。」と表示されます。

数分間待っても画面が切り換わらないときは、パソコン本体上部のテレビボタンを押してパソコンの画面を確認してください。

9 マウスを使って「次へ」をクリック



10 「郵便番号」をクリックし、キーボードで数字を入力して[Enter]を押す



11 「次へ」をクリック

Windowsパスワード(サインインパスワード)を設定しているときは、ユーザー名とパスワードの設定画面が表示されます。手順12に進んでください。

設定していないときは「レポート」が表示されます。手順13に進んでください。

12 パスワードを入力する(設定している場合)

① サインインしているユーザー名が表示されていることを確認する

② クリックし、キーボードでパスワードを入力し、[Enter]を押す

③ 「次へ」をクリック



「レポート」が表示されます。

！チェック

- この画面は、Windowsパスワードを設定していない場合は表示されません。
- 新たにパスワードを設定または変更したり、サインインするユーザー名を変更したとき(ローカル アカウントからMicrosoft アカウントへ変更した場合など)は、自動サインインの設定を変更する必要があります。変更する手順については、PDFマニュアル「テレビを楽しむ本 活用編」の「自動サインインの設定をする」をご覧ください。

13 自動サインインするユーザーの名前を確認する

番組表の受信設定についての説明と、自動サインインするユーザーの名前が表示されます。



「自動サインインの設定」に表示されたユーザーの名前を確認してください。テレビ番組を録画するときや番組表を受信するときは、ここに表示されているユーザー名で自動的にサインインします。

！チェック

- 初期設定が完了すると、番組表の受信のためにパソコンが毎日自動的に起動するようになります。詳しくは、「パソコンの自動起動について」(p.14)をご覧ください。
- 自動サインインのユーザー名の変更手順はPDFマニュアル『テレビを楽しむ本 活用編』の「自動サインインの設定をする」をご覧ください。

14 「次へ」をクリック

「おまかせタフ録りの設定」画面が表示されたときは、手順15に進んでください。

「テレビ初期設定が完了しました。」と表示されたときは、手順19に進んでください。

！ポイント

「おまかせタフ録りの設定」画面が表示されるのは、地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルのみです。

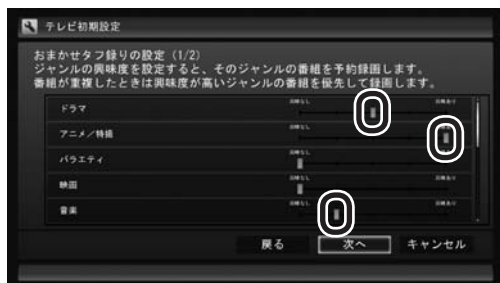
15 おまかせタフ録りの「ジャンル」について設定する

！ポイント

- 「おまかせタフ録り」は地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルに搭載された、番組を自動録画する機能です。ここで設定するジャンルやキーワードから、好みの番組を自動的に探して録画します。詳しくはPART4の「おまかせタフ録りする(地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルのみ)」(p.114)をご覧ください。
- 「おまかせタフ録り」の機能を無効にするときは、「おまかせタフ録りを中止する」(p.128)をご覧ください。

番組のジャンルに対する興味度(興味の度合い)を登録しておく、条件に合った番組が録画されます。

- ① スライダーバーを左右にドラッグして、ジャンルごとの興味度を選ぶ



！ポイント

- 画面右端のスクロールバーを操作して、表示されているジャンルをスクロールできます。
- 興味度の高い番組が優先的に録画されます。録画する際の優先度については、「予約の優先度について」(p.129)をご覧ください。
- 自動録画したくないジャンルは、左端の興味度を選んでください。

すべてのジャンルについて設定が完了したら、次の手順に進んでください。

16 「次へ」をクリック

おまかせタフ録りのキーワードを設定する画面が表示されます。

17 おまかせタフ録りの「キーワード」を設定する

出演者や番組名などのキーワードを登録しておく、条件に合った番組が録画されます。

- ① キーワードの入力欄をクリックしてキーボードでキーワードを入力して【Enter】を押す
- ② 「追加」をクリック



キーワードの一覧に入力したキーワードが追加されます。必要に応じて複数のキーワードを登録することもできます。

「人名一覧」を使うときは

「人名一覧」をクリックすると、人名を検索する画面が表示されます。この画面で、より容易に出演者などの名前を入力することができます。

- ① 読み仮名を入力する
「よみがな」の下に表示されている「あ」～「わ」などをクリックして読み仮名を入力します。
文字を入力するごとに、該当する人物の候補が絞り込まれ、「人名一覧」に表示されます。

ポイント

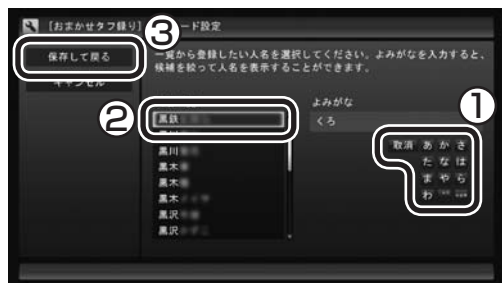
- 「あ」～「わ」をクリックすると、文字の周囲にその行(「あ」をクリックしたら「あ行」)の文字が表示されます。表示された文字をあらためてクリックすると文字が入力できます。たとえば、「お」を入力するときは、「あ」をクリックし、「あ」の下に表示された「お」をクリックしてください。
- 入力を取り消すときは「取消」をクリックしてください。
- 濁点や半濁点を入力するときは、濁点または半濁点をつける文字を入力した後、「°」をクリックし、表示された濁点または半濁点をクリックしてください。
- 小さい「ゃ」や「っ」など(拗音や促音)を入力するときは、該当する文字を入力した後で「小文字」をクリックしてください。たとえば「ゃ」を入力するときは、「や」を入力してから「小文字」をクリックします。
- 「わ」をクリックすると、「ん」や「ー」(長音記号)を入力することができます。

② 人名を選ぶ

「人名一覧」に探していた人物の名前が表示されたら、その人物の名前をクリックします。選択された人名は黄色い文字で表示されます。選択を解除するときは、もう一度クリックしてください。

③ 「保存して戻る」をクリック

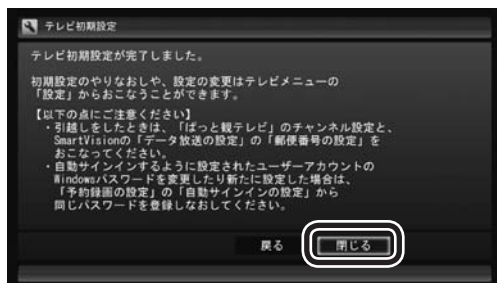
「おまかせタフ録り」のキーワード設定の画面に戻り、キーワードの一覧に、選択した人物の名前が追加されます。



18 「次へ」をクリック

「テレビ初期設定が完了しました。」と表示されます。

19 「閉じる」をクリック



テレビ画面が表示されます。

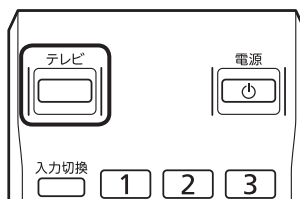
これで、テレビの初期設定は完了です。

テレビを楽しむ前に知っておいていただきたい項目が「テレビを見る前に」(p.14)にまとめられています。ご確認ください。

設定がうまくいかなかったときや、設定は終わったが見られない放送があるときは、「テレビ初期設定で困ったら」(p.15)をご覧ください。

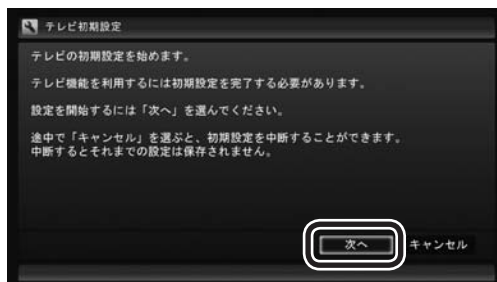
■ ぱっと観テレビモデル以外のモデルのテレビ初期設定

1 リモコンの[テレビ]を押す

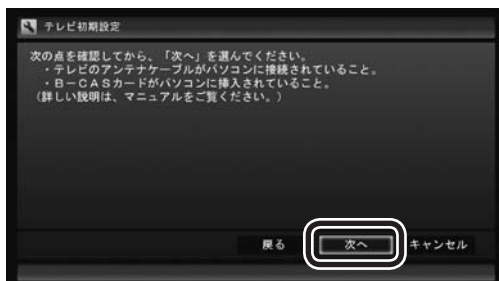


「テレビ初期設定」が表示されます。

2 マウスを使って「次へ」をクリック



3 画面の内容を確認して、「次へ」をクリック



参照

アンテナケーブルの接続について→『ユーザーズマニュアル』の「準備・基本編」第1章の「アンテナケーブルを接続する」

4 B-CASカードの状態を確認する

「正常」と表示されたときは

「次へ」をクリックして手順5に進んでください。



「問題あり」と表示されたときは

『ユーザーズマニュアル』の「準備・基本編」第1章の「B-CASカードをセットする」をご覧ください。なり、B-CASカードをセットしなおしてください。

- ① B-CASカードをセットしなおしたら、「B-CASカードのテスト」をクリックしてください。
- ② 「B-CASカードは正常です」と表示されたら、「次へ」をクリックして手順5に進んでください。



チェック

「B-CASカードの情報を読み取れません。」と表示されたときは、B-CASカードが正しくセットされていない可能性があります。『ユーザーズマニュアル』の「準備・基本編」第1章の「B-CASカードをセットする」をご覧ください。なり、B-CASカードが正しい向きでしっかりとセットされていることを確認してください。

5 チャンネル設定をする

- ① クリックし、お住まいの都道府県をクリック
- ② クリックし、キーボードで数字を入力し、【Enter】を押す
- ③ 都道府県と郵便番号が正しいことを確認したら、「次へ」をクリック



自動的に、地上デジタル放送のチャンネルの検索が始まります。チャンネルを探し終わると、レポート画面が表示されます。

ポイント

「チャンネルが見つかりませんでした」と表示された場合も、「次へ」をクリックして設定を進め、テレビ初期設定が終わってから「テレビ初期設定で困ったら」(p.15)をご覧ください。

6 チャンネル設定を確認し、「次へ」をクリック



Windowsパスワードを設定しているときは、ユーザー名とパスワードの設定画面が表示されます。手順7に進んでください。
設定していないときは「レポート」が表示されます。手順8に進んでください。

ポイント

受信できていないチャンネルがあった場合も、「次へ」をクリックして設定を進め、テレビ初期設定が終わってから「テレビ初期設定で困ったら」(p.15)をご覧ください。

7 パスワードを入力する(設定している場合)

- ① サインインしているユーザー名が表示されていることを確認する
- ② クリックし、キーボードでパスワードを入力し、【Enter】を押す
- ③ 「次へ」をクリック



「レポート」が表示されます。

チェック

- この画面は、Windowsパスワードを設定していない場合は表示されません。
- 新たにパスワードを設定または変更したり、サインインするユーザー名を変更したとき(ローカル アカウントからMicrosoft アカウントへ変更した場合など)は、自動サインインの設定を変更する必要があります。変更する手順については、PDFマニュアル『テレビを楽しむ本 活用編』の「自動サインインの設定をする」をご覧ください。

8 BSデジタル放送の受信状態を確認

BSデジタル放送の受信状態が表示されます。

- ① 「次へ」をクリック



- 受信レベルで「問題あり」と表示された場合、「アンテナの設定をする」(p.17)をご覧ください。

- 「受信レベルの確認」をクリックすると、受信レベルの確認の画面が表示されます。



9 自動サインインするユーザーの名前を確認する

番組表の受信設定についての説明と、自動サインインするユーザーの名前が表示されます。



「自動サインインの設定」に表示されたユーザーの名前を確認してください。テレビ番組を録画するときや番組表を受信するときは、ここに表示されているユーザー名で自動的にサインインします。

チェック

- 初期設定が完了すると、番組表の受信のためにパソコンが毎日自動的に起動するようになります。詳しくは、「パソコンの自動起動について」(p.14)をご覧ください。
- 自動サインインのユーザー名の変更手順はPDFマニュアル『テレビを楽しむ本 活用編』の「自動サインインの設定をする」をご覧ください。

10 「次へ」を選んで【決定】を押す

「おまかせタフ録りの設定」画面が表示されたときは、手順11に進んでください。

「テレビ初期設定が完了しました。」と表示されたときは、手順15に進んでください。

ポイント

「おまかせタフ録りの設定」画面が表示されるのは、地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルのみです。

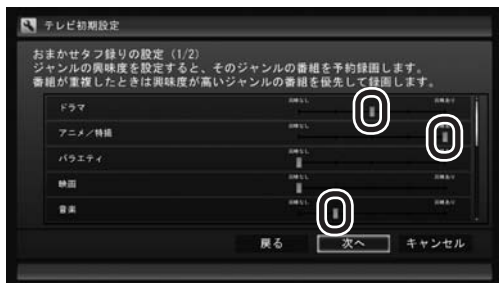
11 おまかせタフ録りの「ジャンル」について設定する

ポイント

- 「おまかせタフ録り」は地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルに搭載された、番組を自動録画する機能です。ここで設定するジャンルやキーワードから、お好みの番組を自動的に探して録画します。詳しくはPART4の「おまかせタフ録りする(地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルのみ)」(p.114)をご覧ください。
- 「おまかせタフ録り」の機能を無効にするときは、「おまかせタフ録りを中止する」(p.128)をご覧ください。

番組のジャンルに対する興味度(興味の度合い)を登録しておく、条件に合った番組が録画されます。

- ① スライドバーを左右にドラッグして、ジャンルごとの興味度を選ぶ



ポイント

- 画面右端のスクロールバーを操作して、表示されているジャンルをスクロールできます。
- 興味度の高い番組が優先的に録画されます。録画する際の優先度については、「予約の優先度について」(p.129)をご覧ください。
- 自動録画したくないジャンルは、興味なし(左端)を選んでください。

すべてのジャンルについて設定が完了したら、次の手順に進んでください。

12 「次へ」をクリック

おまかせタフ録りのキーワードを設定する画面が表示されます。

13 おまかせタフ録りの「キーワード」を設定する

出演者や番組名などのキーワードを登録しておく、条件に合った番組が録画されます。

- ① キーワードの入力欄をクリックしてキーボードでキーワードを入力して【Enter】を押す
- ② 「追加」をクリック



キーワードの一覧に、入力したキーワードが追加されます。必要に応じて複数のキーワードを登録することもできます。

「人名一覧」を使うときは

「人名一覧」をクリックすると、人名を検索する画面が表示されます。この画面で、より容易に出演者などの名前を入力することができます。

- ① 読み仮名を入力する
「よみがな」の下に表示されている「あ」～「わ」などをクリックして読み仮名を入力します。
文字を入力するごとに、該当する人物の候補が絞り込まれ、「人名一覧」に表示されます。

ポイント

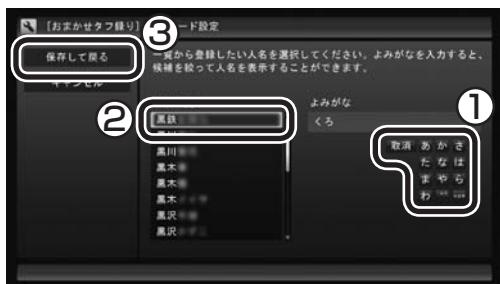
- 「あ」～「わ」をクリックすると、文字の周囲にその行(「あ」をクリックしたら「あ行」)の文字が表示されます。表示された文字をあらためてクリックすると文字が入力できます。たとえば、「お」を入力するときは、「あ」をクリックし、「あ」の下に表示された「お」をクリックしてください。
- 入力を取り消すときは「取消」をクリックしてください。
- 濁点や半濁点を入力するときは、濁点または半濁点をつける文字を入力した後、「・」「°」をクリックし、表示された濁点または半濁点をクリックしてください。
- 小さい「ゃ」や「っ」など(拗音や促音)を入力するときは、該当する文字を入力した後で「小文字」をクリックしてください。たとえば「ゃ」を入力するときは、「や」を入力してから「小文字」をクリックします。
- 「わ」をクリックすると、「ん」や「ー」(長音記号)を入力することができます。

② 人名を選ぶ

「人名一覧」に探していた人物の名前が表示されたら、その人物の名前をクリックします。選択された人名は黄色い文字で表示されます。選択を解除するときは、もう一度クリックしてください。

③ 「保存して戻る」をクリック

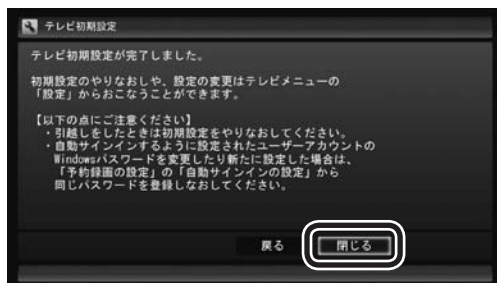
「おまかせタフ録り」のキーワード設定の画面に戻り、キーワードの一覧に、選択した人物の名前が追加されます。



14 「次へ」をクリック

「テレビ初期設定が完了しました。」と表示されます。

15 「閉じる」をクリック



テレビ画面が表示されます。

これで、テレビの初期設定は完了です。

テレビを楽しむ前に知っておいていただきたい項目が次の「テレビを見る前に」にまとめられています。ご確認ください。

設定がうまくいかなかったときや、設定は終わったが見られない放送があるときは、「テレビ初期設定で困ったら」(p.15)をご覧ください。

テレビを見る前に

■ 番組表の自動受信について

SmartVisionの初期設定が終了すると、1日に1回、朝10時に番組表を受信するためにパソコンが自動的に起動します。また、番組表の受信が完了した後は、ご購入時の設定ではスリープ状態で終了します。

番組表の受信が完了すると、その日はそれ以降の番組表の自動受信はおこなわれません。受信できなかった場合は、次の時刻に再度自動起動して番組表を受信します。

10・12・14・16時

なお、これらの設定は、初期設定後にいつでも変更することができます。

番組表の受信時刻を変更する場合は、PART3の「番組表の受信時刻を変更する」(p.64)を、番組表の受信後の動作を変更する場合は、PART4の「予約実行前後の動作を設定する」(p.134)をご覧ください。

■ パソコンの自動起動について

次のテレビの機能を実行するために、パソコンの電源が自動的に入ることがあります。

- ・ 番組の予約録画や予約視聴
- ・ 番組表の自動受信
- ・ 外でもVIDEOの自動転送
- ・ リモート録画予約の受け付け

予約録画や予約視聴は番組の放送前に、ほかの機能についてはそれぞれの設定にしたがって、パソコンが自動的に起動します。

ポイント

- パソコンの自動起動や終了について詳しくは、PART4の「予約実行前後の動作を設定する」(p.134)をご覧ください。
- 外でもVIDEOやリモート録画予約(つばやきプラス)については、PDFマニュアル「テレビを楽しむ本 活用編」をご覧ください。

■ テレビ(SmartVision)のアイコンを通知領域に表示させる

テレビ(SmartVision)のアイコンが通知領域に表示されるよう設定をしておくと、テレビを視聴していないときでも、録画や光ディスク書き込みの状態などがわかります。

1 デスクトップの通知領域のをクリック



2 「カスタマイズ」をクリック

「タスク バーに表示するアイコンと通知の選択」画面が表示されます。

3 SmartVision Schedulerの右のをクリックして、表示されたメニューから「アイコンと通知を表示」を選んでクリック

4 「OK」をクリック

これで、テレビ(SmartVision)のアイコンが通知領域に表示されるようになりました。

■ テレビ初期設定後の番組情報について

ご購入直後など、番組表のデータが受信されていないときは、放送局のアイコンや番組名などの情報が表示されません。

番組表の受信について詳しくは、PART3の「番組表を受信する」(p.60)をご覧ください。番組表を手動で受信する手順については、PART3の「手動で番組表を受信するには」(p.66)をご覧ください。

テレビ初期設定で困ったら

テレビ初期設定で、設定がうまくいかないときや、設定をしても見られない放送があるときは、テレビ初期設定を完了した後に次の説明をご覧ください。

■ 問題点を確認する

「まとめて確認」の画面で問題点を確認してください。操作についてはPART9の「まとめて確認」(p.200)をご覧ください。

■ 設定をやりなおす

「まとめて確認」の画面で問題が解決しなかったときは、パソコンを再起動して、テレビ初期設定をやりなおしてください。機能が回復する場合があります。

ぱっと観テレビモデルの場合:

PART2の「ぱっと観テレビのチャンネルスキャンをやりなおす」(p.32)の手順をおこなってください。

ぱっと観テレビモデル以外のモデルの場合:

テレビ初期設定をやりなおします。リモコンの【テレビメニュー】を押して、「設定」-「初期設定のやりなおし」を選んで、テレビ初期設定をやりなおしてください。

ここまでの作業が終わったら、PART3の「テレビをつける」(p.40)の方法で放送が見られるかどうか確認してください。見られない場合、お客様の環境では受信できない放送である可能性があります。詳しくはお近くの電器店にご相談ください。

■ おまかせタフ録りのジャンルやキーワードの設定をやりなおす(地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルのみ)

初期設定でおこなった、おまかせタフ録りの「ジャンル」や「キーワード」の設定をやりなおすときは、PART4の「おまかせタフ録り(ジャンル)の設定を変更する」(p.115)や「おまかせタフ録り(キーワード)の設定を変更する」(p.118)をご覧ください。

B-CASカードについて

デジタル放送の視聴に必要なB-CASカードについて説明します。

B-CASカードを扱うときの注意

B-CASカードは、デジタル放送の各種サービスを利用するために必要なカードです。このパソコンにB-CASカードをセットしないと、デジタル放送を視聴できません。

B-CASカードを扱うときは、次のことに注意してください。

- このパソコン専用のB-CASカード以外のものをセットしないでください。
- B-CASカードは、記載されている「使用許諾契約約款」の内容を読み、了解された上で台紙からはがしてください。
- B-CASカードの取り扱いについて、次のことにご注意ください。
 - ・裏面の金メッキされた端子に手を触れないでください。
 - ・折り曲げたり、変形させたり、傷を付けないでください。
 - ・上に重いものを載せたり、踏みつけたりしないでください。
 - ・ぬれた手で触ったり、水をかけたりしないでください。
 - ・分解・加工しないでください。
- 裏向きや逆方向からB-CASカードをセットしないでください。セットする方向を間違えると、B-CASカードが機能せず、デジタル放送を視聴できません。
- B-CASカードは、常時セットしたままにしておいてください。取り出す場合は、先にパソコンの電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いた後に、B-CASカードを取り出してください。

ポイント

- 限定受信システム(CAS: Conditional Access System)とは、特定のお客様にかぎって、番組の視聴ができるようにするシステムです。
- 詳しくは『ユーザーズマニュアル』の「準備・基本編」第1章の「B-CASカードをセットする」をご覧ください。

B-CASカードの情報を確認する

B-CASカードの情報を確認する方法については次のページをご覧ください。

SmartVisionでテレビを見ているとき:

PART9の「B-CASカード情報の確認」(p.201)

ぱっと観テレビでテレビを見ているとき:

PART2の「ぱっと観テレビのバージョンやB-CASカードの情報を確認する」(p.38)

PART 1

テレビを見るための準備

アンテナの設定をする

デジタル放送の表示に問題があるときは、アンテナの設定をしてください。

デジタル放送の表示に問題があるときは、アンテナの設定をすると改善される場合があります。

アンテナの調節をする

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「情報」-「受信レベルの確認」を選んで【決定】を押す

3 確認したい「放送波」と「チャンネル」を選ぶ



受信レベルが表示されます。

4 アンテナの向きを調節する

アンテナの向きを調節していくと、「レベル:中」または「レベル:高」と表示されます。その状態で受信レベルが最大となるようにアンテナの向きを調節して、アンテナを固定します。
「効果音」を「鳴らす」に設定していると、受信レベルが53以上の場合に音が鳴ります。

アンテナの向きを調節しても受信レベルが55以下の場合は、お近くの電気店などで次の点を確認してください。

- ・デジタル放送を受信可能なアンテナを設置しているか
- ・受信環境(アンテナケーブルや分配器など)に問題はないか
- ・衛星アンテナの電源供給が必要かどうか

5 「戻る」を選んで【決定】を押す

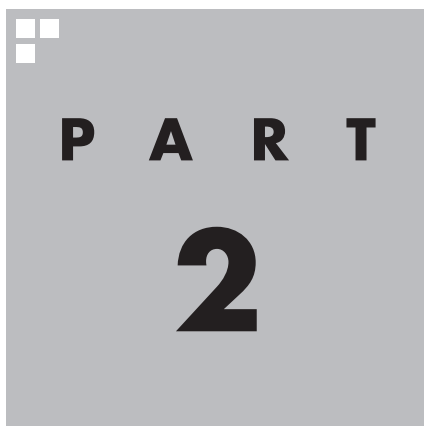
これで、アンテナの設定は完了です。

ポイント

ぱっと観テレビモデルの受信レベルの確認については、PART2の「テレビの受信状態を確認する」(p.31)で確認することもできます。

チェック

受信レベルは目安として56以上になるように調節してください。アンテナの受信レベルは、天候・季節・受信している地域(アンテナの設置場所)などによって異なります。



ぱっと観テレビを使う

「ぱっと観テレビ」を使えば、パソコンを起動しなくてもテレビを楽しむことができます(ぱっと観テレビモデルのみ)。

※「ぱっと観テレビ」は、テレビを見るためのソフト「SmartVision」とは異なるテレビ機能です。パソコンの起動を待たずに手軽にテレビを見たり、録画予約を入れたりすることができます。録画予約は「SmartVision」に反映されます。

あなたがテレビ放送などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

注意



- 映像をご覧になる際は、周囲を十分に明るくしてご使用ください。
- テレビを起動する前に、音量を確認し、調節してください。

PART 2

ぱっと観テレビを使う

ぱっと観テレビの基本的な使い方

ぱっと観テレビをつける

1 リモコンの[テレビ]を押す、もしくはパソコン本体上部のテレビボタンを押す

ぱっと観テレビまたは外部入力映像が表示されます。
ぱっと観テレビが表示されずに外部入力の映像が表示されたときは、手順2に進んでください。

ポイント

- パソコン本体のボタンについては、『ユーザーズマニュアル』の「各部の名称」をご覧ください。
- ご購入時の状態では、パソコンの電源が切れているとき、ぱっと観テレビをつけると、同時にパソコンが起動します。パソコンが起動しないように設定することもできます(p.30)。

2 リモコンの[入力切換]を押して、ぱっと観テレビの映像を表示させる

押すごとに、次のように切り換わります。

ぱっと観テレビ→HDMI→ぱっと観テレビ→…(以降繰り返す)



外部入力端子に信号が入力されていないときは、画面に「NO SIGNAL」と表示されます。

ポイント

パソコン本体左側面の外部入力切換ボタンを押して、ぱっと観テレビや外部入力を切り換えることもできます。

■ おはようマイチャンネルについて

おはようマイチャンネルは、テレビの視聴履歴からいつも見ているチャンネルを自動で判断し、テレビをつけたときそのチャンネルを自動的に選ぶ機能です。

設定の変更については、PART2の「おはようマイチャンネルの設定」(p.34)をご覧ください。

チャンネルを切り換える

【チャンネル】や数字ボタンを押して、チャンネルを切り換えることができます。



ポイント

- パソコン本体左側面の、チャンネル切替つまみ/放送波切替ボタンを上下にまわしてチャンネルを切り換えることもできます。
- リモコンで3桁のチャンネル番号を入力して、チャンネルを切り換えることもできます。(p.26)

BS/110度CS/地上デジタル放送を切り換える

【放送波切替】を押して、BS/110度CS/地上デジタル放送を切り換えることができます。押すごとに、次のように切り換わります。
地上デジタル→BSデジタル→110度CSデジタル→地上デジタル→…(以降繰り返し)



ポイント

パソコン本体左側面の、チャンネル切替つまみ/放送波切替ボタンを押し込んで、BS/110度CS/地上デジタル放送を切り換えることもできます。

画質を切り換える

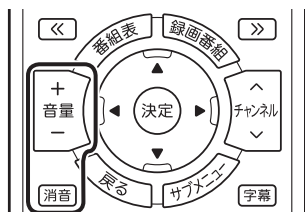
【彩り】を押して画質を切り換えることができます。【彩り】を押すと、次のように切り換わります。

ダイナミック→スタンダード→シネマ→オフ→ダイナミック→…
(以降繰り返し)



音量を調節する

【音量】を押して音量を調節できます。また【消音】を押すと音量が最小になります(ミュート)。【消音】をもう一度押すと消音する前の音量に戻ります。



ポイント

パソコン本体左側面の、音量調節つまみ/消音ボタンを上下にまわして音量を調節することもできます。音量調節つまみ/消音ボタンを押し込むと消音(ミュート)され、もう一度押し込むと消音する前の音量に戻ります。

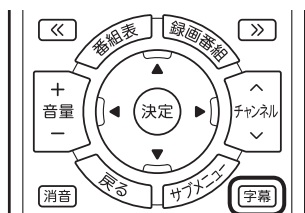
音声を切り換える

音声多重放送を見ているときは【音声切換】を押して音声を切り換えることができます。【音声切換】を押すごとに音声切り換わります。切り換わり方は放送によって異なります。



字幕を切り換える

字幕放送を見ているときは【字幕】を押して、字幕表示のオン/オフを切り換えることができます。

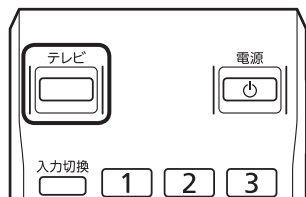


画面の明るさを調節する

パソコン本体側面の、明るさ調節つまみ/画面消灯ボタンを上下にまわしてディスプレイの明るさを調節できます。明るさ調節つまみ/画面消灯ボタンを押し込むと、画面消灯ランプが点灯して画面消灯モードがオンになり、一時的に映像と音を消すことができます。

ぱっと観テレビを消す

1 リモコンの【テレビ】を押す



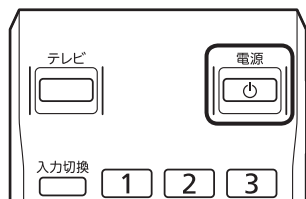
ぱっと観テレビの電源が切れます。
パソコンの電源が入っているときはパソコンの画面に切り換わります。

ポイント

パソコン本体上部のテレビボタンを押して、ぱっと観テレビを消すこともできます。

パソコンの画面に切り換える

1 リモコンの【電源】を押す



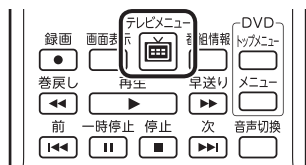
パソコンの画面に切り換わります。

ポイント

- パソコンの電源が入っていないときはパソコンが起動し、パソコンの画面に切り換わります。
- パソコン本体の電源ボタンを押して、パソコンの画面に切り換えることもできます。

SmartVisionに切り換える

1 【テレビメニュー】を押す



「準備中です」と表示された後、SmartVisionのテレビメニューが表示されます。

ポイント

パソコンの電源が入っていないときはパソコンが起動し、続けて自動的にSmartVisionが起動します。

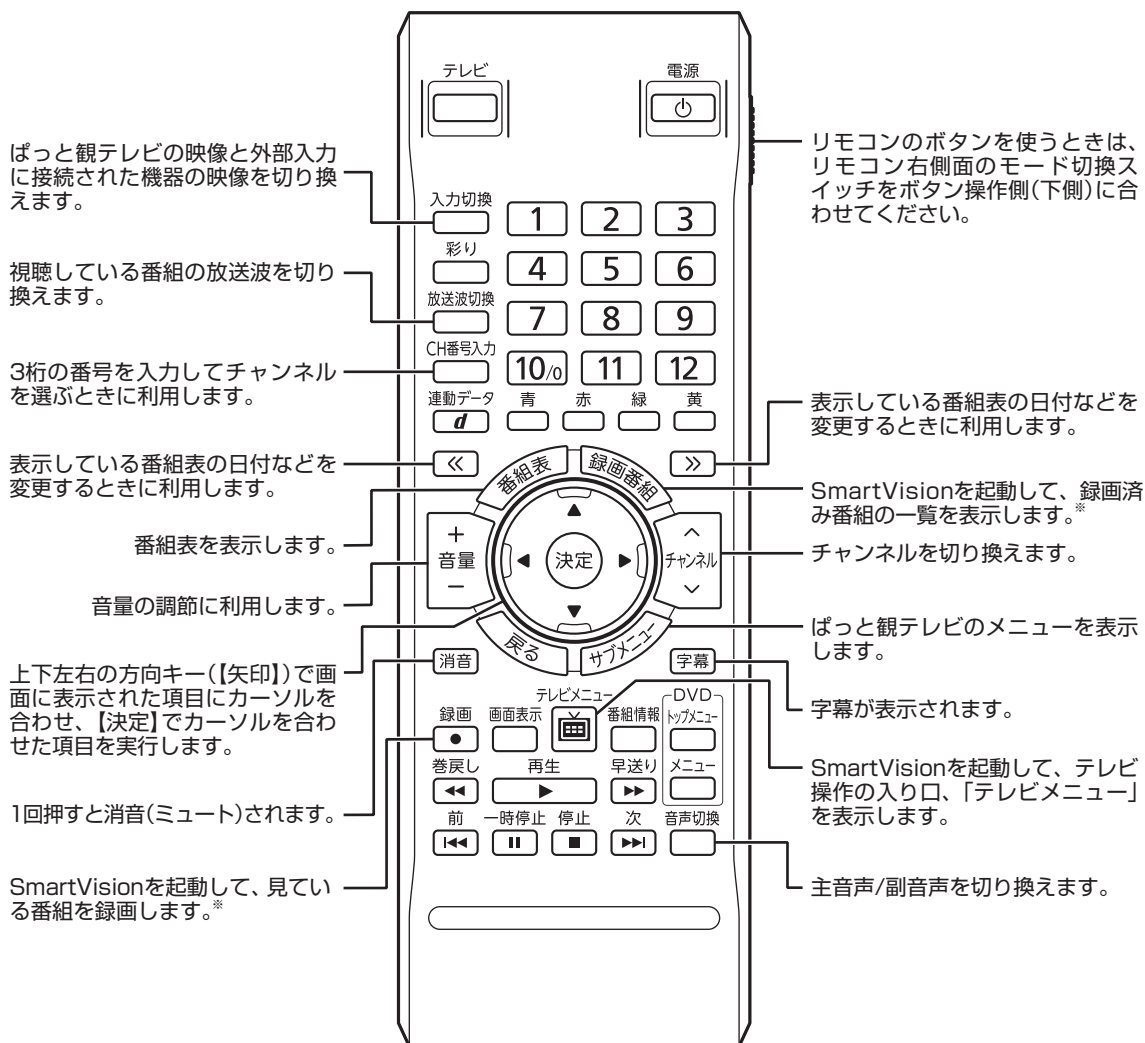
ぱっと観テレビ利用時のご注意

- パソコンが起動した状態でぱっと観テレビを見ているとき、パソコンの操作をしない状態が続いても省電力状態(スリープ状態や休止状態)にはなりません。
- ぱっと観テレビで番組を見ているときも、SmartVisionの予約録画(p.90)や番組表の取得(p.60)は自動的におこなわれます。
- ぱっと観テレビでは、データ放送を見ることができません。データ放送を楽しむときは、SmartVisionに切り換えてください。(p.23)

リモコンのボタンについて(ぱっと観テレビ)

■ 基本的な操作

リモコンで、ぱっと観テレビの基本的な機能を使うことができます。



※パソコンが起動していないときは利用できません。

■ リモコンボタン一覧

ここでは、ぱっと観テレビ^{※6}を操作するために使うボタンについて説明しています。
テレビ以外のソフトで使うボタンについては、「リモコン」(📺)「ソフト&サポートナビゲーター」▶
検索番号 93010130 で検索)をご覧ください。

ボタン	機能 ^{※1}
【テレビ】	ぱっと観テレビをつける。(ぱっと観テレビモデルの場合) ^{※5}
【電源】	パソコンを起動/終了する。ぱっと観テレビを見ているときは、ぱっと観テレビが消えてパソコンが起動する。
【彩り】	彩りプラスex機能を切り換える。(p.21)
【1】～【12】 ^{※4}	チャンネル(p.21)を切り換える。また、数字を入力する(「0」を入力するときは【10】を押してください)。
【CH番号入力】	3桁のチャンネル番号を入力してチャンネルを切り換える。 ^{※2}
【録画番組】	SmartVisionを起動し、録画済みの番組一覧を表示する。 ^{※7}
【番組表】	番組表を表示する。
【入力切換】	ぱっと観テレビの映像と外部入力に接続された機器の映像を切り換える。
【放送波切換】	放送波を切り換える。(p.21)
【矢印】 ^{※3}	上下左右の方向キー。項目を選ぶ。
【決定】 ^{※3}	選択した項目を決定する。
【<<】、【>>】	「番組表」の日付を切り換える。(p.27)
【サブメニュー】	ぱっと観テレビのメニューを表示する。
【音声切換】	音声(主音声/副音声)を切り換える。(p.22)
【テレビメニュー】	SmartVisionを起動し、テレビメニューを表示する。(p.23)
【字幕】	字幕の表示/非表示を切り換える。(p.22)
【音量】	音量を調節する。(p.22)
【消音】	消音(ミュート)する。(p.22)
【チャンネル】	チャンネルを切り換える。(p.21)
【録画】	SmartVisionを起動し、見ている番組を録画する。 ^{※7} (p.29)

※1: パソコンで使用するほかのソフトでは、ボタンに割り当てられた機能が異なる場合があります。

※2: 【CH番号入力】を押し、数字ボタン(【1】～【10】)を押して3桁のチャンネル番号を入力します(入力を中止するときは【戻る】を押します)。

※3: ぱっと観テレビのメニューで項目を選ぶときに使用します。

※4: 【1】～【12】を押してプリセットされたチャンネルを切り換えることができます。なお、【11】～【12】では、数字を入力することができません。

※5: 【テレビ】を押すとぱっと観テレビまたは外部入力に接続された機器の映像が表示されます。SmartVisionを起動するときは【テレビメニュー】を押してください。

※6: SmartVisionの操作については、「PART3 テレビを見る」(p.39)以降の説明をご覧ください。

※7: パソコンが起動していないときは利用できません。

PART 2

ぱっと観テレビを使う

ぱっと観テレビで録画予約する

ぱっと観テレビを見ているときは、パソコンを起動しなくても、ぱっと観テレビの番組表で録画予約することができます。これを「ぱっと予約」と呼びます。

「ぱっと予約」するときの注意

「ぱっと予約」をするときは、次のことにご注意ください。

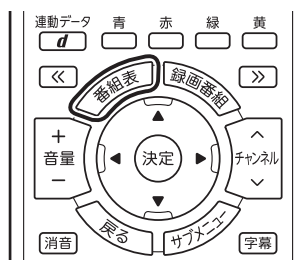
- 同じ時刻に入っていた予約があれば削除され、新しい予約で上書きされます。この際、重複を示すメッセージは表示されません。重複によって取り消された予約は、SmartVisionの「予約一覧」で確認できます。PART4の「予約の変更や予約結果の確認をする」(p.99)をご覧ください。
- 複数の予約が入っていたときは、優先度の低い予約(p.129)が削除されます。
- 同じ優先度の予約が入っていたときは、チャンネル番号が小さい方の録画が優先されます。

ポイント

録画予約するときは、PART4の「録画について」(p.78)もあわせてご覧ください。

「ぱっと予約」する

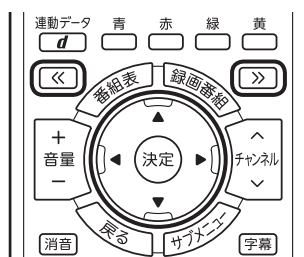
1 【番組表】を押す



ぱっと観テレビの番組表が表示されます。

2 予約する番組を決める

- ① リモコンの【<<】【>>】で日付を選ぶ
- ② 予約したい番組を選んで【決定】を押す



「番組の予約」画面が表示されます。



ポイント

次のボタンを使った操作ができます。

- ・【青】：現在の時刻の番組表が表示されます。
- ・【赤】：前の日の番組表が表示されます。なお、過去の日付の番組表は表示できません。
- ・【緑】：次の日の番組表が表示されます。1週間先の番組表まで表示できます。
- ・【黄】：同じ放送局のチャンネル(たとえば011ch、012ch)の、すべての番組が表示されます。

3 予約内容を設定する

①「録画モード」を選ぶ

【矢印】の左右ボタンで録画モード(画質)を選びます。録画モードの設定はSmartVisionでの録画と同様です。詳しくはPART4の「録画モードについて」(p.80)をご覧ください。

②「繰り返し予約」を設定する

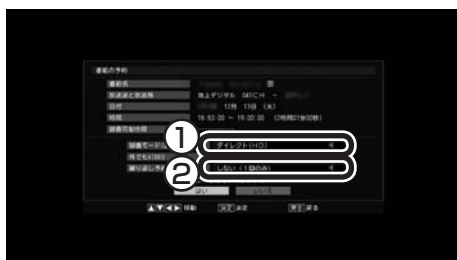
【矢印】の左右ボタンで次のいずれかを選びます。

●「しない(1回のみ)」

番組表で選んだ番組のみを予約します。通常はこちらを選んでください。

●「する(シリーズ)」

シリーズものの番組を続けて予約します(次回以降の放送も自動的に録画)。シリーズ録画の設定はSmartVisionでの録画と同様です。詳しくはPART4の「シリーズ録画のご注意」(p.94)をご覧ください。



4 「はい」を選んで【決定】を押す

ぱっと観テレビの番組表に戻ります。
テレビ画面に戻るときは【戻る】を押してください。

PART 2

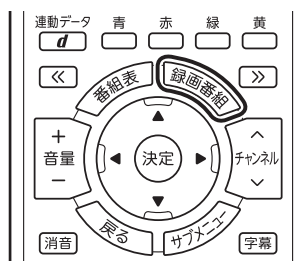
ぱっと観テレビを使う

SmartVisionに切り換える

パソコンが起動しているときは、ぱっと観テレビからSmartVisionに切り換えて、録画してある番組を再生したり、視聴中の番組を録画したりすることができます。

SmartVisionに切り換えて録画番組を楽しむ(ぱっと再生)

1 【録画番組】を押す



「準備中です」と表示された後、SmartVisionの「録画番組一覧」が表示されます。

番組の再生については、PART5の「録画した番組を再生する」の「再生の方法」の「まとめ表示」されていない番組を再生するの手順3(p.139)以降をご覧ください。

ポイント

パソコンの電源が入っていないときは、「この機能は現在使用できません」と表示されます。

ぱっと観テレビを使う

SmartVisionに切り換えて見ている番組を録画する(ぱっと録画)

1 【録画】を押す



「準備中です」と表示された後、SmartVisionのテレビ映像が表示され、録画が始まります。

録画開始後の操作については、PART4の「視聴中の番組を録画する」の手順2(p.85)をご覧ください。

ポイント

パソコンの電源が入っていないときは、「この機能は現在使用できません」と表示されます。

ポイント

SmartVisionと連携した機能(ぱっと再生・ぱっと録画)をご利用になる場合は、ぱっと観テレビをつけたときパソコンが起動する設定にしておくことをおすすめします。ご購入時の状態ではこの設定になっています。設定の変更について詳しくは「ぱっと観テレビをつけたときにパソコンを起動させない」(p.30)をご覧ください。

PART 2

ぱっと観テレビを使う

より便利に使う

ぱっと観テレビをより便利に使うための設定について説明します。

ぱっと観テレビを省電力モードに設定する

ぱっと観テレビの待機電力(テレビをつけていないときの消費電力)が少なくなるように設定できます。

- 1 **ぱっと観テレビを見ているときに、【サブメニュー】を押す**
ぱっと観テレビのメニューが表示されます。
- 2 **【矢印】の上下ボタンで「起動／映像／音声の設定」を選んで【決定】を押す**
- 3 **【矢印】の上下ボタンで「ぱっと観テレビ起動モード」を選び、【矢印】の左右ボタンで「省電力」を選ぶ**
「省電力」を選ぶと「クイック」よりも起動に時間がかかりますが、待機電力は少なくなります。「クイック」は待機電力が多くなりますが「省電力」より高速で起動できます。
- 4 **【決定】を押す**

ポイント

- ご購入時の状態では「クイック」が選ばれています。
- 省電力モードに設定すると「おはようマイチャンネル」機能の動作に時間がかかることがあります。詳しくは「ぱっと観テレビをつけたときチャンネルが切り換わり右下に「おはようマイチャンネル」と表示された(ぱっと観テレビモデルのみ)」(p.229)をご覧ください。

ぱっと観テレビをつけたときにパソコンを起動させない

ご購入時の状態では、ぱっと観テレビをつけると同時にパソコンが起動します。節電したい場合など、必要に応じてパソコンが同時に起動しないように設定できます。

- 1 **ぱっと観テレビを見ているときに、【サブメニュー】を押す**
ぱっと観テレビのメニューが表示されます。
- 2 **【矢印】の上下ボタンで「起動／映像／音声の設定」を選んで【決定】を押す**
- 3 **【矢印】の上下ボタンで「ぱっと観テレビと同時にPCを起動」を選び、【矢印】の左右ボタンで「しない」を選ぶ**
- 4 **【決定】を押す**

ポイント

テレビとパソコンをすばやく切り換えて使いたいときや、「ぱっと再生」や「ぱっと録画」などSmartVisionと連携した機能を使いたいときは、ご購入時の状態のまま、パソコンを同時に起動する設定にしておくことをおすすめします。

ポイント

ご購入時の状態では「する」が選ばれています。

ぱっと観テレビを楽しむときの音質を指定する

- 1 **ぱっと観テレビを見ているときに、[サブメニュー]を押す**
ぱっと観テレビのメニューが表示されます。
- 2 **[矢印]の上下ボタンで「起動／映像／音声の設定」を選んで[決定]を押す**
- 3 **[矢印]の上下ボタンで「音声モード」を選び、[矢印]の左右ボタンで音質を選ぶ**
TV、Cinema、Music、Offのいずれかを選ぶことができます。
- 4 **[決定]を押す**



ご購入時の状態では「TV」が選ばれています。

その他の設定について

ぱっと観テレビのメニューから、次のことができます。

- ・ テレビの受信状態を確認する
- ・ ぱっと観テレビのチャンネルスキャンをやりなおす
- ・ ぱっと観テレビのチャンネルをリモコンのボタンに割り当てる
- ・ おはようマイチャンネルの設定
- ・ ぱっと観テレビとSmartVisionの設定をご購入時の状態に戻す
- ・ 字幕や文字スーパーの表示設定を変更する
- ・ ぱっと観テレビを視聴するときの年齢制限を設定する
- ・ 年齢制限のための暗証番号を設定する
- ・ ぱっと観テレビの情報や放送局からのメッセージを表示する

■ テレビの受信状態を確認する

地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送の、電波の受信状況を確認できます。

- 1 **ぱっと観テレビを見ているときに、[サブメニュー]を押す**
ぱっと観テレビのメニューが表示されます。
- 2 **「テレビの設定」を選んで[決定]を押す**
- 3 **「チャンネル設定」を選んで[決定]を押す**
チャンネル設定の画面が表示されます。
- 4 **「受信レベル」を選んで[決定]を押す**
受信レベルの画面が表示されます。

5 受信レベルを確認する

- ①「放送波」を選び、【矢印】の左右ボタンで次のいずれかを選ぶ
地上デジタル放送/BSデジタル放送/CSデジタル放送
- ②「受信周波数」を選び、【矢印】の左右ボタンで周波数(チャンネル)を選ぶ



アンテナレベルに受信状態が表示されます。

受信レベルがすべて0の場合、アンテナケーブルがパソコンのアンテナ端子に正しく接続されているか確認してください。正しく接続されている場合は、お近くの電器店やアンテナを設置した事業者などに、次の点を確認してください。

- ・ パソコンをお使いの場所が地上デジタル放送のサービスエリア内か
- ・ 地上デジタル放送やBS/110度CSデジタル放送を受信可能なアンテナを設置しているか
- ・ BSデジタルのアンテナに給電が必要か

また、CATVをご利用の場合は、CATV事業者に、地上デジタル放送を再配信しているかをご確認ください。

■ ぱっと観テレビのチャンネルスキャンをやりなおす

引っ越しした場合など、必要に応じてチャンネルスキャンをやりなおしてください。

1 ぱっと観テレビを見ているときに、【サブメニュー】を押す

ぱっと観テレビのメニューが表示されます。

2 「テレビの設定」を選んで【決定】を押す

3 「チャンネル設定」を選んで【決定】を押す

チャンネル設定の画面が表示されます。

4 「チャンネルスキャン」を選んで【決定】を押す

チャンネルスキャンの画面が表示されます。

ポイント

- アンテナレベルが55以下の場合
は、正常に受信することができません。アンテナレベルが56以上になるようにアンテナを調節(p.17)してください。
- 正常に視聴できない場合は、PART10の「テレビが映らない」(p.210)をご覧ください。

5 チャンネルスキップの設定をする

- ①「スキップ種別」を選び、【矢印】の左右ボタンで「初期スキップ」を選ぶ
- ②「対象周波数」を選び、【矢印】の左右ボタンでスキップの対象とする周波数を選ぶ
- ③「受信地域」を選び、【矢印】の左右ボタンでお住まいの都道府県を選ぶ



6 「スキップ実行」を選び、【決定】を押す

チャンネルスキップが始まります。完了するとチャンネルスキップの結果が表示されます。

7 「はい」を選び、【決定】を押す



チャンネルスキップの結果が保存されます。

■ ぱっと観テレビのチャンネルをリモコンのボタンに割り当てる

ぱっと観テレビのチャンネルを、リモコンの数字ボタンに割り当てることができます。また、リモコンの【チャンネル】で番組を切り換えるとき、特定のチャンネルを表示させない「チャンネルスキップ」の設定ができます。

1 ぱっと観テレビを見ているときに、【サブメニュー】を押す

ぱっと観テレビのメニューが表示されます。

2 「テレビの設定」を選んで【決定】を押す

3 「チャンネル設定」を選んで【決定】を押す

チャンネル設定の画面が表示されます。

4 「リモコン設定」を選んで【決定】を押す

リモコン設定の画面が表示されます。

ポイント

- 新たに開局した放送局を追加したいときは、「再スキップ」を選んでください。
- スキップの対象とする周波数がわからないときは、「全周波数」を選んでください。「全周波数」にはUHFも含まれます。

5 各放送波のチャンネルをリモコンのボタンに割り当てる

- ① 放送波を選ぶ
- ② 放送局(チャンネル)を選ぶ
- ③ そのチャンネルに割り当てるリモコンの数字ボタンを押す



「リモコン番号」に、割り当てたボタンの数字が表示されます。

チャンネルスキップの設定をするときは：

表示しないように設定する放送局(チャンネル)を選び、【矢印】の左右ボタンで「スキップ」を選んでください。

なお、ここで「スキップ」を選んだチャンネルは、SmartVisionでテレビを見るときも表示されなくなります。

6 【決定】を押す

■ おはようマイチャンネルの設定

おはようマイチャンネルは、テレビの視聴履歴からいつも見ているチャンネルを自動で判断し、テレビをつけたときそのチャンネルを自動的に選ぶ機能です。

おはようマイチャンネルの設定を変更する手順は次のとおりです。

1 ぱっと観テレビを見ているときに、【サブメニュー】を押す

ぱっと観テレビのメニューが表示されます。

2 「テレビの設定」を選んで【決定】を押す

3 「チャンネル設定」を選んで【決定】を押す

チャンネル設定の画面が表示されます。

4 「おはようマイチャンネル」を選んで【決定】を押す

おはようマイチャンネルの画面が表示されます。

5 「有効」または「無効」を選んで【決定】を押す



おはようマイチャンネルの設定が保存されます。

ポイント

チャンネルは放送波ごとに割り当てることができます。

ポイント

- 初期状態ではおはようマイチャンネルが有効になっています。
- おはようマイチャンネルを無効にすると、最後に視聴していたチャンネルでテレビが起動します。

ポイント

テレビの視聴履歴を分析するため、設定を「有効」にしてから機能が利用できるようになるまで数日かかることがあります。

■ ぱっと観テレビとSmartVisionの設定をご購入時の状態に戻す

- 1 **ぱっと観テレビを見ているときに、【サブメニュー】を押す**
ぱっと観テレビのメニューが表示されます。
- 2 **「テレビの設定」を選んで【決定】を押す**
- 3 **「機器設定」を選んで【決定】を押す**
機器設定の画面が表示されます。
- 4 **「設定初期化」を選んで【決定】を押す**
設定初期化の画面が表示されます。
- 5 **「はい」を選び、【決定】を押す**



ぱっと観テレビとSmartVisionの設定がご購入時の状態に戻ります。

■ 字幕や文字スーパーの表示設定を変更する

ぱっと観テレビの字幕や文字スーパーの表示のしかたを設定します。

- 1 **ぱっと観テレビを見ているときに、【サブメニュー】を押す**
ぱっと観テレビのメニューが表示されます。
- 2 **「テレビの設定」を選んで【決定】を押す**
- 3 **「視聴設定」を選んで【決定】を押す**
視聴設定の画面が表示されます。
- 4 **「字幕／文字スーパー」を選んで【決定】を押す**
字幕／文字スーパーの画面が表示されます。

5 字幕と文字スーパーの表示方法を設定する

- ①「字幕」を選んで、【矢印】の左右ボタンで表示する字幕を選ぶ
字幕を表示しないときは、「表示しない」を選んでください。
- ②「文字スーパー」を選んで、【矢印】の左右ボタンで表示する文字スーパーを選ぶ
文字スーパーを表示しないときは、「表示しない」を選んでください。



6 【決定】を押す

■ ぱっと観テレビを視聴するときの年齢制限を設定する

年齢による視聴制限(パレンタルロック)を設定できます。設定した年齢未満の視聴者を対象としていないテレビ番組は、ぱっと観テレビで視聴できなくなります。

1 ぱっと観テレビを見ているときに、【サブメニュー】を押す

ぱっと観テレビのメニューが表示されます。

2 「テレビの設定」を選んで【決定】を押す

3 「視聴設定」を選んで【決定】を押す

視聴設定の画面が表示されます。

4 「パレンタル設定」を選んで【決定】を押す

ぱっと観テレビの設定を変更する際の暗証番号を設定しているかどうかで次の操作が異なります。

暗証番号を設定しているとき:

暗証番号の入力画面が表示されます。暗証番号を入力して【決定】を押し、手順5に進んでください。

暗証番号が未設定のとき:

暗証番号の設定を促す画面が表示され、【決定】を押すと暗証番号の設定画面が表示されます。「年齢制限のための暗証番号を設定する」の手順5～6(p.37)をご覧ください。暗証番号を設定したら、この手順の手順5に進んでください。

ポイント

暗証番号の設定画面でリモコンの【赤】を押すと、「パレンタル設定」の設定が解除されます。

5 「視聴最少年齢」を選んで、[矢印]の左右ボタンで年齢を選ぶ



6 [決定]を押す

■ 年齢制限のための暗証番号を設定する

年齢による視聴制限(パレンタルロック)の暗証番号を設定することができます。

1 ぱっと観テレビを見ているときに、[サブメニュー]を押す

ぱっと観テレビのメニューが表示されます。

2 「テレビの設定」を選んで[決定]を押す

3 「視聴設定」を選んで[決定]を押す

視聴設定の画面が表示されます。

4 「暗証番号設定」を選んで[決定]を押す

暗証番号を設定しているとき:

暗証番号の入力画面が表示されます。暗証番号を入力して[決定]を押してください。

暗証番号が未設定のとき:

「暗証番号が設定されていません」というメッセージが表示されます。[決定]を押してください。

5 暗証番号を設定する

① 「暗証番号」を選んで、数字ボタンで4桁の暗証番号を入力する

② 「再入力」に、数字ボタンで4桁の暗証番号をもう一度入力する



6 [決定]を押す

ポイント

ぱっと観テレビの「パレンタルロック」(p.36)を設定した場合は、この暗証番号の設定も必要となります。

ポイント

暗証番号を削除するときは、手順5でリモコンの【赤】を押してください。なお、暗証番号を削除すると、同時に「パレンタルロック」(p.36)の設定も解除されます。

■ ぱっと観テレビのバージョンやB-CASカードの情報を確認する

1 [サブメニュー]を押す

ぱっと観テレビのメニューが表示されます。

2 「テレビの設定」を選んで[決定]を押す

3 「システム情報」を選んで[決定]を押す

システム情報の画面が表示されます。

4 「システム情報」を選んで[決定]を押す

ぱっと観テレビのバージョンと、B-CASカードの情報が表示されます。

■ 放送局からのメッセージを表示する

放送局からのメッセージなどを表示できます。

1 ぱっと観テレビを見ているときに、[サブメニュー]を押す

ぱっと観テレビのメニューが表示されます。

2 「テレビの設定」を選んで[決定]を押す

3 「システム情報」を選んで[決定]を押す

システム情報の画面が表示されます。

4 各種情報を表示する

① 「お知らせ」を選んで[決定]を押す

ぱっと観テレビや放送局からのメッセージが表示されます。

② 「CS掲示板」を選んで[決定]を押す

CS掲示板からのメッセージが表示されます。



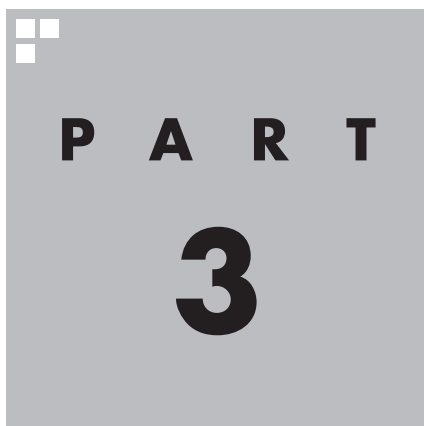
■ ファームウェアのバージョンを確認する

1 ぱっと観テレビを見ているときに[サブメニュー]を押す

ぱっと観テレビのメニューが表示されます。

2 「起動／映像／音声の設定」を選んで[決定]を押す

「起動／映像／音声の設定」のメニューが表示されます。この画面の右下にファームウェアのバージョンが表示されます。



テレビを見る

さっそく、パソコンでテレビを見てみましょう。
見るだけでなく、番組表やテレビメニューなど、パソコンならではの充実した機能が楽しめます。

※パソコンの電源を入れた直後は、Windowsの各種設定や環境チェックのためにソフトの動作が遅くなる場合があります。そのため、Windows起動後、すぐにテレビ (SmartVision) を起動したり、リモコンの【テレビ】でパソコンを起動した場合は、テレビの映像が乱れることがあります。

※テレビを快適に視聴するために、必要でないソフトはすべて終了することをおすすめします。

あなたがテレビ放送などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

注意



- 映像をご覧になる際は、周囲を十分に明るくしてご使用ください。
- テレビを起動する前に、音量を確認し、調節してください。

PART 3

テレビを見る

基本的な使い方

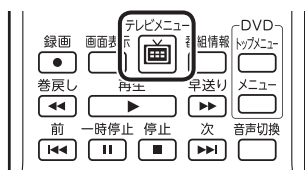
ここでは、テレビ(SmartVision)を見るための基本操作を説明します。一般のテレビと同じように、リモコンで操作できます。

テレビをつける

■ テレビ映像を表示する

●ぱっと観テレビモデルの場合

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す



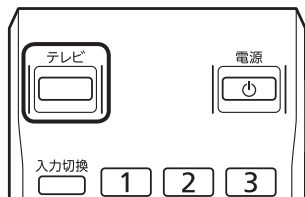
SmartVision(テレビを見るために使うソフト)が起動して、テレビメニューが表示されます。もう一度【テレビメニュー】を押すとテレビの映像が表示されます。

パソコンが省電力状態、または電源が切れている状態でも、【テレビメニュー】を押すと電源が入り、SmartVisionでテレビが見られます。

なお、ぱっと観テレビモデルでは、【テレビ】を押すとぱっと観テレビ(p.20)が起動します。

●ぱっと観テレビモデル以外のモデルの場合

1 リモコンの【テレビ】を押す



SmartVision(テレビを見るために使うソフト)が起動してテレビの映像が表示されます。

パソコンが省電力状態、または電源が切れている状態からでも電源が入ります。省電力状態から復帰する際にロック画面が表示されたときは、【決定】を押してロックを解除してください(パスワードを設定している場合は、ロック解除後にキーボードでパスワードを入力してください)。

！チェック

- 次の方法でも、テレビ(Smart Vision)を起動することができます。

・スタート画面の「SmartVision テレビを見る」をクリック



- Smartリモコンを使ってテレビ(SmartVision)を起動することもできます。使用する前に設定が必要です。Smartリモコンについては、PDFマニュアル『テレビを楽しむ本 活用編』をご覧ください。

！チェック

次の場合は【テレビメニュー】または【テレビ】(ぱっと観テレビモデル以外)を押すとロック画面が表示され、ロックを解除するとサインインの画面が表示されます。

1. パソコンをマルチユーザー環境で使用していて、電源が切れているとき
2. パソコンのサインインや省電力状態からの復帰時にパスワードを設定していて、パソコンが省電力状態のとき、または電源が切れているとき

チャンネルを切り換える

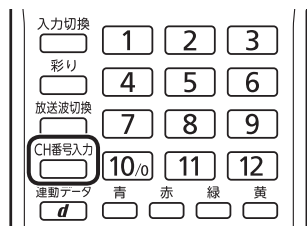
チャンネルを切り換えるには、リモコンの【チャンネル】を押します。数字ボタンでもチャンネルを変更できます。



■ チャンネル番号を入力して切り換える

リモコンで3桁のチャンネル番号を入力して、チャンネルを切り換えることもできます。

1 リモコンの【CH番号入力】を押す



チャンネル番号の入力欄が表示されます。

2 数字ボタン([1]～[10])を使って、3桁のチャンネル番号を入力する

3 【決定】を押す

チャンネルが切り換わります。

■ おはようマイチャンネルについて

おはようマイチャンネルは、テレビの視聴履歴からいつも見ているチャンネルを自動で判断し、テレビをつけたときそのチャンネルを自動的に選ぶ機能です。

設定の変更については、次のいずれかをご覧ください。

- ・ ぱっと観テレビモデル
PART2の「おはようマイチャンネルの設定」(p.34)
- ・ ぱっと観テレビモデル以外のモデル
PART9の「おはようマイチャンネルの設定」(p.205)

ポイント

- 番組表(p.60)やテレビメニュー(p.52)から、見たい番組を選ぶ方法もあります。
- チャンネルがプリセットされていない数字ボタンを押してもチャンネルは切り換わりません。

ポイント

「0」を入力するときは【10】を押してください。

ポイント

初期状態ではおはようマイチャンネルが有効になっています。

BS/110度CS/地上デジタル放送を切り換える

BS/110度CS/地上デジタル放送を切り換えるには、リモコンの【放送波切換】を押します。



押すごとに、次のように切り換わります。

地上デジタル→BSデジタル→110度CSデジタル→地上デジタル
→…(以降繰り返す)

ポイント

テレビメニュー(p.52)から、放送波を切り換える方法もあります。

画質を切り換える

画質を切り換えるときは、リモコンの【彩り】を押します。



【彩り】を押すと、次のように切り換わります。

「彩りプラスex」機能を搭載しているモデル

ダイナミック→スタンダード→シネマ→無効→ダイナミック→…
(以降繰り返す)

「彩り」機能を搭載しているモデル

有効→無効→有効→…(以降繰り返す)

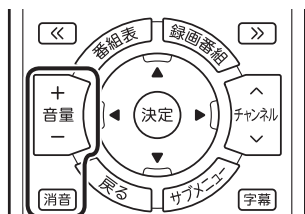
参照

- 「彩りプラスex」について
→「彩りプラスの設定」
- ▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94071119
で検索
- 「彩り」について
→「彩りの設定」
- ▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94071920
で検索

音量を調節する

音量を調節するには、リモコンの【音量】を押します。また、【消音】を押すと音量が最小になります(ミュート)。

【消音】をもう一度押すと消音する前の音量に戻ります。



チェック

パソコンの負荷状況によっては、音量を調節すると映像が一瞬停止する場合があります。

音声を切り換える

外国映画などの音声多重放送を見るときに音声を切り換えるには、**【音声切換】**を押します。



【音声切換】を押すごとに、音声順番に切り換わります。
切り換わり方は放送により異なります。

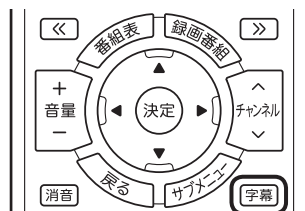
チェック

- L(左音声のみ)/R(右音声のみ)の場合は、両方のスピーカから同じ音が出ます。
- このパソコンでは、5.1chサラウンドの音声を、ステレオ2chに変換して出力しています。

字幕放送を見る

字幕放送をしている番組(番組表で**字幕**のマークが付いている番組)では、字幕を表示させることができます。

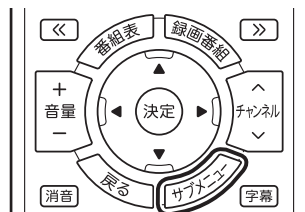
リモコンの**【字幕】**を押して字幕表示のオン/オフを切り換えます。



チューナーを切り換える(地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデル および地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデル)

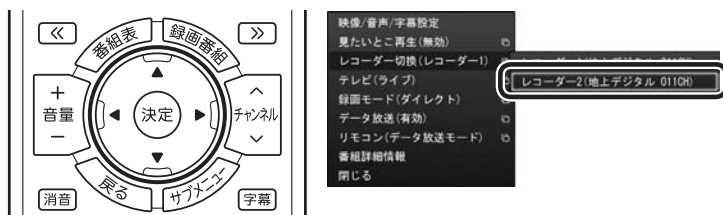
操作するチューナー(レコーダー)を切り換えて、複数の番組を同時に楽しむことができます。たとえば、ある番組を視聴しながら録画しているとき、その録画は継続したままレコーダーを切り換えて、別のチャンネルの番組を視聴することができます。

1 **【サブメニュー】**を押す



サブメニューが表示されます。

2 「レコーダー切換」を選び、操作するレコーダーを選んで[決定]を押す



ポイント

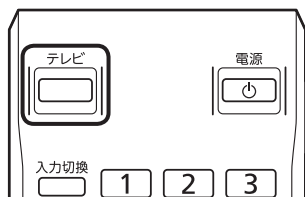
テレビメニュー(p.52)で「レコーダー切換」を選び、レコーダーを切り換えることもできます。

テレビを消す

■ テレビを終了して、パソコンの画面を表示する

●ぱっと観テレビモデルの場合

1 【テレビ】を押す



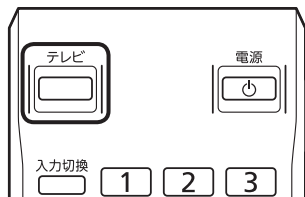
テレビ(SmartVision)が終了した後、ぱっと観テレビ(p.20)が起動します。

2 もう一度【テレビ】を押す

ぱっと観テレビが終了して、パソコンのロック画面が表示されます。

●ぱっと観テレビモデル以外のモデルの場合

1 【テレビ】を押す



テレビ(SmartVision)が終了してパソコンのデスクトップが表示されます。

なお、テレビ(SmartVision)がウィンドウ表示のときや「マウス操作専用モード」のときは、【テレビ】を押すと、テレビが画面いっぱいに表示されます。

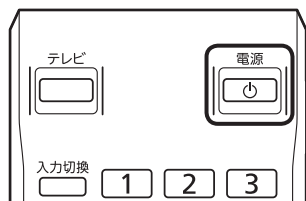
もう一度【テレビ】を押すと、テレビ(SmartVision)が終了し、パソコンのデスクトップが表示されます。

ポイント

パソコン本体上部のテレビボタンでも、SmartVisionを終了することができます。

■ テレビを終了して、パソコンも終了する

1 リモコンの【電源】を押す



パソコンが終了します(ご購入時の状態では、パソコンがスリープ状態に移行します)。

！チェック

- 【電源】を押してからパソコンが終了するまでに、30秒～1分程度かかる場合があります。
- ご購入時の状態では、録画、録画モード変換、光ディスク書き込み、外でもVIDEOの転送、ホームネットダビング、簡易編集した番組の保存、デジタル放送の関連データのダウンロードをおこなっているときに【電源】を押しても、画面が暗くなるのみでパソコンは終了しません。パソコンは上記の動作が完了してから終了します。

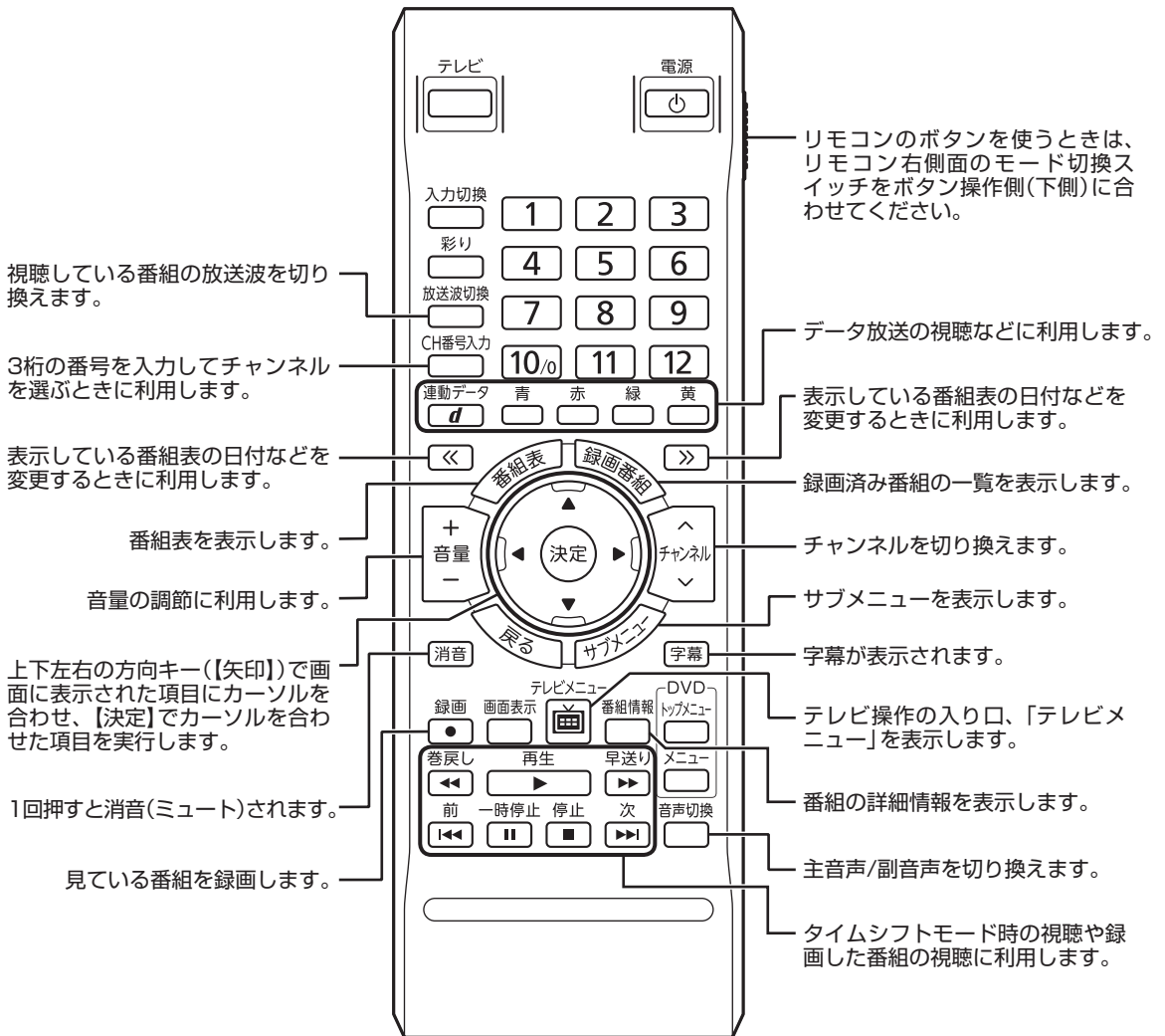
SmartVision利用時の注意事項

- テレビを視聴するとき、USBスピーカやBluetooth®ヘッドフォンなどは使用できません。
- SmartVisionは、クローンモード(ふたつのディスプレイに同じ内容を表示させるモード)による画面出力には対応していません。
- スタート画面から「SmartVision テレビを見る」のピン留めを外すと、スタート画面やWindows ストア アプリの使用中に、予約録画などのSmartVisionからのお知らせ(トースト)が表示されなくなります。「SmartVision テレビを見る」のピン留めは外さないことをおすすめします。
- パソコンを複数のユーザーで使っているとき
 - ・あるユーザーがSmartVisionを起動しているときは、他のユーザーに切り換えてSmartVisionを起動する(SmartVisionを同時に複数起動する)ことはできません。
 - ・ユーザーがSmartVisionを起動していなくても、予約録画や番組表の受信でチューナーがすでに使用されているときは、他のユーザーに切り換えた後、SmartVisionを起動することができません。

リモコンのボタンについて(SmartVision)

■ 基本的な操作

【テレビメニュー】、および【矢印】と【決定】で、テレビ(SmartVision)の基本的な機能を使うことができます。



■ リモコンボタン一覧

ここでは、テレビ(SmartVision)^{※6}を操作するために使うボタンについて説明しています。
 テレビ以外のソフトで使うボタンについては、「リモコン」(📺)「ソフト&サポートナビゲーター」▶
 検索番号 93010130 で検索)をご覧ください。

ボタン	機能 ^{※1※8}
【テレビ】	テレビをつける(ぱっと観テレビモデル以外のモデルの場合) ^{※5} 。(p.40)
【電源】	パソコンを起動/終了する。
【彩り】	彩りまたは彩りプラスex機能を切り換える。(p.42)
【1】～【12】 ^{※4}	チャンネル(p.41)を切り換える。また、数字を入力する(「0」を入力するときは【10】を押してください)。
【CH番号入力】	3桁のチャンネル番号を入力してチャンネルを切り換える。 ^{※2}
【録画番組】	録画済みの番組一覧を表示する。
【番組表】	番組表を表示する。
【番組情報】	番組の詳細情報を表示する。
【画面表示】	チャンネルや番組名などを表示する。
【放送波切換】	放送波を切り換える。(p.42)
【矢印】 ^{※3}	上下左右の方向キー。項目を選ぶ。また、左右ボタンでコマ送り(一時停止中)(p.139)、上下ボタンで「きこえる変速再生」をする。(p.144)
【決定】 ^{※3}	選択した項目を決定する。
【◀、▶】	「番組表」の日付(p.62)や、「録画番組一覧」のジャンル(p.141)などを切り換える。また、チャプタースキップする。(p.142) ^{※7}
【戻る】	テレビや再生中の録画番組の映像に戻る(p.63)。ひとつ前の画面に戻る。
【サブメニュー】	サブメニューを表示する。
【音声切換】	音声(主音声/副音声)を切り換える。(p.43)
【テレビメニュー】	テレビメニューを表示する。(p.52)
【字幕】	字幕の表示/非表示を切り換える。(p.43)
【音量】	音量を調節する。(p.42)
【消音】	消音(ミュート)する。(p.42)
【連動データ】(【d】)	データ放送の表示/非表示を切り換える。(p.57)
【チャンネル】	チャンネルを切り換える。(p.41)
【青】、【赤】、【緑】、【黄】	ガイダンス領域やデータ放送に表示される各色のボタンと対応した機能を使う。

(次ページに続く)

ボタン	機能※1※8
【巻戻し】	巻き戻しする(押すごとにスピードが4段階で速くなる)。(p.56、139)
【再生】	再生する。(p.56、139)
【早送り】	早送りする(押すごとにスピードが4段階で速くなる)。(p.56、139)
【前】	チャプタースキップする。(p.142)
【一時停止】	一時停止する。(p.56、139)
【停止】	再生を停止する。(p.56、139)
【次】	チャプタースキップする。(p.142)
【録画】	見ている番組を録画する。(p.85)

※1: テレビ(SmartVision)以外のソフトでは、ボタンに割り当てられた機能が異なる場合があります。

※2: 【CH番号入力】を押し、数字ボタン【1】～【10】を押して3桁のチャンネル番号を入力し、【決定】を押します(入力を中止するときは【戻る】を押します)。

※3: フルスクリーンモードでタイムシフト視聴または再生をおこなっているとき、リモコンが「再生操作モード」であれば、【矢印】の左右ボタンで巻き戻しと早送りを、【決定】で一時停止/再生の切り換え操作ができます。

※4: 【1】～【12】を押してプリセットされたチャンネルを切り換えることができます。なお、【11】・【12】では、数字を入力することができません。

※5: ばつと観テレビモデルでは、【テレビ】を押すとばつと観テレビまたは外部入力に接続された機器の映像が表示されます。テレビをつける(SmartVisionを起動する)ときは【テレビメニュー】を押してください。

※6: ばつと観テレビの操作については、「PART2 ばつと観テレビを使う」(p.19)をご覧ください。

※7: テレビメニューの「設定」-「リモコンの設定」で、【<<】を押すと30秒前から、【>>】を押すと30秒後から再生する機能(30秒スキップ)を割り当てることができます。「リモコンの設定」について、詳しくは、PDFマニュアル「テレビを楽しむ本 活用編」をご覧ください。

※8: マルチスクリーンに切り換えたときは機能が一部異なります。詳しくは、このPARTの「マルチスクリーンでの操作」(p.71)をご覧ください。

操作パネルについて

テレビ機能を使っているときにマウスを動かすと、画面に操作パネルが表示されます。

テレビの基本操作は主にリモコンでおこないますが、操作パネルを使ってマウスでも操作できます。

テレビの映像や録画した番組の映像が表示されているときは、次の操作パネルが表示されます。



	ボタン	機能
1		音量を調節する。(p.42)
2		消音(ミュート)する。(p.42)
3		テレビメニューを表示する。(p.52)
4		チャンネルを切り換える。(p.41)
5		放送波を切り換える。(p.42)
6		見ている番組を録画する。(p.85)

	ボタン	機能
7		きこえる変速再生(p.144)
8		チャプタースキップする。(p.142)
		巻き戻し、早送りする(押すごとにスピードが4段階で速くなる)。(p.56、139)
9		再生する。(p.56、139)
10		一時停止する。(p.56、139)
11		再生を停止する。(p.56、139)
12		コマ送り(一時停止中のみ)(p.139)
13		チャプターマークを追加する(p.143)
14		番組の詳細情報を表示する。
15		チャンネルや番組名などを表示する。
16		字幕の表示/非表示を切り換える。(p.43)
17		彩りまたは彩りプラスex機能を切り換える。(p.42)
18		音声(主音声/副音声)を切り換える。(p.43)
19		データ放送の表示/非表示を切り換える。(p.57)
20		データ放送画面の項目を選ぶ。(p.58)
21		データ放送画面で選んだ項目を決定する。(p.58)
22		テレビや再生中の録画番組の映像に戻る。または、ひとつ前の画面に戻る。
23		操作パネルを非表示にする。
24		データ放送画面の、それぞれの色の項目(ボタン)。(p.58)
25		スリムモードに切り換える。(p.176)
		ノーマルモードに切り換える。(p.176)
		アドバンスモードに切り換える。(p.176)
26		マルチスクリーン(四分割モード)に切り換える(地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルのみ)。(p.69)
27		マルチスクリーン(主/副モード)に切り換える(地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルのみ)。(p.69)

ポイント

- 「録画番組一覧」や「番組表」など、テレビや録画番組の映像以外の画面が表示されているときは、マウスを動かすと、右記の操作パネルが表示されます。操作パネルを全体表示にしたいときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。



- 操作パネルが表示されず、右記のような画面が表示されているときは、画面下の「フルスクリーン」をクリックしてください。操作パネルが表示されるフルスクリーンモードになります。



画面表示について

視聴中のチャンネルや番組名などを確認したいときは、【画面表示】を押します。



- ① 番組名が表示されます。
(タイムシフトモードで視聴中および録画中には表示されません)
- ② 使用しているレコーダーが表示されます。
(録画番組の再生中には表示されません)
- ③ 放送波、チャンネル番号、リモコンボタンの割り当てが表示されます。
(録画番組の再生中には表示されません)
- ④ 視聴中の番組(チャンネル)の受信レベルが表示されます。
(録画番組の再生中とタイムシフトモードで視聴中および録画中には表示されません)
- ⑤ きこえる変速再生の再生スピードが表示されます。
(録画中とライブモードでの視聴中には表示されません)
- ⑥ 録画モードと録画可能時間が表示されます。
(録画中の番組をライブモードまたはタイムシフトモードで視聴中に表示されます)
- ⑦ 録画番組の再生位置を示す再生バーが表示されます。
再生バーの区切り線はチャプターを表しています。

録画番組: 00:00:14

- (録画中とライブモードでの視聴中には表示されません)
- ⑧ 次の情報が表示されます。
 - ・ 予約録画中は「録画(予約)」と表示されます。手動で録画しているときは「録画」の右側に録画終了時刻が表示されます。
 - ・ 録画番組を再生しているときやタイムシフトモードで番組を視聴しているときに、「見たいところ再生」や「きこえる変速再生」の機能を使った場合は、その機能名が表示されます。なお、両方の機能を同時に使っているときは「見たいところ再生」のみが表示されます。

ポイント

【画面表示】を押してからしばらくすると、③⑤⑦⑨⑩だけが残り、他は消えます。残った表示を消したいときは、もう一度【画面表示】を押してください。

⑨ 視聴している映像の状態を示すアイコンが表示されます。



:ライブモードで視聴中



:タイムシフトモードで視聴中(地の色が緑)*



:視聴している番組を録画中



:録画中の番組をタイムシフトモードで視聴中(地の色が赤)*



:録画した番組を再生中(地の色がグレー)*

※:これらのアイコンはそのときどきの動作(再生、一時停止、巻戻し、早送り)によって変化します。

⑩ 次の機能を使っているとき、その進捗が表示されます。

- ・光ディスクへ保存
- ・外でもVIDEOの転送
- ・ホームネットダビング
- ・録画モード変換
- ・光ディスクやSDカードのフォーマット
- ・簡易編集したファイルの保存
(しばらくするとアイコンと進捗(%)のみの表示となります)

PART 3

テレビを見る

テレビメニューを使う

テレビメニューは、テレビ操作の入り口です。テレビを楽しむために、テレビメニューの操作に慣れておきましょう。

テレビメニューって何？

テレビメニューは、テレビ関連の機能メニューをまとめた画面です。

見たい番組を選んだり、番組表を表示したり、録画した番組を見たりなど、テレビの操作をするための入り口です。

リモコンの【テレビメニュー】を押すと表示されます。もう一度押すと、テレビメニューの背景に見えている映像の表示に戻ります。



テレビ機能がまとめられています。各放送波のチャンネル選択、番組表、録画番組、予約、設定などがあります。リモコンの【矢印】の左右ボタンで動かして選びます。

モデルによってメニューの表示が異なります。

- ・地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデル
放送波のアイコン(地デジ/BS/110度CS)がそれぞれ四重に表示されます。
- ・地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデル
放送波のアイコン(地デジ/BS/110度CS)がそれぞれ二重に表示されます。
- ・地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデル
放送波のアイコン(地デジ/BS/110度CS)がそれぞれ1つだけ表示されます。



見ている番組にはテレビのマークが表示されます。また、録画している番組には赤い丸、タイムシフトモードで受信している番組には緑の三角が表示されます。

各機能の下メニューが表示されます。リモコンの【矢印】の上下ボタンで動かし、【決定】で決定します。

テレビメニュー



- ① ② ③※ ④※ ⑤※ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪

※：地デジ、BS、110度CSのアイコンはモデルによって表示が異なります。詳しくは、次の「地デジ、BS、110度CSのアイコン表示について」をご覧ください。

①レコーダー切換 	地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルおよび地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルに表示されるアイコンです。視聴するチューナー(レコーダー)を切り換えます。チューナー(レコーダー)を切り換えることで、録画しながら他のチャンネルを視聴することができます(p.43)。 なお、タイムシフトモードで番組を視聴しているとき、チューナー(レコーダー)を切り換えると、タイムシフトモードは終了します。
②マルチスクリーン 	マルチスクリーンに切り換えます(地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルのみ)。リモコンの【矢印】の上下ボタンで、マルチスクリーンのモードを選ぶことができます。
③地上デジタル 	地上デジタル放送を視聴します。リモコンの【矢印】の上下ボタンで見たい番組(チャンネル)を選ぶことができます。
④BS 	BS放送を視聴します。リモコンの【矢印】の上下ボタンで見たい番組(チャンネル)を選ぶことができます。
⑤CS 	110度CS放送を視聴します。リモコンの【矢印】の上下ボタンで見たい番組(チャンネル)を選ぶことができます。
⑥番組表 	地上デジタル、BS、110度CS放送の番組表を見ることができます(p.62)。 「マイ番組表」では、お好みのチャンネルだけを表示させることができます(p.67)。
⑦録画番組一覧 	録画フォルダーを選んで「録画番組一覧」を表示し、録画番組を選んで再生することができます(p.137)。 また、「録画番組一覧」では次のような操作ができます。 ・録画番組をDVDなどの光ディスクに保存する(p.159) ・録画番組を携帯電話やスマートデバイスに転送する ・メディアサーバーに保存された番組を再生する ・このパソコンで録画した番組をメディアサーバーにダビングする 携帯電話やスマートデバイスへの番組の転送(外でもVIDEO)や、メディアサーバーに関する操作(ホームネットワーク)については、PDFマニュアル「テレビを楽しむ本 活用編」をご覧ください。
⑧予約 	録画予約の状況と予約の結果を確認(p.99)できます。時間指定予約では、番組表を使わずにチャンネルと時間を指定して録画することができます(p.98)。 また、モデルによって次の自動録画の設定ができます。 ・地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデル 「おまかせタフ録り」(p.114) ・地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルまたは地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデル 「おまかせ録画」(p.103)および「新番組おまかせ録画」(p.109)
⑨ネットサービス 	つぶやきプラスを開始します。 つぶやきプラスについては、PDFマニュアル「テレビを楽しむ本 活用編」をご覧ください。
⑩情報 	テレビの状態を確認したり、アップデートプログラムなどのダウンロードをおこなうことができます。詳しくは「PART9 情報・設定」(p.199)、および、PDFマニュアル「テレビを楽しむ本 活用編」をご覧ください。
⑪設定 	テレビに関する設定をおこなうことができます。詳しくは「PART9 情報・設定」(p.199)、および、PDFマニュアル「テレビを楽しむ本 活用編」をご覧ください。

■ 地デジ、BS、110度CSのアイコン表示について

●表示されるアイコンの数について

地デジ、BS、110度CSを表す各アイコンは、パソコンが搭載しているチューナー(レコーダー)の数によって表示が異なります。

- ・ 地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデル
それぞれ1つずつ表示されます。
- ・ 地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデル
それぞれが2つずつ重なって表示されます。
- ・ 地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデル
それぞれが4つずつ重なって表示されます。それぞれのアイコンには番号が付けられており、いま操作の対象となっているチューナーが一番手前に表示されます。

なお、ぱっと観テレビで使用するチューナーは、この数には含まれません。(ぱっと観テレビモデルのみ)

●アイコンの色について

地デジ、BS、110度CSを表す各アイコンは、チューナー(レコーダー)の状態によって次の色になります。

赤色:録画中

緑色:タイムシフトモード

灰色:録画などでチューナー(レコーダー)を使用しているため、視聴(チャンネル切り換え)ができない状態

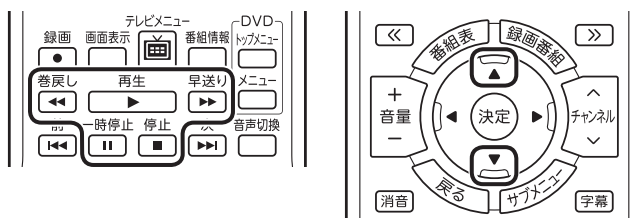
■ チャンネル(番組)やレコーダーの左側に表示されるアイコンについて

「地上デジタル」「BS」「CS」のチャンネル(番組)や、「レコーダー切換」のレコーダーの左には、それらの状態を示すアイコンが表示されます。

- ・ : 視聴中のチャンネル(番組)またはレコーダー
- ・ : 録画中のチャンネル(番組)またはレコーダー
- ・ : タイムシフトモードのチャンネル(番組)またはレコーダー

タイムシフトモードで見ている番組を操作する

タイムシフトモードで見ている番組は、ビデオのように操作できます。



●一時停止

【一時停止】を押します。もとに戻すときは、【再生】を押します。一時停止できる時間は、ご購入時の状態では60分までです。

●巻き戻し

【巻戻し】を押します。再生を始めたいところで【再生】を押すか、巻き戻せる限界まで巻き戻すと、再生が始まります。巻き戻せる時間は、ご購入時の状態では60分までです。【巻戻し】を押すたびに、巻き戻しのスピードが4段階で速くなります*。

●早送り

【早送り】を押します。再生を始めたいところで【再生】を押すか、リアルタイムの放送に追いつくと再生が始まります。【早送り】を押すたびに、早送りのスピードが4段階で速くなります*。リアルタイムの放送に追いつくと、【早送り】は使えなくなります。

※巻き戻し、早送りの速度表示は目安としてご利用ください。

●きこえる変速再生

音声付きで、早め、またはゆっくり再生できます。

「お急ぎモード」：【矢印】の上ボタンを押します。ボタンを押すたびに、再生のスピードが5段階で速くなります。リアルタイムの放送に追いつくと、「お急ぎモード」は使えなくなります。

「じっくりモード」：【矢印】の下ボタンを押します。ボタンを押すたびに、再生のスピードが3段階で遅くなります。

参照

一時停止や巻き戻しできる時間の変更について→オンラインヘルプの「設定」-「録画/再生/予約」-「録画/タイムシフト」

チェック

- 巻き戻せるのは、今までタイムシフトモードで視聴していた番組だけです。
- 巻き戻せるのは、タイムシフトモードに切り換えた時点までです。
- タイムシフトモードで番組を視聴しているとき、チューナー(レコーダー)を切り換えると、タイムシフトモードは終了します。

ポイント

「リモコンの設定」で、【<<】【>>】に30秒スキップ機能を割り当てることができます。詳しくは、PDFマニュアル『テレビを楽しむ本 活用編』をご覧ください。

チェック

- きこえる変速再生中は、データ放送を利用できません。通常の再生スピード(1倍)まで戻してからご利用ください。
- 一時停止後に続きを再生する場合、一時停止する前のスピードで再生されます。
- タイムシフトモードでさかのぼれる時間は、ご購入時の状態で60分です。「じっくりモード」で番組を視聴していると、再生位置がリアルタイムの放送からだんだん遅れていきます。この遅れが、さかのぼれる時間の限界に達すると、「じっくりモード」は解除され、通常の再生スピード(1倍)に戻ります。

タイムシフトモードを終了する

1 リモコンの【停止】を押す



タイムシフトモードが終了し、ライブモードに戻ります。

ポイント

地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルでは、一部の録画機能の組み合わせによっては、ライブモードで視聴していたテレビが自動的にタイムシフトモードに切り換わることがあります。この場合、その録画が終了するまでライブモードに切り換えられません。詳しくはPART4の「同時録画をおこなうときのご注意」(p.82)をご覧ください。

PART 3

テレビを見る

データ放送を見る

データ放送で、最新のニュースや天気予報など、多彩な情報を手に入れます。双方向サービスもあります。

データ放送って何？

データ放送は、文字や画像で、いろいろな情報を表示する番組です。テレビ放送に関連した内容を表示する「番組連動データ放送」などがあります。

データ放送では、通信回線を使ってクイズやアンケートに参加できたり、オンラインショッピングができる双方向サービスも利用できます。

データ放送を表示する

1 リモコンの【連動データ】を押す



データ放送の画面が表示されます。

データ放送の画面を閉じるときは、もう一度【連動データ】を押してください。

● チェック

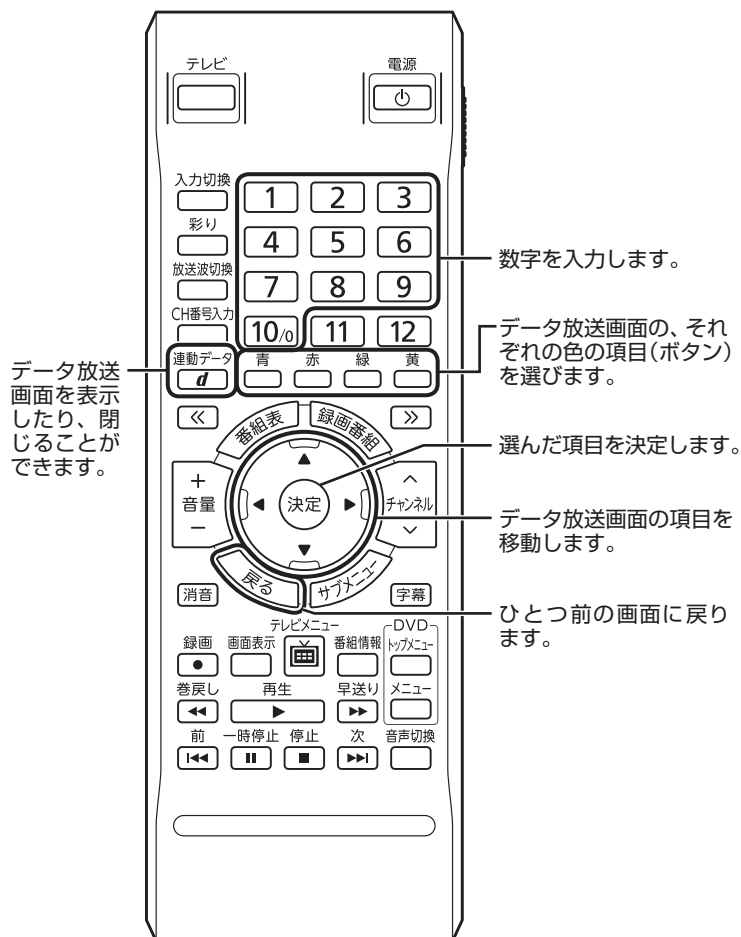
- データ放送の画面が表示されるまでに、しばらく時間がかかる場合があります。
- 双方向サービスを利用する場合は、ライブモード(p.56)に切り換えてください。
- 双方向サービスを利用する場合は、インターネット接続が必要です。

📌 ポイント

- 番組によっては、【連動データ】を押さなくてもデータ放送が表示されることがあります。
- 【連動データ】を押してもデータ放送が閉じないときは、データ放送の画面で閉じる方法を確認してください。

データ放送の操作

データ放送は、リモコン、キーボードで操作できます。
それぞれ、次のように操作します。



チェック

- データ放送の画面を直接マウスでクリックして操作することはできません。
- リモコンを「データ放送固定モード」にしないと操作できない場合があります。必要に応じて、リモコンの【サブメニュー】を押し、リモコンの設定を「自動切換」から「データ放送固定モード」に変更してください。
- 数字の入力方法は、番組により異なることがあります。キーボードから数字を入力できない場合は、画面の示す方法で入力してください。
- リモコンで「0」を入力するときは【10】を押してください。

キーボード	操作の内容
[D]※	データ放送画面を表示したり、閉じることができます。
[↑][↓][←][→]	データ放送画面の項目を移動します。
[Enter]	選んだ項目を決定します。
[BackSpace]	ひとつ前の画面に戻ります。
[B]※	データ放送画面の、それぞれの色の項目(ボタン)を選びます。 [B]：青 [R]：赤 [G]：緑 [Y]：黄
[R]※	
[G]※	
[Y]※	
[0]～[9]※	数字を入力します。

※マウス操作専用モードでのみ使用可。

■ 文字を入力する

データ放送で文字入力が必要な場面になると、ソフトキーボードが表示され、リモコンで文字が入力できます。

■ データ放送を見るとき注意

- 録画した番組の再生、またはタイムシフトモード(p.55)でデータ放送番組を見る場合、データ放送の一部の操作ができません(通信回線を使用したデータの送受信(双方向サービス)や、受信機へのデータの保存など)。これらの機能は、ライブモードでご利用ください。
- データ放送の番組は、チャンネルを切り換えてすぐに表示されないことがあります。
- データ放送を受信する設定にしていると、映像が乱れる(コマ落ちが発生する)ことがあります。
映像を優先するときは、リモコンの【サブメニュー】を押し、表示されたメニューで「データ放送」の「無効」を選んで【決定】を押してください。
- ダイレクト以外の録画モード(p.80)で録画した番組は、再生するときデータ放送を視聴することができません。
- 録画番組の再生で、一時停止、早送り、巻き戻し、きこえる変速再生などをおこなっているときは、データ放送を見ることができません。

PART 3

テレビを見る

番組表を使う

自動的に更新される新聞のテレビ欄のような番組表を使うことができます。自分の好みにあわせた「マイ番組表」を作ることができます。

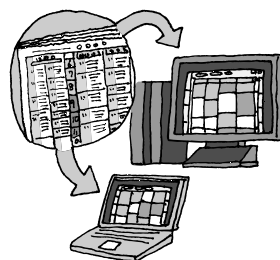
画面で見る番組表

「今日はどんな番組があるのかな?」と思ったとき、何を見ますか? 新聞やテレビ情報誌?

新聞や雑誌が手元になくても、パソコンの画面で番組表が見られます。画面で見る番組表から、見たい番組を選んだり、録画の予約ができます。

番組表は、テレビの電波で更新できます。

番組表は最大8日分が表示されるので、番組のチェックにも最適です。



■ マイ番組表

地上デジタル、BS・110度CSデジタルの放送波に関係なく、お好みのチャンネルだけを表示できる便利な機能です。「お父さん用」、「お母さん用」など家族それぞれの番組表や、「アニメ」「週末のみ」のような用途別の番組表を作ることができます。作成した番組表は、テレビメニューの番組表から表示させることができます。マイ番組表を使うためには、最初にチャンネルの登録が必要です。登録については「マイ番組表を作る」(p.67)をご覧ください。

番組表を受信する

番組表は、テレビの電波から受信することができます。

テレビ初期設定をおこなったときに、番組表を受信する時刻は自動的に設定されていて、設定された時刻になると番組表が自動的に受信されます。

■ 番組表の受信に関する注意

番組表を受信するには、パソコンのレコーダー(チューナー)を1つ使います。そのため、番組表の受信中は次のことに注意してください。

- 番組表の受信時刻にパソコンが省電力状態や電源が切れている状態であっても、自動的にパソコンが起動して番組表を受信します。
- 録画中は番組表を受信できないことがあります。
- ご購入時の状態では、110度CSデジタル放送の番組表を自動で受信しない設定となっています。自動受信が必要な場合には、設定を変更(p.64)してください。

ポイント

- ご購入時の状態では、番組表を次の時刻に受信する設定になっています。

10・12・14・16時

番組表の受信時刻を変更する場合は、このPARTの「番組表の受信時刻を変更する」(p.64)をご覧ください。

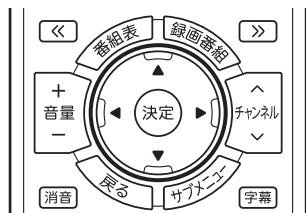
- 番組表の受信後の動作を変更する場合は、PART4の「予約実行前後の動作を設定する」(p.134)をご覧ください。なお、ご購入時は、スリープ状態に移行するよう設定されています。

番組表を見る

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「番組表」を選び、番組表を見たい放送波を選んで【決定】を押す



番組表の画面が表示されます。

ご購入直後など、番組表のデータがないときは、ここで番組表を受信(取得)するかどうか確認するメッセージが表示されます。必要に応じて、「手で番組表を受信するには」(p.66)をご覧ください、番組表を手動で受信してください。

マイ番組表については、「マイ番組表を作る」(p.67)をご覧ください。

ポイント

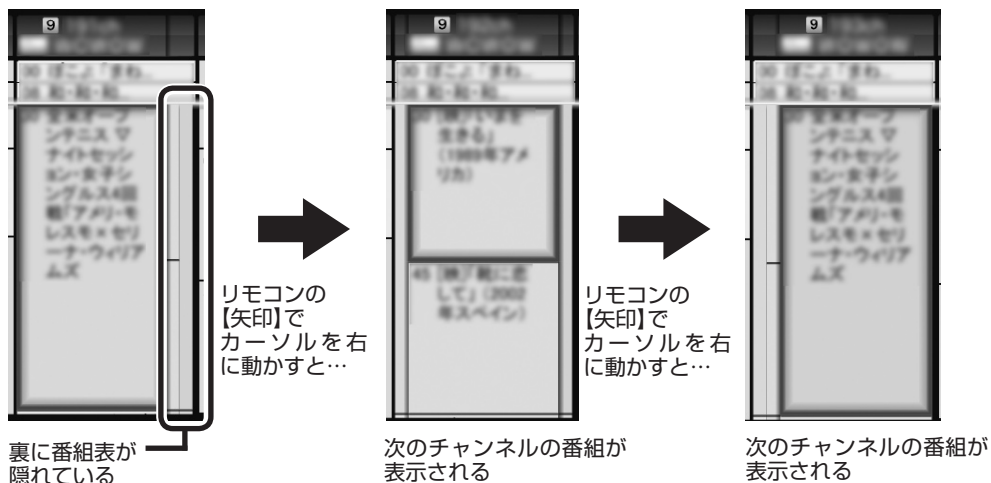
リモコンの【番組表】を押しても、番組表の画面を表示できます。

■ 番組表の使い方



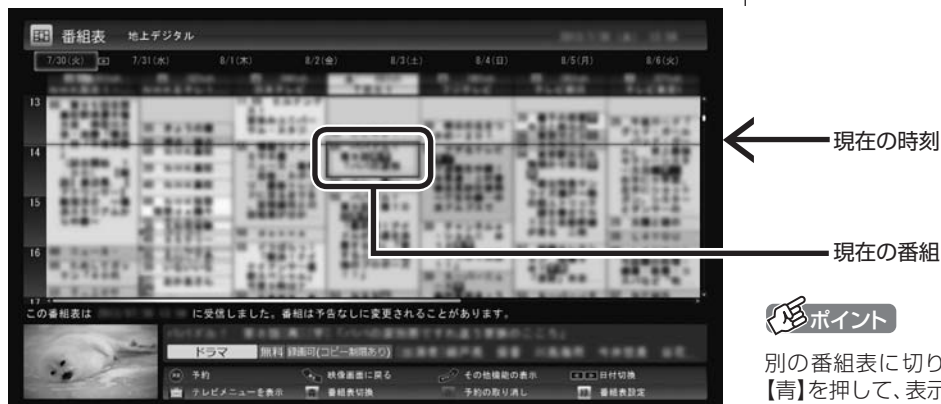
- ④ 日付
リモコンの【<<】【>>】を押して日付を移動すると、その日の番組表が表示されます。
- ⑤ 番組表チャンネル
チャンネルと放送局が表示されます。
- ⑥ 番組表
現在の時刻が青い横線が表示されます。番組はジャンル別に色分けされています。番組を選ぶと、「番組情報」欄に情報が表示されます。番組を選んで【決定】を押すと、選んだ番組を予約(または視聴)する画面に移ります。
- ⑦ プレビュー領域
選局中の番組が表示されます。
リモコンの【戻る】を押すと、ここに表示されている番組が全画面表示されます。
- ⑧ 番組情報
番組表で選んだ番組の情報が表示されます。
リモコンの【番組情報】を押すと、詳しい情報が表示されます。
- ⑨ ガイダンス領域
「予約」や「番組表切替」など、番組表で使う機能が表示されます。それぞれの機能に対応するリモコンのボタンを押して、その機能を使用することができます。
ガイダンス領域は番組表以外の画面にも表示されます。表示されるボタンは画面によって異なります。

デジタル放送で、同じ放送局のチャンネル(たとえば051ch、052ch、053ch)ですべて同じ番組を放送しているときは、番組表では各放送局につき1つのチャンネルだけを表示します。
別の番組を放送しているときは、次のように番組を重ねて表示します。カーソルを動かすと、裏に隠れていたチャンネルの番組が表示されます。



■ 番組表から見たい番組を選ぶ

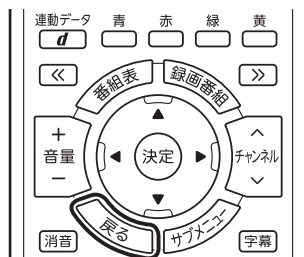
番組表の画面で、現在時刻には青い横線が表示されています。見たい番組を選んで【決定】を押すと表示される番組を予約する画面で、「視聴する」を選ぶと番組が表示されます。



録画予約について詳しくは、PART4の「おてがる予約をする(番組表で予約する)」(p.90)をご覧ください。

■ テレビを見る画面に戻る

番組表からテレビを見る画面に戻るには、リモコンの【戻る】を押します。



テレビを見る画面が表示されます。

ポイント

別の番組表に切り換えるときは、【青】を押して、表示されたメニューから選んでください。【テレビメニュー】を押してテレビメニューから選ぶこともできます。

番組表の受信時刻を変更する

番組表受信時刻を変更したい場合は、次の手順で操作します。
番組表受信時刻を変更する前に、「番組表の受信に関する注意」(p.60)をご覧ください。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「設定」の「番組表の設定」を選んで【決定】を押す



3 「番組表受信時刻の設定」を選んで【決定】を押す



「番組表受信時刻の設定」画面が表示され、設定できます。

！チェック

地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルや地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルでは、番組表の受信は、視聴や録画に使われていないレコーダー(チューナー)を使って自動的におこなわれます。



受信時刻と動作

「－」にすると、その時刻には番組表を受信しません。

「受信」にすると、その日にすでに番組表を受信していても、その時刻に番組表を受信します。

「自動」にすると、その日に一度も番組表を受信していなければ、その時刻に番組表を受信します。

受信する番組表

どの放送波の番組表を受信するかを選択します。

- 「受信する番組表」で「受信」にした放送波の番組表を、「受信時刻と動作」の設定にしたがって受信します。
- 番組表を受信したくないときは、「受信する番組表」ですべての放送波を「－」にしてください。
- 地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルや地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルは、SmartVisionを起動した時点で次の条件をいずれも満たしているとき、自動的に番組表の受信が始まります。
 - ・その日に一度も番組表を受信していない。
 - ・搭載されているレコーダー(チューナー)のうち、少なくとも1つが使用されていない。(視聴や録画ですべてのレコーダーが使われているときは、番組表が受信されません)

4 設定を変更したら「保存して戻る」を選んで【決定】を押す

チェック

- ご購入時の状態では、110度CSデジタル放送の番組表を自動で受信しない設定となっています。自動受信が必要な場合には、「受信する番組表」の「CS」を「受信」に変更してください。
- 番組表を受信するとき放送を休止していた放送局の番組表は、正常に受信できないことがあります。受信できなかった場合は、放送を休止していない時間に、手動で番組表の受信をしていたかどうか、放送が休止していない時間に番組表の受信時刻を設定してください。

手動で番組表を受信するには

番組表は、放送波ごとに手動で受信(取得)することができます。

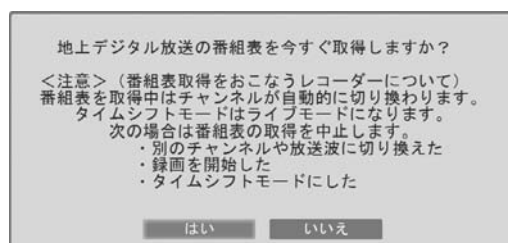
1 「番組表を見る」(p.61)の手順1～2の操作をおこない、受信したい放送波の番組表を表示させる

ご購入後にはじめて番組表を受信するときなど、番組表のデータがない場合は、ここで番組表の受信(取得)を確認するメッセージが表示されます。そのまま手順3に進んでください。

2 リモコンの[サブメニュー]を押し、表示されたメニューから「番組表の取得」を選んで[決定]を押す

番組表の受信(取得)を確認するメッセージが表示されます。

地上デジタル放送の場合の例



3 「はい」を選んで[決定]を押す

番組表の受信が始まります。

受信が完了すると、番組表の下に取得した日時が表示されます。

● チェック

- 番組表をインターネットから取得することもできます。詳しくはPDFマニュアル『テレビを楽しむ本 活用編』の「G-GUIDE for Windowsで予約する」をご覧ください。
- 手動で番組表を受信するときは、番組表の基本的な情報のみを取得します。これはBSデジタル放送の番組表のデータが多く、詳細な情報を含めて取得すると約1時間ほどかかるためです。また、この際、すでに取得されていた詳細情報もクリアされます。

マイ番組表を作る

お好みのチャンネルだけを登録したマイ番組表を作ることができます。マイ番組表は4つまで作ることができます。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「番組表」を選び、マイ番組表を選んで【決定】を押す

ここでは、ご購入時の状態であらかじめ登録されている「マイ番組1」を選びます。



マイ番組表(ここでは「マイ番組1」)が表示されます。

3 【緑】を押す



「マイ番組表の表示設定」が表示されます。

ポイント

ご購入後、はじめて「マイ番組1」を選んだときは、「放送局が未選択です」というメッセージが表示されます。

ポイント

作成済みのマイ番組表を選んで【緑】を押すと、次の操作ができます。

- ・ マイ番組表の編集
選択しているマイ番組表を編集できます。設定内容については手順4をご覧ください。
- ・ マイ番組表の追加
新たにマイ番組表を追加できます。設定内容については手順4をご覧ください。
- ・ マイ番組表の削除
選択しているマイ番組表を削除できます。

4 マイ番組表を設定する

① 設定するマイ番組表を選ぶ

「設定するマイ番組表」を選んで【決定】を押し、表示されたメニューで設定したいマイ番組表の番号(1～4)を選んでください。

② マイ番組表の名前を設定する

「マイ番組表の名称」を選んで【決定】を押し、キーボードで名前を入力して【Enter】を押してください。

③ 画面に表示するチャンネル数を選ぶ

「画面に表示するチャンネル数」を選んで【決定】を押し、表示されたメニューで1画面に表示するチャンネルの数を選んでください。

「9チャンネル」・「7チャンネル」・「5チャンネル」のいずれかを選択できます。

④ マイ番組表に登録するチャンネルを選ぶ

チャンネルが表示されている部分を選んで【決定】を押します。

マイ番組表に登録するチャンネルを選んで【決定】を押し、表示されたメニューで「表示」を選んでください。

登録を解除するときは、解除するチャンネルを選んで【決定】を押し、表示されたメニューで「非表示」を選んでください。



5 「保存して戻る」を選んで【決定】を押す



設定が保存され、マイ番組表が表示されます。

PART 3

テレビを見る

4つの番組を同時に楽しむ(地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルのみ)

地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルでは、4つの番組を同時に表示させることができます。この機能を「マルチスクリーン」と呼びます。

マルチスクリーンとは

画面を分割して、4つの番組を同時に表示させる機能です。ある番組を楽しみながら3つの裏番組を同時に表示させることができます。

マルチスクリーンには、次のふたつのモードがあります。

四分画モード

画面を均等に4つに分割して番組を表示するモードです。



主/副モード

大きな主画面ひとつにいままで観ていた番組を、小さな副画面3つに裏番組を表示するモードです。副画面の番組を選んで、主画面に表示された番組と入れ換えることもできます。



■ 表示される裏番組について

マルチスクリーンに切り換えると、いままで観ていた番組の他に、3つの裏番組が表示されます。初期状態では、SmartVisionのテレビ初期設定の際に自動的に設定されたチャンネルが選択されます。必要に応じて、このチャンネルの選択方法を変更することができます。

詳しくは、このPARTの「裏番組の選択方法を変更する」(p.75)をご覧ください。

■ マルチスクリーンに切り換える

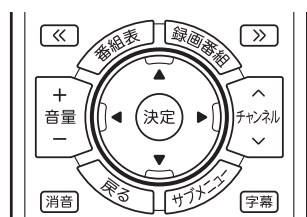
次の操作でマルチスクリーンに切り換えます。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「マルチスクリーン」を選び、切り換えたいモードを選んで【決定】を押す

ここでは例として「四分分割モード」を選びます。



画面がマルチスクリーンに切り換わります。いままで表示されていた映像は、「四分分割モード」では左上に、「主/副モード」では左側の大きな主画面に表示されます。

ポイント

録画番組を再生しているときこの操作をおこなうと、番組の再生が停止されます。

■ 操作パネルで切り換えるときは

マウスを使って、マルチスクリーンに切り換えることもできます。

1 テレビを表示して、マウスを動かす

画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 切り換えたいモードのボタンをクリック

ここでは例として「四分割モード」ボタンをクリックします。



画面がマルチスクリーンに切り換わります。いままで表示されていた映像は、「四分割モード」では左上に、「主/副モード」では左側の大きな主画面に表示されます。

■ マルチスクリーンでの操作

マルチスクリーンに切り換えた後の操作について説明します。

■ マルチスクリーンでのリモコン操作

マルチスクリーンでは、リモコンのボタンを押したときの動作が、通常の表示状態とは一部異なります。また、一部無効となるボタンがあります。

ボタン	機能 ^{※1}
【テレビ】	ぱっと観テレビモデルでは選択されている番組をぱっと観テレビで表示する。 ^{※4}
【電源】	パソコンを起動/終了する。
【彩り】	画面全体の彩りまたは彩りプラスex機能を切り換える。(p.42)
【1】～【12】 ^{※3}	選択されている番組のチャンネル(p.41)を切り換える。また、数字を入力する(「0」を入力するときは【10】を押してください)。
【CH番号入力】	選択されている番組の3桁のチャンネル番号を入力してチャンネルを切り換える。 ^{※2}
【録画番組】	録画済みの番組一覧を表示する。 ^{※6}
【番組表】	番組表を表示する。 ^{※6}
【番組情報】	無効。
【画面表示】	チャンネルや番組名などを表示する。 ^{※7}
【放送波切換】	選択されている番組の放送波を切り換える。(p.42)
【矢印】	番組を選択する。(選択した番組にはフォーカス枠(選択状態を示す枠線)が表示されます)。

ボタン	機能 ^{※1}
【決定】	四分割モード： マルチスクリーンが終了し、選択されている番組が画面全体に表示される。 主/副モード： 主画面を選択していたときは、マルチスクリーンが終了し、主画面の番組が画面全体に表示される。 副画面を選択していたときは、その画面の映像が主画面に表示される。
【◀】、【▶】	無効。
【戻る】	四分割モード： マルチスクリーンが終了し、左上の画面に表示されている番組が画面全体に表示される。 主/副モード： マルチスクリーンが終了し、主画面に表示されている番組が画面全体に表示される。
【サブメニュー】	サブメニューを表示する。
【音声切換】	無効。
【テレビメニュー】	テレビメニューを表示する。 ^{※6} (p.52)
【字幕】	無効。
【音量】 ^{※5}	音量を調節する。(p.42)
【消音】 ^{※5}	消音(ミュート)する。(p.42)
【連動データ】(【d】)	無効。
【チャンネル】	選択されている番組のチャンネルを切り換える。(p.41)
【青】、【赤】、【緑】、【黄】	無効。
【巻戻し】	無効。
【再生】	無効。
【早送り】	無効。
【前】	無効。
【一時停止】	無効。
【停止】	選択されている番組の録画を停止する。(p.85)
【次】	無効。
【録画】	選択されている番組を録画する。(p.85)

※1：通常の表示状態でのテレビ(SmartVision)の操作については、PART3の「リモコンボタン一覧」(p.47)をご覧ください。

※2：【CH番号入力】を押し、数字ボタン【1】～【10】を押して3桁のチャンネル番号を入力し、【決定】を押します(入力を中止するときは【戻る】を押します)。

※3：【1】～【12】を押してプリセットされたチャンネルを切り換えることができます。なお、【11】・【12】では、数字を入力することができません。

※4：ぼっと観テレビモデル以外のモデルでは無効です。

※5：選択されている番組の音声が出力されます。

※6：背景やレビュー領域には、「四分割モード」なら左上の画面、「主/副モード」なら主画面の番組が表示されます。

※7：通常の表示状態に比べ、表示される情報が一部省略されます。

■「四分割モード」で選んだ番組を画面全体に表示する

表示されている4つの番組からひとつを選んで、その番組を画面全体に表示(通常表示状態)させることができます。

1 リモコンの【矢印】を押して番組を選ぶ



選んだ番組にはフォーカス枠(選択状態を示す枠線)が表示されます。

2 【決定】を押す

マルチスクリーンが終了し、選んだ番組が画面全体に表示されます。

■「主/副モード」で選んだ番組を画面全体に表示する

右側の副画面に表示されている番組を選んで、その番組を左側の主画面に表示させることができます。また、主画面に表示された番組を選んで、画面全体に表示(通常表示状態)させることができます。

●副画面の番組を主画面に表示させる

1 リモコンの【矢印】を押して副画面の番組を選ぶ



選んだ番組にはフォーカス枠(選択状態を示す枠線)が表示されます。

ポイント

マウスでクリックして番組を選ぶこともできます。また、番組をダブルクリックするとマルチスクリーンが終了し、その番組が画面全体に表示されます。

ポイント

【戻る】を押すと、左上に表示されている番組が画面全体に表示されます。

ポイント

マウスでクリックして番組を選ぶこともできます。また、副画面の番組をダブルクリックすると、その番組が主画面に表示されます。

2 【決定】を押す



選んだ番組が主画面に表示されます。

●主画面の番組を画面全体に表示する

1 リモコンの【矢印】を押して左側の主画面の番組を選ぶ



選んだ番組にはフォーカス枠(選択状態を示す枠線)が表示されます。

2 【決定】を押す

マルチスクリーンが終了し、主画面の番組が画面全体に表示されます。

ポイント

マウスでクリックして番組を選ぶこともできます。また、主画面の番組をダブルクリックするとマルチスクリーンが終了し、その番組が画面全体に表示されます。

ポイント

【戻る】を押すと、主画面に表示されている番組が画面全体に表示されます。

裏番組の選択方法を変更する

マルチスクリーンに切り換えたとき表示される裏番組のチャンネルは、次のいずれかの方法で選択されます。

指定チャンネル:

指定したチャンネルが選択されます。

いつも見るチャンネル:

SmartVisionでの視聴履歴から、その時間帯によく見ているチャンネルが自動選択されます。

盛り上がりチャンネル:

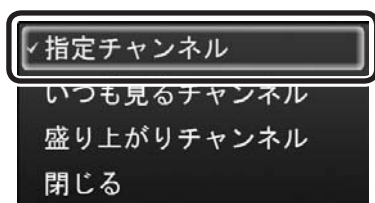
「つぶやきプラス」の「盛り上がり通知」機能と連動して、ツイッターで盛り上がっている(投稿数の多い)チャンネルが自動選択されます。

ここでは、このチャンネルの選択方法を変更する操作について説明します。

1 マルチスクリーンでテレビを見ているとき、リモコンの[サブメニュー]を押す

サブメニューが表示されます。

2 裏番組のチャンネルの選択方法を選んで[決定]を押す



裏番組のチャンネルの選択方法が変更されます。

ポイント

- 初期状態では「指定チャンネル」に設定されています。
- 「指定チャンネル」に設定されるチャンネルは、テレビ初期設定の際、受信可能なチャンネルから自動的に選択されます。
- 「指定チャンネル」の設定を変更することもできます。詳しくは、PART9の「チャンネル設定」(p.203)をご覧ください。

チェック

- 「盛り上がりチャンネル」を選んだとき、「つぶやきプラス」の初期設定を促すメッセージが表示された場合は、PDFマニュアル『テレビを楽しむ本 活用編』の「つぶやきプラスを活用する」をご覧ください、「つぶやきプラス」の初期設定をおこなってください。
- 「いつも見るチャンネル」を選ぶと、その時点から視聴履歴の分析が始まります。しばらくご利用いただくうちに視聴履歴の情報が蓄積され、チャンネルの自動選択の精度が高まります。

マルチスクリーンを使うときのご注意

マルチスクリーンとテレビの他の機能を同時に使うときは、一部制限があります。ご注意ください。

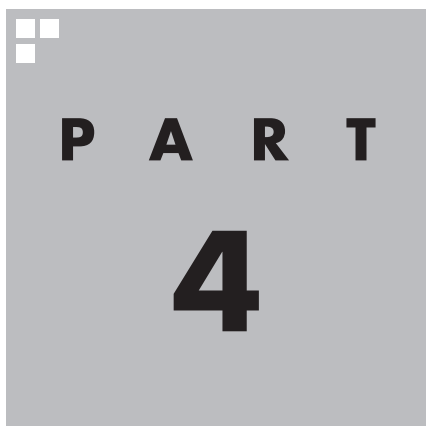
- 次の機能を使っているときマルチスクリーンに切り換えると、その機能に対応する画面が黒いままとなることがあります。
 - ・ 番組を録画している
 - ・ 録画モードを変換している
 - ・ ライブ配信(SmartVision/PLAYERに放送中の番組を配信)している
 - ・ 番組表を取得している
(番組表を取得しているチューナーに対応した画面のチャンネルが、自動的に切り換わることもあります)
- デジタル放送の関連データをダウンロードしているときは、マルチスクリーンに切り換えられません。
- マルチスクリーンに切り換えた後は、次の操作ができなくなります。
 - ・ タイムシフトへの切り換え
 - ・ 録画モード変換
 - ・ ライブ配信(SmartVision/PLAYERに放送中の番組を配信)
 - ・ 番組表の取得
 - ・ デジタル放送の関連データをダウンロード

また、マルチスクリーンで視聴中に、一部の画面が黒くなってメッセージが表示されることがあります。

- 次の状況では黒い画面に「映像を表示できません。」と表示されます。
 - ・ 放送していないチャンネルが選択されている
 - ・ パレンタル設定された番組や有料番組など視聴できないチャンネルが選択されている
 - ・ 外でもVIDEOの携帯用の録画(SD画質・ワンセグ画質)や録画モード変換などをおこなっている
- 次の状況では黒い画面に「予約録画を開始します。」と表示されます。
 - ・ 予約録画が始まる約15秒前

ポイント

パレンタル設定は、年齢による視聴制限についての設定です。詳しくは、PDFマニュアル「テレビを楽しむ本 活用編」をご覧ください。



録画・予約する

パソコンをハードディスクレコーダーとして使ってみましょう。今見ている番組はもちろん、番組表を使って予約した番組を、パソコンのハードディスクに録画できます。

見ている番組を巻き戻して再生できる「さかのぼり録画」機能も使えます。

また、モデルによって次のような自動録画機能も用意されています。

- ・地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデル
番組のジャンルに対する興味度(興味の度合い)やキーワードを登録しておき、条件に一致した番組を自動録画する「おまかせタフ録り」機能が使えます。
- ・地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルまたは地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデル
ジャンルやキーワードから好みの番組を自動的に録画する「おまかせ録画」機能や、アニメやドラマなどの新番組を自動録画する「新番組おまかせ録画」機能が使えます。

あなたがテレビ放送などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

PART 4

録画・予約 する

録画について

番組を録画する前に、知っておいていただきたいことを説明します。

録画するときの注意

次のことはおこなわないでください

- ブルーレイディスクドライブモデルの場合、テレビ番組を録画中は、ブルーレイディスクを再生しないでください。再生およびテレビ番組の録画が正しく動作しない場合があります。
- テレビ番組を録画中は、SDカードをフォーマットしないでください。録画した番組の映像が一部乱れる場合があります。

次のことに注意してください

- 録画には、多くのハードディスク容量が必要になります。ハードディスクの空き容量に注意してください。録画中に録画可能時間を確認するときは、録画中の番組が表示された状態でリモコンの【画面表示】を押してください。録画可能時間が表示されます。録画予約するときは、「番組の予約」画面に録画可能時間が表示されます。
- 録画中や再生中にエラーが発生した場合は、パソコンを再起動してください。
- 頻繁に録画する場合(週10時間以上)は、ハードディスクへの書き込みを効率的にするために、週に1回程度を目安にディスクデフラグを実行してください。ディスクデフラグは、スタート画面で「デスクトップ」をクリックし、チャームバーの「設定」-「コントロール パネル」-「システムとセキュリティ」-「管理ツール」-「ドライブのデフラグと最適化」で実行します。
- 録画中に、パソコンをシャットダウンしたときや、パソコンが休止状態になったときなどは、そのとき録画していた番組は視聴できない(録画データが正常に作成されない)ことがあります。
- 録画予約をするときは必ず電源コードを接続しておいてください。
- 「録画可能時間」は目安としてご利用ください。録画中や録画の予約を設定した後にパソコンのハードディスクの空き容量が増減する(ほかのソフトでデータを保存した場合など)と、実際に録画できる時間が「録画可能時間」で表示された時間と一致しなくなることがあります。
- 録画した番組はこまめにDVDなどに保存(p.168)したり、不要な番組を削除(p.156)したりして、ハードディスク容量が不足しないようにしてください。
- 一部の番組は、視聴はできますが録画はできません。また、番組によっては録画するために番組購入が必要な場合があります。番組が録画できるかどうかは、「番組表」画面の「番組情報」欄で確認できます。

チェック

- システムの状態によっては、映像が乱れることがあります。映像が乱れるときの対処について詳しくは、PART10の「映像が乱れる(コマ落ちする)」(p.213)をご覧ください。
- ディスクデフラグには時間がかかります。十分な時間が取れるときに実行してください。

- このパソコンで録画した番組は、市販の動画編集ソフトで編集することはできません。
- 短時間(1～3秒程度)だけ録画した番組は正しく再生できないことがあります。この場合は、再生しても映像が表示されず、画面は黒いままとなります。
- 地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルや地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルで同じ時間帯の番組を複数録画するときは、同時に使用する機能に一部制限があります。詳しくはこのPARTの「同時録画をおこなうときのご注意」(p.82)をご覧ください。
- 地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルや地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルは、同じ時間帯の番組を複数録画できますが、同じ有料番組を同時に2つ以上録画することはできません。
- このパソコンで録画したデジタル放送の番組は、このパソコンのSmartVisionでのみ再生できます。ほかのパソコンおよび、ほかの動画再生ソフトでは再生できません。また、外付けハードディスクに録画番組を移動した場合も、このパソコン以外のパソコンでは番組を再生することはできません。
ただし、次の場合は再生可能です。
 - ・DVDなどの光ディスクに保存(p.168)した場合
 - ・ホームネットワークで、録画した番組をホームネットダビングしたり配信する場合(対応モデルのみ)
 - ・ホームネットワークに接続されているSmartVision/PLAYERが搭載されたパソコンで再生する場合(対応モデルのみ)
- パソコンを再セットアップしたとき、そのままSmartVisionをご利用になると、外付けハードディスクに保存した録画番組が再生できなくなることがあります。再セットアップが完了したら、すぐに外付けハードディスクを接続しなおしてください。
- 録画中にWindowsバックアップをおこなうと、番組の映像や音声乱了た状態で録画されることがあります。バックアップスケジュールを設定しているときは、予約録画の時刻と重ならないようご注意ください。
- 独立データ放送(データ放送サービスのみの放送)とラジオ放送は録画できません。
- 地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルでは、録画できる番組の総数は40,000件です。これを超えてしまうときは不要な録画番組を削除してください。
- 地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルおよび地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデルでは、録画できる番組の総数は10,000件です。これを超えてしまうときは不要な録画番組を削除してください。

ポイント

外付けハードディスクの使用やホームネットワークを使った番組の配信、SmartVision/PLAYERについては、PDFマニュアル『テレビを楽しむ本 活用編』をご覧ください。

録画モードについて

録画するときの画質(録画モード)の各モードについて説明します。

録画モード		最大解像度 ^{※2}		ビットレート		用途と特徴
		4・ダブル ^{※3}	シングル ^{※4}	4・ダブル ^{※3}	シングル ^{※4}	
ダイレクト		フルハイビジョン(HD) 1920×1080		地上デジタルハイビジョン放送(HD):約17Mbps 地上デジタル標準放送(SD):約8Mbps BS・110度CSデジタルハイビジョン放送(HD):約24Mbps BS・110度CSデジタル標準放送(SD):約11Mbps		放送された画質で番組を録画するモードです。すべてのモードの中で録画時間は一番短くなりますが、画質にこだわりたい番組を保存するのに適しています。このモードのみデータ放送が保存されます。
長時間モード※1	ファイン	フルハイビジョン(HD) 1920×1080		約8Mbps		
	ファインロング	フルハイビジョン(HD) 1920×1080		約4Mbps		
	セミファインロング	フルハイビジョン(HD) 1920×1080	ハイビジョン(HD) 1280×1080	約1.5Mbps	約2.4Mbps	
	ロング	標準(SD) 720×480		約2Mbps		
スーパーロング ^{※5}	標準(SD) 720×480	—	約1.2Mbps	—	標準解像度に変換して録画するモードです。すべてのモードの中で、録画に必要なハードディスク容量がもっとも少なくなります。ハードディスクの容量が少なくなってきたときなどに便利です。	

※1: 長時間モードとは、放送データを圧縮(MPEG-4 AVC/H.264エンコード)し、長時間記録するモードです。

※2: 最大解像度よりも低い解像度で放送された番組は、放送時の解像度で録画されます。

※3: 「4・ダブル」とは、地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルおよび地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルのことです。

※4: 「シングル」とは、地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデルのことです。

※5: スーパーロングに対応しているのは、地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルおよび地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルです。

■ ダイレクトモードを基準とした録画時間の比較

	ダイレクト	ファイン	ファインロング	セミファインロング	ロング	スーパーロング ^{※1}
地上デジタルHD放送	基準	約2倍	約4倍	4・ダブル ^{※2} : 約11倍 シングル ^{※3} : 約7倍	約8倍	約14倍
BS・110度CSデジタルHD放送	基準	約3倍	約6倍	4・ダブル ^{※2} : 約16倍 シングル ^{※3} : 約10倍	約12倍	約20倍

※1: スーパーロングに対応しているのは、地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルおよび地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルです。

※2: 「4・ダブル」とは、地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルおよび地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルのことです。

※3: 「シングル」とは、地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデルのことです。

■ 録画される情報

	ダイレクト	ファイン	ファイン ロング	セミファイン ロング	ロング	スーパー ロング※1
複数音声が含まれる(マルチ音声)番組	音声が入2つまで保存されます。※2		1つの音声が入保存されます。			
字幕放送	字幕情報が保存されます。					
データ放送	データ放送の情報が保存されます。	データ放送の情報は保存されません。				

※1: スーパーロングに対応しているのは、地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルおよび地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルです。

※2: 外でもVIDEOの録画を同時におこなっている場合は、1つの音声のみを保存します。

■ 録画に必要なハードディスク容量について

録画するとき、録画モードや番組の種類によって録画に必要なハードディスクの容量が異なります。録画に必要なハードディスク容量の目安は次のとおりです。

録画モード	放送の種類	1時間の録画に必要なハードディスク容量
ダイレクト	地上デジタルハイビジョンテレビ(HD)	約7.2Gバイト
	地上デジタル標準テレビ(SD)	約3.4Gバイト
	BS・110度CSデジタルハイビジョンテレビ(HD)	約10.1Gバイト
	BS・110度CSデジタル標準テレビ(SD)	約4.7Gバイト
ファイン	地上デジタルハイビジョンテレビ(HD)	約3.4Gバイト
	BS・110度CSデジタルハイビジョンテレビ(HD)	
ファインロング	地上デジタルハイビジョンテレビ(HD)	約1.7Gバイト
	BS・110度CSデジタルハイビジョンテレビ(HD)	
セミファインロング	地上デジタルハイビジョンテレビ(HD)	地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルおよび地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデル 約650Mバイト
	BS・110度CSデジタルハイビジョンテレビ(HD)	地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデル 約1.0Gバイト
ロング	地上デジタルハイビジョンテレビ(HD)	約900Mバイト
	BS・110度CSデジタルハイビジョンテレビ(HD)	
スーパーロング (地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルおよび地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデル)	地上デジタルハイビジョンテレビ(HD)	約520Mバイト
	BS・110度CSデジタルハイビジョンテレビ(HD)	

ポイント

デジタル放送の録画時に画面に表示される「録画可能時間」は、この表を基準に算出したものです。録画データの保存先として設定されているドライブの空き容量から、録画を停止する空き容量(SmartVisionで設定した容量。ご購入時は30Gバイトに設定されています)を引いたサイズを目安に算出しています。「録画可能時間」は目安の時間であり、録画する番組によっては実際の録画時間と一致しないことがあります。

録画を停止する空き容量の変更について詳しくは、PDFマニュアル『テレビを楽しむ本 活用編』PART2の「ハードディスクの空き容量の制限値を変更する」をご覧ください。

チェック

「外でもVIDEO」を同時に録画するとき、各録画モードに必要なハードディスク容量に加えて、1時間あたり、「外でもVIDEO(ワンセグ画質)」では約258MB、「外でもVIDEO(SD画質)」では約562MBの容量が必要です。

同時録画をおこなうときのご注意

次のモデルは同じ時間帯に放送されている番組を複数録画することができます。

- ・地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデル(最大で4番組を同時に録画できます)
- ・地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデル(最大で2番組を同時に録画できます)

ただし、同時に使用する機能によっては、録画できる番組の数がなくなったり、機能の一部が制限されたりします。

ここでは、同時録画をおこなうときの注意事項について説明します。

同時に使用できない機能が重なったときは、優先する機能を選ぶ画面が表示されます。表示されたメッセージにしたがって操作してください。

■ 地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルの場合

次の機能を使っているとき、同時録画できる番組が少なくなります。

- ・録画モード変換
- ・外でもVIDEOの携帯用の録画(SD画質・ワンセグ画質)

番組の録画とこれらの機能が重複し、同時に使用できない状況になると、画面にメッセージが表示されます。

優先する機能を選び、使用しない機能をキャンセルしてください。

■ 地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルの場合

次の機能を使っているとき、録画する番組の画質に制限があります。

- ・録画モード変換
- ・携帯電話用のデータが作成されていない録画番組を、ほかの機器に転送
- ・「デジタル放送画質の変換」機能を使って録画番組を光ディスクに保存(CPUによる画質変換に非対応のモデルのみ)

上記の機能を使いながら2つの番組を同時に録画するときは、少なくとも番組の1つを「ダイレクト」で録画してください。

また、外でもVIDEOの携帯用の録画(SD画質・ワンセグ画質)を2つ同時におこなうときは、2番組とも「ダイレクト」で録画してください。

ポイント

タイムシフトモードは番組を録画しながら視聴することで巻き戻しや早送りの機能を実現しています。このため、タイムシフトモードには、録画しているときと同様の制限があります。

ポイント

携帯用の録画を2つ同時におこなっているときは、他の番組は録画できません。

ポイント

●画質変換に対応しているCPUについてはPART1の「CPUによる画質変換対応モデル／非対応モデルについて」(p.3)をご覧ください。

●次の組み合わせで同時録画をおこなっているときは、ライブモードで視聴していた番組が自動的にタイムシフトモードに切り換わります。どちらかの録画が終了するとライブモードに戻ります。

- ・外でもVIDEOの録画(ダイレクト+携帯用)
- ・ダイレクト録画

録画を中断する条件

録画中に次のような状態になると、録画は自動的に終了します。

- 録画を停止する空きサイズ(ご購入時では30Gバイト)とタイムシフトで使用する容量を足した容量よりハードディスクの残り容量が少なくなったとき
- ハードディスクへの書き込み時にエラーが起きたとき
- 放送休止状態になったとき
- 番組の受信ができなくなったとき
- 番組が、録画不可属性になったとき
- 受信状態が不安定なとき

ポイント

録画を停止する空き容量の変更について詳しくは、『テレビを楽しむ本 活用編』PART2の「ハードディスクの空き容量の制限値を変更する」をご覧ください。

PART 4

録画・予約する

いろいろな録画予約機能

このパソコンには、いろいろな録画予約機能が搭載されています。
ここでは、それらの機能について簡単にご紹介します。

録画予約機能一覧

こんなときは、どの録画機能を使えばいいのかな？
次の一覧をご覧ください、さまざまな録画機能を使いこなしてください。
なお、モデルによって、搭載されている録画予約機能が一部異なります。

機能名	機能の説明	詳しくはこちらをご覧ください
録画の自動停止	視聴中の番組を録画する場合、番組の終了時や、指定した時間が経過した時点で、自動的に録画を停止させることができます。	録画を自動的に停止する(p.86)
おてがる予約(番組表からの予約)	画面に表示された番組表から番組を選ぶだけで録画予約できます。 また、ジャンルやキーワードを指定して、好みの番組を検索して録画予約できます。	おてがる予約をする(p.90) 番組を検索して予約する(p.96)
シリーズ録画	連続ドラマなどのシリーズ番組を、一度の操作で次回以降の放送も自動的に録画予約できます。	シリーズ録画する(p.94)
時間指定予約	まだ番組表には表示されていないずっと先の番組でも、チャンネルや日時を指定して録画予約できます。	番組表を使わないで予約する(p.98)

- 「おてがる予約」や「時間指定予約」では、録画だけでなく視聴を予約することもできます。
- 予約には優先度があります。詳しくは、このPARTの「予約の優先度について」(p.129)をご覧ください。

■地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデル

機能名	機能の説明	詳しくはこちらをご覧ください
おまかせタフ録り	好きなジャンルに対する興味の度合いやお気に入りのタレント名などのキーワードを登録しておく、それをもとに番組を検索して、自動的に録画予約します。 好きなジャンルとして検索された番組は、新番組が優先的に録画されます。	おまかせタフ録りする(p.114)

■地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルまたは地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデル

機能名	機能の説明	詳しくはこちらをご覧ください
おまかせ録画	好きなジャンルやお気に入りタレントなど、あらかじめジャンルやキーワードを登録しておく、それをもとに番組を検索して、自動的に録画予約します。	おまかせ録画をする(p.103)
新番組おまかせ録画	アニメやドラマなどの新番組を自動的に検索して録画予約します。	新番組おまかせ録画をする(p.109)

PART 4

録画・予約する

視聴中の番組を録画する

見ている番組をすぐに録画できます。

1 リモコンの【録画】を押す



録画が始まり、画面に「録画を開始しました。」と表示されます。
録画した番組は、ご購入時の状態では、Cドライブに保存されます。

2 録画をやめたいところで【停止】を押す

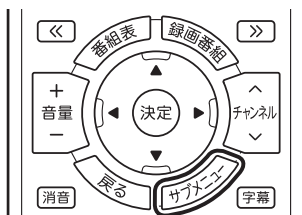


これで録画ができました。録画した番組を見る方法は、PART5の「録画した番組を再生する」(p.138)をご覧ください。

■ 録画する番組の録画モードを変更する

録画の前に録画モード(p.80)を変更することができます。設定できる録画モードはモデルによって異なります(ここでは、地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルの画面を例に説明しています)。

1 【サブメニュー】を押す



！チェック

- 「コピー不可」の信号が含まれた映像は録画できません。信号が検出されると、自動的に録画は終了します。
- リモコンの【録画】を押しての録画より、あらかじめおこなわれた予約録画が優先されます。予約5分前に確認のメッセージが表示されます。

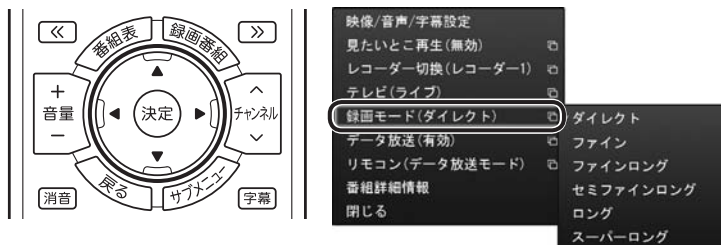
！ポイント

- 【録画】を押してから、実際に録画が始まるまで、少しの間があります。「さかのぼり録画」(p.87)で巻き戻してから録画をするほうが確実です。さかのぼり録画をするには、あらかじめタイムシフトモードにしておく必要があります。
- 録画中の番組を再生することもできます(p.145)。

！チェック

- この方法で録画するときは、録画中に【画面表示】を押しても「録画モード」にデジタル放送の種別を表す(HD)や(SD)が表示されません。録画終了後の録画番組一覧で確認してください。
- この方法で録画するときは、録画と同時に携帯電話用のデータを作成する「外でもVIDEO」の機能が使えません。「外でもVIDEO」について詳しくは、PDFマニュアル「テレビを楽しむ本 活用編」をご覧ください。

2 「録画モード」を選んで[決定]を押す



ポイント

スーパーロングに対応しているのは、地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルおよび地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルです。

3 設定する録画モードを選んで[決定]を押す

■ 録画を自動的に停止する

【録画】を連続して押すと、録画終了時間を次のように設定できます。
時間指定なし→番組終了まで→15分→30分→60分→90分→120分→時間指定なし・・・(以降繰り返す)。

録画中に【電源】を押すなど、パソコンをスリープ状態にする操作をおこなうと、画面が消えて録画を継続します。録画が終了すると、パソコンはスリープ状態になります。外出や就寝するときに便利な機能です。なお、「時間指定なし」で録画しているときにパソコンをスリープ状態にする動作をおこなうと、画面が消えた後、録画中の番組が終了するまで録画を継続し、その後スリープ状態になります。

ポイント

- 録画時間の「番組終了まで」を設定するためには、番組表が受信されている必要があります。
- ご購入時の状態では、【電源】を押すとパソコンがスリープ状態に移行するように設定されています。

PART 4

録画・予約
する

タイムシフトモードの番組を録画する(さかのぼり録画)

うっかり見逃してしまった決定的なシーン、ドラマの山場で突然の電話、そんなときは「さかのぼり録画」で解決。

タイムシフトモード(p.55)で見ている番組は、巻き戻してから録画をすることができます。これを「さかのぼり録画」と呼びます。

■ さかのぼり録画

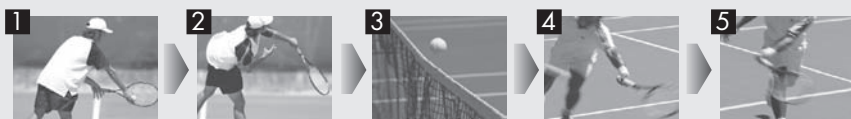
タイムシフトモードで見ている番組なら、「あ、この番組録画しておけばよかった!」というときでも大丈夫。「タイムシフト」機能を使った「さかのぼり録画」で、今見ている番組をさかのぼって録画することができます。

※さかのぼれる時間は、1分～90分の間で設定できます(ご購入時の設定では60分です)。

● チェック

- 「コピー不可」の信号が含まれている映像の場合、タイムシフトモードに切り換えることはできません。信号が検出されると自動的にライブモードに切り換わります。
- タイムシフトモードでは画質(録画モード)が変更できません。

リアルタイムの
テレビ放送



巻き戻し



早送り



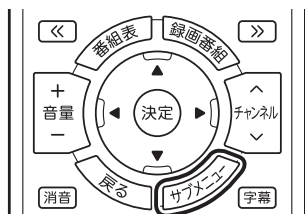
録画開始

1まで戻って録画開始できます

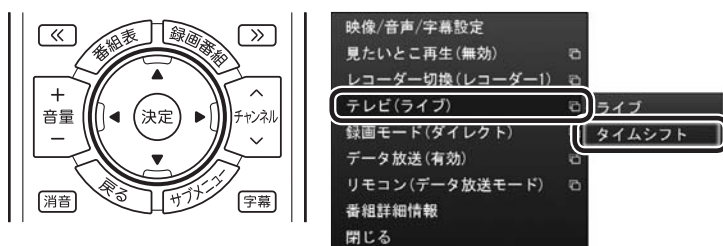
■ タイムシフトモードにする

さかのぼり録画をするために、「タイムシフトモード」にします。

1 【サブメニュー】を押す



2 「テレビ(ライブ)」-「タイムシフト」を選んで【決定】を押す



画面が暗くなって、タイムシフトモードに切り換わります。
「ライブモード」に戻すときは、「ライブ」を選んでください。

ポイント

- リモコンの【一時停止】を押してタイムシフトモードにすることもできます。このときは、テレビの映像が一時停止します。視聴を続けるときは【再生】を押してください。
- タイムシフトモードのとき、リモコンの【停止】を押してライブモードにすることもできます。
- タイムシフトモードの画質(録画モード)は「ダイレクト」です。
- タイムシフトモードのときは、チャンネル切り換えに10秒程度の時間がかかります。

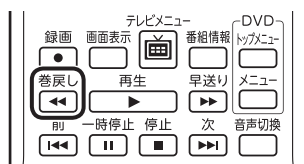
ポイント

地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルでは、一部の録画機能の組み合わせによっては、ライブモードで視聴していたテレビが自動的にタイムシフトモードに切り換わることがあります。この場合、その録画が終了するまでライブモードに切り換えられません。詳しくはこのPARTの「同時録画をおこなうときのご注意」(p.82)をご覧ください。

■ さかのぼり録画をする

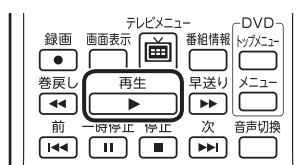
実際にさかのぼり録画をしてみましょう。

1 リモコンの【巻戻し】を押す



リアルタイムからどのくらい巻き戻しているかが画面に表示されます。

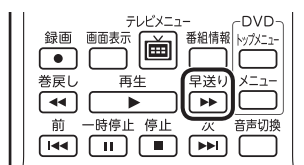
2 録画を始めたいところより前まで戻ったら、【再生】を押す



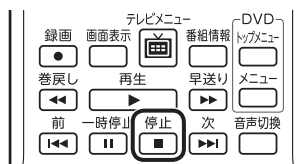
3 録画を開始したい場面で、【録画】を押す



4 リアルタイムに追いつきたいときは、【早送り】を押す



5 録画を終了するとき、【停止】を押す



録画が終了し、タイムシフトモードに戻ります。

なお、録画を終了するとき、手順4の方法でリアルタイムに追いついてから停止することをおすすめします。

ポイント

巻き戻し中にリアルタイムで放送されているシーンも、カットされないで見逃しはありません。

チェック

さかのぼり録画の画質(録画モード)は「ダイレクト」です。変更はできません。

ポイント

【録画】を押してから、実際に録画が開始されるまで、少しの間があるので、録画したいシーンよりも少し前から録画を始めることをおすすめします。

チェック

さかのぼり録画をする場合、それまでハードディスクに書き込まれていた番組が録画保存されます。このときリアルタイムに受信している番組のハードディスクへの書き込みも同時におこなわれています。そのため、5分巻き戻して録画を開始し、30分後に録画を停止させた場合、計35分の録画ファイルが保存されます。ハードディスクの空き容量にご注意ください。

ポイント

【録画】を連続して押すと、録画時間を次のように設定できます。
時間指定なし→番組終了まで(番組表を受信している必要があります)
→15分→30分→60分→90分→120分→時間指定なし…(以降繰り返し)

PART 4

録画・予約 する

おてがる予約をする(番組表で予約 する)

番組表から番組を選んで予約する「おてがる予約」を使ってみましょう。

おてがる予約って何？

「おてがる予約」は、新聞のテレビ欄のような番組表から番組を選んで予約する方法です。「シリーズ録画」機能を使って、お気に入りのシリーズものの番組を毎週録画するように設定することもできます。

おてがる予約をする

番組表(p.60)から録画の予約をしてみましょう。ここでは例として、地上デジタル放送の番組を予約します。

地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルや地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルは、同じ時間帯の番組を複数録画することができます。なお、同時に使用する機能に一部制限があります。詳しくはこのPARTの「同時録画をおこなうときのご注意」(p.82)をご覧ください。

ポイント

予約を始める前に、パソコンの時計を合わせておいてください。時計がずれていると、録画時間などがずれてしまいます。パソコンの時計は、デジタル放送を受信していると自動的に修正されます。

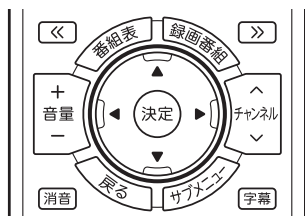
1 リモコンの【テレビメニュー】を押す



テレビメニューが表示されます。

2 「番組表」の、予約する放送の種類を選んで【決定】を押す

ここでは「地上デジタル」を選びます。



番組表が表示されます。

ポイント

リモコンの【番組表】を押しても、番組表の画面を表示できます。



3 予約する番組を決める

- ① リモコンの【<<】【>>】で日付を選ぶ
- ② 予約したい番組を選んで【決定】を押す



番組を予約する画面が表示されます。

4 予約内容を設定する

- ① 番組の情報を確認する
- ② 予約する動作(予約視聴または予約録画)を選ぶ
「予約録画/予約視聴」を選んで【決定】を押し、表示された一覧から予約する動作を選んでもう一度【決定】を押してください。
 - 「予約視聴」
放送開始に合わせ、自動的に番組の映像を表示します。録画はおこないません。
 - 「予約録画(通常録画フォルダーに保存)」
予約した番組を録画し、通常録画フォルダーに保存します。
 - 「予約録画(録画フォルダー 2に保存)」
予約した番組を録画し、録画フォルダー 2に保存します。
- ③ 「録画モード(画質)」を選ぶ
「録画モード(画質)」を選んで【決定】を押し、表示された一覧から録画モード(p.80)を選んでもう一度【決定】を押してください。
- ④ 「外でもVIDEO録画」
「する」を選ぶと、録画する番組を外でもVIDEOの候補(携帯電話に転送する候補)として設定できます。スマートデバイス以外の携帯電話に転送するためのデータを、録画と同時に作成することもできます。
- ⑤ 「繰り返し予約」を設定する
「繰り返し予約」を選んで【決定】を押し、表示された一覧から繰り返し予約の種類を選んでもう一度【決定】を押してください。
 - 「しない(1回のみ)」
番組表で選んだ番組のみを予約します。通常はこちらを選んでください。
 - 「する(シリーズ)」
シリーズものの番組を続けて予約します(次回以降の放送も自動的に録画)。シリーズ録画の設定について詳しくは、このPARTの「シリーズ録画のご注意」(p.94)をご覧ください。
 - 「する(時間指定)」
予約した放送局の、同じ曜日・同じ時間帯の番組を繰り返し予約します。番組の放送時間の変更には追従しません。

チェック

- 放送中の番組を選んで【決定】を押したときは、「予約する」と並んで「視聴する」と表示されます。「視聴する」を選んで【決定】を押すと、その番組を見ることができます。録画はされません。
- 番組の残り時間が5分未満の場合は、予約する画面は表示されずに、その番組が表示されます。
- 放送の種類(放送波:地上デジタル/BSデジタル/110度CSデジタル)を切り換えたいときは、【青】を押して選びなおしてください。

チェック

- 外付けハードディスクを登録するなど、あらかじめ録画フォルダーが追加登録されているときは、「予約録画/予約視聴」でそれらの録画フォルダーを選択することもできます。ここではご購入時の状態(追加登録した録画フォルダーがない状態)を例に説明しています。
- 番組の開始時刻と終了時刻を変更すると「詳細設定」で「放送時間変更」は指定できなくなります。
- 地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデルでは、録画モードがダイレクトモードの場合のみ携帯電話用のデータが作成できます。

⑥「詳細設定」をおこなう

「詳細設定」を選んで【決定】を押し、表示された画面でさらに詳細な設定をおこなうことができます。

●録画する曜日の設定

繰り返し予約を「する(時間指定)」に設定したとき、録画する曜日を追加設定できます。

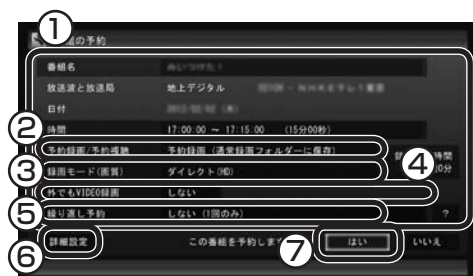
●録画する音声の設定(複数の音声が含まれる番組の場合)

「外でもVIDEO録画」を「する」にしたときや、録画モードで「ファインロング」、「セミファインロング」、「ロング」、または「スーパーロング」を選んだとき、録画する音声を選択できます。

- ・録画する音声の設定は、複数音声を含む番組を予約したときだけ表示されます。
- ・1つの音声に主音声と副音声を含むデュアルモノラル音声放送の場合、音声選択のメニューは表示されませんが、主音声と副音声の両方が録画できます。

設定が完了したら、「保存して戻る」を選んで【決定】を押し、「番組の予約」画面に戻ってください。

⑦「はい」を選んで【決定】を押す



「番組の予約」画面が閉じ、「予約しました」というメッセージが表示されます。

地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルでは

- 同時に録画できる番組の数を超過して録画予約を入れようとすると、予約の重複を示すメッセージと、重複している予約録画の一覧が表示されます。残す予約と取り消す予約を選んでください。まず取り消す録画を選んで【決定】を押し、チェックを外します。続けて有効にする録画を選んで【決定】を押し、チェックをつけてから、「予約登録」を選んで【決定】を押してください。
- 同じ時間帯の番組を複数録画するとき、同時に使用する機能に一部制限があります。詳しくはこのPARTの「同時録画をおこなうときのご注意」(p.82)をご覧ください。

地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルでは

- 同時に録画できる番組の数を超過して録画予約を入れようとすると、予約の重複を示すメッセージが表示されます。画面の指示にしたがって、残す予約と取り消す予約を選んでください。
- 同じ時間帯の番組を複数録画するとき、同時に使用する機能に一部制限があります。詳しくはこのPARTの「同時録画をおこなうときのご注意」(p.82)をご覧ください。

 ポイント

スーパーロングに対応しているのは、地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルおよび地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルです。

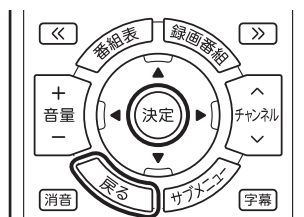
 ポイント

予約内容は「予約一覧」画面で確認
できます。録画予約の変更や削除
は、シリーズごとにおこないます。

 ポイント

同時に使用する機能によっては、複数の録画をキャンセルしないと有効にする録画を選べないことがあります。

5 【決定】を押す



番組表に戻ります。

テレビ画面に戻るときは、【戻る】を押してください。

これで、番組の予約ができました。

- 予約後は、電源コードを差したままにしておいてください。電源コードを抜くと、予約が実行されません。
- 予約後、パソコンの電源を切ったり省電力状態にしても、予約した時刻になるとパソコンが自動的に起動して予約を実行します。なお、パソコンが自動的に起動したときは、予約視聴を除いて画面に何も表示されず音声も出力されません。これを「ナイトモード」(p.133)と呼びます。
- 予約録画した番組の再生方法については、PART5の「録画した番組を再生する」(p.138)をご覧ください。

■ 視聴予約について

録画の予約(p.90)と同様の手順で操作し、「番組の予約」画面の「予約録画/予約視聴」で「予約視聴」を選ぶと、テレビの視聴を予約(視聴予約)できます。

視聴予約すると、設定した時間に予約した番組が表示されます。

予約した時間までパソコンを省電力状態にしたり電源を切ったりするときは、次の設定をおこなってください。一度おこなえば、毎回設定する必要はありません。

- 「テレビメニュー」の「設定」-「予約録画の設定」を選んで【決定】を押し、表示された画面で「自動サインインの設定」を選んで【決定】を押して、自動サインインユーザーの設定とテストをおこなってください。
- スタート画面で「デスクトップ」をクリックし、チャームバーの「設定」-「コントロールパネル」-「デスクトップのカスタマイズ」-「スクリーンセーバーの変更」-「スクリーンセーバー」で「再開時にログオン画面に戻る」を■にしてください。

！チェック

自動サインインで設定されたユーザーと異なるユーザーで省電力状態にすると、パソコンが起動するときに自動的にサインインできずに、予約録画やテレビの起動が失敗する場合があります。自動サインインしたユーザーでパソコンを終了することをおすすめします。

■ シリーズ録画について

シリーズ録画は、連続ドラマなどのシリーズものの番組を自動的に録画し続ける機能です。

番組表を使って録画予約する「おてがる予約」の操作中に、次回以降の放送も自動的に録画するよう設定できます。

シリーズ録画した番組は、「録画番組一覧」画面でまとめて表示することができます(p.140)。また、光ディスクにまとめて保存したり(p.168)、携帯電話などの機器にまとめて転送したり、メディアサーバーにまとめて転送することもできます。

■ シリーズ録画のご注意

シリーズ録画をおこなう場合は、次のことにご注意ください。

- 自動的に予約される番組は、同じチャンネルで同じ番組名の番組となります。なお、予約時の番組名に「再」(再放送)が含まれる場合は、2回目以降も番組名に「再」が含まれる番組を録画します。予約時の番組名に「再」が含まれない場合は、2回目以降も番組名に「再」が含まれない番組を録画します。
- 同じシリーズの番組として予約されるためには、放送されるチャンネルと番組名が同じであり、かつ、次の条件に一致している必要があります。
 1. シリーズ予約をした際に番組表から選択した番組とほぼ同時刻(前後2時間以内)に、該当する番組の放送が開始されること。開始時刻が大きく異なる番組は同じシリーズの番組として予約されません。
 2. 同じ日に同名のシリーズ番組が複数放送される場合は、直前に同じシリーズとして録画(予約)された番組の終了時刻から30分以内に同名の番組が放送されること。この条件が満たされていればその番組は同じシリーズ番組として続けて予約されます。
- ある連続ドラマが終わった後、その続編としてよく似た名前の連続ドラマが始まった場合などには、2つの連続ドラマがひとつのシリーズの番組として録画されることがあります。同じシリーズとして録画された番組は「録画番組一覧」でまとめて表示されます。

ポイント

携帯電話やスマートデバイスへの番組の転送(外でもVIDEO)や、メディアサーバーに関する操作(ホームネットワーク)については、PDFマニュアル『テレビを楽しむ本 活用編』をご覧ください。

■ シリーズ録画する

- 1 「おてがる予約をする」(p.90)の手順1～手順3をおこなう
番組を予約する画面が表示されます。
- 2 「繰り返し予約」を選んで[決定]を押し、表示されたメニューから「する(シリーズ)」を選んで[決定]を押す



必要に応じて、録画モードを設定してください。

- 3 「おてがる予約をする」の手順4(p.91)～手順5をおこなう

ポイント

「予約録画/予約視聴」が「予約録画」になっていることを確認してください。

PART 4

録画・予約 する

番組を検索して予約する

「今週の番組表から好きな俳優の出ている番組だけを探したい」
こんなときには番組表を検索して、その人が出ている番組だけを一
覧で見ることができます。

検索できる番組

番組表のデータから、出演者などのキーワードを指定して番組を
検索できます。また、検索した番組を予約することもできます。

！チェック

番組表のデータがないときは、番
組を検索できません。

検索した番組を予約する

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

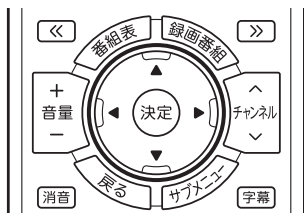
テレビメニューが表示されます。

2 「番組表」の、予約する放送(検索する放送)の種類を選ん で【決定】を押す

ここでは「地上デジタル」を選びます。

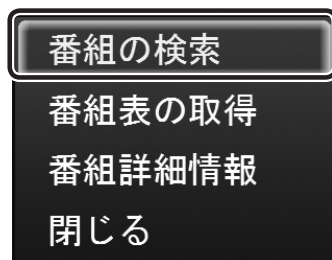
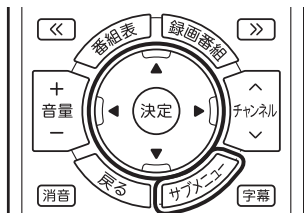
👉ポイント

【番組表】を押して、番組表を表示
させることもできます。



番組表が表示されます。

3 【サブメニュー】を押して、表示されたメニューから「番組の 検索」を選んで【決定】を押す

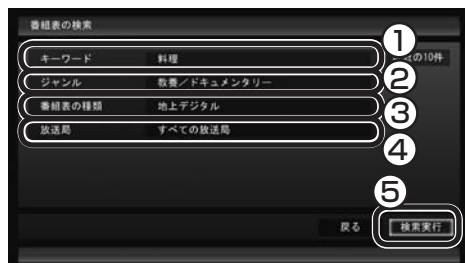


「番組表の検索」画面が表示されます。

4 検索条件を設定して、検索する

次の①～④の項目を検索条件として設定します。すべてを設定する必要はありません。

- ① キーワードを入力する
「キーワード」を選んで【決定】を押し、キーボードで検索用のキーワードを入力して、【Enter】を押します。
- ② ジャンルを選ぶ
「ジャンル」を選んで【決定】を押し、検索用のジャンルを選んで、もう一度【決定】を押します。
- ③ 番組表の種類を選ぶ
「番組表の種類」を選んで【決定】を押し、検索する放送波やマイ番組表を選んで、もう一度【決定】を押します。
- ④ 放送局を選ぶ
「放送局」を選んで【決定】を押し、検索する放送局を選んで【決定】を押します。
- ⑤ 「検索実行」を選んで【決定】を押す



検索が始まります。検索が終わると検索結果が表示されます。
表示された番組を予約するときは、次の手順をおこなってください。

5 予約したい番組を選んで【決定】を押す



「番組の予約」画面が表示されます。
この後の手順は、このPARTの「おてがる予約をする」の手順4以降(p.91)をおこなってください。
番組表の画面に戻りたいときは、【サブメニュー】を押して、表示されたメニューから「検索の終了」を選んで【決定】を押してください。

ポイント

- キーワードはキーボードを使って入力してください。
- キーワードには、出演者や番組タイトルなどを入力してください。

ポイント

リモコンの【番組情報】を押すと、番組の詳しい情報が表示されます。

PART 4

録画・予約する

番組表を使わないで予約する (時間指定)

録画予約したい時間までに番組表が受信できないときなど、番組表を使った予約ができないときは、次の手順で予約できます。

放送波(放送の種類)、放送局、放送時間などを指定して予約できます。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「予約」の「時間指定予約」を選んで【決定】を押す



予約を設定する画面が表示されます。

3 必要に応じて設定をおこない、「はい」を選んで【決定】を押す



「番組の予約」画面が閉じます。

これで設定は完了です。

チェック

- この方法で録画するときは、録画中に【画面表示】を押しても「録画モード」にデジタル放送の種類を表す(HD)や(SD)が表示されません。録画終了後の録画番組一覧で確認してください。
- 番組の延長などによる放送時間の開始/終了の変更には追従しません。

PART 4

録画・予約 する

予約の変更や予約結果の確認をする

すでに予約した内容を変更したり、確認する方法を説明します。

予約の確認や変更

予約をした後で、次の操作ができます。

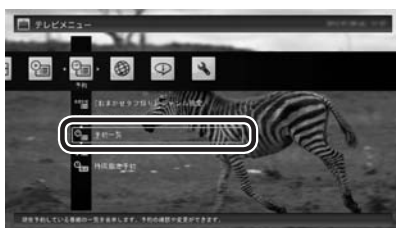
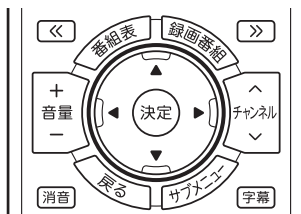
- ・ 予約の確認
- ・ 予約の変更
- ・ 予約の取り消し

■ 予約一覧からの確認や変更

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

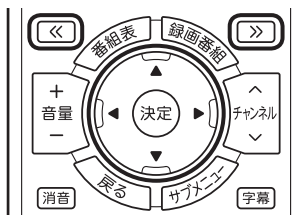
2 「予約」の「予約一覧」を選んで【決定】を押す



予約一覧が表示されます。

3 予約内容を確認または変更したい番組を選んで【決定】を押す

【<】【>】を押して、予約の種類を切り換えることができます。



予約の内容が表示されます。

ぱっと予約とSmartVisionの録画予約の重複について(ぱっと観テレビモデルのみ):

すでに上限まで録画予約が入っている時間帯に、ぱっと予約(p.27)で別の番組を録画予約すると、既存の録画予約のうちの1つが取り消されます。取り消された録画予約には アイコンが表示されます。

ポイント

- 表示されるアイコンの意味は、次のとおりです。

: ハードディスクの容量不足

: 繰り返し予約

: おまかせ録画／おまかせタブ録り

: ハードディスクに録画

: 予約視聴

: 新番組おまかせ録画／おまかせタブ録り(新番組録画)

: ぱっと観録画による取り消し

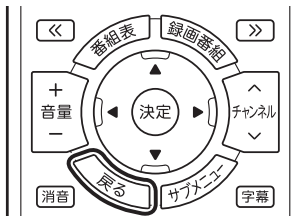
- 番組を選ぶと下段にその番組の情報が表示されます。リモコンの【番組情報】を押すと、より詳しい情報が表示されます。

4 予約内容を確認または変更し、「予約を変更」を選んで【決定】を押す



予約一覧に戻ります。

5 【戻る】を押す



テレビ画面に戻ります。

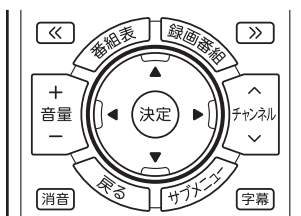
予約の確認、変更はこれで完了です。

■ 番組表からの確認や変更

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「番組表」を選び、予約を確認する放送波を選んで【決定】を押す



番組表が表示されます。

ポイント

ここで「予約を取消」を選んで【決定】を押すと、予約を取り消せます。

チェック

録画するときに、番組の開始時刻と終了時刻を変更すると「詳細設定」で「放送時間変更」は指定できなくなります。

3 予約内容を確認または変更したい番組を選んで【決定】を押す



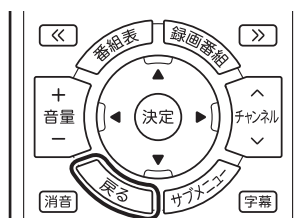
予約の内容が表示されます。

4 予約内容を確認または変更し、「予約を変更」を選んで【決定】を押す



番組表に戻ります。

5 【戻る】を押す



テレビ画面に戻ります。予約の確認、変更はこれで完了です。

ポイント

- 【<<】【>>】を押して、日付を切り換えることができます。
- 予約を示すアイコンの意味は次のとおりです。
 - : 通常の予約
 - : おまかせタフ録り／おまかせ録画／新番組おまかせ録画の予約

ポイント

ここで「予約を取消」を選んで【決定】を押すと、予約を取り消せます。

チェック

録画するときに、番組の開始時刻と終了時刻を変更すると「詳細設定」で「放送時間変更」は指定できなくなります。

予約の結果を確認する

予約した録画が成功したかどうかを確認できます。録画番組一覧に録画した番組が見あたらないときは、この方法で確認してください。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「予約」の「結果一覧」を選んで【決定】を押す



「予約結果一覧」が表示されます。

3 予約結果を確認する

予約結果は、「成功」、「失敗」の2種類で表示されます。結果一覧に表示された番組を選んで【決定】を押すと、録画に失敗した原因などが表示されます。

ポイント

- 【<<】【>>】を押して、予約の種類を切り換えることができます。
- 表示されるアイコンの意味は、次のとおりです。



:ハードディスクの容量不足



:繰り返し予約



:おまかせ録画／おまかせ
タフ録り



:ハードディスクに録画



:予約視聴



:新番組おまかせ録画／おま
かせタフ録り(新番組録画)

PART 4

録画・予約 する

おまかせ録画をする

(地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデル・
地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデルのみ)

ジャンルやキーワードから番組を自動的に録画してくれる「おまかせ録画」機能を使ってみましょう。

「おまかせ録画」は地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルおよび地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデルの機能です。地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルをお使いの方は、次の機能をご利用ください。

・おまかせタフ録り(p.114)

おまかせ録画って何？

おまかせ録画は、ジャンルやキーワードをあらかじめ登録しておく、条件に合った番組を自動的に探して録画してくれる機能です。たとえば、こんな使い方はどうでしょう？

- 毎週、放送時間が変わってしまう番組や、放送が不定期な番組を録画するとき

おまかせ録画で、番組名をキーワードにして、ジャンル、放送局を指定して条件を登録します。こうすると、自動的にその番組を録画します。放送時間や放送日程をいちいち確認する必要はありません。

- お気に入りのタレントの出ている番組を録画したいとき

おまかせ録画で、タレントの名前をキーワードにして、ジャンルや放送局を指定せずに条件を登録します。こうすると、自動的にキーワードに登録したタレントが出ている番組を録画します。

！チェック

おまかせ録画は、番組表の「番組名」や「詳細情報」に出てくる言葉をキーワードにして番組を探します。そのため、タレント名や番組名を登録しても、番組表の番組名、詳細情報の記載と一致しない場合は録画されません。

📖ポイント

- 番組名は、番組表に省略されて記載されていることがあります。あらかじめ番組表で確認をして、番組名の一部などをキーワードにすることをおすすめします。
- おまかせ録画で番組が録画されたときは、録画したことをお知らせするメッセージが表示されます。

📖参照

おまかせ録画について→オンラインヘルプの「使ってみよう」-「SmartVisionで録ろう!」-「録画する条件を設定して、おまかせ録画をしよう」

おまかせ録画を有効にする

おまかせ録画では、お好みの条件やキーワードを登録(p.105)することができますが、ご購入時の状態でもあらかじめいくつかの条件が登録されています。ここでは、登録済みの条件からおまかせ録画をする方法を説明します。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「予約」の「おまかせ録画」を選んで【決定】を押す



おまかせ録画の条件一覧が表示されます。

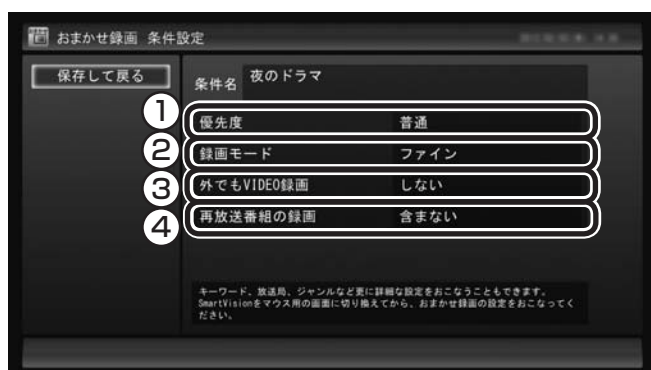
3 予約したい条件名を選んで【決定】を押す



条件設定の画面が表示されます。

4 おまかせ録画の条件を決める

- ① 優先度
おまかせ録画の条件同士で予約が重複したときの優先度を設定します。
- ② 録画モード
番組を録画するときの録画モードを選びます。
- ③ 外でもVIDEO録画(地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルのみ)
録画と同時に外でもVIDEOの設定をするかどうかを選びます。詳しくはPDFマニュアル『テレビを楽しむ本 活用編』をご覧ください。
- ④ 再放送番組の録画
再放送の番組を録画するかどうかを選びます。



5 「保存して戻る」を選んで「決定」を押す

6 「緑」を押して「有効」にする

7 「保存して戻る」を選んで「決定」を押す

これで、おまかせ録画が有効になります。

おまかせ録画を登録する

おまかせ録画で録画するために、キーワードなどの条件を登録します。

キーワードなどの入力、は、マウス操作専用モードでおこないます。

1 テレビを表示して、マウスを動かす

画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 「ノーマル」ボタンをクリック



画面が切り換わります。

ポイント

マウス操作専用モードで、さらに細かい条件(キーワードや放送局、曜日など)を設定できます。詳しくは次の「おまかせ録画を登録する」をご覧ください。

チェック

地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデルでは、おまかせ録画するとき、外でもVIDEOの設定をすることができません。

ポイント

操作パネルのボタン表示は、見えている状態によって異なります。

「ノーマル」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。



ポイント

フルスクリーンモードに戻す(切り換える)には、「画面モード切替タブ」のいちばん左のタブ(フルスクリーン)をクリックします。

3 (予約&結果一覧)をクリック



4 「予約一覧」タブの「おまかせ」(おまかせ)をクリック



「おまかせ録画条件一覧」画面が表示されます。

5 「新規追加」をクリック



「条件入力」画面が表示されます。

6 おまかせ録画の条件を登録する

- ① 登録した条件に名前をつける
登録した条件に名前をつけるときはクリックして▼にし、条件名を入力します。名前をつけない場合は、自動的に名前が登録されます。
- ② キーワードを入力する
番組のキーワードになる言葉を入力します。キーワードを追加する場合は、「絞り込む」をクリックしてキーワードを追加してください。
- ③ 番組のジャンルと放送局に関する条件を設定する
- ④ 「録画設定」を設定する
予約が重複したときの優先度、録画画質を指定します。また、録画と同時に携帯電話用のデータ(外でもVIDEO)を作成するかどうか、作成するときはその画質(SD画質またはワンセグ画質)を選びます。
- ⑤ 必要に応じて詳細な設定をする
「>>」をクリックすると、詳細な検索条件が設定できます。
- ⑥ 録画候補の一覧を確認する
「候補一覧表示」をクリックすると「候補一覧」が表示されます。録画候補を確認してください。

7 「候補一覧」の「閉じる」をクリック

「条件入力」画面に戻ります。

8 「登録」をクリック

おまかせ録画の条件が登録されます。

ポイント

- □のままの条件はすべてが対象になります(例:「放送局」が□の場合は、すべての放送局が対象)。
- 「キーワード」、「絞り込む」、「さらに絞り込む」の3つの枠に入れたキーワードすべてに当てはまる番組が録画されます。また、1つの枠には、複数のキーワードを改行で区切って入力できます。その場合は、区切って入れたキーワードのどれかに当てはまる番組が録画されます。

この場合は、次の4パターンの番組がすべて録画されます。

1. 「旅・海・沖縄」がキーワードの番組
 2. 「旅・海・バリ島」がキーワードの番組
 3. 「旅・グルメ・沖縄」がキーワードの番組
 4. 「旅・グルメ・バリ島」がキーワードの番組
- ドラマなどの連続番組を毎回録画するときは、キーワードに番組名を入れるとその番組を自動的に録画します。候補一覧で表示された番組を右クリックし、表示されたメニューで「送る」-「キーワード1」をクリックすると、キーワードのエリアに選んだ番組名を簡単に入力することができます。
 - すでに予約している別の番組と重なると、先に予約していた番組の録画が優先されます。
 - 「候補一覧」に表示された番組の中で録画したくない番組がある場合は、その番組をクリックして「番組除外」をクリックします。以降、その番組は「除外番組一覧」に登録され、おまかせタフ録りでは録画されなくなります。

- おまかせ録画の条件に一致する番組が予約されるのは次のタイミングです。
 - ・ おまかせ録画(優先度高): 放送の7日前
 - ・ おまかせ録画(優先度普通・低): 放送の2日前

9 「閉じる」をクリック

● チェック

- 深夜0:00～6:00頃の番組は前日の曜日として扱われます(例: 水曜日の深夜2:00の番組を録画するときは、火曜日を指定します)。
- 同じ時間帯に同じ条件の番組が複数あるときは、録画される番組は条件に合った番組の中でランダムに決定されます。
- この方法で録画するときは、録画中に【画面表示】を押しても「録画モード」にデジタル放送の種別を表す(HD)や(SD)が表示されません。
録画終了後の録画番組一覧で確認してください。
- 地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデルでは、おまかせ録画するとき、外でもVIDEOの設定をすることができません。

参 照

このほかのおまかせ録画の条件について→オンラインヘルプの「ボタンと使い方」-「ノーマルモード・アドバンスモード共通」-「ダイアログ」-「おまかせ録画ダイアログ」

PART 4

録画・予約 する

新番組おまかせ録画をする

(地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデル・
地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデルのみ)

新しく始まった番組を自動的に探して録画してくれる「新番組おまかせ録画」機能を使ってみましょう。

「新番組おまかせ録画」は地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルおよび地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデルの機能です。地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルをお使いの方は、次の機能をご利用ください。

・おまかせタブ録り(p.114)

新番組おまかせ録画って何？

新番組おまかせ録画は、番組表の情報から新しく始まった番組を探し出し、自動的に予約して録画する機能です。もちろん第1話だけでなく、第2話目以降も自動的に録画されます。

新番組おまかせ録画を使えば、新しいお気に入り番組を見つけられるかもしれません。

●同じ時刻に複数の新番組が放送される場合、録画予約する番組が視聴履歴から選ばれます。録画したい新番組が決まっているときは、あらかじめ「おてがる予約」などで録画予約をしてください。番組改編期など、複数の新番組がスタートする時期には、特にご注意ください。

●新番組おまかせ録画で新番組の第1話が録画されたときは、録画したことをお知らせするメッセージが表示されます。

チェック

新番組おまかせ録画で録画した番組は、おてがる予約(p.90)などで録画した番組と同様に、「通常」録画フォルダーに保存されます。

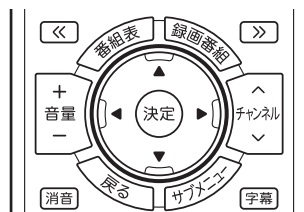
新番組おまかせ録画を有効にする

ご購入時は新番組おまかせ録画の機能が無効になっています。ここでは、番組を探す時間帯や番組のジャンルを設定し、機能を有効にする方法について説明します。

1 リモコンの[テレビメニュー]を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「予約」の「新番組おまかせ録画」を選んで[決定]を押す



新番組おまかせ録画の設定画面が表示されます。

ポイント

- 予約内容は「予約一覧」画面(p.99)で確認できます。録画予約の変更や削除は、番組のシリーズごとにおこないます。
- 予約内容を確認する画面で設定を変更できるのは、「録画モード(画質)」と「録画保存先」のみとなります。ほかの項目は変更できません。

3 新番組おまかせ録画の条件を設定する

- ① ここ(ご購入時は「すべて」)を選んで【決定】を押し、表示されたメニューで録画したいサブジャンル(「ドラマ」であれば「国内ドラマ」や「時代劇」など)を選んで【決定】を押す
- ② 放送波を選んで【決定】を押し、表示されたメニューで録画の対象とする放送波(地デジ/BS/110度CS)を選んで【決定】を押す
- ③ 録画モードを選んで【決定】を押し、表示されたメニューで画質(録画モード)を選んで【決定】を押す
- ④ 新番組を探す時間帯を選んで【決定】を押し、チェックマークを付ける
- ⑤ 録画したいジャンルの「無効」を選んで【決定】を押し、表示されたメニューで「有効」を選んで【決定】を押す



4 「保存して戻る」を選んで【決定】を押す

これで、新番組おまかせ録画の機能が有効になりました。

ポイント

- ご購入時は、あらかじめ「夜(18時～24時)」にチェックマークが付いています。
- チェックマークを外すときは、チェックマークの付いた時間帯を選んで【決定】を押してください。
- 新番組を探す時間帯についてそれぞれ次の番組を探します。
 - ・「朝 6時～12時」
6:00から11:59の間に始まる番組
 - ・「昼 12時～18時」
12:00から17:59の間に始まる番組
 - ・「夜 18時～24時」
18:00から23:59の間に始まる番組
 - ・「深夜 0時～6時」
0:00から5:59の間に始まる番組

新番組おまかせ録画を無効にする

新番組おまかせ録画の機能を無効にするときは、次のように操作してください。

1 「新番組おまかせ録画を有効にする」(p.109)の手順1～手順2をおこなう

2 無効にしたいジャンルの「有効」を選んで【決定】を押し、表示されたメニューで「無効」を選んで【決定】を押す

3 「保存して戻る」を選んで【決定】を押す

これで、選んだジャンルの新番組おまかせ録画の機能が無効になりました。

ポイント

新番組おまかせ録画を無効にしても、すでに録画予約が入っている番組(新番組)はそのまま録画されます。録画を中止したいときは、予約一覧で予約を削除してください(p.99)。また、すでに録画された番組については、録画済み番組一覧で番組を削除するとき、次回以降を録画しないよう設定することで、すでに入っている予約が自動的に削除されます(p.113)。

新番組おまかせ録画した番組をシリーズ録画に変更する

新番組おまかせ録画機能で録画された番組は、第2話目以降も継続して録画されます。ただし、同じ曜日の同じ時刻に別のテレビ局で新たな連続ドラマがスタートすると、そちらを新番組として録画するため、以前から録画していた番組が録画できなくなってしまう。

気に入った新番組は「シリーズ録画」に変更してください。

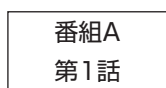
シリーズ録画は新番組おまかせ録画より優先度が高いため、新たに放送が重複する新番組が見つかった場合、お気に入りの番組が優先して録画されます。

ポイント

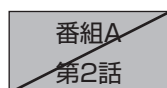
すでに放送が終了した番組を選んだときや、番組表のデータから対象となる番組が見つからないときは、シリーズ録画に変更することができません。

新番組Aの翌週に新番組Bがスタート・・・

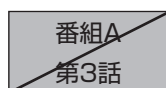
新番組検出:自動録画



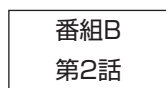
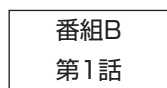
録画せず



録画せず



↓
番組Bが優先
新番組が重複したときは、もっとも新しい番組が優先されます。



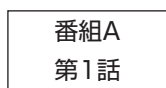
新番組検出:自動録画

継続して録画

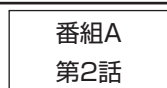
番組Aをシリーズ録画に変更しておけば・・・

シリーズ録画に変更！

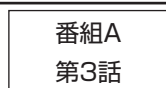
新番組検出:自動録画



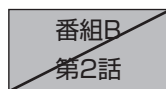
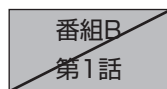
継続して録画



継続して録画



↓
番組Aが優先
新番組が検出されても、シリーズ録画が優先して録画されます。



録画せず

録画せず

■ 予約一覧でシリーズ録画に変更する

1 「予約一覧からの確認や変更」(p.99)の手順1 ～手順2をおこなう

予約一覧が表示されます。

2 シリーズ録画に変更したい番組を選んで[決定]を押す



同じシリーズの番組をまとめて変更するかどうか確認するメッセージが表示されます。

3 「はい」を選んで[決定]を押す

シリーズ化するかどうか確認するメッセージが表示されます。

4 「はい」を選んで[決定]を押す

「繰り返し予約」が「する(シリーズ)」に設定された状態で、予約の内容が表示されます。

5 「予約を変更」を選んで[決定]を押す

これでシリーズ録画への変更は完了です。

■ 番組を再生した後でシリーズ録画に変更する

1 シリーズ録画に変更したい番組を再生し、停止する

シリーズ化するかどうか確認するメッセージが表示されます。

2 「変更する」を選んで[決定]を押す

「繰り返し予約」が「する(シリーズ)」に設定された状態で、次の予約の内容が表示されます。

3 「予約を変更」を選んで[決定]を押す

これでシリーズ録画への変更は完了です。

ポイント

番組の最後まで再生して自動的に停止したときも、同様のメッセージが表示されます。

ポイント

手順2で「変更しない」を選ぶと、次回以降の予約録画(新番組おまかせ録画)は起こないません。

■ 録画した番組を再生せずに削除したときは

「新番組おまかせ録画」で録画した番組を再生せずに削除したときは、そのシリーズの番組は今後も録画しないように設定できます。

1 「新番組おまかせ録画」で録画した番組を再生せずに削除 (p.156)する

次回以降の録画をするかどうか確認するメッセージが表示されます。

2 「はい」を選んで【決定】を押す

次回以降の録画予約(新番組おまかせ録画の予約)が停止されます。すでに予約が入っているときは、自動的に削除されます。

ポイント

手順2で「いいえ」を選ぶと、次回以降はシリーズ録画として録画予約されます。

PART 4

録画・予約 する

おまかせタフ録りする

(地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルのみ)

ジャンルやキーワードから番組を自動的に録画してくれる「おまかせタフ録り」機能を使ってみましょう。

「おまかせタフ録り」は地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルの機能です。

地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルや地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデルをお使いの方は、次の機能をご利用ください。

- ・おまかせ録画(p.103)
- ・新番組おまかせ録画(p.109)

ポイント

- おまかせタフ録りで録画される番組が多すぎる場合は、ジャンルの絞り込み(p.116)をおこなってください。
- 「おまかせタフ録り」の機能を無効にするときは、「おまかせタフ録りを中止する」(p.128)をご覧ください。

おまかせタフ録りって何？

おまかせタフ録りは、4つのチューナーを搭載した地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルに搭載された、番組を自動録画する機能です。

次の2つのおまかせタフ録りがあります。

おまかせタフ録り(ジャンル): 番組のジャンルに対する興味度(興味の度合い)を登録しておく、条件に合った番組が録画されます。
おまかせタフ録り(キーワード): 出演者や番組名などのキーワードを登録しておく、条件に合った番組が録画されます。

どちらも4つのチューナーを駆使して、好みの番組をどんどん自動録画できます。

たとえば、こんな使い方はどうでしょう？

- 気になるジャンルの番組を録画したいとき
ドラマや音楽番組といったジャンルを指定して、自動的に録画できます。ジャンルごとに興味度が設定できるので、より興味のある番組が優先的に録画されます。(新番組は優先的に録画されます)
- お気に入りのタレントの出ている番組を録画したいとき
タレントの名前をキーワードとして登録します。こうすると、自動的にキーワードに登録したタレントが出ている番組が録画されます。
- 放送が不定期な番組を録画するとき
番組名をキーワードとして登録します。こうすると、自動的にその番組が録画されます。放送時間や放送日程をいちいち確認する必要はありません。

チェック

おまかせタフ録りは、番組表の「番組名」や「詳細情報」に出てくる言葉をキーワードにして番組を探します。そのため、タレント名や番組名を登録しても、番組表の番組名、詳細情報の記載と一致しない場合は録画されません。

ポイント

- 番組名は、番組表に省略されて記載されていることがあります。あらかじめ番組表で確認をして、番組名の一部などをキーワードにすることをおすすめします。
- 「おまかせタフ録り(ジャンル)」に設定する、番組に対する興味の度合いを「興味度」と呼びます。興味度の高い番組が優先的に予約録画されます。録画する際の優先度については、「予約の優先度について」(p.129)をご覧ください。

■ テレビ初期設定での登録

おまかせタフ録りの録画条件である「ジャンルに対する興味度」と「キーワード」は、テレビの初期設定と同時に登録することができます。

テレビ初期設定でおまかせタフ録りの録画条件が登録されているときは、それに従って番組が自動録画されます。必要に応じて登録内容を見直し、より好みの番組が録画されるよう設定しなおしてください。

■ おまかせタフ録り(ジャンル)の設定を変更する

ここでは、おまかせタフ録り(ジャンル)の設定の変更方法について説明します。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

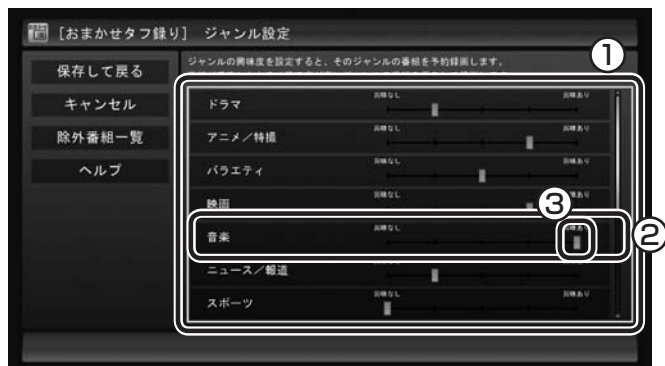
テレビメニューが表示されます。

2 「予約」の「[おまかせタフ録り]ジャンル設定」を選んで【決定】を押す



「[おまかせタフ録り]ジャンル設定」画面が表示されます。

3 ジャンルごとの興味度を設定する



- ① ジャンル全体を選んで【決定】を押す
- ② 上下の【矢印】を押してジャンルを選ぶ
- ③ 左右の【矢印】を押して興味度を選ぶ

すべてのジャンルについての設定が完了したら、【決定】を押して手順4に進んでください。

ポイント

マウス操作専用モードで、より詳細なおまかせタフ録り(ジャンル)の設定をおこなうこともできます。(p.116)

ポイント

- 興味度の高い番組が優先的に録画されます。
- 自動録画したくないジャンルは、興味なし(左端)を選んでください。

4 「保存して戻る」を選んで[決定]を押す

これでおまかせタフ録り(ジャンル)の設定変更は完了です。

■ おまかせタフ録り(ジャンル)のより詳細な設定

マウス専用モードで、おまかせタフ録り(ジャンル)のより詳細な設定をおこなうことができます。

1 テレビを表示して、マウスを動かす

画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 「ノーマル」ボタンをクリック



画面が切り換わります。

3 (予約&結果一覧)をクリック



4 「予約一覧」タブの、おまかせタフ録りの「ジャンル設定」をクリック



「[おまかせタフ録り]ジャンル設定」画面が表示されます。

5 おまかせタフ録り(ジャンル)の条件を登録する

ここでは、番組のジャンルに対する興味度と、そのジャンルを録画するときの画質を設定します。

① 興味度

スライダーを左右にドラッグして、ジャンルごとの興味度を選びます。

ポイント

操作パネルのボタン表示は、見ている状態によって異なります。

「ノーマル」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。



フルスクリーンモードに戻す(切り換える)には、「画面モード切替タブ」のいちばん左のタブ(フルスクリーン)をクリックします。

② 画質を選ぶ

表示されている画質をクリックし、表示されたメニューで録画するときの画質を選びます。



ポイント

- 興味度の高い番組が優先的に録画されます。
- 自動録画したくないジャンルは、興味なし(左端)を選んでください。

続けて録画候補を検索するときの絞り込み条件を設定します。

6 絞り込み条件を設定するジャンルの「詳細」をクリック

「絞り込み」画面が表示されます。

7 ジャンルごとの絞り込みの条件を設定する

必要に応じて、録画候補を検索するときの絞り込み条件を設定できます。

① 詳細ジャンルと放送局を設定する

絞り込み条件としてさらに詳細ジャンルと放送局を設定します。設定しないときはすべての詳細ジャンルと放送局の番組が録画候補となります。

② 新番組のみを録画するかどうかを選ぶ

新番組のみを録画候補にするときは、チェックボックスをクリックしてチェックをつけてください。

③ 曜日と時間帯を設定する

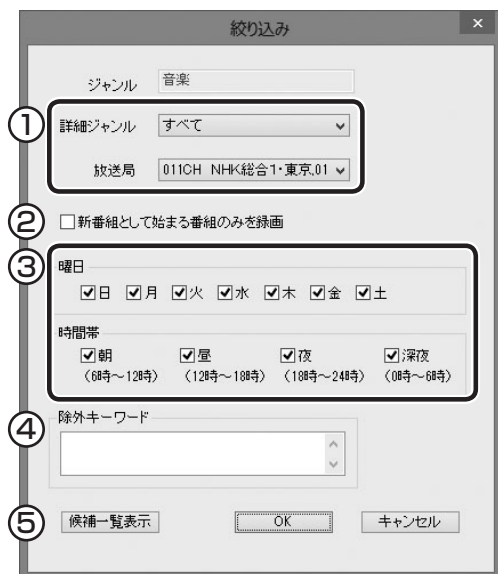
絞り込み条件として曜日と時間帯を設定します。チェックのついている曜日や時間帯に放送される番組が録画候補となります。

④ 除外キーワードを設定する

絞り込み条件として「除外キーワード」を設定します。ここに入力したキーワードを含む番組は録画候補から除外されます。改行で区切って複数のキーワードを入力することができます。

⑤ 録画候補の一覧を確認する

「候補一覧表示」をクリックすると「候補一覧」が表示されます。録画候補の確認が済んだら「閉じる」をクリックし、「候補一覧」を閉じてください。



8 「OK」をクリック

「[おまかせタフ録り]ジャンル設定」画面に戻ります。必要に応じて手順6～8を繰り返し、各ジャンルの詳細な設定をおこなってください。

9 「閉じる」をクリック

おまかせタフ録り(ジャンル)の条件が登録されます。

ポイント

- 同時に録画できるのは最大4番組です。すでに予約している別の番組と重なると、先に予約していた番組の録画が優先されます。
- 同じ時間帯に同じ条件の番組が複数あるときは、録画される番組は条件に合った番組の中でランダムに決定されます。
- 「候補一覧」に表示された番組の中で録画したくない番組がある場合は、その番組をクリックして「番組除外」をクリックします。以降、その番組は「除外番組一覧」に登録され、おまかせタフ録りでは録画されなくなります。
- 録画候補から除外された番組は、「除外番組一覧」をクリックして確認できます。
- 深夜0:00～6:00頃の番組は前日の曜日として扱われます(例: 水曜日の深夜2:00の番組を録画するときは、火曜日を指定します)。
- この方法で録画するときは、録画中に【画面表示】を押しても「録画モード」にデジタル放送の種別を表す(HD)や(SD)が表示されません。録画終了後の録画番組一覧で確認してください。

おまかせタフ録り(キーワード)の設定を変更する

ここでは、おまかせタフ録り(キーワード)の設定について説明します。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「予約」の「[おまかせタフ録り]キーワード設定」を選んで【決定】を押す



「[おまかせタフ録り]キーワード設定」画面が表示されます。

ポイント

- すでに登録されているキーワードの録画条件を変更することもできます。
- 登録したキーワードごとに、おまかせタフ録りの有効/無効を切り換えることもできます。
- マウス操作専用モードで、より詳細なおまかせタフ録り(キーワード)の設定をおこなうこともできます。(p.121)

3 キーワードを登録する

- ① 「キーワード」を選んで【決定】を押し、キーボードでキーワードを入力して【Enter】を押す
- ② 「追加」を選んで【決定】を押す



キーワードの一覧に、入力したキーワードが追加されます。

4 追加したキーワードを選んで【決定】を押す



「キーワード設定の編集」画面が表示されます。

5 録画条件を設定する

- ① 録画モード
「録画モード」を選んで【決定】を押し、表示されたメニューから録画モード(画質)を選んで【決定】を押します。

ポイント

「人名一覧」を選んで【決定】を押すと、より容易に出演者などの名前を入力できる「人名一覧」画面が表示されます。詳しい操作については、「キーワードに人物の名前を入力するときは」(p.120)をご覧ください。

② 外でもVIDEO録画

録画と同時に外でもVIDEOの設定をするかどうかを選びます。
詳しくはPDFマニュアル『テレビを楽しむ本 活用編』をご覧ください。



6 「戻る」を選んで【決定】を押す

7 「保存して戻る」を選んで【決定】を押す

これで、登録したキーワードによるおまかせタフ録り(キーワード)が有効になります。

ポイント

- キーワードを選んで【緑】を押し、そのキーワードの有効／無効を切り換えることができます。
- キーワードを削除するときは、そのキーワードを選んで【赤】を押してください。

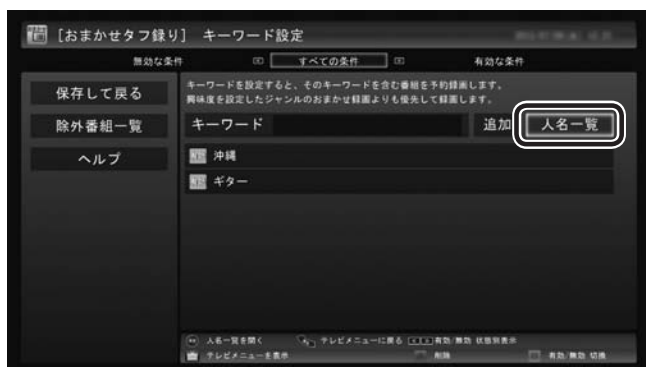
■ キーワードに人物の名前を入力するときは

キーワードを登録するとき、「人名一覧」を使って、より容易に出演者などの名前を入力することができます。

1 「おまかせタフ録り(キーワード)の設定を変更する」の手順 1～2(p.118)をおこなう

「[おまかせタフ録り]キーワード設定」画面が表示されます。

2 「人名一覧」を選んで【決定】を押す



人名を検索する画面が表示されます。

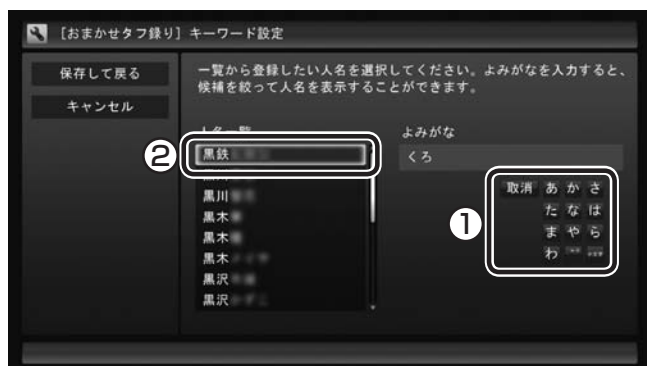
3 人物の名前を検索する

① 読み仮名を入力する

「よみがな」の下に表示されている「あ」～「わ」などを選んで【決定】を押し、読み仮名を入力します。文字を入力するごとに、該当する人物の候補が絞り込まれ、「人名一覧」に表示されます。

② 人名を選ぶ

「人名一覧」に探していた人物の名前が表示されたら、その人物名を選んで【決定】を押します。



4 「保存して戻る」を選んで【決定】を押す

「[おまかせタフ録り]キーワード設定」画面に戻り、キーワードの一覧に選択した人物の名前が追加されます。

5 「おまかせタフ録り(キーワード)の設定を変更する」の手順4(p.119)以降の操作をおこなう

■ おまかせタフ録り(キーワード)のより詳細な設定

マウス専用モードで、おまかせタフ録り(キーワード)のより詳細な設定をおこなうことができます。

ここでは、新しいキーワードを追加し、録画するときの画質や録画候補を絞り込む条件などを設定する流れを説明します。

1 テレビを表示して、マウスを動かす

画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 「ノーマル」ボタンをクリック



ポイント

- 「あ」～「わ」を選んで【決定】を押すと、文字の周囲にその行(「あ」を選んだときは「あ行」)の文字が表示されます。表示された文字をあらためて選んで【決定】を押すと文字が入力できます。たとえば、「お」を入力するときは、「あ」を選んで【決定】を押し、「あ」の下に表示された「お」を選んで【決定】を押してください。
- 入力を取り消すときは「取消」を選んで【決定】を押してください。
- 濁点や半濁点を入力するときは、濁点または半濁点をつける文字を入力した後、「°」を選んで【決定】を押し、表示された濁点または半濁点を選んで【決定】を押してください。
- 小さい「ゃ」や「っ」など(拗音や促音)を入力するときは、該当する文字を入力した後で「小文字」を選んで【決定】を押してください。たとえば「ゃ」を入力するときは、「ゃ」を入力してから「小文字」を選んで【決定】を押します。
- 「わ」を選んで【決定】を押すと、「ん」や「ー」(長音記号)を入力することができます。

画面が切り換わります。



ポイント

操作パネルのボタン表示は、見ている状態によって異なります。

「ノーマル」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

ポイント

フルスクリーンモードに戻す(切り換える)には、「画面モード切換タブ」のいちばん左のタブ(フルスクリーン)をクリックします。

3 (予約&結果一覧)をクリック



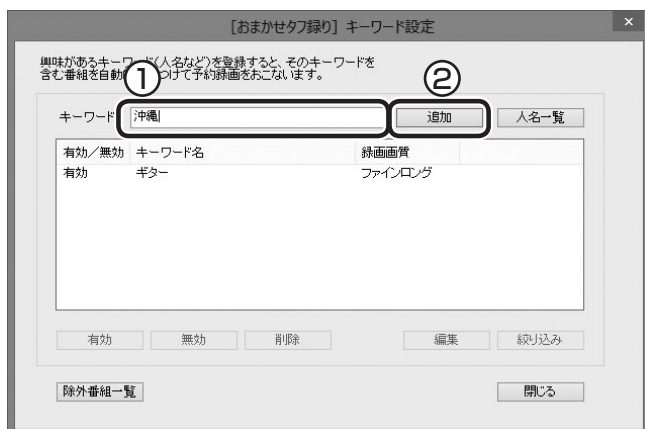
4 「予約一覧」タブの、おまかせタフ録りの「キーワード設定」をクリック



「[おまかせタフ録り]キーワード設定」画面が表示されます。

5 キーワードを追加する

- ① 「キーワード」の入力欄をクリックし、キーボードでキーワードを入力して【Enter】を押す
- ② 「追加」をクリック



キーワードの一覧に入力したキーワードが追加されます。

「人名一覧」を使うときは

「人名一覧」をクリックすると「人名一覧」画面が表示されます。この画面で、より容易に出演者などの名前を入力することができます。

① 読み仮名を入力する

「よみがな」の入力欄をクリックし、キーボードで読み仮名を入力します。文字を入力するごとに、該当する人物の候補が絞り込まれ、「人名一覧」に表示されます。

② 人名を選ぶ

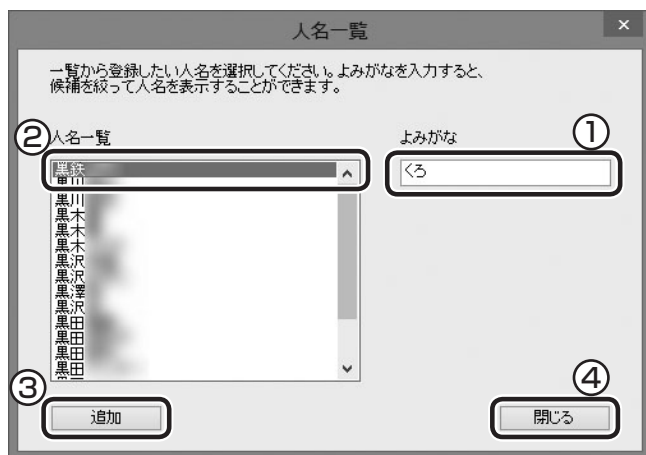
「人名一覧」に探していた人物の名前が表示されたら、その人物名をクリックします。

③ 「追加」をクリックする

キーワードの一覧に、選択した人物の名前が追加されます。

④ 「閉じる」をクリックする

「[おまかせタフ録り]キーワード設定」画面に戻ります。



ポイント

「よみがな」に入力できるのは平仮名のみです。

6 登録したキーワードをクリックし、「編集」をクリック

「編集」画面が表示されます。

7 録画条件を設定する

キーワードの編集や録画条件の設定ができます。

① キーワード

手順5で入力したキーワードを入力しなおすことができます。また、改行で区切って複数のキーワードを入力することもできます。

② 録画画質

クリックして録画するときの画質(録画モード)を選びます。

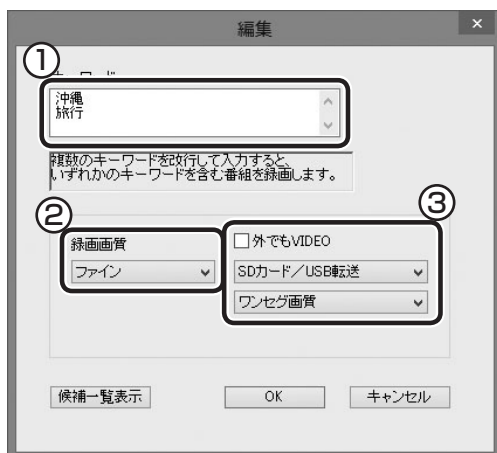


ポイント

設定を変更する既存のキーワードをクリックして選ぶこともできます。

③ 外でもVIDEO

録画と同時に外でもVIDEOをおこなうときは、チェックボックスをクリックしてチェックをつけます。あわせて転送方法や画質を選びます。



ポイント

- 複数のキーワードを入力したときは、いずれかのキーワードに一致する番組が録画候補になります。(OR検索)
- 「外でもVIDEO」について詳しくはPDFマニュアル『テレビを楽しむ本 活用編』をご覧ください。

8 「OK」をクリック

「登録しました」というメッセージが表示され、「[おまかせタフ録り]キーワード設定」画面に戻ります。

9 登録したキーワードが選択されていることを確認し、「絞り込み」をクリック

「絞り込み」画面が表示されます。

ポイント

設定を変更する既存のキーワードをクリックして選ぶこともできます。

10 「全般」タブをクリックし、絞り込みの条件を設定する

録画候補を検索するときの絞り込み条件を設定できます。

① ジャンルと放送局を設定する

絞り込み条件としてジャンルと放送局を設定します。設定しないときはすべてのジャンルと放送局の番組が録画候補となります。

② 曜日と時間帯を設定する

絞り込み条件として曜日と時間帯を設定します。チェックのついている曜日や時間帯に放送される番組が録画候補となります。

- ③ 再放送番組を含めるかどうかを選ぶ
再放送番組を録画候補に含めるときは、チェックボックスをクリックしてチェックをつけてください。

11 「キーワード」タブをクリックし、絞り込みキーワードを追加する

録画候補を検索するときの絞り込み条件にキーワードを追加できます。

- ① 「絞り込みキーワード1」を設定する
入力欄をクリックし、キーボードでキーワードを入力します。改行で区切って複数のキーワードを入力することもできます。
- ② 「絞り込みキーワード2」を設定する
入力欄をクリックし、キーボードでキーワードを入力します。改行で区切って複数のキーワードを入力することもできます。
- ③ 除外キーワードを設定する
絞り込み条件として「除外キーワード」を設定します。ここに入力したキーワードを含む番組は録画候補から除外されます。改行で区切って複数のキーワードを入力することができます。

ポイント

- 「絞り込みキーワード2」は「絞り込みキーワード1」が設定されているときのみ、入力できるようになります。
- 「絞り込みキーワード1」および「絞り込みキーワード2」のいずれにも当てはまる番組が録画候補になります。(AND検索)
- 同時に録画できるのは最大4番組です。すでに予約している別の番組と重なると、先に予約していた番組の録画が優先されます。
- 同じ時間帯に同じ条件の番組が複数あるときは、録画される番組は条件に合った番組の中でランダムに決定されます。
- 「候補一覧」に表示された番組の中で録画したくない番組がある場合は、その番組をクリックして「番組除外」をクリックします。以降、その番組は「除外番組一覧」に登録され、おまかせタフ録りでは録画されなくなります。

④ 録画候補の一覧を確認する

「候補一覧表示」をクリックすると「候補一覧」が表示されます。録画候補の確認が済んだら「閉じる」をクリックし、「候補一覧」を閉じてください。

12 「OK」をクリック

「登録しました」というメッセージが表示され、「[おまかせタフ録り]キーワード設定」画面に戻ります。

13 「閉じる」をクリック

これで、登録したキーワードによるおまかせタフ録り(キーワード)が有効になります。

ポイント

- 録画候補から除外された番組は、「除外番組一覧」をクリックして確認できます。
- 深夜0:00～6:00頃の番組は前日の曜日として扱われます(例:水曜日の深夜2:00の番組を録画するときは、火曜日を指定します)。
- この方法で録画するときは、録画中に【画面表示】を押しても「録画モード」にデジタル放送の種別を表す(HD)や(SD)が表示されません。録画終了後の録画番組一覧で確認してください。

ポイント

- 「有効」になっているキーワードを選んで「無効」を押し、そのキーワードを無効にすることができます。
- キーワードを削除するときは、そのキーワードを選んで「削除」をクリックしてください。

おまかせタフ録りで録画した番組をシリーズ録画に変更する

気に入った番組は「シリーズ録画」に変更してください。シリーズ録画はどのおまかせタフ録りより優先度が高いため、放送が重複する番組が見つかって、その番組が優先して録画されます。

おまかせタフ録りで登録される自動録画は、設定や放送条件によって優先度が異なります。このため、好みの番組が録画されていても、次の放送が録画できるとは限りません。たとえば、毎週放送される番組を続けて楽しみたいときでも、次の週、その番組と同じ時刻に優先度の高い自動録画が複数登録されると、お目当ての番組が録画されなくなることがあります。

■ 予約一覧でシリーズ録画に変更する

1 「予約一覧からの確認や変更」(p.99)の手順1～手順2をおこなう

予約一覧が表示されます。

2 シリーズに変更したい番組を選んで[サブメニュー]を押す

サブメニューが表示されます。

3 「シリーズ録画に変更」を選んで[決定]を押す

「繰り返し予約」が「する(シリーズ)」に設定された状態で、予約の内容が表示されます。

4 「予約を変更」を選んで[決定]を押す

これでシリーズ録画への変更は完了です。

■ 録画番組一覧でシリーズに変更する

1 シリーズに変更したい番組を選んで[サブメニュー]を押す

サブメニューが表示されます。

2 「シリーズ録画に変更」を選んで[決定]を押す

「繰り返し予約」が「する(シリーズ)」に設定された状態で、予約の内容が表示されます。

3 「予約を変更」を選んで[決定]を押す

これでシリーズ録画への変更は完了です。

■ 番組を再生した後でシリーズ録画に変更する

1 シリーズ録画に変更したい番組を再生し、停止する

シリーズ化するかどうか確認するメッセージが表示されます。

2 「変更する」を選んで[決定]を押す

「繰り返し予約」が「する(シリーズ)」に設定された状態で、次の予約の内容が表示されます。

ポイント

- すでに放送が終了した番組を選んだときや、番組表のデータから対象となる番組が見つからないときは、シリーズ録画に変更することができません。
- 予約の優先度については、このPARTの「予約の優先度について」(p.129)をご覧ください。

ポイント

番組の最後まで再生して自動的に停止したときも、同様のメッセージが表示されます。

3 「予約を変更」を選んで[決定]を押す

これでシリーズ録画への変更は完了です。

■ 録画した番組を再生せずに削除したときは

「おまかせタフ録り」で録画した番組を再生せずに削除したときは、そのシリーズの番組は今後も録画しないように設定できます。

1 「おまかせタフ録り」で録画した番組を再生せずに削除(p.156)する

次回以降の録画をするかどうか確認するメッセージが表示されます。

2 「はい」を選んで[決定]を押す

次回以降の録画予約(おまかせタフ録りの予約)が停止されます。すでに予約が入っているときは、自動的に削除されます。

ポイント

手順2で「変更しない」を選ぶと、次回以降の予約録画(おまかせタフ録り)はおこないません。

ポイント

手順2で「いいえ」を選ぶと、次回以降はシリーズ録画として録画予約されます。

おまかせタフ録りを中止する

次の操作で「おまかせタフ録り」の機能を無効にすることができます。

1 「おまかせタフ録り(ジャンル)の設定を変更する」(p.115)の手順1から手順2までの操作をおこなう

「[おまかせタフ録り]ジャンル設定」画面が表示されます。

2 ジャンルの興味度をすべて「興味なし」(左端)に設定する

3 「おまかせタフ録り(ジャンル)の設定を変更する」の手順4(p.116)の操作をおこなう

ポイント

「おまかせタフ録り(ジャンル)のより詳細な設定」(p.116)の手順5で、ジャンルの興味度をすべて「興味なし」(左端)に設定して、「おまかせタフ録り」の機能を無効にすることもできます。

PART 4

録画・予約 する

予約の優先度について

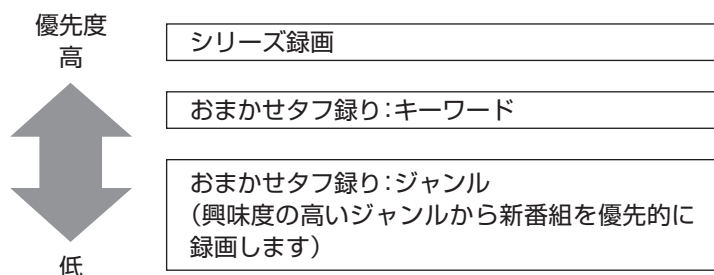
このパソコンのテレビには、さまざまな予約機能があります。ここでは、自動的に登録される予約の優先度について説明します。

自動的に登録される予約の優先度

■ 地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデル

「おまかせタフ録り」や「シリーズ録画」といった、自動的に登録される予約には、それぞれに優先度があります。複数の予約が重複したときは、優先度の高い順に登録されます。

自動的に登録される予約の優先度は以下のとおりです。



- 「おてがる予約」(p.90)と、自動的に登録される予約が重複した場合は、「おてがる予約」が優先されます。
- 「おまかせタフ録り(ジャンル)」に設定する、番組のジャンルに対する興味度の合いを「興味度」と呼びます。
- 「おまかせタフ録り」は、放送の7日前に予約が登録されます。

ポイント

- 地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルは同じ時間帯に放送されている番組を4つまで録画できます。
- 「シリーズ録画」の1回目は、番組表を使って予約(おてがる予約)するため、自動的に登録される予約には含まれません。

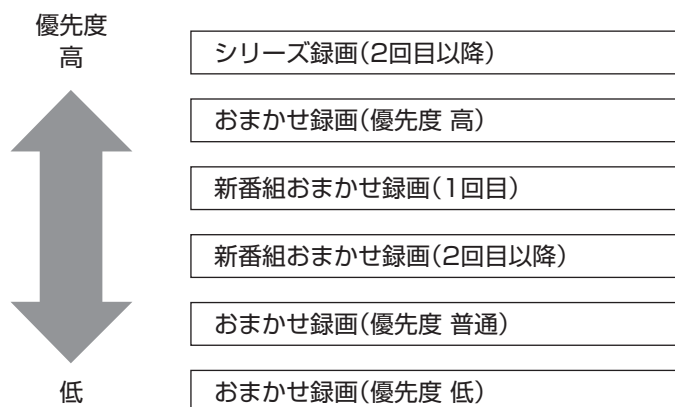
チェック

- これらの予約は番組表の番組情報を使って登録されます。番組表が取得された時点で、番組の検索や登録の処理が始まります。
- 同じ優先度の複数の番組が同じ時刻に放送される場合、録画予約する番組は視聴履歴から選ばれます。録画したい番組があらかじめ決まっているときは、「おてがる予約」の「繰り返し予約」を「しない(1回のみ)」で予約してください。

■ 地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルおよび 地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデル

「おまかせ録画」や「新番組おまかせ録画」および「シリーズ録画」といった、自動的に登録される予約には、それぞれに優先度があります。複数の予約が重複したときは、優先度の高い順に登録されます。

自動的に登録される予約の優先度は以下のとおりです。



- 「おてがる予約」(p.90)と、自動的に登録される予約が重複した場合は、「おてがる予約」が優先されます。
- 「シリーズ録画」、「新番組おまかせ録画」、および「おまかせ録画(優先度 高)」は、放送の7日前に予約が登録されます。
- 「おまかせ録画(優先度 普通)」と「おまかせ録画(優先度 低)」は、放送の2日前に予約が登録されます。

ポイント

「シリーズ録画」の1回目は、番組表を使って予約(おてがる予約)するため、自動的に登録される予約には含まれません。

チェック

- これらの予約は番組表の番組情報を使って登録されます。番組表が取得された時点で、番組の検索や登録の処理が始まります。
- 同じ優先度の複数の番組が同じ時刻に放送される場合、録画予約する番組は視聴履歴から選ばれます。録画したい番組があらかじめ決まっているときは、「おてがる予約」の「繰り返し予約」を「しない(1回のみ)」で予約してください。

PART 4

録画・予約 する

予約についてのご注意

録画予約や視聴予約をするときに、注意していただきたいことについて説明します。

予約するときの注意

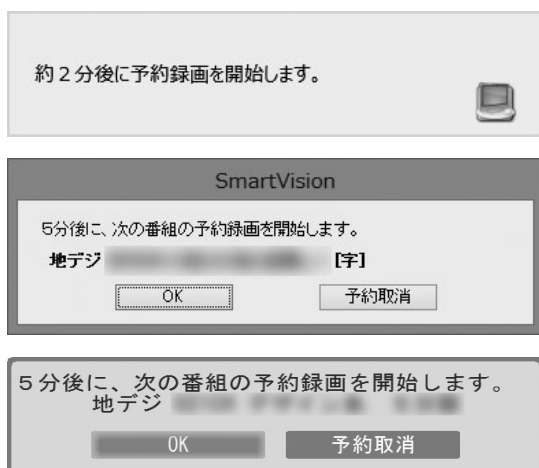
番組を予約するときは、次のことに注意してください。

- 地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルは、2000件まで予約できます(番組表受信予約、おまかせタフ録りを含む)。
- 地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデル、地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデルは、200件まで予約できます(番組表受信予約、新番組おまかせ録画、シリーズ録画、おまかせ録画を含む)。
- パソコンを長時間使用した後に予約録画をする場合は、一度パソコンを再起動してから録画予約の設定をすることをおすすめします。
- スリープまでの時間は、5分以上に設定してください。
- 録画は、開始時刻より若干(2～6秒)遅れて開始される場合があります。
- 予約開始前に、パソコンを電源オフの状態から自動起動する設定にしているときは、予約開始時刻の10分前を過ぎてから電源オフの状態にすると自動起動できません。また、パソコンの電源を強制的に切った場合は、自動起動できません。
- 予約(録画、番組表受信)実行の直前に、パソコンの電源を入れたりスリープ状態から復帰すると、起動後にすぐ画面が暗くなる場合があります。その場合は、マウスなどを操作してください。画面が表示されます。
- 1か月以上先の予約をする場合は、電源を切った状態から自動起動しません。パソコンを省電力状態にしてください。
- 予約後は、電源コードを差したままにしておいてください。抜いてしまった場合は、一度、パソコンを起動して予約を確認してください。
- 放送時間が連続した複数の番組を録画予約する場合、次のようになります。
録画開始時: 録画開始処理のため、番組開始から若干(最大5秒)遅れて録画が開始されます。
録画終了時: 最初の録画は番組終了時刻の15秒前に終了します。
- 「繰り返し予約」を「する(時間指定)」に変更すると、番組の延長などによる放送時間の開始/終了の変更には追従しません。放送時間の開始/終了に追従する予約にするには、番組表から予約しなおしてください。
- 「時間指定予約」で予約した場合、番組の延長などによる放送時間の開始/終了の変更には追従しません。

- 録画予約するとき、自動的に録画に必要な空き容量の確認がおこなわれます。予約を入れた後、大量のデータを保存するなどして、ハードディスクの空き容量が不足すると、予約していた録画ができなくなることがあります。インターネットから音声や動画などの容量の大きなファイルをダウンロードしたときなどは、特にご注意ください。

予約の実行について

予約実行の5分前になると、次のような画面が表示されます。



このときサインインユーザーを切り換えたりすると、予約が実行できなくなります。

■ 省電力状態または電源が切れている状態のときは

予約時間の約8分から5分前にパソコンが自動的に起動します。

- 予約視聴の場合
テレビの映像が表示され音声が出力されます。予約していた番組が終わると、スリープ状態に移行するという内容のメッセージが表示されます。パソコンを続けて使うときは「キャンセル」をクリックしてください。「すぐに移行」を選ぶか60秒経過すると、自動的にスリープ状態に移行します。
- 予約録画や番組表の自動受信の場合
パソコンの画面に何も表示されず音声も出力されない状態で、予約録画や番組表の自動受信が実行されます。これを「ナイトモード」(p.133)と呼びます。終了するとそのままスリープ状態に移行します。

ポイント

- SmartVisionを手動操作で起動してテレビを視聴しているときは、予約終了時刻になってもスリープ状態に移行するメッセージは表示されません。
- 予約による起動や、予約終了後の動作は設定を変更することができます(p.134)。

PART 4

録画・予約 する

ナイトモードについて

画面と音声をオフにした状態で予約録画ができるナイトモードについて説明します。

ナイトモードについて

このパソコンでは、電源を切ったり省電力状態にしても、予約した時刻になるとパソコンが自動的に起動して予約を実行します。予約録画や番組表の受信でパソコンが自動的に起動したときは、画面に何も表示されず音声も出力されません。これを「ナイトモード」と呼びます。就寝中や外出中の録画に便利です。

画面消灯モードについて

ナイトモードとは別に、起動しているパソコンの画面と音声をオフにする機能があります。これを「画面消灯モード」と呼びます。録画番組を光ディスクにダビングしている場合など、パソコンの機能は使っていても特に操作する必要がないとき、画面と音声を一時的にオフにしておくことができます。

本体側面の明るさ調節つまみ/画面消灯ボタンを押すと、画面消灯モードとなり、本体側面の画面消灯ランプが青色に点灯します。もとに戻すときは、もう一度明るさ調節つまみ/画面消灯ボタンを押します。

ポイント

明るさ調節つまみ/画面消灯ボタンについては、『ユーザーズマニュアル』の「各部の名称」をご覧ください。

PART 4

録画・予約 する

予約実行前後の動作を設定する

予約録画、予約視聴、番組表の予約受信を実行するとき、省電力状態や電源を切った状態から起動したり、また予約実行後に省電力状態にしたり、電源を切ったりできます。

ここでは、テレビの予約録画でパソコンが自動的に起動する際の動作、および自動的に終了する際の動作についての設定方法を説明しています。

なお、ここでの設定によっては、手動でシャットダウンしたパソコンが自動起動して番組を録画した後、パソコンの電源が入ったままになったり、「スリープ」状態に移行するなど、意図しない動作をする可能性もあります。

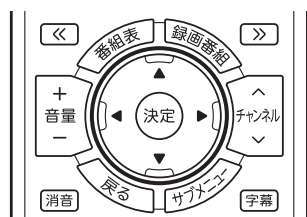
必要に応じて使いやすいように設定しなおしてください。

1 リモコンの[テレビメニュー]を押す



テレビメニューが表示されます。

2 「設定」の「予約録画の設定」を選んで[決定]を押す



「予約録画の設定」画面が表示されます。

3 「予約実行時の電源設定」を選んで[決定]を押す



「予約実行時の電源設定」画面が表示されます。

ポイント

- シャットダウンした状態からでも、番組の録画や番組表の受信などをするときは自動的に起動させることができます。
- 録画などが終了した後のパソコンの状態を設定できます。予約動作が終了した後、自動的にシャットダウンさせることもできます。

参照

省電力状態について

→「省電力機能」

▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93160010 で検索

4 予約録画、予約視聴、番組表の受信を開始する前の動作を設定する

この部分を選んで【決定】を押し、設定する項目を選んでもう一度【決定】を押します。



●「常此起動する」

予約録画、予約視聴、番組表の受信、いずれかの予定時間になると、パソコンが自動的に起動します。

●「シャットダウンの場合は起動しない」

省電力状態からパソコンが自動的に復帰して、予約録画、予約視聴、番組表の受信を実行します。この場合はパソコンの電源が切れていると予約は実行されません。

5 予約録画、予約視聴、番組表の受信終了時の動作を設定する

① この部分を選んで【決定】を押し、設定する項目を選んでもう一度【決定】を押す

●「何もしない」

予約や番組表受信終了後、パソコンの電源が入ったままとなります。

●「スリープ状態に移行する」

予約や番組表受信終了後、自動的にスリープ状態になります。

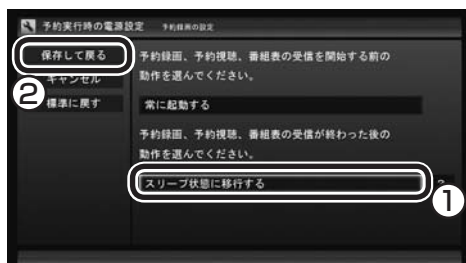
●「休止状態に移行する」

予約や番組表受信終了後に、自動的に休止状態になります。

●「電源を切る(シャットダウン)」

予約や番組表受信終了後に、自動的にシャットダウンします。

② 「保存して戻る」を選んで【決定】を押す



これで、設定した動作をするようになります。

！チェック

SmartVisionの予約動作でパソコンが自動的に起動し自動で電源が切れた場合、パソコンは手順5で設定された状態(スリープ、シャットダウンなど)となります。このため、次に電源を入れたとき、予約動作の前とは異なる状態から起動する場合があります。

！チェック

●「電源を切る(シャットダウン)」を選んだ場合は、設定変更後に録画予約などをおこなうための、「自動サインイン」の設定をしてください。

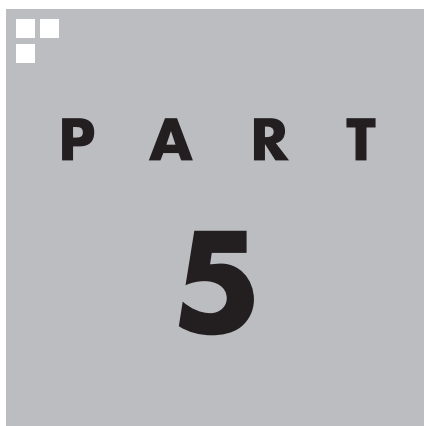
●「電源を切る(シャットダウン)」に設定している場合は、予約実行時に複数のユーザーがサインインした状態にならないようにしてください。複数のユーザーがサインインしている状態になると、以降の予約が実行されません。

●「電源を切る(シャットダウン)」に設定すると、ほかのアプリケーションでの作成中のデータがあった場合、保存していなかったデータは失われてしまいますので、注意してください。

●電源を切った状態から予約や番組表の受信を実行できるのは、「自動サインイン」で設定されたユーザーのみです。
自動サインインの設定については、PDFマニュアル『テレビを楽しむ本 活用編』の「自動サインインの設定をする」をご覧ください。

！ポイント

予約録画、番組表予約受信終了の時点でテレビを見ている場合や、もともとテレビを見ているときに予約視聴が開始された場合は、そのままテレビを利用できます。



再生する

録画した番組を再生しましょう。録画された番組は番組名の一覧から選んで再生できます。だから「見たい番組がどこにあるのかわからない」なんてことにはなりません。また、途中まで録画された放送中の番組をはじめから再生する「追っかけ再生」といった便利な機能も使ってみましょう。

あなたがテレビ放送などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。



PART 5

再生する

録画した番組を再生する

録画した番組は、番組名から選んで再生できるので、「見たい番組がどこにあるのかわからない」なんてことにはなりません。

再生の方法

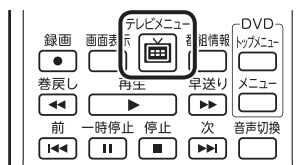
録画した番組を再生してみましょう。テレビメニューの録画番組一覧には、録画した番組名が日付順に並んでいるので、見たい番組を見つけるのも簡単です。

なお、ご購入時の状態では、シリーズものの番組が1つにまとめて表示されます。まとめられた番組には番組名の右側に「まとめ表示」と表示されます。

「まとめ表示」されていない番組と、「まとめ表示」されている番組(シリーズものの番組)では、再生の手順が異なります。

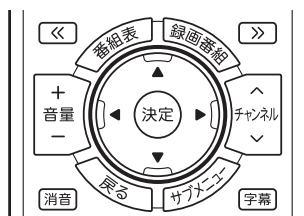
■「まとめ表示」されていない番組を再生する

1 リモコンの[テレビメニュー]を押す



テレビメニューが表示されます。

2 「録画番組一覧」の「通常 録画フォルダー 1」を選んで[決定]を押す



「録画番組一覧」画面が表示されます。



ポイント

- 【録画番組】を押して、「録画番組一覧」画面を表示させることもできます。
- 録画した番組の名前は、録画したときの状況によって、次のようになります。
 - ・番組表データがある場合：番組情報の番組名になります
 - ・番組表データがない場合：「番組名なし」になります
- 番組のサムネイル画像に表示されるマークの意味は以下のとおりです。
 - ・「未」：まだ一度も再生していない番組
 - ・「新」：「新番組おまかせ録画」(p.109)または「おまかせタフ録り」(p.114)で録画された新番組
 - ・「お」：「おまかせ録画」(p.103)または「おまかせタフ録り」(p.114)で録画された番組
- 「録画フォルダー 1」以外に保存されている番組を再生するときは、それぞれの録画フォルダーを選んでください。
- 短時間(1～3秒程度)だけ録画した番組は正しく再生できないことがあります。この場合は、再生しても映像が表示されず、画面は黒いままとなります。

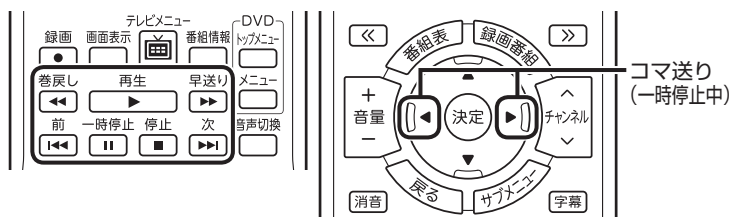
3 番組を選んで【決定】を押す

- ①ここで録画番組の保存された録画フォルダーを選ぶことができます。
- ②リモコンの【◀】【▶】でジャンルを絞り込んで表示できます。
- ③再生したい番組を選びます。



再生が始まります。

再生中は、普通のビデオと同じように、一時停止、早送り、巻き戻し、コマ送り(一時停止中)、スキップの操作ができます。



ポイント

- 早送り、巻き戻しは4段階で切り換えることができます。
- 一時停止を解除するときは【再生】を押します。

4 再生を終了するときは、【停止】を押す



「録画番組一覧」に戻ります。

次に同じ番組を再生するときは、停止した場所から再生されます。

●テレビを見る画面に戻る

「録画番組一覧」画面から、テレビを見る画面に戻るには、【戻る】を押してください。

■「まとめ表示」されている番組を再生する

まとめて表示されているシリーズものの番組は、次の手順で再生してください。

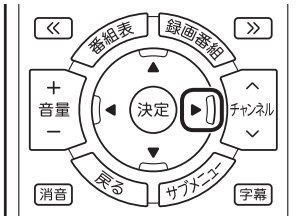
1 「まとめ表示」されていない番組を再生する」(p.138)の手順1～手順2をおこなう

「録画番組一覧」画面が表示されます。

ポイント

サブメニューの「最初から再生」を選ぶと、番組の最初から再生できます。

2 「まとめ表示」されている番組を選び、【矢印】の右ボタンを押す



まとめて表示されていたシリーズ番組の一覧が表示されます。

3 再生したい番組を選んで【決定】を押す



再生が始まります。

再生中の操作については、「「まとめ表示」されていない番組を再生する」の手順3～手順4(p.139)をご覧ください。

ポイント

シリーズ番組の一覧を閉じて録画番組一覧に戻るときは、【矢印】の左ボタンを押してください。

ポイント

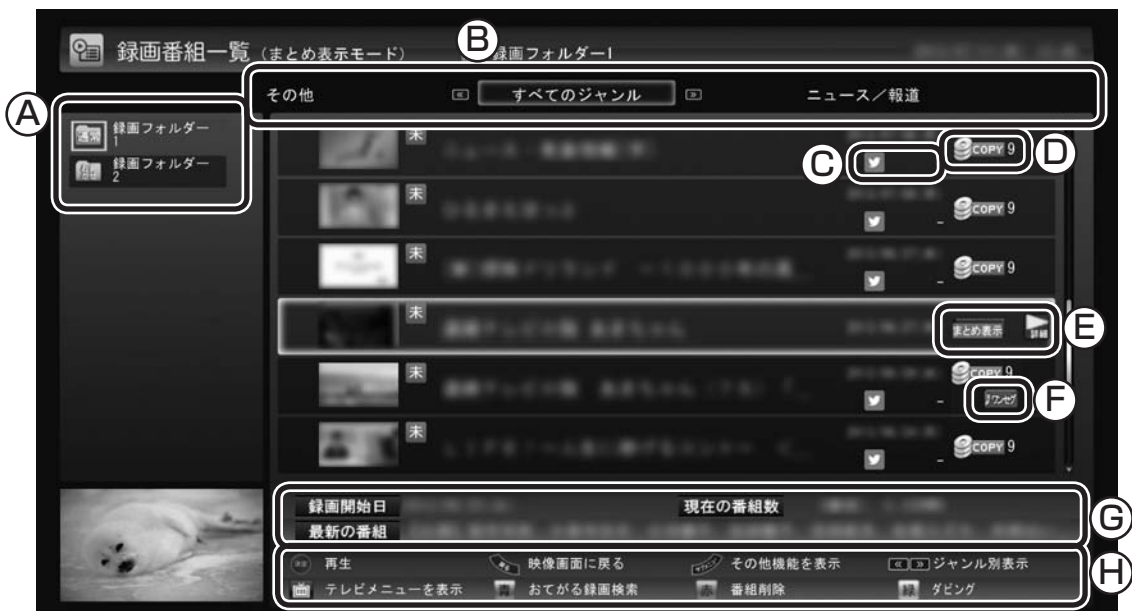
「まとめ表示」された番組を選んで、シリーズものの番組をまとめて削除することができます。また、まとめて光ディスクに保存したり、携帯電話に転送したり、ホームネットワークに接続されたメディアサーバーに転送することもできます。

「まとめ表示」と「個別表示」を切り換える

ご購入時の状態では、シリーズものの番組はまとめて表示されるように設定されています(まとめ表示)。シリーズものの番組を「まとめ表示」せず、すべての番組を一覧で表示(個別表示)することもできます。

- 「まとめ表示」のとき
【サブメニュー】を押して表示されるメニューで、「個別表示にする」を選んで【決定】を押します。
「個別表示」に切り換わり、すべての番組が一覧で表示されます。
- 「個別表示」のとき
【サブメニュー】を押して表示されるメニューで、「まとめ表示にする」を選んで【決定】を押します。
「まとめ表示」に切り換わり、シリーズものの番組がまとめて表示されます。

録画番組一覧の使い方



- ① 録画フォルダー
録画番組が保存された録画フォルダーを選ぶことができます。
- ② 番組のジャンル
リモコンの【<<】>>】を押してジャンルを選び、表示される番組を絞り込むことができます。
- ③ ツイートの数
ツイッターアイコンの右側に、この番組と同時に保存されたツイートの数が表示されます。ツイッターを活用した「つぶやきプラス」の機能については、PDFマニュアル『テレビを楽しむ本 活用編』の「つぶやきプラスを活用する」をご覧ください。
- ④ コピー制御アイコン
録画した番組を光ディスクなどに保存する際のコピー制御の方式がアイコンで表示されます。アイコンの右側には、コピーできる回数が表示されます。コピー制御については、PDFマニュアル『テレビを楽しむ本 活用編』の「ダビング10とは」をご覧ください。
- ⑤ まとめ表示アイコン
「まとめ表示」されているシリーズものの番組に、このアイコンが表示されます。リモコ

ンの【矢印】の右ボタンを押すと、まとめ表示されていたシリーズ番組の一覧が表示されます。(p.139)

- ⑥ 外でもVIDEOアイコン
携帯電話用の「外でもVIDEO」のデータが作成されている番組にこのアイコン(「ワンセグ」または「SD画質」)が表示されます。外でもVIDEOについては、PDFマニュアル『テレビを楽しむ本 活用編』の「録画番組を携帯電話で楽しむ(外でもVIDEO)」をご覧ください。
- ⑦ 番組情報
録画番組一覧で選んだ番組の情報が表示されます。リモコンの【番組情報】を押すと、詳しい情報が表示されます。
- ⑧ ガイダンス領域
「再生」や「ダビング」など、録画番組一覧で使う機能が表示されます。それぞれの機能に対応するリモコンのボタンを押して、その機能を使用することができます。ガイダンス領域は録画番組一覧以外の画面にも表示されます。表示されるボタンは画面によって異なります。

地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルでは

録画に使えるハードディスクの容量が少なくなってくると、おまかせ録画フォルダーのアイコンに矢印が表示されたり、録画フォルダーのアイコンが赤くなるなど、録画フォルダーのアイコンが変化してお知らせします。詳しくは、「おまかせ録画フォルダーの番組の自動削除について」(p.150)および「録画用の容量が少なくなったときは」(p.150)をご覧ください。

オートチャプター機能(「チャプタースキップ」と「見たいところ再生」)

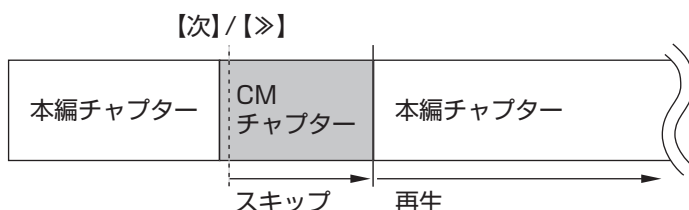
オートチャプターとは、番組を録画するときに、番組の本編と本編以外を検出して自動的にチャプターを作る機能です。この機能で作られたチャプターの情報を利用して、録画番組を再生するときに、視聴したいチャプターだけ連続して再生することができます。再生などの操作をしたとき、チャプターの情報や再生している位置が画面右下に表示されます。番組の長さを表すバーを区切っている線がチャプターマークの位置です。

※番組構成によっては、本編と本編以外を正しく検出できない場合や、チャプターが作られない場合があります。

■ チャプタースキップ

リモコンの【前】【次】、または【<】【>】で次の操作ができます。

- 再生中のチャプターをスキップして本編の続きを再生する
CMが始まったとき、【次】または【>】を押すと、CMチャプターがスキップされて本編の続きが再生されます。



- 再生中のチャプターの先頭に移動する
【前】または【<】を押します。
- ひとつ前のチャプターの先頭に移動する
【前】または【<】を2回続けて押します。
- お好みのチャプターの先頭に移動する
ボタンを連続して押すことで、前後お好みのチャプターの先頭に移動できます。

■ 「見たいところ再生」を有効にする

「見たいところ再生」は、オートチャプター機能で作ったチャプターの情報を使って、録画番組を再生するときに、番組の本編チャプターだけを連続して再生する機能です。

ご購入時の状態では、この機能が無効になっています。「見たいところ再生」機能を使うときは、次の操作で有効にしてください。

- 1 **テレビの映像が表示されているとき、【サブメニュー】を押す**
サブメニューが表示されます。

📌 ポイント

- チャプターとは、録画した番組を区切ったひとかたまりのシーンのことです。チャプターの始点(シーンの先頭部分)をチャプターマークと呼びます。
- 手でチャプターマークを追加することもできます。(p.143)
- オートチャプター機能で自動的に追加されるチャプターマークは黒い線で表示されます。手で追加したチャプターマークは赤い線で表示されます。オートチャプター機能で追加されたチャプターマークと同じ位置に手でチャプターマークを追加したときは、下半分が黒で上半分が赤い線となります。
- 番組を編集するとき、チャプターの情報を活用することができます。(p.193)

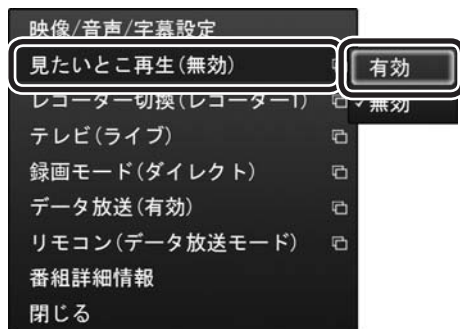
📌 ポイント

チャプタースキップ操作直後に逆方向のボタンを押すと、スキップ直前の再生位置に戻すことができます。

📌 ポイント

- 番組の本編と本編の間に、一瞬、本編以外のチャプターが表示されることがあります。
- 番組構成によっては、オートチャプター機能で本編と本編以外を正しく検出できないことがあります。このような場合は「見たいところ再生」で本編以外の部分が再生されたり、本編の一部がスキップされることがあります。

2 「見たいところ再生(無効)」-「有効」を選んで【決定】を押す



「見たいところ再生」が有効になります。一度有効にすれば、ほかの番組を再生するときも、「見たいところ再生」で再生されます。無効にするときは、手順2で「無効」を選んで【決定】を押してください。

！チェック

簡易編集機能を使って編集した番組は、本編チャプターとCMチャプターの区別がされません。「見たいところ再生」機能を有効にしても、すべてのチャプターが再生されます。

👉ポイント

「見たいところ再生」が有効になっているときでも、本編チャプターを再生中に【次】または【>】を押した場合は、CMチャプターの先頭に移動します(CMチャプターは自動でスキップされません)。

■ 手動でチャプターマークを追加する(マイチャプター)

■ チャプターマークを追加するときは

オートチャプター機能で自動的に作られるチャプターのほかに、手動でチャプターマークを追加することができます。お気に入りの場面にチャプターマークを追加しておけば、チャプタースキップ機能ですばやくそこから再生することができます。

1 録画した番組を再生する(p.138)

2 チャプターマークを追加したい場面で【一時停止】を押す

3 【青】を押す

その場面にチャプターマークが追加されます。画面右下の番組の長さを表すバーにチャプターマークを示す線が追加され、そこに旗のアイコンが表示されます。

👉ポイント

- チャプターマークを追加する場面の近く(前後約0.6秒の範囲内)に、すでにチャプターマークがあったときは、既存のチャプターマークを削除して新しいチャプターマークに統合してよいかどうか確認の画面が表示されます。問題なければ【はい】を選んで【決定】を押してください。
- CMチャプターの始点および終点にあるチャプターマークには、CMチャプターの区切りとしての情報が含まれています。これらの近くに新しいチャプターマークを追加したときは、そこにCMチャプターの区切りの情報が引き継がれます。
- 操作パネルの🚩をクリックして、チャプターマークを追加することもできます。

■ チャプターマークを削除するときは

- 1 録画した番組を再生し、【一時停止】を押す
- 2 【前】または【次】を押してチャプタースキップし、チャプターマークを削除したい場面を表示させる

チャプターマークが表示されていることをご確認ください。

- 3 【赤】を押す

その場面のチャプターマークが削除されます。



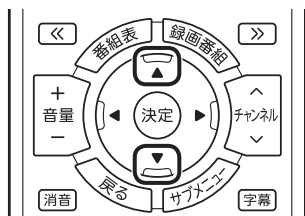
【前】と【次】の代わりに、【<<】と【>>】を押してチャプタースキップすることもできます。



操作パネルのをクリックして、チャプターマークを削除することもできます。

きこえる変速再生

「きこえる変速再生」を使うと、録画番組を音声付きで、速くまたはゆっくり再生できます。たとえば、「お急ぎモード」でニュース番組を短時間で視聴したり、「じっくりモード」でゆっくり言葉を聞き取りながら、外国語映画を視聴したりする際に便利です。



●お急ぎモード

通常の再生スピード(1倍)で再生しているときに、【矢印】の上ボタンを押します。ボタンを押すたびに、再生のスピードが5段階(1.2倍→1.4倍→1.6倍→1.8倍→2.0倍)で速くなります。再生のスピードを遅くする場合は、【矢印】の下ボタンを押します。

●じっくりモード

通常の再生スピード(1倍)で再生しているときに、【矢印】の下ボタンを押します。ボタンを押すたびに、再生のスピードが3段階(0.9倍→0.7倍→0.5倍)で遅くなります。再生のスピードを速くする場合は、【矢印】の上ボタンを押します。

●チェック

- きこえる変速再生中は、データ放送を利用できません。通常の再生スピード(1倍)まで戻してからご利用ください。
- 早送りや巻き戻し、一時停止などの操作をおこなっても、「きこえる変速再生」機能は解除されません。
- 「きこえる変速再生」で再生している番組を停止して、再度、同じ番組を再生したときは通常のスピードで再生されます。

PART 5

再生する

追っかけ再生する

録画予約したドラマが途中まで放送されたところに帰宅。でも録画が終わるまで待っている必要はありません。「追っかけ再生」で、録画中の番組を最初から見ることができます。

追っかけ再生って何？

追っかけ再生は、番組を録画しながら、同時に再生できる機能です。録画予約した番組なら、その番組が途中まで放送されていても、はじめから再生することができます。早送りで「追っかけ」れば、リアルタイムの放送に追いつくこともできます。

ポイント

追っかけ再生していた番組の録画が終了しても、そのままテレビを見ることができます。

リアルタイムの
テレビ放送



予約録画開始



番組終了

追っかけ
再生中



録画中の番組を
再生開始



早送り



番組終了

途中から見始めても、リアルタイムの放送に追いつけます。

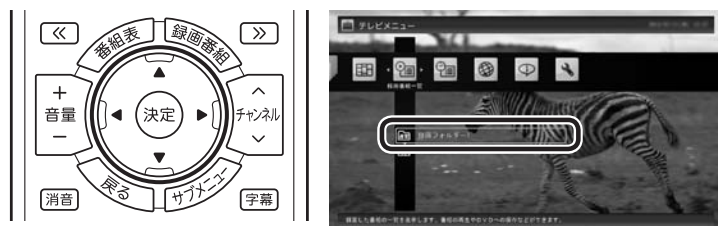
再生する

録画中の番組を再生する(追っかけ再生)

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「録画番組一覧」の「通常 録画フォルダー 1」を選んで【決定】を押す



「録画番組一覧」画面が表示されます。

3 録画中の番組を選んで【決定】を押す



① ここで録画番組の保存された録画フォルダーを選ぶことができます。

② リモコンの【<<】【>>】でジャンルを絞り込んで表示できます。

③ 赤い●の表示された録画中の番組を選びます。

追っかけ再生が始まります。

追っかけ再生中に一時停止や巻き戻しなどの操作をしても、録画は中断されずに続行します。【停止】を押すと再生が終了し、次に再生するときは停止した場所から始まります。

ポイント

●【録画番組】を押して、「録画番組一覧」画面を表示させることもできます。

●録画した番組の名前は、録画したときの状況によって、次のようになります。

- ・番組表データがある場合：番組情報の番組名になります
- ・番組表データがない場合：「番組名なし」になります

●「録画フォルダー 1」以外に保存されている番組を再生するときは、それぞれの録画フォルダーを選んでください。

チェック

タイムシフトモードでの操作(p.56)とは異なり、【停止】を押しても録画は継続します。

PART 5

再生する

おまかせ録画した番組を再生する (地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデル・ 地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデルのみ)

おまかせ録画で録画した番組は、そのほかの録画番組とは保存されるフォルダーなどが異なります。

また、録画番組が一定の容量以上になると、ハードディスクの空き容量にかかわらず、古い番組から順番に削除されます。

「おまかせ録画」は地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルおよび地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデルの機能です。地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルをお使いの方は、次の説明をご覧ください。

・「おまかせタフ録りした番組を再生する(地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルのみ)」(p.149)

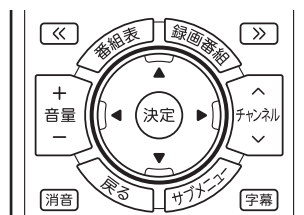
おまかせ録画した番組を再生する

おまかせ録画で録画した番組は、おてがる予約などで録画した番組とは別の、「おまかせ録画フォルダー 2」に保存されます。

1 リモコンの[テレビメニュー]を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「録画番組一覧」の「録画フォルダー 2」を選んで[決定]を押す



おまかせ録画で録画した番組が表示されます。

これから先は、ほかの録画番組を再生する手順と同じです。

詳しくは、このPARTの「録画した番組を再生する」(p.138)をご覧ください。

■ おまかせ録画をするときのご注意

おまかせ録画の条件に一致する番組が予約されるのは、次のタイミングです。

・おまかせ録画(優先度高): 放送の7日前

・おまかせ録画(優先度普通・低): 放送の2日前

これより前に同じ時間帯の別の番組が予約されたときは、おまかせ録画は実行されません。

ポイント

おまかせ録画した番組が見つからないときは、PART10の「録画フォルダーに録画した番組が見あたらない」(p.218)をご覧ください。

■ おまかせ録画の属性を解除する

おまかせ録画した番組には、ほかの録画番組と区別するために「おまかせ属性」が付き、**お**のマークが表示されます。必要に応じておまかせ属性を解除して、このマークを消すことができます。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「録画番組一覧」の「**録画** 録画フォルダー 2」を選んで【決定】を押す

おまかせ録画で録画した番組が表示されます。

3 おまかせ属性を解除したい番組を選んで【サブメニュー】を押す

サブメニューが表示されます。

4 「おまかせ属性の解除」を選んで【決定】を押す

5 「この番組」を選んで【決定】を押す

6 解除を確認する画面で「はい」を選んで【決定】を押す

おの表示が消えます。

■ おまかせ録画フォルダーにある番組の自動削除について

「おまかせ録画フォルダー」にある番組は、容量が指定されたサイズ以上になると古い順に削除されます。残しておきたい番組があるときは、別の録画フォルダーに移動してください。番組の移動については、PART8の「録画した番組を整理する」(p.183)をご覧ください。

ポイント

手順5で「すべての番組」を選んで、「おまかせ録画フォルダー」内のすべての番組のおまかせ属性を解除することもできます。

参 照

「おまかせ録画フォルダー」の容量について→オンラインヘルプの「設定」-「録画/再生/予約」-「おまかせ録画」

PART 5

再生する

おまかせタフ録りした番組を再生する (地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルのみ)

おまかせタフ録りで録画した番組(新番組を除く)は、そのほかの録画番組とは保存されるフォルダーなどが異なります。

また、録画番組が一定の容量以上になると、ハードディスクの空き容量にかかわらず、古い番組から順番に削除されます。

おまかせタフ録りで録画した番組を再生する

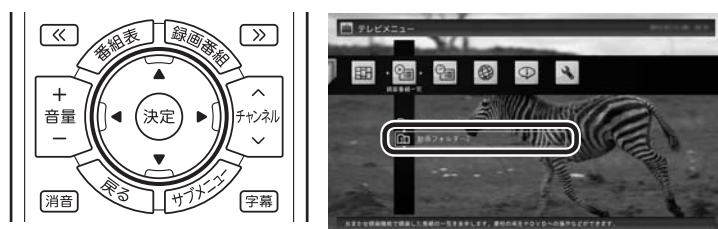
おまかせタフ録りで録画した番組(新番組を除く)は、おてがる予約などで録画した番組とは別の、「おまかせ録画フォルダー 2」に保存されます。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「録画番組一覧」の「録画フォルダー 2」を選んで【決定】を押す

おまかせ録画で録画した番組が表示されます。



これから先は、ほかの録画番組を再生する手順と同じです。
詳しくは、このPARTの「録画した番組を再生する」(p.138)をご覧ください。

ポイント

おまかせタフ録り(ジャンル)で録画された新番組は、おてがる予約などと同様、「録画フォルダー 1」に保存されます。

ポイント

- おまかせタフ録りで録画した番組が見つからないときは、PART10の「録画フォルダーに録画した番組が見あたらない」(p.218)をご覧ください。
- リモコンの【番組情報】を押すと番組情報が表示されます。おまかせタフ録りで録画した番組の番組情報では、自動予約するとき検索に使われたキーワードやジャンルがハイライト表示されます。

■ おまかせタフ録りした番組の自動削除

■ おまかせ録画フォルダーの番組の自動削除について

おまかせタフ録りでは、同時に最大4つの番組が自動録画されます。テレビ番組の録画データはサイズが大きいため、録画の状況によっては、パソコンのハードディスクがいっぱいになってしまうことも考えられます。

このため、SmartVisionには、録画番組の保存に使用できるハードディスクの容量がいっぱいになると、おまかせ録画フォルダーの番組を古い順に自動削除する機能があります。自動削除が始まると、録画番組一覧のおまかせ録画フォルダーのアイコンが次のように変化してお知らせします。



自動削除の開始を示すアイコン
(青い矢印が表示されます)

さらに録画された番組が増え、おまかせ録画フォルダーの容量が指定されたサイズを下回ると、おまかせ録画フォルダーのアイコンは次のように変化してお知らせします。



自動削除のサイクルが短くなっていることを示す
アイコン(赤い矢印が表示されます)

この状態になると、録画されたおまかせタフ録りの番組(新番組を除く)が、録画されてさほど時間がたたないうちに削除されてしまう可能性があります。

おまかせ録画フォルダー以外の録画フォルダーの番組は自動削除されないため、残したい番組は別の録画フォルダーに移動(p.186)してください。

また、見終わった番組は削除(p.156)して、おまかせ録画フォルダーの容量を確保してください。

■ 録画用の容量が少なくなったときは

おてがる録画などで録画した番組は自動削除されません。このため、手動で削除したり移動したりしない限り、ハードディスク上でのサイズはどんどん大きくなります。

録画番組を保存するための容量が指定されたサイズを下回ると、録画フォルダーやおまかせ録画フォルダーのアイコンが次のように変化してお知らせします。



録画用の残り容量が少ないことを示すアイコン
(フォルダが赤くなります)

できるだけはやく不要な番組を削除(p.156)して、録画用の容量を確保してください。

ポイント

通常の状態では、おまかせ録画フォルダーには、おまかせタフ録りで録画された番組のうち、新番組を除く番組が保存されます。

参照

「おまかせ録画フォルダー」の容量について→オンラインヘルプの「設定」-「録画/再生/予約」-「おまかせ録画」

PART 5

再生する

おてがる録画検索する

おまかせ録画やおまかせタフ録りに登録されたキーワードで、録画番組を検索することができます。

おてがる録画検索って何？

「おてがる録画検索」は、おまかせ録画やおまかせタフ録りに登録されたキーワードで、録画番組を検索する機能です。
録画番組一覧に番組がたくさん並んでいても、出演者の名前や番組のタイトルがキーワード登録されていれば大丈夫。お気に入りの番組が見つからないなんてことはありません。

ポイント

マウス専用モードでは、検索用のキーワードを追加して登録することもできます。(p.152)

おてがる録画検索で録画番組を探す

ここでは「おまかせ録画フォルダー 2」に録画されている番組を探す操作を例に説明します。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「録画番組一覧」の「録画フォルダー 2」を選んで【決定】を押す

おまかせ録画で録画した番組が表示されます。

3 リモコンの【青】を押す

登録されているキーワードが表示されます。

4 キーワードを選んで【決定】を押す



検索された録画番組が一覧表示されます。番組を選んで再生することもできます。

ポイント

この画面では、録画番組の削除や光ディスクへの保存などはできません。

おてがる録画検索用のキーワードを追加する

マウス専用モードで、おてがる録画検索用のキーワードを追加することができます。

1 テレビを表示して、マウスを動かす

画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 「ノーマル」ボタンをクリック



画面が切り換わり、マウス操作専用モード(ノーマルモード)が表示されます。

3 (録画番組一覧)をクリック



録画番組一覧が表示されます。

4 「おてがる録画検索」をクリックして、表示されたメニューで「追加と削除」をクリック

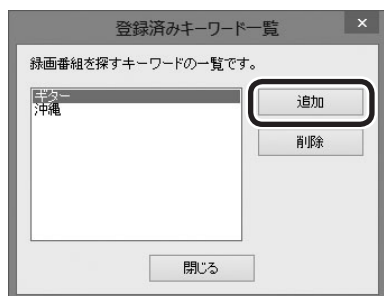


「登録済みキーワード一覧」が表示されます。

ポイント

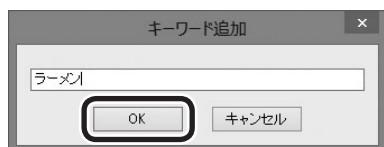
操作パネルのボタン表示は、状態によって異なります。「ノーマル」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

5 「追加」をクリック



「キーワード追加」が表示されます。

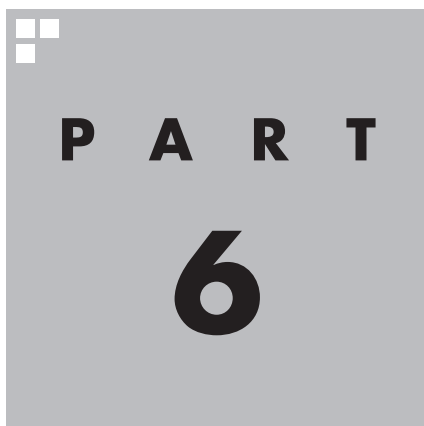
6 キーボードでキーワードを入力し、「OK」をクリック



「キーワード一覧」にキーワードが追加されます。必要に応じて手順5～6を繰り返し、キーワードを追加してください。

7 「閉じる」をクリック

録画番組一覧に戻ります。これでキーワードの追加は完了です。



削除する

視聴済みで、もう必要のない番組はこまめに削除して、ハードディスクの容量が不足しないように注意しましょう。

あなたがテレビ放送などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

PART 6

削除する

録画した番組を削除する

不要になった録画番組を削除する手順を説明します。

録画データはファイルサイズが大きいので、必要のない録画番組は削除しましょう。

ここでは、番組をひとつずつ削除する方法と、複数の番組をまとめて削除する方法を説明します。

ポイント

録画フォルダーを作って、録画番組を整理することができます。(p.184)

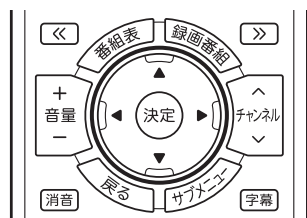
番組をひとつずつ削除する

1 リモコンの[テレビメニュー]を押す



テレビメニューが表示されます。

2 「録画番組一覧」で、削除したい録画番組が保存されている録画フォルダーを選んで[決定]を押す



「録画番組一覧」画面が表示されます。

3 削除したい番組を選ぶ

- ① 番組を選んで【赤】を押す
- ② 表示されたメニューで「この番組を削除」を選んで【決定】を押す



削除を確認する画面が表示されます。

4 「はい」を選んで【決定】を押す

これで、録画番組が削除されました。

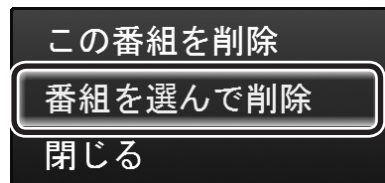
■ 複数の番組をまとめて削除する

1 「番組をひとつずつ削除する」(p.156)の手順1～手順2をおこなう

「録画番組一覧」画面が表示されます。

2 削除したい番組を選ぶ

- ① 番組を選んで【赤】を押す
- ② 表示されたメニューで「番組を選んで削除」を選んで【決定】を押す



複数の番組が選択できるようになります。

3 削除したい番組を選んで【決定】を押す



選んだ番組にはチェックマークが付きます。手順3を繰り返して、削除したい番組にチェックマークを付けてください。
チェックマークを外したいときは、もう一度その番組を選んで【決定】を押してください。

ポイント

「まとめ表示」(p.140)されているシリーズ番組を選ぶと、そのシリーズがすべて削除の対象になります。

チェック

まとめて削除できるのは同じ録画フォルダー内(またはメディアサーバー内)の番組のみです。複数のフォルダー(またはメディアサーバー)内の番組を選択してまとめて削除することはできません。

4 **【赤】を押す**

削除を確認する画面が表示されます。

5 **「はい」を選んで【決定】を押す**

これで、録画番組が削除されました。



録画番組を光ディスク (DVDなど)に保存する

このPARTでは、録画番組をDVDなどの光ディスクに保存する方法について説明しています。

あなたがテレビ放送などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

PART 7

録画番組を
光ディスク
(DVDなど)に
保存する

番組を保存できる光ディスク (DVDなど)について

録画した番組は、画質(保存形式)によって、保存できる光ディスクが異なります。

保存できる光ディスク

保存できる光ディスク	保存形式
BD-RE(1層/2層)/BD-RE XL(3層) ^{※1※2} BD-R(1層/2層)/BD-R XL(3層) ^{※1※2}	BDAV
CPRM対応のDVD-RAM (片面/両面)	AVCREC ^{※1※3} DVD-VR ^{※4}
CPRM対応のDVD-R (1層/2層)	AVCREC ^{※1※3} DVD-VR ^{※4}

- ※1: ブルーレイディスクドライブを搭載したモデルのみ保存できます。
 ※2: BD-R XL(3層)、およびBD-RE XL(3層)に保存できるのはブルーレイディスクドライブ(BDXL™対応)モデルのみです。
 ※3: 録画画質がダイレクトの場合は、自動的に録画モード変換されます。
 ※4: 自動的に録画モード変換されます。

光ディスクに書き込む形式について

書き込み形式	特徴
BDAV	デジタル放送をそのままブルーレイディスクに記録できる形式。
AVCREC	デジタル放送をハイビジョン画質のままDVDのディスクに保存できる形式。 DVD-VRよりも高画質で保存できます。
DVD-VR	アナログ放送用のDVDプレーヤなどで使われている形式。このパソコンでは、デジタル放送の番組をアナログ放送相当の画質に変換して保存します。 AVCRECよりも画質が落ちます。

！チェック

このパソコンで記録した光ディスクが、ほかのパソコンや一般のDVDプレーヤなどで再生できるかどうかは、パソコンやプレーヤの対応によって異なります。詳しくは、各パソコン、プレーヤのメーカーにお問い合わせください。

📖 参照

利用できる光ディスクについて
→「使用できるディスク」
▶⑧「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93070020 で検索

録画モードと光ディスクに保存できる時間のめやす

■ ブルーレイディスクに保存する場合(BD-R、BD-RE)

書き込み形式	録画モード(画質)	ビットレート	保存時間(めやす)		
			1層	2層	3層 ^{※1}
BD-RE	ダイレクト: 地上デジタルハイビジョン 放送(HD)	約17Mbps	約3時間	約6時間	約12時間
	ダイレクト: 地上デジタル標準放送 (SD)	約8Mbps	約6時間30分	約13時間	約26時間
	ダイレクト: BS・110度CSデジタルハ イビジョン放送(HD)	約24Mbps	約2時間10分	約4時間20分	約8時間30分
	ダイレクト: BS・110度CSデジタル標 準放送(SD)	約11Mbps	約4時間40分	約9時間30分	約19時間
	ファイン(HD)	約8Mbps	約6時間30分	約13時間	約26時間
	ファインロング(HD)	約4Mbps	約13時間	約27時間	約54時間
	セミファインロング: 4・ダブル ^{※6} (HD)	約1.5Mbps	約34時間	約70時間	約141時間
	セミファインロング: ^{※2} シングル ^{※7} (HD)	約2.4Mbps	約22時間	約45時間	約92時間
	ロング(SD)	約2Mbps	約27時間	約55時間	約111時間
	スーパーロング(SD) ^{※3}	約1.2Mbps	約41時間	約79時間	約168時間
	1ディスクダビング	^{※4}	選択した番組がすべて保存できるように画質を自 動調整して保存します。 ^{※5}		

(HD)とはハイビジョンの解像度のことです。(SD)とは標準の解像度のことです。

※1:「3層」とは、BD-R XL(3層)およびBD-RE XL(3層)のことです。これらに保存できるのはブルーレイディスクドライブ(BDXL™対応)モデルのみです。

※2: 地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデルでは、セミファインロングで録画した番組を光ディスクに保存するとき、次のようになります。

・CPUによる画質変換対応モデル:最大解像度が1440×1080になります。

・CPUによる画質変換非対応モデル:「ロング」モード(標準解像度)に変換されます。

※3: スーパーロングに対応しているのは、地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルおよび地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルです。

※4: ブルーレイディスクの空き容量に合わせて、解像度をHDからSDに変換して保存します。

※5: 選択した番組の総録画時間が長すぎるときは、画質を変換してもすべての番組を光ディスクに保存できないことがあります。

※6:「4・ダブル」とは、地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルおよび地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルのことです。

※7:「シングル」とは、地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデルのことです。

■ CPRM対応のDVDに保存する場合(DVD-R、DVD-RAM)

書き込み形式	録画モード(画質)	ビットレート	保存時間(めやす)	
			1層	2層 ^{※2}
AVCREC ^{※1}	ファイン(HD)	約8Mbps	約1時間10分	約2時間10分
	ファインロング(HD)	約4Mbps	約2時間30分	約4時間40分
	セミファインロング: 4・ダブル ^{※10} (HD)	約1.5Mbps	約6時間30分	約12時間
	セミファインロング: ^{※3} シングル ^{※11} (HD)	約2.4Mbps	約4時間10分	約8時間
	ロング(SD)	約2Mbps	約5時間	約9時間30分
	スーパーロング(SD) ^{※4}	約1.2Mbps	約7時間30分	約14時間30分
	1ディスクダビング	※5	選択した番組がすべて保存できるように画質を自動調整して保存します。 ^{※6}	
DVD-VR ^{※9} (VRモード)	高画質(SD)	約7.5Mbps VBR	DVD-R: 約1時間20分 DVD-RAM: 約1時間10分	約2時間20分
	標準画質(SD)	約4Mbps VBR	DVD-R: 約2時間30分 DVD-RAM: 約2時間20分	約4時間40分
	長時間(SD) ^{※7}	約2Mbps VBR	約5時間	約9時間
	1ディスクダビング	※8	選択した番組がすべて保存できるように画質を自動調整して保存します。 ^{※6}	

(HD)とはハイビジョンの解像度のことです。(SD)とは標準の解像度のことです。

※1: AVCRECで保存できるのはブルーレイディスクドライブを搭載しているモデルのみです。

※2: 2層のディスクはDVD-Rのみです。DVD-RAMは1層のみです。

※3: 地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデルでは、セミファインロングで録画した番組を光ディスクに保存するとき、次のようになります。

・CPUによる画質変換対応モデル: 最大解像度が1440×1080になります。

・CPUによる画質変換非対応モデル: 「ロング」モード(標準解像度)に変換されます。

※4: スーパーロングに対応しているのは、地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルおよび地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルです。

※5: DVDの空き容量に合わせて、解像度をHDからSDに変換して保存します。

※6: 選択した番組の総録画時間が長すぎるときは、画質を変換してもすべての番組を光ディスクに保存できないことがあります。

※7: 番組によっては、一部が大幅に低下した画質で保存されることがあります。

※8: ディスク1枚(片面/1層)あたり3時間以上保存すると、番組によっては、一部が大幅に低下した画質で保存されることがあります。

※9: DVD-VR形式で保存した場合は字幕放送は記録されません。再生時に字幕を表示することはできません。

※10: 「4・ダブル」とは、地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルおよび地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルのことです。

※11: 「シングル」とは、地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデルのことです。

■ 保存される情報について

●ブルーレイディスクに保存する場合(BD-R、BD-RE)

	音声(マルチ音声)	字幕	データ放送の データ情報	映像(マルチ ビュー)
ダイレクト	あらかじめハードディスクに2つの音声記録されているときは、2つの音声を保存します。再生時には音声を切り換えることができます。	字幕は保存されます。再生時に字幕の表示・非表示の切り換えができます。	データ放送の情報は保存しません。	複数の映像は保存しません。
ファイン				
ファイン ロング	1つの音声を保存します。			
セミファイン ロング				
ロング				
スーパー※ ロング				
1ディスク ダビング				

●CPRM対応のDVDに保存する場合(DVD-R、DVD-RAM)

	音声(マルチ音声)	字幕	データ放送の データ情報	映像 (マルチビュー)
ファイン	あらかじめハードディスクに2つの音声記録されているときは、2つの音声を保存します。再生時には音声を切り換えることができます。	字幕は保存されます。再生時に字幕の表示・非表示の切り換えができます。	データ放送の情報は保存しません。	複数の映像は保存しません。
ファイン				
ファイン ロング	1つの音声を保存します。			
セミファイン ロング				
ロング				
スーパー※ ロング				
1ディスク ダビング (AVCREC)				
高画質				
標準画質				
長時間				
1ディスク ダビング (DVD-VR)		字幕は保存 しません。		

※：スーパーロングに対応しているのは、地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルおよび地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルです。

光ディスクのフォーマットとファイナライズについて

SmartVisionの光ディスクのフォーマットとファイナライズ動作については、次のとおりとなります。

●DVD-R

録画番組を書き込む前に自動的にフォーマットをおこないます。フォーマットされていないDVD-Rをご用意ください。

また、録画番組書き込み後に自動的にファイナライズします。SmartVisionの番組を保存したDVD-Rには、追記をすることはできません。

●DVD-RAM、BD-R、BD-RE

自動的にフォーマットしません。フォーマットされていない場合、録画番組を保存する前にあらかじめフォーマットする必要があります。SmartVisionで番組を保存した光ディスクに追記することができます。

PART 7

録画番組を
光ディスク
(DVDなど)に
保存する

番組を光ディスクに保存するための準備

光ディスクに保存するときの録画モード変換や、CPRMアップデート、および光ディスクのフォーマットについて説明します。

光ディスクに保存するときの録画モードの変換について

録画モード「ダイレクト」で録画した番組は、そのままの画質でCPRM対応のDVD-RAMやDVD-Rに保存することができません。光ディスクに保存するとき、自動的に画質が変換されます。

「ダイレクト」以外の録画モードで録画した番組は、光ディスクに書き込む形式としてAVCRECを選択することで、画質を変換せずにDVD-RAMやDVD-Rに保存できます。

録画モード(画質)はあらかじめ手動で変換しておくことができます。操作についてはPART8の「録画モード変換をする」(p.180)をご覧ください。

録画モードについて詳しくは、PART4の「録画モードについて」(p.80)を、光ディスクへの保存時間などについてはこのPARTの「録画モードと光ディスクに保存できる時間のめやす」(p.161)をご覧ください。

CPRMのアップデートをする

CPRMとは、DVDなどの記録メディアで使われる、著作権を保護する技術です。

CPRM対応のDVD-RAM/DVD-Rに保存するには、ソフトのアップデートが必要です。

CPRMアップデートをおこなっていない状態でDVD-RAM/DVD-Rに保存する操作をおこなうと、「コピー制御された番組をDVDや携帯電話に保存するためには、SmartVisionのアップデートが必要です。」というメッセージが表示されます。

画面の説明を読んで、SmartVisionのアップデートをおこなってください。

ポイント

CPRMアップデートをおこなうには、インターネットに接続する必要があります。

光ディスクをフォーマットする

DVD-Rをお使いの場合は、このページの操作は必要ありません。

DVD-RAMおよびBD-RE、BD-Rに番組を保存する場合は、必要に応じて、フォーマットする必要があります。

※ フォーマット済みで販売されている光ディスクもあります。また、すでに番組を保存した光ディスクの空き容量に番組を追加して保存する場合は、フォーマットしないでください。

ここでは、Windows 8の機能を使って光ディスクをフォーマットする手順について説明します。

番組を光ディスクに保存する操作の途中で、光ディスクをフォーマットすることもできます。(p.169)

なお、DVDスーパーマルチドライブモデルは、Windowsの機能でのフォーマットのみとなります。

■ Windows 8の機能で光ディスクをフォーマットする

この操作はマウスでおこないます。

- 1 DVD/CDドライブに光ディスクをセットする
- 2 スタート画面の左下にある[PC]をクリック
アプリ画面が表示されます。
- 3 「PC」をクリック
- 4 DVD/CDドライブのアイコンを右クリックして、表示されたメニューから「フォーマット」をクリック



「フォーマット」画面が表示されます。

！チェック

フォーマットすると、光ディスクに保存されていたデータはすべて削除されます。

5 「ファイル システム」の右の▼をクリックして、表示されたメニューからフォーマット形式を選んでクリック



フォーマット形式には次の種類があります。必要に応じて選んでください。

光ディスクの種類	書き込み形式※	フォーマット形式
BD-RE	BDAV	UDF2.50
BD-R	BDAV	UDF2.60
DVD-RAM	DVD-VR	UDF2.00または UDF2.01
	AVCREC	UDF2.50

※ 書き込み形式について詳しくは、「光ディスクに書き込む形式について」(p.160)をご覧ください。

6 「開始」をクリック

確認のメッセージが表示されるので、「OK」をクリックすると、フォーマットが始まります。

PART 7

録画番組を 光ディスク (DVDなど)に 保存する

番組を光ディスクに保存する

デジタル放送番組をDVDやブルーレイディスクに保存する方法について説明します。

※ブルーレイディスク(BD-RE、BD-R)に保存できるのは、ブルーレイディスクドライブモデルのみです。

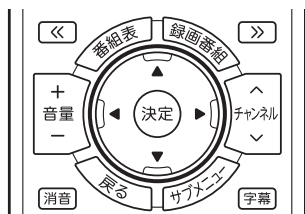
1 DVD/CDドライブに光ディスクをセットする

2 リモコンの[テレビメニュー]を押す



テレビメニューが表示されます。

3 「録画番組一覧」の「通常 録画フォルダー1」を選んで[決定]を押す



録画番組一覧が表示されます。光ディスクに保存する番組のコピー制御(コピーできるかどうか)を確認してください。



チェック

光ディスクをセットしたときに、別のウィンドウが表示されたり、CyberLink PowerDVD、CyberLink PowerDVD AVC、CyberLink PowerDVD BDが起動した場合は、表示されたウィンドウを閉じてください。

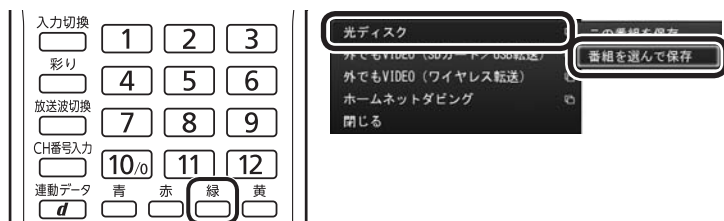
ポイント

- **MOVE** が表示された番組を光ディスクに保存すると、パソコン上の番組のデータは消去されます。
- オートチャプター機能(p.142)や簡易編集(p.189)で作られたチャプターの情報も、録画番組と一緒に光ディスクに保存されます。

ポイント

コピー制御については、PDFマニュアル『テレビを楽しむ本 活用編』の「ダビング10とは」をご覧ください。

4 保存する番組を選んで[緑]を押し、「光ディスク」-「番組を選んで保存」を押す



複数の番組が選択できるようになります。

5 保存する番組を選んで[決定]を押す



選んだ番組にはチェックマークが付きます。手順5を繰り返して、保存したい番組にチェックマークを付けてください。チェックマークを外したいときは、もう一度その番組を選んで[決定]を押してください。

6 [緑]を押す

保存する番組の一覧が表示されます。

7 「光ディスク」にセットした光ディスクが表示されていることを確認する

DVD-RやDVD-RAMをセットしたときは、書き込み形式(AVC-RECまたはVRモード)を選択できます。

「光ディスク」を選んで[決定]を押し、書き込み形式を選んでください。

※ 書き込み形式について詳しくは、「光ディスクに書き込む形式について」(p.160)をご覧ください。



光ディスクのフォーマット

ブルーレイディスクドライブを搭載したモデルの場合は、ここで「フォーマット」を選んで[決定]を押し、光ディスクをフォーマットすることもできます。

表示された画面でフォーマットの「形式」を確認し、「実行」を選んで[決定]を押してください。

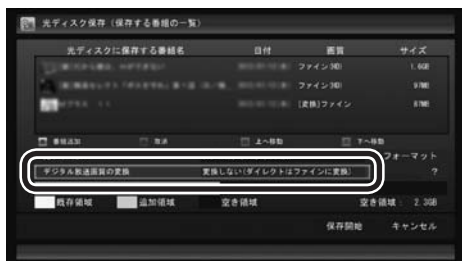
ポイント

「まとめ表示」(p.140)されているシリーズ番組を選ぶと、そのシリーズがすべて保存の対象になります。

チェック

- 選択したフォーマットで使用できない光ディスクがセットされている場合は、メッセージが表示されます。その場合は、光ディスクを交換するか、「フォーマット」を選んで、光ディスクをフォーマットしてください。
- BD-Rをセットしたときは、「既存領域(すでに書き込み済みの領域)」が表示されません。
- DVD-RやBD-Rに書き込みをしているとき、サブメニューで「光ディスク作成の中止」を選んで書き込みを中止すると、その光ディスクは使用できなくなります。
- 書き込みに失敗したDVD-RやBD-Rは使用できなくなります。

8 「デジタル放送画質の変換」を選んで[決定]を押し、表示されたメニューから、光ディスクに保存する画質を選んで[決定]を押す



光ディスクに保存する画質について詳しくは「録画モードと光ディスクに保存できる時間のめやす」(p.161)をご覧ください。

光ディスクに保存する画質を変換するとき

- 地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルの場合
CPUによる画質変換に対応していないモデルは、番組を同時録画しているとき、光ディスクに保存するときの画質の変換(録画モード変換)が制限されることがあります。
機能の重複を示すメッセージが表示されたときは、それにしたがって優先する機能を選ぶか、他の機能の動作が終了するまでお待ちください。
- 地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデルの場合
CPUによる画質変換に対応していないモデルでは、デジタル放送画質の変換(録画モード変換)をするとき、次のことができません。
 - ・番組の視聴
 - ・番組の録画
 - ・番組表の受信

ポイント

- DVD-RAMディスクまたはDVD-RディスクにVRモードで保存するときは、画質(録画モード)が自動的に変換されます。変換する画質を選ぶこともできます。
- 地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデルの場合、セミファインロングで録画した番組は、ブルーレイディスクに保存するときやAVCREC形式でDVDに保存するとき、CPUによる画質変換に対応したモデルは解像度が1440×1080に、対応していないモデルはロングに、それぞれ変換されます。

チェック

映像フォーマット「480p」または「720p」の番組は、VRモードで保存できません。

9 光ディスクに書き込む順序を指定する

「保存する番組の一覧」の上から順に光ディスクに書き込まれます。必要に応じて書き込む順序を指定してください。

- ① 番組の一覧を選んで【決定】を押し、順序を変更したい番組を選ぶ
- ② リモコンの【緑】(上へ移動)または【黄】(下へ移動)を押す
- ③ 【決定】を押す



10 「保存開始」を選んで【決定】を押す



光ディスクへの書き込みが始まります。

11 書き込みが完了すると「光ディスクへの保存が完了しました。」と表示されるので、【決定】を押す

これで、保存が完了しました。

ポイント

特に指定しない場合は、手順5の画面でチェックマークを付けた順番に光ディスクに書き込まれます。

チェック

- 保存する番組を削除するときは、番組を選んで【赤】を押してください。
- 保存する番組を追加するときは、【青】を押して、手順5の画面に戻ってください。

チェック

下段に光ディスクの空き領域(容量)が表示されます。空き領域が不足しているときは、「保存開始」が表示されません。

ポイント

- ムーブされる番組(コピーの残り回数が1回の番組)が含まれているときは、ムーブされる番組およびその番組と同じグループの番組の一覧(ハードディスクから削除される番組の一覧)が表示されます。番組名を確認し、「開始」を選んで【決定】を押してください。
- コピーできる残り回数(ムーブ含む)を超えて番組を選んだときは、「書き込むことができません」というメッセージが表示されます。必要に応じて番組を選びなおしてください。同じ番組から録画モード変換した番組や編集した番組を複数選んだときは特にご注意ください。
詳しくは、「光ディスクに保存するときの注意」(p.172)をご覧ください。
- フルスクリーンモードでテレビの映像が表示されているときは、画面の左下に書き込みの進行状況が「%」で表示されます。リモコンの【画面表示】を押して、進行状況を非表示にすることもできます。

光ディスクに保存するときの注意

- CPUによる画質変換に対応したモデルで光ディスクに保存した番組は、同じ画質が設定されても次の1と2で異なって見えることがあります。
 1. ダイレクト以外の画質(ファイン/ファインロング/セミファインロング/ロング/スーパーロング)でハードディスクに録画し、そのまま光ディスクに保存した番組。
および、ダイレクトで録画した後、ハードディスク上で「録画モード変換」をおこなって光ディスクに保存した番組。
 2. 光ディスクに保存するとき、「デジタル放送画質の変換」で画質を変換した番組。
- 地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデルの、CPUによる画質変換に対応していないモデルでは、VR形式でDVDに書き込む場合および録画モード変換して光ディスクに書き込む場合は、書き込み中に映像表示できません。
- 録画時の電波の状況が悪いと、番組のデータに不備(データの異常や取りこぼしなど)がある状態で録画されてしまうことがあります。このような番組を光ディスクに保存するとき、「デジタル放送画質の変換」をおこなうと、画質の変換に失敗することがあります。
- 書き込み中にサブメニューから「光ディスク作成の中止」をおこなったDVD-Rディスクは、以後、使用できなくなります。
- 書き込みに失敗したDVD-Rディスクは、以後、使用できなくなります。
- 書き込み中はスリープ状態にできません。
- 光ディスクに保存した番組を再生するとき、番組名の一部が正しく表示されないことがあります。
- このパソコンは著作権保護技術AAC(S Advanced Access Content System)に対応しています。光ディスクに番組を保存するとき、AAC(Sのモジュール(AAC(Sキー)の更新を促すメッセージが表示されることがあります。「モジュールの更新が必要です」と表示されたときは、パソコンがインターネットに接続されていることを確認し、「はい」をクリックしてください。
- 録画番組に含まれるチャプターの情報も光ディスクに保存されます。保存できるチャプターの最大数は次のとおりです。
 - ・ブルーレイディスクまたはDVD(AVC-REC形式)の場合
1番組あたり:98チャプター
光ディスク1枚あたり:800チャプター
 - ・DVD(DVD-VR形式)の場合
1番組あたり:999チャプター
光ディスク1枚あたり:999チャプターこれを超えるチャプターの情報は、光ディスクには保存されません。
- 保存されたチャプターの合計が1000を超えているブルーレイディスクやAVC-REC形式のDVD-RAMには、ディスクの容量に空きがあっても、録画番組を追加して保存することができません。
- セミファインロング、ロング、スーパーロングの番組を光ディスクに保存すると、チャプターの位置が最大で約2秒前にずれることがあります。
SmartVisionで作成したチャプターと同じ位置で光ディスクに保存したいときは、ファインロングかファインで録画することをおすすめします。

ポイント

このパソコン以外の機器で作成された光ディスクには、1000を超えるチャプターが保存されていることがあります。

- 光ディスク1枚に保存できる番組の最大数は次のとおりです。
 - ・ブルーレイディスクまたはDVD(AVCREC形式)の場合: 200番組
 - ・DVD(DVD-VR形式)の場合: 99番組
 ディスクの容量に空きがあっても、これを超える数の番組は保存できません。
- 光ディスクに番組を保存するとき、番組の始まりまたは終わりの部分の映像や音声は、わずかに短くなることがあります。
- 録画モード変換した番組や簡易編集した番組の、コピーできる回数(光ディスクに保存できる回数)は、もとの番組とまとめて管理されています。ご注意ください。コピーできる回数(コピー制御)については、PDFマニュアル『テレビを楽しむ本 活用編』の「ダビング10とは」をご覧ください。

光ディスクに保存した番組を再生する

光ディスクに保存した番組は、動画再生ソフトのCyberLink PowerDVD、CyberLink PowerDVD AVC、CyberLink PowerDVD BDで再生できます。

■「CyberLink PowerDVD」について

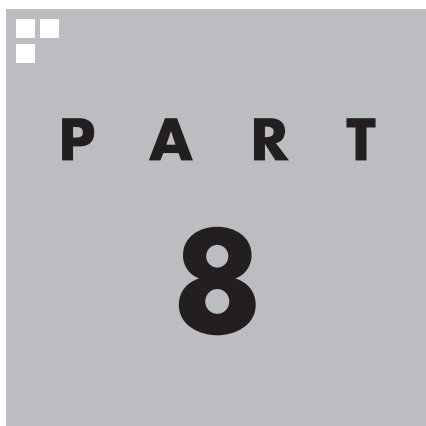
「CyberLink PowerDVD」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94162322 で検索)をご覧ください。

■「CyberLink PowerDVD AVC」について

「CyberLink PowerDVD AVC」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94162301 で検索)をご覧ください。

■「CyberLink PowerDVD BD」について

「CyberLink PowerDVD BD」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94162302 で検索)をご覧ください。



一歩すすんだテレビ操作

SmartVisionには、マウス操作や専用モードや録画モードの変換など、テレビをより便利に使うための機能があります。ここでは、これらの機能について説明しています。

また、このPARTの「テレビをもっと楽しむための機能」(p.194)では、この本で説明しきれないSmartVisionの豊富な機能についてご紹介しています。これらの機能の詳しい説明は、PDFマニュアル『テレビを楽しむ本 活用編』をご覧ください。

PDFマニュアル『テレビを楽しむ本 活用編』は、121ware.comからダウンロードできます。詳しくは、「SmartVision」(🔍「ソフト&サポートナビゲーター」▶ 検索番号 94192220 で検索)をご覧ください。

インターネットエクスプローラに次のURLを入力して、ダウンロード用のページを表示させることもできます。

(http://121ware.com/e-manual/m/nx/ac/201401/etv/v1/mst/853_811064_356_a.pdf)

あなたがテレビ放送などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

PART 8

一歩すすんだ テレビ操作

マウス操作専用モード

マウス操作専用モードでは、一歩すすんだおすすめ機能が使えるようになります。

フルスクリーンモードからマウス操作専用モードに切り換える

今までの操作はおもにリモコンを使ってフルスクリーンモードでおこなっていましたが、マウス操作専用モードに切り換えると、録画した番組の整理や映像編集など、より多くの機能が使えるようになります。

1 テレビを表示して、マウスを動かす

画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 「ノーマル」ボタンをクリック



画面が切り換わり、マウス操作専用モード(ノーマルモード)が表示されます。

リモコンで使うフルスクリーンモードに切り換えるには、「画面モード切替タブ」のいちばん左のタブ(フルスクリーン)をクリックします。

フルスクリーンモード



「ノーマル」ボタンをクリック

マウス操作専用モード



「フルスクリーン」タブをクリック

「ノーマル」ボタンの両隣にある「スリム」ボタンや「アドバンスト」ボタンをクリックして、用途の異なるマウス操作専用モードを表示させることもできます。

それぞれのマウス操作専用モードについては、このPARTの「マウス操作専用モードのモードを切り換える」(p.178)をご覧ください。

ポイント

操作パネルのボタン表示は、状態によって異なります。

「ノーマル」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

ポイント

各モードの画面について詳しくは、PDFマニュアル『テレビを楽しむ本 活用編』の「各モードの画面説明」をご覧ください。

マウス操作専用モードを直接起動する

■ デスクトップのタスク バーから起動する

デスクトップのタスク バーからは、SmartVisionの起動や、最近の録画番組の再生ができます。

1 デスクトップのタスク バーのSmartVisionアイコンを右クリック



2 表示されたメニューを目的に合わせてクリック



マウス操作専用モードで録画番組が再生されます

マウス操作専用モードでテレビ画面が表示されます

「最近の録画番組」の表示について

●次の機能で録画された番組名の前には、「(おまかせ)」と表示されます。

- ・ おまかせ録画
- ・ 新番組おまかせ録画
- ・ おまかせタフ録り

●録画中の番組には赤い●アイコンが表示されます。

参照

デスクトップのタスク バーのSmartVisionアイコンが表示されなくなったときは→PART10の「タスク バーのSmartVisionアイコンが表示されない」(p.227)

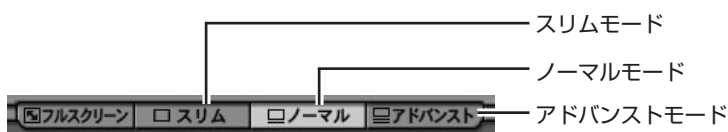
チェック

●「最近の録画番組」に表示された番組を、「一覧にピン留めする」に設定すると、その番組が削除されてもリストに表示が残ったり、録画が終了しても録画中を示す赤い●アイコンが表示されたまになります。

●デスクトップのタスク バーの何もないところを右クリックし、表示されたメニューで「プロパティ」をクリックすると、「タスク バーのプロパティ」が表示されます。この画面の「ジャンプリスト」タブに表示される「ジャンプリストに表示する最近使った項目の数」で、「最近の録画番組」に表示される番組の数を変更できます。ご購入時は表示数が10に設定されています。最大で13番組が表示できます。

マウス操作専用モードのモードを切り換える

マウス操作専用モードには、スリムモード/ノーマルモード/アドバンスモードがあります。
「画面モード切換タブ」をクリックして、目的に合ったモードに切り換えることができます。



モード	説明
スリムモード	チャンネル切り換えや音量の調節など、視聴に必要な最小限の機能のモードです。インターネットを利用しながらテレビを視聴するとき便利です。
ノーマルモード	テレビ視聴の基本的な操作ができます。
アドバンスモード	基本的な操作に加えて、録画した番組の簡易編集や番組の詳細情報の表示、データ放送の操作などができます。

各モードの画面について詳しくは、PDFマニュアル『テレビを楽しむ 活用編』の「各モードの画面説明」をご覧ください。

■ オンラインヘルプを表示する

マウス操作専用モードでの操作については、オンラインヘルプをご覧ください。

1 テレビを表示して、マウスを動かす

画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 「ノーマル」ボタンをクリック



画面が切り換わり、マウス操作専用モードが表示されます。

3 ? (オンラインヘルプ) をクリック



オンラインヘルプが起動します。

ポイント

- 画面右上の をクリックすると、マウス操作専用モードのまま最大化できます。
- スリムモードのときは、テレビの画面(SmartVision)をほかのウィンドウよりも常に手前に表示させることができます。この機能は、ご購入時には無効になっています。必要に応じて画面を右クリックし、表示されたメニューで「常に最前面に表示」をクリックして有効/無効を切り換えてください。なお、この機能はスリムモードのときのみ切り換えることができます。

ポイント

操作パネルのボタン表示は、状態によって異なります。「ノーマル」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

PART 8

一歩すすんだ テレビ操作

録画した番組のデータ量を減らす (録画モード変換)

録画モード変換をして、番組データの容量を減らすことができます。

録画モード変換について

録画した番組はとてもデータ量が多いため、ハードディスクに大きな空き容量が必要です。

録画モード変換することで、録画番組のデータの容量を減らし、ハードディスクの容量を節約することができます。

■ 録画モード変換をするときの注意

- 録画済み番組を録画モード変換するときは、録画した時間の半分から同じ程度の時間がかかります。
- 録画モード変換により、データ放送などの情報はなくなります。
- 録画モード変換中にパソコンのシャットダウンなどをおこなうと、そのとき録画していた番組は視聴できない(録画データが正常に作成されない)ことがあります。
- 録画モード変換した番組や簡易編集した番組の、コピーできる回数(光ディスクに保存したりほかの機器にダビングできる回数)は、もとの番組とまとめて管理されています。ご注意ください。コピーできる回数(コピー制御)については、PDFマニュアル『テレビを楽しむ本 活用編』の「ダビング10とは」をご覧ください。

地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルおよび地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルでは

同じ時間帯の番組を複数録画するときは、録画モード変換を含め、同時に使用する機能に一部制限があります。詳しくはPART4の「同時録画をおこなうときのご注意」(p.82)をご覧ください。

地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデルでは

- 録画モードが「ダイレクト」で録画された番組のみ録画モード変換ができます。録画モードが「ファイン」、「ファインロング」、「セミファインロング」、「ロング」の番組は録画モード変換できません。
- 録画モード変換中は、番組を視聴および録画することができません。また、番組を視聴および録画中は、録画モード変換をすることができません。
- 録画モード変換中は、番組表を受信することができません。

ポイント

録画モード変換の作業中にSmartVisionを終了しても、デスクトップの通知領域のSmartVisionアイコンがとに交互に変わり、変換作業が継続していることがわかります。このアイコンにマウスカーソルを合わせると、録画モード変換の進捗状況が確認できます。

録画モード変換をする

■ 録画済み番組を録画モード変換する

録画した番組を、録画モード変換する手順を説明します。

地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルおよび地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデル

同じ時間帯の番組を複数録画するときは、録画モード変換を含め、同時に使用する機能に一部制限があります。機能の重複を示すメッセージが表示されたときは、それにしたがって優先する機能を選ぶか、他の機能の動作が終了するまでお待ちください。詳しくはPART4の「同時録画をおこなうときの注意」(p.82)をご覧ください。

地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデル

録画モード変換を実行中は、録画ができません。録画モード変換の予測時間の間に、録画予約が入っている場合、画面に確認のメッセージが表示されます。メッセージを読んで、操作してください。

1 リモコンの[テレビメニュー]を押す

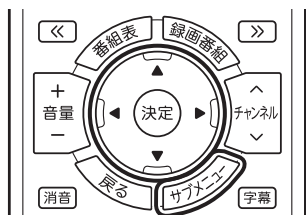
テレビメニューが表示されます。

2 「録画番組一覧」の「通常 録画フォルダー 1」を選んで[決定]を押す

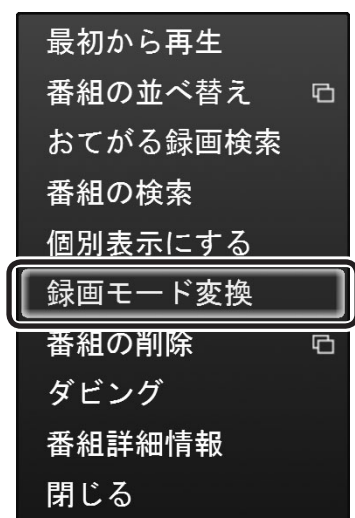


録画番組一覧が表示されます。

3 録画モード変換したい番組を選んで[サブメニュー]を押す



4 「録画モード変換」を選んで【決定】を押す



5 ほかに録画モード変換したい番組がある場合は、番組を選んで【決定】を押す



選んだ番組にはチェックマークが付きます。手順5を繰り返して、録画モード変換したい番組にチェックマークを付けてください。チェックマークを外したいときは、もう一度その番組を選んで【決定】を押してください。

6 【緑】を押す



「録画モード変換」画面が表示されます。

ポイント

- 変換中に【サブメニュー】を押して「録画モード変換の中止」を選ぶと、変換を途中で中止できます。
- フルスクリーンモードでテレビの映像が表示されているときは、画面の左下に変換の進行状況が「%」で表示されます。リモコンの【画面表示】を押して、進行状況を非表示にすることもできます。
- 録画モード変換するとき、同時にもとの番組を削除することができます。もとの番組を削除したいときは、手順7で「変換元の録画番組を削除する」を選んで【決定】押し、チェックマークを付けてください。録画番組のデータは容量が大きいので、必要に応じてもとの番組を削除することをおすすめします。

7 「変換後の画質」で録画モード(画質)を選び、「開始」を選んで[決定]を押す



録画モード変換が始まります。

8 変換が完了すると「録画モード変換が完了しました。」と表示されるので、[決定]を押す

これで、録画モード変換が完了しました。

チェック

- 「変換後の画質」で、録画された番組の録画モード(画質)と同じ画質や、より高い画質を選んで変換することはできません(録画モードについて詳しくはPART4の「録画モードについて」(p.80)をご覧ください)。
- 複数の録画番組を選んだときは、「変換後の画質」を個別に設定することができません。また、この場合、「変換後の画質」で選んだ録画モード(画質)が、もともになる録画データと同じだったり、より高い画質となる番組は変換されません。
- 録画モード変換中にSmartVisionを終了したりパソコンをスリープ状態にしても、録画モード変換は中断せず、動作を継続します。SmartVision以外に動作中のソフトがなければ、録画モード変換が終了した後、パソコンはスリープ状態になります。
- 録画モード変換中に映像表示をした場合、見ている番組によっては、映像がコマ落ちしたり微動して見えることがあります。

PART 8

一歩すすんだ テレビ操作

録画した番組を整理する

録画した番組は、番組ごとに録画フォルダーを分けて整理すると、後でさがしやすくなります。

ご購入時の録画フォルダー

ご購入時には、次の録画フォルダーが用意されています。

- ・  「通常」録画フォルダー 1
ご購入時の設定では、手動録画した番組やおてがる予約で録画した番組などが保存されます。
 - ・  「おまかせ」録画フォルダー 2
おまかせ録画やおまかせタフ録りで録画された番組が保存されます。「おまかせ」録画フォルダーに保存された番組の容量が指定されたサイズを超えると、「おまかせ」録画フォルダー内の番組が古い順に削除されます。
また、通常の予約録画をするとき、「おまかせ」録画フォルダーを保存先に指定することもできます。
- マウス操作専用モードの録画番組一覧で表示されたこれらの録画フォルダーを右クリックすると、情報(プロパティ)を確認したり、フォルダー名を変更することができます。
- 「通常」録画フォルダーを別のフォルダーに変更することができます。詳しくはオンラインヘルプの「設定」-「録画/再生/予約」-「録画/タイムシフト」をご覧ください。
- 「おまかせ」録画フォルダーを別のフォルダーに変更したり、最大保存容量を変更することができます。詳しくはオンラインヘルプの「設定」-「録画/再生/予約」-「おまかせ録画」をご覧ください。
- 録画番組の保存先に設定した外付けハードディスクが取り外されていたとき、予約録画された番組は、ご購入時に設定されていた保存先(録画フォルダー 1、録画フォルダー 2)に保存(代理録画)されます。このため、ご購入時に設定されていた録画フォルダー(録画フォルダー 1、録画フォルダー 2)はSmartVisionから削除しないでください。

ポイント

新番組おまかせ録画やおまかせタフ録り(ジャンル)の新番組絞り込み機能で自動的に録画された新番組は、「通常」の録画フォルダーに保存されます。

ポイント

「通常」録画フォルダーや「おまかせ」録画フォルダーとして設定されているフォルダーを、別のフォルダーに変更することもできます。この場合は、次の「録画フォルダーを作成する」をご覧ください。あらかじめ録画フォルダーを追加しておいてください。

ポイント

外付けハードディスクの使用については、PDFマニュアル『テレビを楽しむ本 活用編』をご覧ください。

録画フォルダーを作成する

CドライブやDドライブ、登録済みの外付けハードディスク内に、録画フォルダーを作成します。録画フォルダーは最大200個まで作成できます。

■ 録画フォルダーを新規作成する

1 テレビを表示して、マウスを動かす

画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 「ノーマル」ボタンをクリック



画面が切り換わり、マウス操作専用モード(ノーマルモード)が表示されます。

3 (録画番組一覧)をクリック



録画番組一覧が表示されます。

4 (追加)をクリックして表示されるメニューから、「録画フォルダーを新規作成」を選ぶ

新規録画フォルダー作成画面が表示されます。



ポイント

外付けハードディスクの使用については、PDFマニュアル『テレビを楽しむ本 活用編』をご覧ください。

ポイント

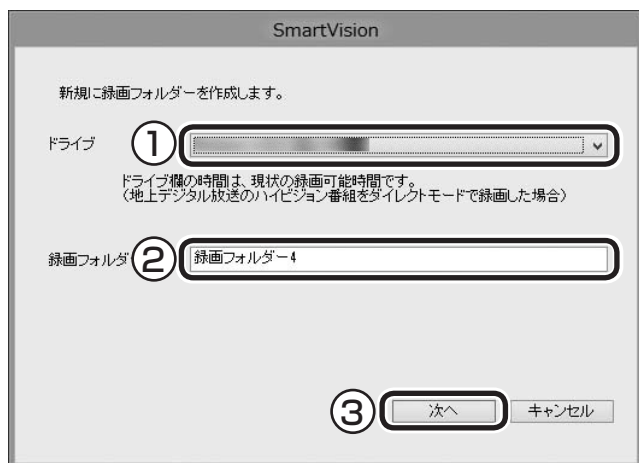
操作パネルのボタン表示は、状態によって異なります。「ノーマル」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

ポイント

録画フォルダーを右クリックして表示されるメニューで、録画フォルダーの情報(プロパティ)を変更したり、名前を変更することができます。そのフォルダーがパソコンのハードディスク上にあるのか、外付けハードディスク上にあるのかを確認することもできます。

5 録画フォルダーを作成する

- ① 録画フォルダーを作成したいハードディスクを選ぶ
外付けハードディスクを登録するときは、ここで登録したいハードディスクを選んでください。
- ② 必要に応じてフォルダ名を変更する
変更するときは、ここをマウスでクリックして、フォルダ名を入力しなおしてください。
- ③ 「次へ」をクリックする



作成完了画面が表示されます。

6 「閉じる」をクリック

これで録画フォルダーが作成されました。作成した録画フォルダーは、予約するとき選択できるようになります。

■ 既存のフォルダーを録画フォルダーとして追加する

1 「録画フォルダーを新規作成する」の手順1～手順3の操作をおこなう

録画番組一覧が表示されます。

2 「追加」をクリックし、表示されたメニューで「既存のフォルダーを参照」をクリック

フォルダー選択画面が表示されます。

3 追加するフォルダーを選択してクリック

4 「OK」をクリック

選択したフォルダーが「フォルダー」欄に追加されます。

録画した番組を移動する

録画した番組を別の録画フォルダーに移動します。
あらかじめ、移動先となる録画フォルダーを作っておいてください
(p.184)。

1 テレビを表示して、マウスを動かす

画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 「ノーマル」ボタンをクリック



画面が切り換わり、マウス操作専用モード(ノーマルモード)が表示されます。

3 (録画番組一覧)をクリック



録画番組一覧が表示されます。

4 移動したい番組をクリックし、移動先の録画フォルダーにドラッグ&ドロップする



番組を保存しているドライブ以外のドライブに移動する場合は、「番組の移動」画面が表示されます。「番組の移動が終了しました。」と表示されたら「OK」をクリックしてください。番組が移動し、もとの一覧から消えます。

これで、番組の移動ができました。

なお、移動先の録画フォルダーに外付けハードディスクの録画フォルダーを指定すると、外付けハードディスクへ番組を移動することができます。

ポイント

操作パネルのボタン表示は、状態によって異なります。

「ノーマル」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

チェック

- 複数の番組を移動したいときは、【Ctrl】を押したまま番組をクリックすると、複数の番組を選べます。
- 複数ユーザーでパソコンを使っている場合、ほかのユーザーが録画した番組データを選んで移動したときは、「他ユーザーの番組ですが、移動してもよろしいですか？」または「他ユーザーの番組が含まれていますが、移動してもよろしいですか？」と表示されます。「はい」をクリックすると、ほかのユーザーが録画した番組データも移動します。移動しない場合は、「いいえ」をクリックして、番組データを選びなおしてください。
- ほかのユーザーが録画した番組データを移動すると、そのユーザーからは番組データがどの録画フォルダーに移動されたのか、わからなくなります。
- ダビング中と録画モード変換中は録画番組を移動できません。

ポイント

- ご購入時の状態では録画した番組は、Cドライブ(SSDを搭載したモデルではDドライブ)に保存されます。
- この画面で、番組を選んで画面右上の「削除」(削除)をクリックすると番組を削除できます。
- 録画フォルダーを右クリックし、表示されたメニューで「プロパティ」をクリックすると、その録画フォルダーの情報が表示されます。「ハードディスク上のフォルダーの場所」などを確認することができます。

録画フォルダーを削除する

録画フォルダーを削除しても、データは残ります。

- 1 テレビを表示して、マウスを動かす
画面の左下に操作パネルが表示されます。

- 2 「ノーマル」ボタンをクリック



画面が切り換わり、マウス操作専用モード(ノーマルモード)が表示されます。

- 3 (録画番組一覧)をクリック



録画番組一覧が表示されます。

- 4 左の「フォルダー」内で削除したい録画フォルダーを選んで、
削除 (削除)をクリック



「フォルダー削除」の画面が表示されます。

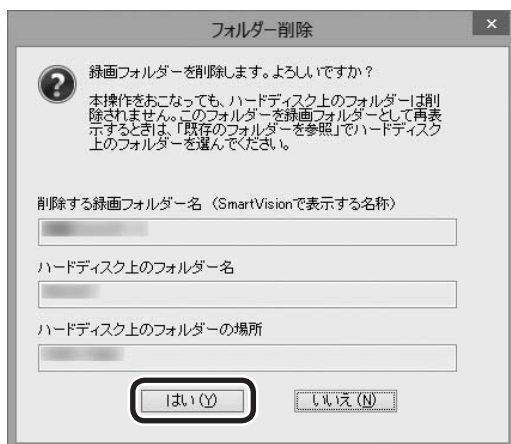
ポイント

操作パネルのボタン表示は、状態によって異なります。
「ノーマル」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

チェック

ご購入時に設定されていた録画フォルダー(録画フォルダー 1、録画フォルダー 2)は削除しないでください。

5 「はい」をクリック



これで、録画番組一覧の「フォルダー」から録画フォルダーが削除されました。

なお、この操作をおこなっても、ハードディスク上のフォルダーと録画番組は削除されません。これらのデータをハードディスクから削除するときは、「フォルダー削除」画面に表示された「ハードディスク上のフォルダー名」と「ハードディスク上のフォルダーの場所」を記録し、エクスプローラーで対象のフォルダーを削除してください。

ポイント

ここで削除したフォルダーを再び録画フォルダーとして追加するときは、「フォルダー削除」画面に表示される「ハードディスク上のフォルダー名」と「ハードディスク上のフォルダーの場所」の情報を記録しておき、「既存のフォルダーを録画フォルダーとして追加する」(p.185)の操作をおこなってください。

PART 8

一歩すすんだ テレビ操作

簡易編集機能を使う

簡易編集機能を使って、録画した番組のお気に入りの場面を残し、いない場面をカットすることができます。

簡易編集機能を使えば、もとの番組のデータはそのままに、お気に入りのシーンだけを残した番組のデータを作ることができます。

録画番組を簡易編集する

ここでは、基本的な簡易編集の流れを説明しています。
必要に応じて次の説明もご覧ください、SmartVisionの編集機能をより便利に使いこなしてください。

- 「より精密な編集をするときは」(p.192)
- 「登録していない場面も確認しながら編集する」(p.192)

1 テレビを表示して、マウスを動かす

画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 「アドバンスト」ボタンをクリック



画面が切り換わり、マウス操作専用モード(アドバンストモード)が表示されます。

3 (録画番組一覧)をクリック



録画番組一覧が表示されます。

ポイント

操作パネルのボタン表示は、状態によって異なります。
「アドバンスト」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

4 編集したい番組をクリックし、**簡易編集** (簡易編集)をクリック



「簡易編集」タブが表示されます。

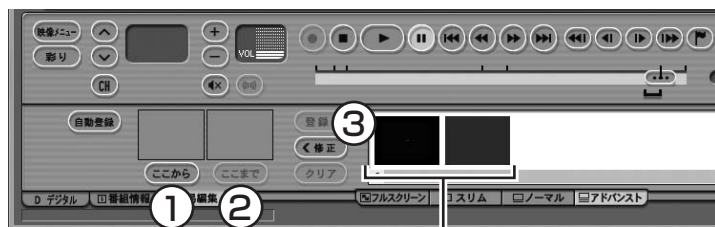
ポイント

編集したい番組を再生して、「簡易編集」タブをクリックしても同様です。

5 必要な場面を切り取って登録する

コントロールパネルのボタンをクリックしたり、プログレスバーをドラッグして、必要な場面を表示させて範囲を指定します。

- ①必要な場面の先頭を表示させて「ここから」をクリック
- ②必要な場面の終わりを表示させて「ここまで」をクリック
- ③「ここから」と「ここまで」を指定したら「登録」をクリック



登録された場面

①～③を繰り返して、必要な場面を登録します。

登録した場面の範囲(開始/終了)を指定しなおすときは、その場面をクリックして選び、「修正」をクリックしてください。「ここから」と「ここまで」をあらためて指定できるようになります。指定しなおした後、あらためて「登録」をクリックしてください。

なお、「ここから」や「ここまで」の上に表示された画像をダブルクリックすると、それぞれで指定した場面が一時停止した状態で表示されます。登録する場面の開始点と終了点を選びなおすときに便利です。

より高度な使い方について

切り取る場面を細かく指定したり、登録していない場面を一覧表示しながら編集することができます。

必要に応じて次の説明もご覧ください。

- 「より精密な編集をするときは」(p.192)
- 「登録していない場面も確認しながら編集する」(p.192)

必要な場面をすべて登録したら、手順6に進んでください。

ポイント

登録した場面を削除するときは、「削除」をクリックします。

チェック

- 同じ場面を複数回登録することはできません。すでに登録された場面と重なる場面を切り取っても、二重には登録されず、ひとつの場面としてまとめて登録されます。
- 登録した場面の順番を変更することはできません。
- 編集で切り取った場面の先頭には新しいチャプターマークが作られます。また、切り取った場面の中に、オートチャプター機能で作られたチャプターや、以前の編集で作られたチャプターが含まれているときは、それらのチャプターも引き継がれます。
- 録画番組を光ディスクに保存するときは、オートチャプター機能や編集で作られたチャプターの情報もあわせて保存されます。
- 編集した番組が数秒間しかないとき、その番組は正しく再生できません。再生しても映像が表示されず、画面は黒いままとなります。
- 編集した番組をホームネットワークで配信して再生すると、編集した部分の前後で、画面が一瞬黒くなったり映像が乱れたりすることがあります。
- 登録できる場面(「ここから」から「ここまで」の間)の最大数は300です。
- 編集した番組は、本編チャプターとCMチャプターの区別がされません。「見たいところ再生」機能を有効にしても、すべてのチャプターが再生されます。
- 時間指定予約による録画をしているときなど、録画中に放送局のチャンネルの数が変わる(増減する)ことがあります。録画した番組を編集するとき、チャンネルの数が変わるタイミングの前後5秒から10秒程度の範囲で登録する場面の微調整をおこなうと、画面に表示されている映像がちらつくことがあります。
- ハードディスクの空き容量が不足していると、簡易編集ができません。必要に応じて、不要な番組を削除して、ハードディスクの空き容量を増やしてください。

6 「保存」をクリック

編集した番組がもとの番組と同じ録画フォルダーに保存されます(もとの番組は編集前の状態で残ります)。「編集が完了しました。」と表示されたら、「閉じる」をクリックしてください。編集した状態で、光ディスクに保存したり(p.168)、携帯電話などの機器やメディアサーバーに転送することもできます。

なお、デジタル放送を編集した番組は、録画モード変換した番組と同様、もとの番組と同じグループとして扱われており、光ディスクや携帯電話、メディアサーバーにコピーできる回数がまとめて制御されています。

■ より精密な編集をするときは

再生しながら切り取る範囲を指定したり、プログレスバーを使って編集すると、切り取った場面に不要な場面が少しだけ入ってしまうことがあります。

「録画番組を簡易編集する」の手順5(p.191)で、切り取る場面の「ここから」や「ここまで」をより精密に指定したいときは、次のように操作してください。

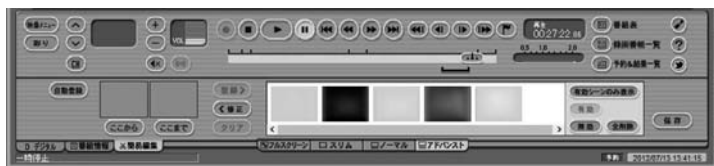
- ① 「ここから」または「ここまで」を登録したいタイミングで「一時停止」をクリック
- ② 次のいずれかの操作で、登録する位置を微調整する
 - ・ 1フレーム単位で調整: ◀ または ▶ をクリック
 - ・ 15フレーム単位で調整: ◀◀ または ▶▶ をクリック
- ③ 「ここから」または「ここまで」をクリック

■ 登録していない場面も確認しながら編集する

登録した場面とあわせて未登録の場面も一覧表示し、それぞれを確認しながら編集できます。

「録画番組を簡易編集する」の手順5(p.191)で、「全シーン表示」をクリックしてください。

「全シーン表示モード」に切り換わり、画面下段に登録した場面(有効な場面)および未登録の場面(無効な場面)が一覧で表示されます。



すべての場面*が表示されます。無効の場面は淡く表示されます。

- ・ 場面を登録する
場面をクリックして選び、「有効」をクリックしてください。
- ・ 場面无効にする
場面をクリックして選び、「無効」をクリックしてください。

※: 各チャプターの最初の映像が表示されます。オートチャプター機能で作成されたチャプター、手動で作成したチャプター、編集された番組に登録されていたチャプターが、いずれも個別の「場面」となります。

ポイント

- 携帯電話やスマートデバイスへの番組の転送(外でもVIDEO)や、メディアサーバーに関する操作(ホームネットワーク)については、PDFマニュアル「テレビを楽しむ本 活用編」をご覧ください。
- コピーできる回数(コピー制御)については、PDFマニュアル「テレビを楽しむ本 活用編」の「ダビング10とは」をご覧ください。

ポイント

編集している番組によっては、微調整用のボタン(◀◀, ◀, ▶, ▶▶)をクリックしたとき、1フレームまたは15フレームとは異なるフレーム数分、映像が進んだり戻ったりすることがあります。

ポイント

- 元の状態(有効シーンのみ表示モード)に戻すときは、もう一度「有効シーンのみ表示」をクリックしてください。
- オートチャプターの情報を使って場面を登録する「自動登録」の機能を使うと、自動的に「全シーン表示モード」に切り換わります。

オートチャプターの情報を使って編集する(自動登録)

オートチャプター機能(p.142)によって、番組を録画したとき自動的に番組の本編と本編以外が検出され、チャプターが作られています。

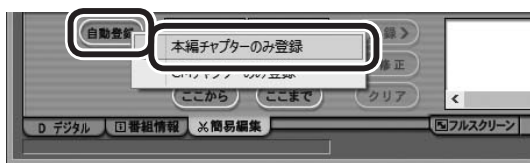
録画番組を簡易編集するとき、オートチャプターの情報を使って、本編チャプターのみ、または本編以外のチャプター(CMチャプター)のみを登録することができます。

ここでは本編チャプターのみを登録する手順を説明します。

1 「録画番組を簡易編集する」の手順1(p.189)から手順4までの操作をおこなう

「簡易編集」タブが表示されます。

2 「自動登録」-「本編チャプターのみ登録」をクリック



自動的に「全シーン表示モード」(p.192)に切り換わり、本編チャプターが登録されます。

本編以外のチャプターを登録したいときは、ここで「CMチャプターのみ登録」をクリックしてください。

3 「保存」をクリック

編集した番組が保存されます。

淡く表示された無効の場面は保存されません。

ポイント

- 「自動登録」をクリックすると、すでに登録された「ここから」や「ここまで」の情報が削除されます。これらの情報を削除してよいかどうか確認するメッセージが表示されたときは、状況に応じて「OK」または「キャンセル」をクリックしてください。
- 番組の最初または最後に放送されるCMは、本編以外のチャプター(CMチャプター)として検出されないことがあります。
- 本編チャプターがない番組や、本編以外のチャプター(CMチャプター)がない番組を自動登録するときは、その状況を報告するメッセージが表示されます。
- 「全シーン表示モード」を「有効シーンのみ表示モード」に切り換えるときは、「有効シーンのみ表示」をクリックしてください。
- 録画モード変換した番組や簡易編集した番組の、コピーできる回数(光ディスクに保存したりほかの機器にダビングできる回数)は、もとの番組とまとめて管理されています。ご注意ください。コピーできる回数(コピー制御)については、PDFマニュアル『テレビを楽しむ本 活用編』の「ダビング10とは」をご覧ください。

PART 8

一歩すすんだ テレビ操作

テレビをもっと楽しむための機能

ここではテレビをさらに楽しむための機能を紹介します。詳しい使い方や設定方法などは、PDFマニュアル『テレビを楽しむ本 活用編』をご覧ください。

PDFマニュアルについて

ここでご紹介している機能について詳しくは、PDFマニュアル『テレビを楽しむ本 活用編』をご覧ください。

PDFマニュアル『テレビを楽しむ本 活用編』は、121ware.comからダウンロードできます。詳しくは、「SmartVision」(🔍)「ソフト&サポートナビゲーター」▶ 検索番号 94192220 で検索)をご覧ください。

インターネットエクスプローラに次のURLを入力して、ダウンロード用のページを表示させることもできます。

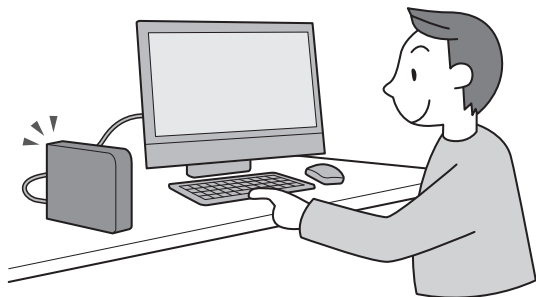
(http://121ware.com/e-manual/m/nx/ac/201401/etv/v1/mst/853_811064_356_a.pdf)

外付けハードディスクに番組を保存する

外付けハードディスクをパソコンに接続し、SmartVisionに登録すると、番組を外付けハードディスクへ直接録画できるようになります。

また、Cドライブに録画した番組を外付けハードディスクに移動することもできます。お気に入りの番組を整理するときや、Cドライブの空き容量を増やしたいときに便利です。

詳しくは、PDFマニュアル『テレビを楽しむ本 活用編』の「外付けハードディスクを利用する」をご覧ください。



🔍ポイント

- 市販の外付けハードディスクが必要です。
- パスワードが設定された外付けハードディスクには録画できないことがあります。

インターネットで情報を探す(ウェブ検索)

テレビ番組の出演者や主題歌などについて、インターネットで検索できます。検索サイトでキーワードを入力する必要はありません。マウスの操作だけで検索することができます。番組表や録画番組一覧で面白そうな番組を見つけたとき、テレビ放送や録画番組を見ていて気になる新人が出てきたとき、手軽に検索してみましょう。

詳しくは、PDFマニュアル『テレビを楽しむ本 活用編』の「番組の情報をインターネットで探す」をご覧ください。



ポイント

- 「ウェブ検索」機能を利用するには、インターネットに接続できる状態になっている必要があります。
- Internet Explorerが無効になっているときは、「ウェブ検索」機能が利用できません。

録画番組を携帯電話で楽しむ(外でもVIDEO)

パソコンで録画した番組を携帯電話などの機器に転送(ダビング)して、外出先で楽しむことができます。何度も見たいお気に入りの番組や、ゆっくり見ている時間がなくてどんどんたまってしまいう連続ドラマを、携帯電話に入れて持ち出しましょう。

詳しくは、PDFマニュアル『テレビを楽しむ本 活用編』の「録画番組を携帯電話で楽しむ(外でもVIDEO)」をご覧ください。



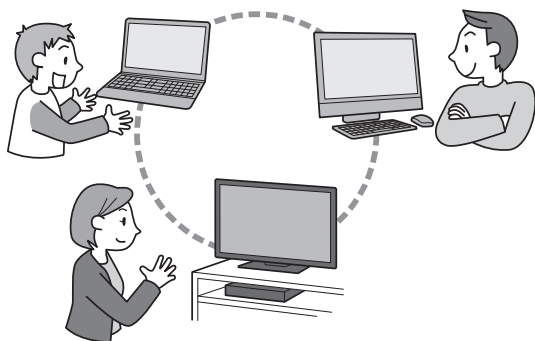
ポイント

転送先の機器によって転送方法などが異なります。

ホームネットワークを使ってテレビを楽しむ

このパソコンで録画した番組を、ホームネットワークを使って他の機器に転送(ダビング)したり、配信することができます。また、ホームネットワークに接続されたメディアサーバーに保存されている番組を、このパソコンで楽しむこともできます。

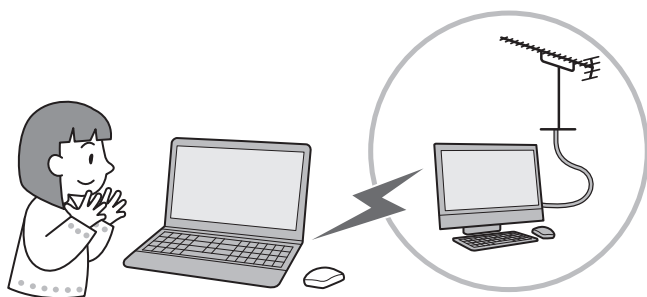
詳しくは、PDFマニュアル『テレビを楽しむ本 活用編』の「ホームネットワークを使って録画した番組を楽しむ」をご覧ください。



別のパソコンでテレビを楽しむ(SmartVision/PLAYER)

「SmartVision/PLAYER」は、このパソコンをメディアサーバーとして、テレビ機能がない別のパソコンでテレビ番組を楽しむためのソフトです。

詳しくは、PDFマニュアル『テレビを楽しむ本 活用編』の「SmartVision/PLAYERを使ってテレビを楽しむ」をご覧ください。



！チェック

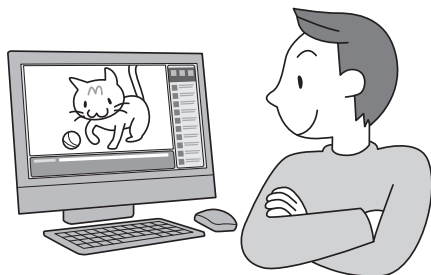
- このパソコンには、SmartVision/PLAYERが搭載されていません。
- SmartVision/PLAYERを搭載した別のパソコンが必要です。
- 番組を配信するためにはホームネットワークの準備が必要です。

テレビを見ながらツイッターを楽しむ(つぶやきプラス)

SmartVisionには、ツイッターを利用してテレビをより楽しめる「つぶやきプラス」機能があります。

視聴している番組のツイートを表示したり、裏番組に関連するツイートを表示することができます。また、録画した番組とともに保存されたつぶやきから、気になるシーンを検索することもできます。もちろん、番組についてツイートしたり、誰かのツイートをお気に入り登録するなど、ツイッターの基本的な機能も使えます。

詳しくは、PDFマニュアル『テレビを楽しむ本 活用編』の「つぶやきプラスを活用する」をご覧ください。



ポイント

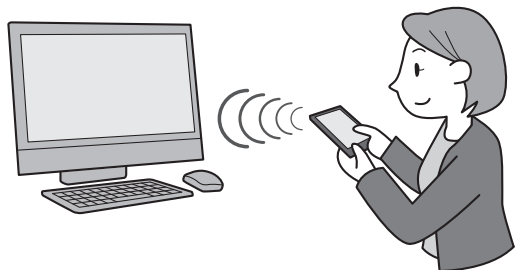
- 「つぶやきプラス」を利用するには、インターネットに接続できる状態になっている必要があります。
- ツイッターID(ツイッターのアカウント)が必要です。なお、ツイッターIDは「つぶやきプラス」を使って取得することもできます。
- 「つぶやきプラス」ではツイッターの「フォロー」の機能をサポートしていません。
- ツイッターを使って外出先などから録画予約する(リモート録画予約)こともできます。

スマートフォンでテレビを操作する(Smartリモコン)

スマートデバイス(スマートフォンやタブレット)に、テレビ(SmartVision)を操作するためのスマートデバイスアプリ「Smartリモコン」をインストールして、テレビ用のリモコンとして使用することができます。

リモコン機能だけでなく、スマートデバイスならではの便利な機能も搭載しています。

詳しくは、PDFマニュアル『テレビを楽しむ本 活用編』の「スマートフォンで操作する」をご覧ください。



ポイント

「Smartリモコン」では、ぱっと観テレビを操作することはできません。(ぱっと観テレビモデルのみ)

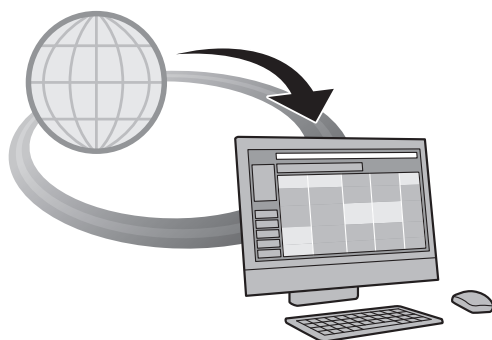
もうひとつの番組表を使う(G-GUIDE for Windows)

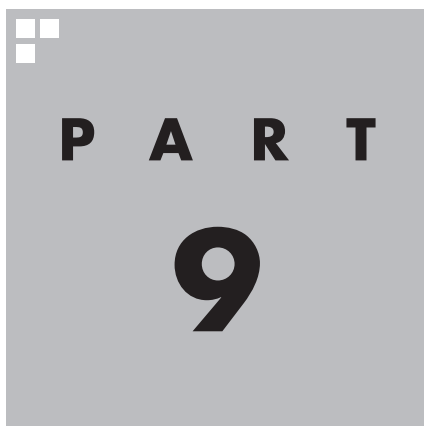
このパソコンには「G-GUIDE for Windows」という番組表を表示するソフトが搭載されています。

G-GUIDE for Windowsを使うと、インターネットからデジタル放送の番組表をダウンロードして利用できます。通常の、放送波から番組表を取得する方法に比べて、短時間で番組表を取得できるため、すぐに番組表を更新したいときに向いています。

G-GUIDE for Windowsの番組表からSmartVisionの録画予約を入れることができます。また、パナソニック株式会社製のBDレコーダー、DVDレコーダー「ディーガ」と連携して、録画予約することもできます。

詳しくは、PDFマニュアル『テレビを楽しむ本 活用編』の「G-GUIDE for Windowsで予約する」をご覧ください。





情報・設定

B-CASカードやアンテナの状況などを確認したり、チャンネルやリモコンなどの設定を変更したいときは、ここをご覧ください。



PART 9

情報・設定

情報

テレビメニューの情報の各内容を説明します。

まとめて確認

何か問題が起こったときは、まず「まとめて確認」の画面を表示して、どの設定に問題があるかを確認してください。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「情報」の「まとめて確認」を選んで【決定】を押す

設定の確認が始まります。確認が完了すると、次の画面が表示されます。



それぞれの項目を選ばと、設定画面が表示されます。

●B-CASカードの状態

B-CASカードの状態が表示されます。問題がある場合は、『ユーザーズマニュアル』の「準備・基本編」第1章の「B-CASカードをセットする」をご覧ください。B-CASカードを正しい向きでセットしてください。

●受信レベル

地上デジタル放送および、BSデジタル放送の受信状態が表示されます。問題がある場合は、受信レベルの「地上デジタル」や「BS」を選んで【決定】を押し、「受信レベルの確認」画面を表示して詳細を確認してください。

「受信レベルの確認」画面については、PART1の「アンテナの設定をする」(p.17)をご覧ください。

●自動サインイン設定

自動サインインの設定の状態が表示されます。

自動サインインの設定については、PDFマニュアル『テレビを楽しむ本 活用編』の「自動サインインの設定をする」をご覧ください。

B-CASカード情報の確認

テレビメニューの「情報」-「B-CASカード情報の確認」では、B-CASカードの情報を確認できます。

「B-CASカード情報の確認」画面の「テスト結果」に「正常」と表示されていない場合は、B-CASカードをセットしなおしてください。B-CASカードのセット方法については、『ユーザーズマニュアル』の「準備・基本編」第1章の「B-CASカードをセットする」をご覧ください。

B-CASカードをセットしなおしたら、「テスト」ボタンを選んで【決定】を押し、「正常」と表示されることを確認してください。

受信レベルの確認

テレビメニューの「情報」-「受信レベルの確認」で、各放送波やチャンネルの受信レベルを確認できます。

アンテナの向きは、この画面で受信レベルを確認しながら調節してください。

■ 地上デジタル放送の受信レベル

1 「放送波」を選んで【決定】を押す

2 「地上デジタル」を選んで【決定】を押す

アンテナの受信レベルが表示されます。

● 受信レベルがすべて0、またはチャンネルスキャンをおこなっても受信可能チャンネルが表示されない場合

お近くの電器店などに、次の点を確認してください。

- ・ パソコンをお使いの場所が地上デジタル放送のサービスエリア内か
- ・ 地上デジタル放送を受信可能なアンテナを設置しているか

また、CATVをご利用の場合は、CATV事業者に、地上デジタル放送を再配信しているかをご確認ください。

● チャンネルスキャンの結果、受信可能チャンネルが表示されても、受信レベルが55以下の場合

受信レベルが55以下の場合は正常に受信することができません。受信レベルが56以上になるようにアンテナを調整してください。アンテナの向きを調節するときは、PART1の「アンテナの設定をする」(p.17)をご覧ください。

！チェック

地上デジタル放送が正常に視聴できないときは、PART10の「テレビが映らない」(p.210)および「テレビ初期設定で、チャンネルのすべてまたは一部が設定されない。プリセットチャンネルを手動で設定しても改善しない。デジタル放送でブロックノイズが発生したり、受信が不安定になる」(p.212)をご覧ください。

■ BS/110度CSデジタル放送の受信レベル

1 「放送波」を選んで[決定]を押す

2 「BS」もしくは「CS」を選んで[決定]を押す

アンテナの受信レベルが表示されます。

●受信レベルがすべて0の場合

アンテナを設置した事業者などに、アンテナに給電が必要かどうかを確認してください。なお、パソコンからはアンテナに給電することができません。別の機器から給電していただく必要があります。

詳しくは、121ware.com(<http://121ware.com/catalog/dtv/>)の「衛星デジタル放送アンテナ用電源供給器について」をご覧ください。

●受信レベルが55以下の場合

受信レベルが55以下の場合は正常に受信することができません。受信レベルが56以上になるようにアンテナを調整してください。アンテナの向きを調節するときは、PART1の「アンテナの設定をする」(p.17)をご覧ください。

●チェック

正常に視聴できないときは、PART10の「テレビが映らない」(p.210)をご覧ください。

■ バージョンの確認

テレビメニューの「情報 」-「バージョンの確認」では、SmartVisionのバージョンと、テレビドライバーのバージョンを確認できます。

■ 放送メール

テレビメニューの「情報 」-「放送メール」では、地上デジタル放送のチャンネルの変更や、電波の出力の増減による受信状態の改善などがあったときのお知らせ(放送メール)を確認できます。未読のお知らせがあるときは、放送メールの  アイコンの横に **未** マークが表示されます。

■ ダウンロード

テレビメニューの「情報 」-「ダウンロード」では、デジタル放送に関係するデータのアップデートやお知らせのダウンロードができます。「ダウンロード情報が届いています。」と表示されているときは、「ダウンロード」を選択して【決定】を押してください。なお、ダウンロード中にテレビを視聴するとダウンロードが中止されます。この場合でも、テレビの視聴後にダウンロードし直すことができます。

PART 9

情報・設定

設定

テレビメニューの設定の各内容を説明します。

チャンネル設定

受信できる放送局をスキャンする「チャンネルスキャン」と、リモコンボタンへのチャンネルの割り当てを変更する「プリセット変更」をおこなうことができます。

また、リモコンの【チャンネル】を押して番組を切り換えるとき、特定のチャンネルをスキップする「チャンネルスキップ」(ぱっと観テレビモデル以外のモデル)の設定ができます。

■ チャンネルスキャン

新たな放送局で放送が始まったときや引っ越しをしたときは、チャンネルスキャンをおこなってください。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「設定」の「チャンネル設定」を選んで【決定】を押す

「チャンネル設定」画面が表示されます。

3 チャンネルスキャンする放送波を選んで【決定】を押す

「地上デジタル放送のチャンネル設定」または「衛星放送(BS、CS)のチャンネル設定」画面が表示されます。

4 「チャンネルスキャン」を選んで【決定】を押す

チャンネルスキャン画面が表示されます。

5 必要な項目を設定し、「次へ」を選んで【決定】を押す

チャンネルスキャンが始まります。

6 「チャンネルスキャン」が完了したら、「次へ」を選んで【決定】を押す

7 「戻る」を選んで【決定】を押す

8 「戻る」を選んで【決定】を押す

これでチャンネルスキャンは完了です。

ポイント

ぱっと観テレビモデルの場合は、PART2の「ぱっと観テレビのチャンネルスキャンをやりなおす」(p.32)をご覧ください。

ポイント

- お住まいの「都道府県」を選んでください。
- 「スキャン方法」と「スキャン範囲」についてはヘルプをご覧ください。ヘルプは「？」を選んで【決定】を押すと表示されます。
- 「再スキャン」で受信状況が改善しないときは、「初期スキャン」をおこなってください。

■ リモコンボタンのプリセット変更

- 1 リモコンの[テレビメニュー]を押す**
テレビメニューが表示されます。
- 2 「設定」の「チャンネル設定」を選んで[決定]を押す**
「チャンネル設定」画面が表示されます。
- 3 リモコンボタンの割り当てを変更したい放送波を選んで[決定]を押す**
「地上デジタル放送のチャンネル設定」または「衛星放送(BS、CS)のチャンネル設定」画面が表示されます。
- 4 「プリセット変更」を選んで[決定]を押す**
設定画面が表示されます。ここからはマウスで操作してください。
- 5 変更したいプリセットボタンをクリック**
- 6 チャンネルのプルダウンメニューから設定するチャンネルを選んで、「登録」をクリック**
- 7 「OK」をクリック**
- 8 「戻る」をクリック**
- 9 「戻る」をクリック**

■ チャンネルスキップの設定(ぱっと観テレビモデル以外のモデル)

リモコンの[チャンネル]を押したとき、ここで設定したチャンネルをスキップさせることができます。

- 1 リモコンの[テレビメニュー]を押す**
テレビメニューが表示されます。
- 2 「設定」の「チャンネル設定」を選んで[決定]を押す**
「チャンネル設定」画面が表示されます。
- 3 チャンネルスキップの設定をする放送波を選んで[決定]を押す**
「地上デジタル放送のチャンネル設定」または「衛星放送(BS、CS)のチャンネル設定」画面が表示されます。
- 4 「チャンネルスキップ設定」を選んで[決定]を押す**
チャンネルスキップ設定画面が表示されます。
地上デジタル放送のチャンネルスキップを設定するとき:
そのまま手順5に進んでください。
BS、110度CS放送のチャンネルスキップを設定するとき:
「放送波」を選んで[決定]を押し、設定する放送波を選んでから、手順5に進んでください。

ポイント

ぱっと観テレビモデルの場合は、PART2の「ぱっと観テレビのチャンネルをリモコンのボタンに割り当てる」(p.33)をご覧ください。

ポイント

ぱっと観テレビモデルのチャンネルスキップの設定については、PART2の「ぱっと観テレビのチャンネルをリモコンのボタンに割り当てる」(p.33)をご覧ください。

- 5 チャンネルが表示されている部分を選んで**【決定】**を押す
- 6 スキップするチャンネルを選んで**【決定】**を押し、表示されたメニューで**「スキップ」**を選ぶ
- 7 **「保存して戻る」**を選んで**【決定】**を押す
- 8 **「戻る」**を選んで**【決定】**を押す

これでチャンネルスキップの設定は完了です。

■ マルチスクリーンの「指定チャンネル」の設定を変更する (地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデル)

マルチスクリーンで表示される裏番組の選択方法のうち、「指定チャンネル」に設定されているチャンネルを、好みのチャンネルに変更することができます。

- 1 リモコンの**【テレビメニュー】**を押す
テレビメニューが表示されます。
- 2 **「設定」**の**「チャンネル設定」**を選んで**【決定】**を押す
「チャンネル設定」画面が表示されます。
- 3 **「マルチスクリーンの指定チャンネル設定」**を選んで**【決定】**を押す
「マルチスクリーンの指定チャンネル設定」画面が表示されます。
- 4 マルチスクリーンで表示する裏番組のチャンネルを4つ設定する
「指定1」～「指定4」に表示されているチャンネルをそれぞれ次の操作で指定しなおしてください。
 - ① 表示されている放送波を選んで**【決定】**を押し、変更する放送波を選んでもう一度**【決定】**を押す。
 - ② 表示されているチャンネルを選んで**【決定】**を押し、変更するチャンネルを選んでもう一度**【決定】**を押す。

- 5 **「保存して戻る」**を選んで**【決定】**を押す
- 6 **「戻る」**を選んで**【決定】**を押す

これでマルチスクリーンの「指定チャンネル」の変更は完了です。

■ おはようマイチャンネルの設定

おはようマイチャンネルは、テレビの視聴履歴からいつも見ているチャンネルを自動で判断し、テレビをつけたときそのチャンネルを自動的に選ぶ機能です。

おはようマイチャンネルの設定を変更する手順は次のとおりです。

- 1 リモコンの**【テレビメニュー】**を押す
テレビメニューが表示されます。

ポイント

スキップを解除するときは、解除するチャンネルを選んで**【決定】**を押し、表示されたメニューで**「受信」**を選んでください。

ポイント

- 初期状態ではおはようマイチャンネルが有効になっています。
- おはようマイチャンネルを無効にすると、最後に視聴していたチャンネルでテレビが起動します。
- ぱっと観テレビモデルの場合は、PART2の「おはようマイチャンネルの設定」(p.34)をご覧ください。

2 「設定」の「チャンネル設定」を選んで【決定】を押す

「チャンネル設定」画面が表示されます。

3 「おはようマイチャンネルの設定」を選んで【決定】を押す

「おはようマイチャンネルの設定」画面が表示されます。

4 おはようマイチャンネルの設定を変更する

「おはようマイチャンネル」を選んで【決定】を押し、表示された「有効」または「無効」を選んで【決定】を押してください。

5 「保存して戻る」を選んで【決定】を押す

6 「戻る」を選んで【決定】を押す

これでおはようマイチャンネルの設定変更は完了です。

ポイント

テレビの視聴履歴を分析するため、設定を「有効」にしてから機能が利用できるようになるまで数日かかることがあります。

初期設定のやりなおし

テレビメニューの「設定」-「初期設定のやりなおし」では、SmartVisionの初期設定(テレビの初期設定)をやりなおすことができます。

引っ越ししたときやテレビ放送の周波数が変更されたときは、初期設定をやりなおしてください。

操作についてはPART1の「テレビ初期設定をする」の次の手順をご覧ください。

ぱっと観テレビモデル:

PART1の「ぱっと観テレビモデルのテレビ初期設定」の手順9(p.7)以降をご覧ください。

ぱっと観テレビモデル以外:

PART1の「ぱっと観テレビモデル以外のモデルのテレビ初期設定」の手順2(p.9)以降をご覧ください。

ポイント

ぱっと観テレビモデルの場合、「初期設定のやりなおし」ではチャンネルスキャンがおこなわれません。チャンネルスキャンの操作については、PART2の「ぱっと観テレビのチャンネルスキャンをやり直す」(p.32)をご覧ください。

■ おまかせタフ録りのジャンルやキーワードの設定をやりなおす(地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルのみ)

「初期設定のやりなおし」の操作では、おまかせタフ録りの「ジャンル」や「キーワード」の設定をやりなおすことができません。これらの設定をやりなおすときは、PART4の「おまかせタフ録り(ジャンル)の設定を変更する」(p.115)や「おまかせタフ録り(キーワード)の設定を変更する」(p.118)をご覧ください。

P A R T
10

Q&A

テレビを見ていて困ったことがあったときは、ここをご覧ください。



PART 10

Q&A

パソコンの起動／終了について

パソコンの起動／終了についての問題は、ここで確認してください。

パソコンの電源が勝手に入ってしまう

■ 予約時刻ではありませんか？

設定によっては、予約録画、予約視聴、番組表受信の予約をしていると、予約時刻の約8分前にパソコンが自動的に起動して、予約に備えます。

予約録画、予約視聴、番組表受信の予約内容を確認してください。

番組の録画・視聴予約内容については、PART4の「予約の確認や変更」(p.99)をご覧ください。予約内容と予約結果を確認してください。

電源を切った状態から自動的にパソコンを起動させたくない場合は、【テレビメニュー】を押し、「設定」-「予約録画の設定」-「予約実行時の電源設定」を選んで「予約実行時の電源設定」画面を開き、「予約録画、予約視聴、番組表の受信を開始する前の動作を選んでください。」で「シャットダウンの場合は起動しない」を選んで【決定】を押し、「保存して戻る」を選んで【決定】を押してください。省電力状態からのみ予約により起動するようになります。

■ 番組表の受信時刻ではありませんか？

ご購入時の状態では、次の時刻に番組表を受信する設定になっています。

10・12・14・16時

この時刻になると、パソコンが自動的に起動して、番組表の受信に備えます。なお、番組表の受信が完了すると、その日はその時刻以降の番組表の自動受信をおこないません。

番組表を受信する時刻の設定は変更することができます。詳しくは、PART3の「番組表の受信時刻を変更する」(p.64)をご覧ください。

パソコンの電源が勝手に切れる

■ 予約をおこなっていませんか？

ご購入時の状態では、予約視聴をおこなっていると、予約動作の完了時にスリープ状態に移行するという内容のメッセージ(p.132)が表示され、60秒経過すると自動的にスリープ状態に移行します。予約録画や番組表受信のときは、予約動作の完了時にパソコンの画面が消灯している場合、スリープ状態に移行します。予約動作の完了時の動作を変更するにはPART4の「予約実行前後の動作を設定する」(p.134)をご覧ください。

■ 番組表の受信時刻ではありませんか？

ご購入時の状態では、次の時刻に番組表を受信する設定になっています。

10・12・14・16時

(番組表の受信が完了すると、その日はその時刻以降の番組表の自動受信をおこないません)

番組表の受信が完了したときにSmartVisionが起動していないと電源が切れることがあります。

番組表の受信時刻を変更する場合は、PART3の「番組表の受信時刻を変更する」(p.64)をご覧ください。

■ 予約録画などの後、パソコンの電源が自動で切れない

■ 放送に関連したデータをダウンロードしていませんか？

予約録画などの予約動作が終了した後で、デジタル放送の関連データ(衛星放送の放送局ロゴなど)が自動的にダウンロードされることがあります。このようなときは、データのダウンロードが終了してから、予約動作終了時の設定にしたがってパソコンがスリープ/休止/シャットダウン状態に移行します。データをダウンロードしているときは通知領域のアイコンが変化します。通知領域のアイコンについては、PDFマニュアル『テレビを楽しむ本 活用編』の「その他の機能」をご覧ください。

PART 10

Q&A

テレビを見ているとき

テレビが映らない、音が出ないなど、テレビを見ようとして問題が起きたときは、ここをご覧ください。

テレビが映らない

■ パソコンをお使いの場所は地上デジタル放送のサービスエリア内ですか？

パソコンをお使いの場所がサービスエリアに含まれているかどうか、アンテナレベルチェックで各チャンネルの受信状況を確認してください。
放送エリアについて詳しくは、社団法人デジタル放送推進協会(Dpa)のホームページ(<http://www.dpa.or.jp/>)でご確認ください。

● チェック

放送エリア内でも、地形や建物、放送電波が弱い場合などの理由で視聴できない場合があります。

■ お使いのアンテナはUHF帯に対応していますか？

デジタル放送は、UHF帯の電波を使っています。お使いのアンテナがUHF帯に対応しているか確認してください。
また、アンテナがデジタル放送を送信している電波塔に向いているかどうかも確認してください。
ケーブルテレビなどをお使いの場合は、受信できるかどうか、ケーブルテレビ事業者にお問い合わせください。

■ B-CASカードは正しくセットされていますか？

本パソコン添付のB-CASカードがなければ、デジタル放送を視聴できません。また、正しい向きでセットされていないと映像が映りません。
『ユーザーズマニュアル』の「準備・基本編」第1章の「B-CASカードをセットする」をご覧ください、B-CASカードを正しい向きでセットしてください。

■ 接続は正しいですか？

『ユーザーズマニュアル』の「準備・基本編」第1章の「アンテナケーブルを接続する」をご覧ください、アンテナケーブルの接続を確認してください。

■ 「テレビ初期設定」は終わっていますか？

テレビを見るには、あらかじめテレビ初期設定が必要です。設定についてはPART1の「テレビ初期設定をする」(p.5)をご覧ください。
初期設定の後にテレビが映らないときは、PART1の「テレビ初期設定で困ったら」(p.15)をご覧ください。

■ 画面消灯モードになっていませんか？

画面消灯モードになっていると、パソコンの電源は入っていても、映像と音声が入りません。本体の画面消灯ランプが点灯しているときは画面消灯ボタンを押してください。

■ デジタル放送の受信レベルを確認してください

テレビメニューの「情報 

- ・ デジタル放送を受信可能なアンテナを設置しているか
- ・ 受信環境(アンテナケーブルや分配器など)に問題はないか
- ・ 衛星アンテナの電源供給が必要かどうか

なお、強い雨や大雪などの悪天候の場合、アンテナケーブルなど受信環境に問題がなくても、一時的に受信レベルが低下することがあります。

このPARTの「今まで視聴できていたのに、突然、BS・110度CSデジタル放送の映像が悪化した。あるいは映像が表示されなくなった」(p.215)も合わせてご覧ください。

■ ほかのソフトを起動していませんか？

映像を表示するソフトを同時に動作させることはできません。起動しているソフトをいったん終了させた後、SmartVisionを起動してください。

また、テレビを快適に視聴するため、SmartVisionを起動する前に、動作中のソフトをすべて終了させてください。

■ 画面左側のソースタブが「録画番組」になっていませんか？(マウス操作専用モード)

「録画番組」になっているときは、左側のタブから、見たい放送波のタブを選んでください。

■ 画面の解像度や色の設定を変更していませんか？

SmartVisionを利用できる解像度、色の設定は次のようになっています。変更している場合は、もとに戻してください。

解像度	色
各モデルの最高解像度※	True Color(32ビット)

※各モデルの最高解像度については、「仕様一覧について」(

■ 画質は適切に調節されていますか？

画質の調節では、設定値によって、テレビ画面が真っ白や真っ黒になったり、表示される色が不自然になる場合があります。画質調節をするときは、映像を確認しながらおこなってください。

■ 「Windowsのデスクトップの画面設定が変更されたため、SmartVisionでテレビ映像を表示できません。」と表示されていませんか？

「個人設定」の「コンピューターの視覚効果と音を変更します」で「ハイコントラストテーマ」を選んだときはテレビの視聴ができません。「Windowsの標準のテーマ」や「インストールされているテーマ」など、「ハイコントラストテーマ」以外のテーマを選びなおしてください。

■ 「現在出力先に設定されているサウンドデバイスに出力できません」と表示されていませんか？

USBスピーカやBluetooth®ヘッドフォンなど、USBやBluetooth®を使用した音声出力機器がパソコンに接続されていると、このメッセージが表示され、テレビを見ることができなくなります。これらの機器を取り外し、画面の指示にしたがって操作してください。

■ テレビ初期設定で、チャンネルのすべてまたは一部が設定されない。
プリセットチャンネルを手動で設定しても改善しない。
デジタル放送でブロックノイズが発生したり、受信が不安定になる

■ パソコンに接続しているアンテナケーブルの電波が強すぎるまたは弱すぎる可能性があります

電波のレベルが適切でない場合は、アッテネーターやブースターを使用して調節する必要があります。
詳しくは、お近くの電器店やアンテナ工事業者などにご相談ください。

● **チェック**

アンテナケーブルの接続経路を変更したりアッテネーターまたはブースターの利得(ゲイン)を調節したときは、リモコンの【テレビメニュー】を押し、「設定」-「初期設定のやりなおし」を選んで【決定】を押して、テレビ初期設定をやりなおしてください(p.5)。

■ パソコンを再起動して設定をやりなおしてください

パソコンを再起動して設定をやりなおすと、問題が改善することがあります。

■ テレビを起動したら、チャンネルが勝手に変わってしまう
(地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデルのみ)

■ 番組表を受信中ではありませんか？

地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデルでは、番組表を受信中はテレビのチャンネルが自動的に切り換わります。番組表の受信は、チャンネルを切り換えるなどの操作で中止されます。

● **チェック**

地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデルでは、番組表の受信中にSmartVisionを起動すると、データの受信を中断します。

■ テレビの視聴中にエラーメッセージで、再起動するように表示された。
または操作できなくなった

エラーメッセージで再起動をするように表示されたときは、パソコンを再起動してください。また、操作ができなく(「応答なし」の状態)になったときは、【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を押して、表示された画面で「タスク マネージャー」をクリックし、「タスク マネージャー」で「SmartVision(32ビット)」を終了させ、テレビを起動しなおしてください。起動しなおしても機能が回復しない場合は、パソコンを再起動してください。

■ 音が出ない、音が大きすぎる

■ 音量を調節してください

リモコンの【音量】で音量調節をおこなってください(p.42)。
また、ミュート(消音)になっていないか確認してください。

■ ナイトモードもしくは画面消灯モードになっていませんか？

ナイトモードもしくは画面消灯モードになっていると、パソコンの電源は入っていても、映像と音声がおフになります。本体の画面消灯ランプが点灯しているときは画面消灯ボタンを押してください。

映像が乱れる(コマ落ちする)

■ CPU使用率が高くなっていませんか？

パソコンのCPU使用率が高くなると、映像のコマ落ちや音飛びが発生することがあります。テレビと同時にほかのソフトを使用したり、インターネット接続などをおこなうと、CPU使用率が高くなります。ほかのソフトを終了してから、テレビを起動してください。

次の手順でCPU使用率を確認できます。

1 デスクトップのタスク バーの何も無い部分を右クリックし、「タスク マネージャー」をクリック

「タスク マネージャー」が起動します。

2 「詳細」をクリック

3 「パフォーマンス」タブをクリック

4 CPU使用率を確認する

CPU使用率が約80%以上のときは、画面が乱れることがあります。ほかのソフトを終了して、CPU使用率を約80%以下にしてください。

！チェック

約80%以下の場合でも、同時に動作しているソフトがメモリやリソースを多く使用していたり、ゲームのようなグラフィック表示を多用するソフトを動作させていると映像が乱れる(コマ落ちする)ことがあります。

■ データ放送を無効にしてください

データ放送を一時的に無効にすることで、コマ落ちを改善できることがあります。

1 リモコンの【サブメニュー】を押し、表示されたメニューから「データ放送(有効)」を選んで【決定】を押す

2 「無効」を選んで【決定】を押す

■ パソコンの近くで携帯電話や電子レンジを使用していないですか？

このパソコンの近くで携帯電話や電子レンジを使用すると、映像や音声が乱れる場合があります。

■ タイムシフトモードで見えていませんか？

タイムシフトモードで見ている場合や、さかのぼり録画をしている場合に、映像が乱れることがあります。この場合は、リモコンの【一時停止】を押して、10秒くらい待ってから再生すると改善できる場合があります。

■ テレビ映像の上にほかのウィンドウなどが表示されていませんか？

全画面表示でテレビを見ているときに、テレビメニューや、メッセージなどのウィンドウがテレビ映像と重なると、映像が乱れたりコマ落ちすることがあります。

このような場合は、一度SmartVisionをウィンドウ表示にしたり最小化することで、映像の乱れが改善されます。

■ SDカードのフォーマットをおこなっていませんか？

テレビの視聴中や録画中にSDカードのフォーマットをおこなうと、映像が乱れることがあります。テレビの視聴および録画中は、SDカードをフォーマットしないでください。

■ ウイルスバスターのアップデート中ではありませんか？

ウイルスバスターのアップデート中は、映像が乱れることがあります。また、アップデートが番組の録画時間と重複すると、録画した番組の映像が一部乱れることがあります。

放送中のデジタル放送の映像が遅れている

デジタル放送の映像が遅れて表示されることがありますが、故障ではありません。



画面に時刻が表示されている場合、時刻の切り換わりが実際より遅れて表示されることがあります。

映像が微動する(揺れる)

映像によっては、画面(特に文字表示部分)が微動して見える場合がありますが、故障ではありません。

データ放送が表示できない

■ データ放送をおこなっているチャンネルになっていますか？

マウスで操作するための画面にすると、データ放送をおこなっている番組かどうか確認することができます。データ放送をおこなっている場合は、画面右下のインジケータに「データ連動放送中」と表示されています。

■ ぱっと観テレビではありませんか？

ぱっと観テレビではデータ放送を見ることができません。データ放送を楽しむときは、SmartVisionに切り換えてください。(p.23)

CATV回線で、デジタル放送に対応しているか知りたい

■ このパソコンのデジタル放送は、CATVパススルー方式(同一周波数および周波数変換)に対応しています

トランスモジュレーション方式には対応していません。
お客様の受信環境での再配信種別などに関しては、ご利用のCATV事業者にご確認ください。

地上デジタル放送の、新しく放送開始した放送局が選局できない

■ チャンネルの再スキャンをおこなってください

新たに放送開始した放送局は、視聴可能チャンネルに自動的に追加されません。チャンネルの再スキャンをおこなってください。再スキャンの操作については次の手順をご覧ください。

ぱっと観テレビモデル:

PART2の「ぱっと観テレビのチャンネルスキャンをやりなおす」(p.32)をご覧ください。

ぱっと観テレビモデル以外の場合:

PART9の「チャンネル設定」(p.203)の「チャンネルスキャン」をご覧ください。

地上デジタル放送が受信できなくなった

■ チャンネルの初期スキャンをおこなってください

地上デジタル放送のチャンネルが変更されている可能性があります。地上デジタル放送の初期スキャンをおこなってください。

ぱっと観テレビモデル:

PART2の「ぱっと観テレビのチャンネルスキャンをやりなおす」(p.32)をご覧ください。

ぱっと観テレビモデル以外のモデル:

PART9の「チャンネル設定」(p.203)の「チャンネルスキャン」をご覧ください。

今まで視聴できていたのに、突然、BS・110度CSデジタル放送の映像が悪化した。あるいは映像が表示されなくなった

BS・110度CSデジタル放送は、雨、雪、雷雲などによって電波の受信状態が悪化することがあります。受信状態が悪化すると、映像や音声が止まったり、映像が表示されなくなることがあります。また、このようなとき、画質や音質を犠牲にして受信を優先させる「降雨放送(降雨対応放送)」に切り換わることもあります。いずれの場合も、天候の回復によって改善されます。

引っ越しをしたらテレビが映らなくなった

パソコンにアンテナが接続されていること、B-CASカードがセットされていることを確認してください。続けて、次のいずれかの操作をおこなってください。

ぱっと観テレビモデル:

リモコンの【テレビ】を押して、ぱっと観テレビに切り換えます。外部入力の映像が表示されたときは、リモコンの【入力切換】を何度か押して画面に「テレビ」と表示させてください。この後、PART2の「ぱっと観テレビのチャンネルスキャンをやりなおす」(p.32)をご覧いただき、チャンネルスキャンをやりなおしてください。

なお、チャンネルスキャンをやりなおすときは次の項目を選択してください。

スキャンの種別:「初期スキャン」

対象周波数:「全周波数」

ぱっと観テレビモデル以外のモデル:

リモコンの【テレビメニュー】を押し、「設定 」-「初期設定のやりなおし」を選んで【決定】を押して、テレビの初期設定をやりなおしてください。

テレビ初期設定の流れについては、PART1の「テレビ初期設定をする」(p.5)をご覧ください。

PART 10

Q&A

視聴予約や録画予約ができないときには

予約をしたときに問題が起きたときは、ここをご覧ください。

視聴予約した番組が開始されない

- スクリーンセーバーからの復帰時に、パスワードの確認画面が表示されない設定になっていますか？

視聴予約機能を利用するために、スクリーンセーバーからの復帰時に、パスワードの確認画面を表示しない設定にする必要があります。

視聴予約について詳しくはPART4の「視聴予約について」(p.93)をご覧ください。

録画予約した番組が録画されていない

- Windowsのサインインパスワードやアカウントを設定・変更していませんか？

新たにWindowsのパスワードを設定または変更したり、サインインするユーザー名(アカウント)を変更したとき(ローカルアカウントからMicrosoft アカウントへ変更した場合など)は、自動サインインの設定を変更する必要があります。

リモコンの【テレビメニュー】を押し、「設定」-「予約録画の設定」-「自動サインインの設定」で設定を確認してください。自動サインインの設定については、PDFマニュアル『テレビを楽しむ本 活用編』の「自動サインインの設定をする」をご覧ください。

- 「結果一覧」で予約実行結果を確認してください

「予約結果一覧」に予約実行結果が表示されます(p.102)。予約録画が失敗すると予約結果一覧に「失敗」と表示されます。結果の詳細を見たい番組を選んで【決定】を押すと、結果の詳細が表示されます。

- 「自動サインインの設定」をしていますか？

パソコンの電源を切っている場合、「自動サインイン」の設定がされていないと、電源を切った状態からパソコンを自動起動することはできません。

リモコンの【テレビメニュー】を押し、「設定」-「予約録画の設定」-「自動サインインの設定」で設定を確認してください。自動サインインの設定については、PDFマニュアル『テレビを楽しむ本 活用編』の「自動サインインの設定をする」をご覧ください。

- 電源プランの「スリープ解除タイマー」の設定が「無効」になっていませんか？

「スリープ解除タイマーの許可」の設定が無効になっていると、パソコンがスリープ状態から復帰できず、予約録画ができないことがあります。

スタート画面で「デスクトップ」をクリックし、チャーム バーの「設定」-「コントロール パネル」-「システムとセキュリティ」-「電源オプション」の電源プランを選んで、「プラン設定の変更」-「詳細な電源設定の変更」-「スリープ」-「スリープ解除タイマーの許可」の設定が「有効」になっていることを確認してください。

■ おてがるバックアップでバックアップのスケジュールを設定していませんか？

おてがるバックアップでバックアップをした後に、パソコンを省電力状態に移行したり電源を切ったりするように設定している場合は、お互いの予約時間が重ならないように注意してください。SmartVisionで予約した録画が実行中であっても、バックアップ完了後にパソコンが省電力状態に移行したり電源が切れた場合、SmartVisionの録画は失敗します。

■ パソコン内蔵の時計は正確ですか？

パソコン内蔵の時計の時刻が放送波の時刻と大きくずれていると、番組が正確に録画されない場合があります。パソコン内蔵の時計がずれている場合は、正しい時刻に合わせてください。パソコンの時計は、デジタル放送を受信していると自動的に修正されます。

■ 番組編成が変わっていませんか？

次のようなときは録画されません。

- 番組表が更新され、予約した番組の放送がなくなった。または、予約時の番組情報と一致しなくなった、予約済みのほかの番組と予約時間が重なった。
- 前の番組の延長や臨時番組の放送などで、予約した番組の開始時刻が3時間以上遅れた。「番組の予約」画面の「詳細設定」で、予約した番組の開始時刻や終了時刻が変わったときに変更後の時刻に追従して録画するように設定できます。

■ パスワードが設定された外付けハードディスクを録画用として登録していませんか？

セキュリティを強化した外付けハードディスクにはパスワード機能を搭載しているものがあります。パスワードを設定した外付けハードディスクを録画用として登録している場合、番組が録画できないことがあります。

■ 地上デジタル放送のチャンネルが変更されている可能性があります

地上デジタル放送の初期スキャンをおこなってください。

ぱっと観テレビモデル:

PART2の「ぱっと観テレビのチャンネルスキャンをやりなおす」(p.32)をご覧ください。

ぱっと観テレビモデル以外のモデル:

PART9の「チャンネル設定」(p.203)の「チャンネルスキャン」をご覧ください。

予約した携帯電話用のデータ(外でもVIDEO)が録画されていない(地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルおよび地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデル)

地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルおよび地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルの場合、同時に使用される機能によっては、携帯電話用のデータが、録画と同時に作成されないことがあります。

予約録画した番組が途中で途切れている

■ ウイルススキャンや、Windows Updateの設定を確認してください

月に数回など、定期的に録画予約が失敗する場合は、ウイルススキャンの動作やWindows Updateのアップデート時間が、録画時間と重複し、録画が失敗している可能性があります。
ウイルスバスターやWindows Updateの設定を変更してください。



参照

- ウイルスバスターについて
→ 「ウイルスバスター クラウド」
▶ 「ソフト&サポートナビゲーター」▶ 検索番号 94140122 で検索
- Windows Updateについて
→ 「Windows Updateを使って更新する」
▶ 「ソフト&サポートナビゲーター」▶ 検索番号 91060030 で検索

録画フォルダーに録画した番組が見あたらない

■ 録画が失敗していませんか？

なんらかの事情で予約録画が失敗した場合は、録画番組一覧に表示されません。
予約録画が成功しているかどうかは、「テレビメニュー」の「予約」から「結果一覧」を選んで確認することができます(p.102)。

■ 保存先の録画フォルダーを変更していませんか？

予約時に保存先として指定した録画フォルダーを確認してください。複数の録画フォルダーを使い分けているときは特にご注意ください。

■ おまかせ録画またはおまかせタフ録りをしていませんか？

「おまかせ録画」や「おまかせタフ録り」で録画した番組は、おてがる予約などで録画した番組とは異なる録画フォルダーに保存されます。「テレビメニュー」の「録画番組一覧」から「おまかせ録画フォルダー」を選んでください。

また、おまかせ録画やおまかせタフ録りした番組は、「おまかせ録画フォルダー」の容量が一定以上になると古い順に削除されます。残しておきたい番組があるときは、別の録画フォルダーに移動してください。

番組の移動については、PART8の「録画した番組を整理する」(p.183)をご覧ください。



ポイント

「おまかせ録画フォルダー」の最大容量は、マウス操作専用モードで変更できます。詳しくはオンラインヘルプの「設定」-「録画/再生/予約」-「おまかせ録画」をご覧ください。

■ 録画した番組をほかのユーザーが移動または削除していませんか？

パソコンを複数ユーザーで使っている場合、「録画番組一覧」の「録画フォルダー」にはすべてのユーザーの録画した番組が表示されるので、録画したユーザー以外の人でも、番組を別の録画フォルダーに移動したり、削除できます。ほかのユーザーが番組を移動したり削除していないか、確認してください。

■ 番組を保存した外付けハードディスクを取り外していませんか？

外付けハードディスクに番組を保存している場合は、その外付けハードディスクを接続しなおしてください。

■ おまかせ録画で番組を録画したり、予約することができない

■ 条件の一致する番組が、同時刻に複数ありませんか？

おまかせ録画で、条件が一致する番組が複数存在する場合は、どれか1つの番組が録画できます。録画したい番組以外の番組を除外番組一覧に登録するか、条件を絞り込んでください。

■ すでに録画予約した番組と、予約した時間帯が重なっていませんか？

すでに録画予約した番組と予約した時間帯が重なっている場合は、先に登録された予約が優先されます。おまかせ予約を優先する場合は時間帯の重なる番組の録画予約を取り消してください(p.99)。

■ 番組を「除外番組一覧」に登録していませんか？

除外番組一覧(p.107)に登録した番組は録画されません。
録画対象番組に戻す場合は、「除外番組一覧」をクリックして対象番組を選び、「解除」をクリックしてください。

■ 予約一覧から番組を取り消していませんか？

予約一覧から取り消した番組は、おまかせ録画の対象外になります(取り消した放送回のみを対象外にするか、それ以降に放送される同じ番組をすべて対象外にするかは、取り消しの際に選択できます)。予約する場合は、おてがる予約などの番組予約で予約しなおしてください(p.90)。

■ 番組の放送はいつですか？

おまかせ録画の条件に一致する番組が実際に予約一覧に登録されるのは、放送の2日前です。その前に、同じ時刻に放送される別の番組を予約すると、おまかせ録画の番組は予約登録されません。

■ シリーズものの番組を繰り返し予約したにもかかわらず、録画されていない番組がある

■ 「繰り返し予約」の「する(時間指定)」で予約していませんか？

「繰り返し予約」の「する(時間指定)」を設定して予約をすると、スポーツ中継の延長などで、放送時間が変更された場合でも、あらかじめ設定されている同じ曜日、同じ時間で録画します。シリーズものの番組を予約する場合には、「繰り返し予約」の「する(シリーズ)」を設定して予約することをおすすめします。

■ 番組表に表示される放送時の番組名が、最初に予約したときの番組名と異なっていますか？

「繰り返し予約」の「する(シリーズ)」を設定すると、番組表の番組名によって同じシリーズの番組を検出して予約します。ただし、同じシリーズの番組であっても、最初に予約したときの番組名と、放送されたときの番組名が、番組表上で異なる場合には、同一シリーズの番組として検出できず、録画されないことがあります。

■ 新番組おまかせ録画を有効にしたにもかかわらず、録画されない新番組がある

■ 複数の新番組が同じ時刻に放送されていませんか？

同じ時刻に複数の新番組が放送される場合、新番組おまかせ録画で録画予約する番組が視聴履歴から選ばれます。

録画したい新番組が決まっているときは、あらかじめ「おてがる予約」(p.90)などで録画予約してください。番組改編期など、複数の新番組がスタートする時期には、特にご注意ください。

■ おてがる予約など、優先度の高い録画予約と重複していませんか？

「繰り返し予約」の「する(シリーズ)」などの自動録画予約や「おてがる予約」など、優先度の高い録画予約は、同じ時刻に放送される新番組の録画より優先されます(p.129)。

録画したい新番組が決まっているときは、あらかじめ「おてがる予約」などで録画予約してください。

■ おまかせタフ録りで番組を録画したり、予約することができない

■ 番組を「除外番組一覧」に登録していませんか？

除外番組一覧(p.118)に登録した番組は録画されません。録画対象番組に戻す場合は、「除外番組一覧」をクリックして対象番組を選び、「解除」をクリックしてください。

■ 予約一覧から番組を取り消していませんか？

予約一覧から取り消した番組は、おまかせタフ録りの対象外になります(取り消した放送回のみを対象外にするか、それ以降に放送される同じ番組をすべて対象外にするかは、取り消しの際に選択できます)。予約する場合は、おてがる予約などの番組予約で予約しなおしてください(p.90)。

■ 複数の新番組が同じ時刻に放送されていませんか？

同じ時刻に複数の新番組が放送されるとき、おまかせタフ録り(ジャンル)新番組おまかせ録画で録画予約する番組が視聴履歴から選ばれます。録画したい新番組が決まっているときは、あらかじめ「おてがる予約」(p.90)などで録画予約してください。番組改編期など、複数の新番組がスタートする時期には、特にご注意ください。

■ おてがる予約など、優先度の高い録画予約と重複していませんか？

「繰り返し予約」の「する(シリーズ)」などの自動録画予約や「おてがる予約」など、優先度の高い録画予約は、同じ時刻に放送される新番組の録画より優先されます(p.129)。録画したい新番組が決まっているときは、あらかじめ「おてがる予約」などで録画予約してください。

PART 10

Q&A

番組表の受信がうまくいかない

番組表受信時に問題が起きたときには、ここをご覧ください。

番組表が受信できない、またはデータの取りこぼし起きる

■ アンテナは接続されていますか？

『ユーザズマニュアル』の「準備・基本編」第1章の「アンテナケーブルを接続する」をご覧ください。

■ アンテナの向きが悪い、またはアンテナとの接続が長くありませんか？

アンテナの向きを変えたり、アンテナとの接続を短くするなどの対策を取ると、受信状態が改善され、データの取りこぼしの頻度が低くなることがあります。

■ 番組表の受信中に、チャンネルを変更していませんか？

番組表の受信中にチャンネルを変更すると、テレビの視聴を優先し番組表の受信は中断します。

■ テレビの視聴中ではありませんか？(地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデルの場合)

地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデルでは、テレビの視聴中は番組表の予約受信が実行されません。

■ 番組表の受信時刻を深夜や早朝に設定していませんか？

放送局によっては、深夜や早朝などに電波の送信を止めている(停波している)ことがあります。この時間帯に番組表を受信すると、その放送局だけ番組表が取得できなくなることがあります。特定の放送局だけ番組表が取得できないときは、番組表の最初の受信時刻を、その放送局の放送が始まる時刻より後になるよう設定してください。

デジタル放送の番組表を取得したのに、放送局のロゴが表示されない

■ 放送局ロゴが表示されていない放送局をしばらく視聴し続けてください

デジタル放送の放送局ロゴは、10分程度の周期で送信されています。番組表を受信している間にロゴが受信できると、テレビメニューや番組表に放送局ロゴが表示されます。

放送局ロゴが表示されていない場合は、その放送局を視聴し続けていると、自動的にロゴを受信し、テレビメニューや番組表に反映されます。

● チェック

テレビメニューや番組表を表示しているときに受信した放送局ロゴは、次にテレビメニューや番組表を表示したときに反映されます。

PART 10

Q&A

録画ができない

録画をしようとして問題が起きたときは、ここをご覧ください。

録画ができない

■ ハードディスクの空き容量が不足していませんか？

ハードディスクの空き容量を確認してください。

ハードディスクに、録画した番組を記録するのに十分な空き容量(p.81)がないと、録画できないことがあります。

録画中にテレビの画面でリモコンの【画面表示】を押すと、録画可能時間が表示されます。

不要な番組を削除して、ハードディスクの空き容量を増やすこともできます。

録画した番組の削除については、PART6の「録画した番組を削除する」(p.156)をご覧ください。

■ 録画できる番組ですか？

番組によっては、録画ができないものがあります。番組表の「番組情報」を見ると、録画可能かどうかわかります。

その他、録画についての詳しい情報は、「PART4 録画・予約する」(p.77)をご覧ください。

■ 録画用に登録した外付けハードディスクをパソコンに接続していますか？

登録したハードディスクに番組を直接録画するよう設定したとき、そのハードディスクがパソコンに接続されていない場合は、リモコンの【録画】を押して番組を録画することができません。

録画用に登録した外付けハードディスクをパソコンに接続しなすか、録画番組の保存先をパソコンに内蔵されているハードディスクに変更してください。

PART 10 その他

Q&A

操作パネルが表示されない

■ マウス操作専用モードではありませんか？

タスク バーから「SmartVision」を起動したときは、マウス操作専用モードで表示されます。マウス操作専用モードでは操作パネルが表示されません。操作パネルを使って操作するときは、画面下の「フルスクリーン」タブをクリックしてください。操作パネルが表示されるフルスクリーンモードに切り換わります。



リモコンで操作できない

■ SmartVisionのウィンドウよりも前にほかのソフトのウィンドウが表示されていませんか？

SmartVisionのウィンドウよりも前にほかのソフトのウィンドウが表示されていると、リモコンで正しく操作することができなくなります。このときは、次のいずれかの操作をしてください。

ぱっと観テレビモデル: リモコンの【テレビメニュー】を2回押す

ぱっと観テレビモデル以外のモデル: リモコンの【テレビ】を押す

SmartVisionの画面が手前に表示され、リモコンでの操作ができるようになります。

■ リモコンに電池をセットしましたか？

リモコンで操作するには、リモコンに電池を入れてください。電池の入れ方については、『ユーザーズマニュアル』の「準備・基本編」第3章の「リモコン」をご覧ください。

■ リモコンのスイッチを入れましたか？

リモコンの右側面にあるモード切換スイッチを、ボタン操作側(下側)にあわせてください。

リモコンでデータ放送が操作できない

- ご購入時の状態では、録画した番組の再生、タイムシフトモードでデータ放送番組を視聴する場合、また、放送内容によっては、データ放送の一部の操作ができない場合があります

リモコンの【サブメニュー】を押して「リモコン」を選び、「データ放送固定モード」を選んで【決定】を押してください。

リモコンの【電源】を押しても、テレビが終了するのに時間がかかる

- リモコンからのテレビの終了には30秒程度かかります

同時に大量のソフトを実行するなど、パソコンに負荷のかかる動作をおこなっている場合は、終了に通常の倍以上かかることもあります。

！チェック

- 【電源】を押してから、1分以上経過してもパソコンが終了しない場合は、不要なソフトが同時に複数実行されていないかを確認してください。また、予約開始時刻が近い場合は、SmartVisionは終了しますが、パソコンは終了しません。
- ご購入時の状態では、録画(予約および終了時刻が設定された録画)、録画モード変換、光ディスク書き込み、外でもVIDEOの転送、ホームネットダビング、簡易編集した番組の保存、デジタル放送の関連データのダウンロードをおこなっているとき、【電源】を押すと画面が暗くなりますが、パソコンはすぐには終了しません。テレビ以外に動作しているソフトがなければ、上記の動作が完了してから、パソコンが終了します。

「SmartVisionをアップデートしてください。」というメッセージが表示された

CPRMアップデートをおこなわずにDVD-RAM/DVD-Rに保存をおこなうと、「コピー制御された番組をDVDや携帯電話に保存するためには、SmartVisionのアップデートが必要です。」というメッセージが表示されます。

PART7の「CPRMのアップデートをする」(p.165)をご覧ください、SmartVisionをアップデートしてください。

DVDに保存しようとしたが、選択できない番組(保存できない番組)がある

- 映像フォーマット「480p」または「720p」で放送された番組です

映像フォーマット「480p」または「720p」で放送された番組は、DVDにVRモードで保存することができません。

DVD-RAMの書き込みに失敗する

このパソコン以外で使用したことのあるDVD-RAMに録画番組を保存すると、書き込みに失敗する場合があります。その場合は、このパソコンでDVD-RAMをフォーマットしてから、録画番組を保存してください。フォーマットをおこなうと、DVD-RAMのデータはすべて削除されます。必要に応じて、データのバックアップを取ってください。

DVD-RAMのフォーマットについて詳しくは、PART7の「光ディスクをフォーマットする」(p.166)をご覧ください。

SmartVisionの録画番組データをほかのパソコンに移したい

■ SmartVisionの録画番組データをそのままほかのパソコンに移すことはできません

録画番組データをほかのパソコンで見るときは、SmartVisionの光ディスクへの保存機能(p.168)を使って、データを光ディスクに保存して映像データとしてほかのパソコンで再生してください。

テレビを終了しようとしたが終了しない

■ ファイアウォールソフトで、テレビの通信を遮断していませんか？

ファイアウォールソフトの設定を変更して、テレビ関連アプリケーションの通信監視を除外するか、無効化してください。

テレビ画面に緑色の横線が見える

入力信号がない場合、緑色で帯状の横線が見えることがあります。選局したチャンネルの受信電波が弱いときに、緑色で帯状の横線が見えることがあります。アンテナケーブルをご確認ください。また、電波の弱い場所で使用する場合は、ブースターを使用してください。ブースターの取り付けについては、お近くの電器店などにご相談ください。

テレビ画面上にメッセージが表示された

■ メッセージの内容にしたがって、ご利用環境を確認してください

● [B-CASカードを正しく装着してください。]

B-CASカードが装着されていないか、または正しい向きでしっかりとセットされていない可能性があります。もう一度B-CASカードを確認してセットしなおしてみてください。



参 照

B-CASカードのセットのしかたについて→『ユーザーズマニュアル』の「準備・基本編」第1章の「B-CASカードをセットする」

● [E201 信号レベルが低下しています。]

- ・ アンテナケーブルを確認してください。
- ・ アンテナの向きを確認してください。

● [E202 信号が受信できません。]

- ・ アンテナケーブルを確認してください。
- ・ 地上デジタル放送の場合は、テレビ初期設定をおこない、チャンネルをスキャンしなおしてください。
- ・ BS・110度CSデジタル放送の場合は、雨、雪、雷雲などによって電波が受信できなくなると表示されます。天候が回復し、電波の状態が改善されれば、映像が表示されます。

● [E203 放送休止中]

受信レベルが0またはそれに近い値のとき、このメッセージが表示されます。

- ・ 番組表などで放送時間をお確かめください。
- ・ エラー表示チャンネルの受信レベルを確認してください。

- [E209 アンテナの接続を確認してください]
BS/110度CSデジタルアンテナのアンテナ線がショートしたときに、このメッセージが表示されます。パソコンの電源を切り、BS/110度CSデジタルアンテナ端子に接続しているアンテナ線を外し、アンテナ線のショートの原因を確認してください。そして、ショートの原因を取り除いた後で、再びアンテナ線をパソコンのアンテナ端子に接続してください。なお、ショートの原因がわからないときには、お近くの電器店にご相談ください。
- [EC01 B-CASカードの情報を読み取れません。B-CASカードが装着されていること、また正しい方向に装着されていることをご確認ください。]
B-CASカード自体に問題があるか、B-CASカードが正しくセットされていないときに表示されます。B-CASカードが正しい向きでしっかりとセットされていることを確認してください。

SmartVisionの動作が遅いことがある

■ 録画ファイルの数が多くありませんか？

録画したファイルの数が多いとSmartVision起動後の動作が遅いことがあります(映像の乱れやコマ落ちなども含む)。

保存しておきたい番組はSmartVisionのDVD作成機能またはファイル出力機能を使ってDVDに保存し、不要となった録画ファイルは削除してください。

■ パソコンの負荷状況(CPU使用率)が高くありませんか？

パソコンの負荷状況(CPU使用率)が高い状態では、放送波の切り換えや、タイムシフトなどのモードの切り換え/早送り/巻き戻し等の操作をおこなってから、実際に機能が働くまでに時間がかかる場合があります。

パソコンの負荷を軽減するために、同時に動作しているソフトを終了させてください。また、ソフトの再起動やハードディスクの整理などをお試しください。

操作中にウィンドウが見えなくなる

■ SmartVisionを常に手前に表示する設定にしていますか？

マウス専用画面のスリムモードで、右クリックメニューの「常に最前面に表示」を有効にすると、スリムモードで表示されているSmartVisionが他のウィンドウよりも常に手前に表示されます。

この状態で、SmartVisionから別のソフトを起動したり、別のウィンドウを表示させると、それらのウィンドウがSmartVisionの後ろに隠れてしまう場合があります。

このような場合は、SmartVisionのウィンドウを最小化したり、ウィンドウのサイズを小さくしてウィンドウの位置を変え、隠れていたウィンドウを表示させてください。

「常に最前面に表示」を「無効」にすれば、この現象は起こらなくなります。

外付けハードディスク以外の機器を接続したとき、SmartVisionで録画用ハードディスクとして利用するように設定するか確認する画面が表示される

■ メッセージの画面でキャンセルを選択してください

外付けハードディスク以外の外部接続機器であっても、SmartVision側でハードディスクと認識される場合があります。その場合には、キャンセルを選択してください。

コピー回数が「再生不可」と表示された番組がある

■ 利用できない録画ファイルです

「再生不可」の番組は、再生を含め、一切利用できません。ハードディスクの容量を節約するため、削除することをおすすめします。録画した番組が「再生不可」の状態にならないようにするために、再セットアップをおこなった場合は、録画番組が保存されている外付けハードディスクをSmartVisionに再登録(テレビ映像を表示している状態で、パソコンに外付けハードディスクを接続し、メッセージ表示を確認)してください。



外付けハードディスクの使用については、PDFマニュアル『テレビを楽しむ本 活用編』をご覧ください。

パソコンを再セットアップするときの録画番組のデータについて知りたい

Cドライブを再セットアップしたりWindowsのリフレッシュをおこなうと、Cドライブに保存された録画番組のデータは消去されます。

これらの操作をおこなうときやパソコンを初期状態に戻すときは、あらかじめ録画番組を光ディスクに保存するか外付けハードディスクに移動しておいてください。

光ディスクに保存について詳しくは、PART7の「番組を光ディスクに保存する」(p.168)をご覧ください。録画フォルダの作成や番組の移動については、PART8の「録画した番組を整理する」(p.183)を、それぞれご覧ください。



パソコンが故障したとき、修理の内容によっては外付けHDDに移動した録画番組のデータを利用できなくなることがあります。大切なデータはDVDなどの光ディスクに保存することをおすすめします。



外付けハードディスクの使用については、PDFマニュアル『テレビを楽しむ本 活用編』をご覧ください。

タスク バーのSmartVisionアイコンが表示されない

誤操作やパソコンの再セットアップなどによってタスク バーのSmartVisionアイコンが表示されなくなったときは、次の手順でタスク バーにアイコンを追加してください。

1 スタート画面の「SmartVision テレビを見る」を右クリック

2 画面下の「タスク バーにピン留めする」をクリック

「ウェブ検索」機能を使ったときInternet Explorerが表示されない。マウスでInternet Explorerをクリックしても、テレビ(SmartVision)の手前に表示されない

■ SmartVisionを常に手前に表示する設定にしていますか？

マウス専用画面のスリムモードで、右クリックメニューの「常に最前面に表示」を有効にすると、スリムモードで表示されているSmartVisionがほかのウィンドウよりも常に手前に表示されます。この状態で、SmartVisionの「ウェブ検索」機能を使ってInternet Explorerを起動すると、そのウィンドウがSmartVisionの後ろに隠れてしまいます。このような場合は、SmartVisionのウィンドウを最小化したり、ウィンドウのサイズを小さくしてウィンドウの位置を変え、隠れていたウィンドウを表示させてください。「常に最前面に表示」を無効にすれば、この現象は起こらなくなります。



「ウェブ検索」については、PDFマニュアル『テレビを楽しむ本 活用編』をご覧ください。

リモコンで「きこえる変速再生」の操作ができない

■ リモコンのモードを変更していませんか？

リモコンが「データ放送固定モード」になっていると「きこえる変速再生」の操作ができません。リモコンの【サブメニュー】を押して、「リモコン(データ放送固定モード)」を選び、「自動切換(再生操作モード)」を選んで【決定】を押してください。

「外でもVIDEO」の番組を携帯電話で視聴できない

■ お手持ちの携帯電話が対応しているかどうか確認してください

お手持ちの携帯電話が「外でもVIDEO」の再生に対応した機種かどうか、121ware.comでご確認ください。なお、SD画質の「外でもVIDEO」は対応する携帯電話がよりかざられています。この機能をお使いになる前に、対応状況をご確認いただくことをおすすめします。

セキュリティソフトを入れ換えてから問題が起こるようになった

ご購入時にインストールされているウイルスバスター以外のセキュリティソフトをご使用になると、次のような問題が発生することがあります。

1. テレビを視聴しているときや録画番組を再生しているときに映像が乱れることがある。
2. オートチャプターが作成されないことがある。
3. ホームネットワークダビングができないことがある。
4. データ放送の双方向サービス(データの送受信)ができないことがある。

セキュリティソフトを入れ換えたときは、次のファイルに通信許可(アクセス権)を設定してください。設定方法については、入れ換えたセキュリティソフトのマニュアルやヘルプをご確認ください。

<通信許可ファイル>

C: ¥Program Files(x86) ¥NEC ¥SmartVision ¥DtnCtl.exe

C: ¥Program Files(x86) ¥NEC ¥SmartVision ¥SvUI.exe

C: ¥Program Files(x86) ¥NEC ¥SmartVision ¥SVDWrite.exe

C: ¥Program Files(x86) ¥NEC ¥SmartVision ¥twitterAPforSV ¥twitterAPforSV.exe

設定していない時刻に番組表の受信が始まった

地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルおよび地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルでは、テレビ(SmartVision)を起動したときに次の2つの条件がそろっていると、自動的に番組表の受信が始まります。

- ・その日、一度も番組表を受信していない。
- ・搭載されているレコーダー(チューナー)のうち、どれか1つが使用されていない。

視聴や録画でレコーダーがすべて使われているときは、番組表の自動受信はおこなわれません。

録画番組一覧の録画フォルダーのアイコンが変化した(地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルのみ)

録画に使えるハードディスクの容量が少なくなってくると、おまかせ録画フォルダーのアイコンに矢印が表示されたり、録画フォルダーのアイコンが赤くなるなど、録画フォルダーのアイコンが変化してお知らせします。

詳しくは、PART5の「おまかせ録画フォルダーの番組の自動削除について」(p.150)および「録画用の容量が少なくなったときは」(p.150)をご覧ください。

ぱっと観テレビをつけたときチャンネルが切り換わり右下に「おはようマイチャンネル」と表示された(ぱっと観テレビモデルのみ)

おはようマイチャンネルは、視聴履歴からいつも見ているチャンネルを自動で判断し、テレビをつけたときそのチャンネルを自動的に選ぶ機能です。

設定によっては、おはようマイチャンネルが有効になっているときでも、テレビをつけた瞬間だけ最後に見ていたチャンネルが表示され、その後、おはようマイチャンネルの機能が働いてチャンネルが切り換わることがあります。

英数字

AVCREC	160
B-CASカード	16
BDAV	160
BS・110度CSデジタル放送	2
CATV	4
CPRM	165
DVD-VR	160
G-GUIDE for Windows	198
SmartVision/PLAYER	196
Smartリモコン	197

あ行

アドバンスモード	178
アンテナの設定	17
ウェブ検索	195
追っかけ再生	145
おてがる予約	90
おまかせタフ録り	114
おまかせ録画	103
音声多重放送	43
音声を切り換える	43
オンラインヘルプ	178
音量を調節する	42

か行

画質を切り換える	42
キーボードショートカット	巻末
キーワード	96、103
きこえる変速再生	56、144
繰り返し予約	91
検索	96
検索番号	ii
個別表示	140

さ行

再生	137、173
さかのぼり録画	87
削除	155
視聴予約	93
字幕	43
受信レベル	17

初期設定	5
シリーズ録画	94
新番組おまかせ録画	109
スリムモード	178
双方向サービス	57
外付けハードディスク	194
外でもVIDEO	195

た行

タイムシフトモード	55、87
地上デジタル放送	2
チャプタースキップ	142
チャンネルを切り換える	41
つぶやきプラス	197
データ放送	57
テレビメニュー	52
電源設定	134

な行

ナイトモード	133
ノーマルモード	178

は行

ハードディスク容量	81
ぱっと観テレビ	20
番組情報	62
番組表	60
番組を移動する	186
番号検索	ii
フォーマット	164、166
フルスクリーンモード	176
編集	189
放送を切り換える	42
ホームネットワーク	196

ま行

マイ番組表	60、67
マウス操作専用モード	176
まとめ表示	140
見たいところ再生	142

■ や行

予約の確認	99
予約の結果	102
予約の取り消し	99
予約の変更	99
予約の優先度	129

■ ら行

ライブモード	55
リモコンのボタン	25、46
録画	77
録画モード	80
録画モード変換	179

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

キーボードショートカット

マウス用画面モードでは、次のキーボードショートカットが使えます。

操作	キーボードショートカット
SmartVision終了	【Alt】+【F4】
ヘルプ表示	【F1】
タイムシフト／ライブ切り換え	【F8】
画面モード切り換え※1	【Fn】+【PgUp】/【Fn】+【PgDn】
番組表拡大表示／非表示 ※2	【-】
録画番組一覧拡大表示／非表示 ※2	【:】または【*】
予約一覧拡大表示／非表示 ※2	【/】
録画	【Ctrl】+【Space】
停止	【S】
再生	【Z】
一時停止	【X】
巻き戻し	【←】
早送り	【→】
お急ぎモード※4	【↑】
じっくりモード※4	【↓】
スキップ ※3	【Ctrl】+【→】
バックスキップ ※3	【Ctrl】+【←】
チャプタースキップ※5	【Alt】+【←】/【Alt】+【→】
決定	【Enter】
戻る	【BackSpace】
↑	【↑】
←	【←】
→	【→】
↓	【↓】
音量UP	【Shift】+【↑】
音量DOWN	【Shift】+【↓】
消音	【Shift】+【←】または【Shift】+【→】
チャンネルUP	【Ctrl】+【↑】
チャンネルDOWN	【Ctrl】+【↓】
連動データ放送	【D】
青ボタン	【B】
赤ボタン	【R】
緑ボタン	【G】
黄ボタン	【Y】

キーボードショートカット

操作	キーボードショートカット
プリセット①	[1]
プリセット②	[2]
プリセット③	[3]
プリセット④	[4]
プリセット⑤	[5]
プリセット⑥	[6]
プリセット⑦	[7]
プリセット⑧	[8]
プリセット⑨	[9]
プリセット⑩	[0]
プリセット⑪	[Ctrl]+[1]
プリセット⑫	[Ctrl]+[2]
ダイレクト選局モード中の操作	キーボードショートカット
0	[0]
1	[1]
2	[2]
3	[3]
4	[4]
5	[5]
6	[6]
7	[7]
8	[8]
9	[9]

※1	画面モード	[Fn]+[PgUp]	[Fn]+[PgDn]
	スリムモード時	フルスクリーン	ノーマルモードへ
	ノーマルモード時	スリムモードへ	アドバンスモードへ
	アドバンスモード時	ノーマルモードへ	アドバンスモード機能変更

※2 文字を入力していない状態で操作してください。

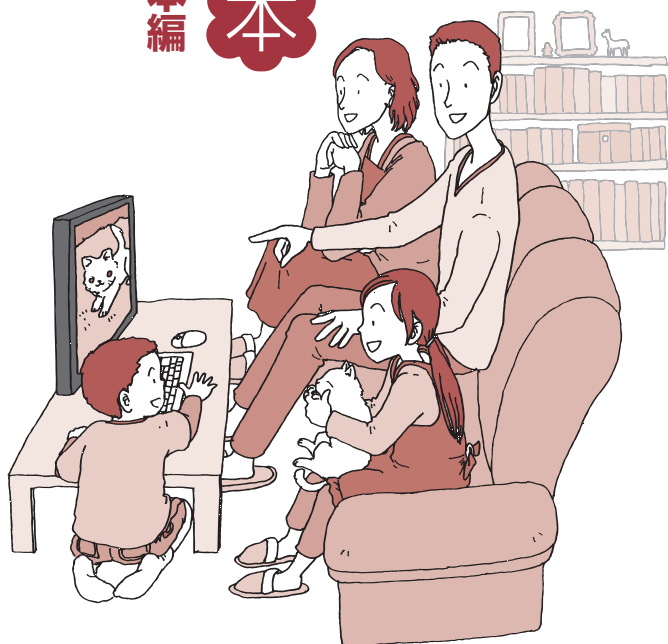
※3 録画済み番組再生時、およびタイムシフト視聴時のみ使用できます。スキップは、再生時刻より約30秒前へ進みます。バックスキップは、再生時刻より約30秒巻き戻します。

※4 音声付きで再生します。録画済み番組再生時、およびタイムシフト視聴時のみ使用できます。

※5 録画済み番組再生時のみ使用できます。タイムシフト視聴時は使用できません。

基本編

テレビを 楽しむ本



VALUESTAR



* 8 1 1 0 6 4 3 5 5 A *

初版 2014年 1月

NEC

853-811064-355-A

Printed in Japan

NECパーソナルコンピュータ株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11-1 (ゲートシティ大崎 ウェストタワー)

このマニュアルは、再生紙を使用しています。